大人の
ヒゲ剃り
ヒゲデザイン論

professional hige-design

そのヒゲの剃り方は間違ってませんか？
そのヒゲデザインは間違ってませんか？
なによりそのヒゲで損をしてませんか？

著者　理容室ＦＵＪＩＩ 藤井実

大人の
ヒゲ剃り
ヒゲデザイン論

professional hige-design

そのヒゲの剃り方は間違ってませんか？
そのヒゲデザインは間違ってませんか？
なによりそのヒゲで損をしてませんか？

著者　理容室ＦＵＪＩＩ 藤井実

「ヒゲデザイン論」

１３年前の３０歳の日からヒゲを生やしはじめた。
今は亡き親父も口ヒゲを生やしていたけど
その頃には剃り落してて。
俺が鏡の前でヒゲを手入れしてたら
「オマエがヒゲ生やすのか」と
ニコニコした親父の顔が鏡に映った。
「そう」と素っ気ない返事をして
顎から首までのヒゲを剃刀で剃り始めた。
親父の視線に照れながら。

今思えば、そこから「ヒゲデザイン論」は始まった気がする。

大人の
ヒゲ剃り
ヒゲデザイン論

professional hige-design

はじめに

ヒゲデザイン論として〜はじめに。

「ヒゲを生やす」という事は、大人の男の証・・しかし、現代の日本社会においては「怖い・汚い・偉そう」という印象が強くあり受け入れられることはありませんでした
歴史においては「ヒゲ」は権力の象徴でもあり、特に日本においては戦国時代の武将・大戦時の軍人の姿が印象強くあるためでもあります。個人的な見解ではありますが、男性が行動的になる時代になると「ヒゲ」が世にでてくると思っております。ただ、過去においては「男性が行動的になる」という事は、戦争などの「武」としての意味が強くなっていたと思われます。日本においては徳川幕府により「大ヒゲ禁止令」が発令され、老人以外のヒゲは事実上禁止されました。それは「男性の行動力」をヒゲを共に剃り落してしまい、乱世の時代に終止符を打たせます。男が「個としての行動力」よりも、「公としての行動力」に切り替わった時代なのです。そこから明治、大正、昭和初期の激動の時代にはいると、再びヒゲは「武」としての行動力の時代になります。第二次世界大戦の終戦と共に、企業人つまり「公の行動力」が必要になり、再び企業による「大ヒゲ禁止令」と共に「公の行動力」の時代になるのです。そして、現代の日本において未曾有の不景気の中で「個として行動力」が男に求められている時代になったと確信しております。無論、それは人を傷つけるような行為ではなく、社会人としての行動力だと思うのです。

ただヒゲは伸ばすだけでは社会のおいては、厳しい環境にある事は間違いありません。「怖い・汚い・偉そう」・・そのようなイメージにあたるヒゲ、逆にそう思われないためのヒゲデザインとはどのようなものか？という考えから始まり、デザインにおける印象変化を理論化する事から「ヒゲデザイン論」は始まりました。ヒゲの生え方、生えている部位は十人十色。ヘアスタイルと違って、カタログからホイホイと選べるものではありあせん。だからこそ、まず自分のヒゲを理解する事が大切であり、何処を剃り落すのか？何処を残すのか？何処を伸ばして、何処を短くするのか？それがとても大切な事だと思うのです。

男性におけるヒゲは、女性におけるメイクと同じだと私は考えます。と、いう事はメイクダウンもありうるわけです。現在におけるヒゲを生やされている方の殆どは、自己流が現状です。もしくは、俳優さんなどスクリーンの中におけるヒゲデザインを参考にしているのが現状でしょう。しかし、成人の方の殆どがそうであるように「日常生活と社会性」を意識しないと、現状では「ヒゲ」はなかなか存在しえません。ヒゲで顔が大きく見えてないのか？怖くみられてないのか？老けてみえていないか？汚らしく思われていないか？そこに「ヒゲデザイン論」という理論が活

きてくると私は思います。

「ヒゲデザイン論」とは、１３年前に自分自身が生やしはじめたヒゲにトリマーをいれた時から始まりました。様々な試行錯誤の中で、ヒゲを構成するラインにおいて「顔の印象」が変わることに気がつきました。また理容師という職業柄、シェービングにおいては常に深剃りを行い、ツルツルの状態を良しとしておりました。しかし、その剃り具合を変化させ、さらに道具に応じて様々なデザインを構成することができる事に気がつきました。そこから一気に「ヒゲデザイン論」が大きく動き出したのです。そして、ただヒゲのデザインパターンではなく、個々のヒゲに対して「何処を残し。何処を剃り落すのか」を軸として、構成するラインにおける印象変化を理論化していきました。

理論としての「ヒゲデザイン論」ですので、難い内容なとこともあります。ただ本書を通じて「ヒゲを生やす意義」を感じてもらい、その先にある「男の儀式」としての「シェービング」の世界も感じて頂けたら、理容師として嬉しく思います。

誤字脱字等があるかと思いますが、ご指摘してくださると幸いです。〜理容師として〜藤井実

ヒゲを生やすこと。

ヒゲを生やすこと
ヒゲを剃ること
どちらも男だけの楽しみです。

ヒゲを生やすということ。

ヒゲを生やすという事〜その先にあるもの。

ヒゲを生やす・・それは大人の男の証。ゆえに、社会を意識しないといけない訳ですよね。俳優さんなどのヒゲを意識するのも良いですが、それがそのまま「社会的」といえないのがヒゲの難しいところなんです。欧米などのヒゲの歴史が深い国では、ナンセンスな話かもしれません。しかし、「ヒゲ禁止」という現実がある企業内での規則がある日本においては、様々な壁があるのも事実です。本来ヒゲは自由であり、自由であるべきスタイルだと思います。ただし、様々な規則のなかに生きるのも「大人」である証・・現実的にはヒゲもそのなかの一つであると思います。

日本におけるヒゲの歴史において、近年にとある変化がおきました。少しづつではありますが、女性にも「男性的なヒゲ」が認知されはじめたということです。ただし、勘違いしてはいけないのは、あくまでも「手入れされたヒゲ」であり「デザインされたヒゲ」であるということです。また同時にヒゲもファッションの一部となった事になります。ファッションとは、人に不快感を与えないことが第一です。そういう意味でも人に不快感を与えない〜つまり、「ヒゲは個性」としながらも「社会性」を求められているという事になると思うのです。

さらに、ヒゲは人により生えている部位や濃さも違うのでヘアスタイルのように「こんな感じのスタイルで」というわけでいかないのが難しいわけです。自分に与えられたヒゲを、どう剃り落し、どう残して、どう揃えるかがポイントになります。プロに任せるならシェービングのプロである理容師でありますが、日々ヒゲと付き合うのは自分自身なのですから、そのデザインの先にあるものを理解しないといけないと思うのです。

ヒゲは人格を表し、顔つきをも変えてしまいます。それは自分の意としないデザインでしたら大変なことになりますよね。その為にも「ヒゲデザイン論」はあるのです。

口をも覆い隠すようなヒゲを作ってしまえば、その人の表情をも覆い隠すことになるのです。そうすれば、周りの人は「怖い」という恐怖感を抱いてしまう可能性があるという事なのです。鼻の下に、鼻の幅程の短いヒゲ〜チャップリンのようなヒゲは、そのヒゲに他人の目を集中させるようなデザインになるのです。口髭で「への字」のようなデザインをすれば、口までも不機嫌なへの字の形にみえてしまいます。細い髭をデザインすれば神経質な感じ、太い髭をデザインすれ

ば粗暴な感じに。顔が大きく見えたり、顔が貧素に見えたり・・様々な事がヒゲの間違ったデザインにより起こりえるのです。それが本人の意に反する事になろうとも。

近年、顔を認識するシステムを使用した自動販売機は広告システムがあります。その際に年齢を認識する基準の一つとして「若いと顔が中心に集まっているが、年齢を重ねると広がってくる（さがってくる）」というのがあるそうです。自然な事ですからしょうがないのですが、それに対して何かできないのでしょうか？女性はお化粧などでフォローする事ができますが、男性は？その一つに「ヒゲ」があると思うのです。大人のヒゲだからこそ意識しなければいけないのです。「ヒゲを生やした老人」というイメージを頭に浮かべた場合に、皆さんはどんな想像をしますか？目尻が下がって、ヒゲを長く伸ばした姿ではないですか？仙人までも想像しないにしても、テレビの水戸黄門様のような姿を思い浮かびませんか？そう観られたいのならともかく、実年齢より老けてみられたくないのであれば、ヒゲが垂れ下がるようなデザインは避けるべきなのです。そこから「大人のヒゲ」は始めると思うのです。

そして、ヒゲを生やすということは「手入れをする」ということになります。よくヒゲを生やそうか悩んでいる方から「手入れが面倒臭さそう」という相談をうけます。でも良くかんがえてみますと、社会的な事を考えた場合は「ヒゲは毎日剃る」事でありますから面倒なのです。確かにヒゲのデザインが確定するまでは、日々の手入れが面倒臭いかもしれません。しかしヒゲの部位は剃らなくても良いわけですから、そのぶん手入れが楽になるのです。ヒゲのデザインにもよりますが、トリマーなどで整えるのは２、３日に一度で大丈夫な事を考えると、手入れは楽なのです。まずは「ヒゲを生やす」ことが大切なんですね。

ヒゲは精神心理学的によりますと「行動的」という意味合いがあり、物でいうと「サングラス」ともいえるそうです。家の近所では中々できないような事でも、リゾート地などに出かけた際に、サングラスなどをかける事により普段できないうような事ができる、という事です。ヒゲを生やす事により、人は本来の自分でない自分になるわけです。女性が化粧をすると、性格までも変わる～なんて言われているのと同じですね。前章でも述べましたが、男が行動的になるという事は「武」としての行動でした。しかし、それは現代では何か決心のようなものであるような気がするのです。

ヒゲを生やすという事・・それは、何かへの決心なのかもしれませんね。

男
大人
シェービングだろ。

ヒゲを剃るということ

ヒゲを剃るという事。

ヒゲを剃るということ～シェービングという時間。

「ヒゲを剃るということ～一般的にはシェービングという事になります。男にとっては毎日の面倒くさい作業だと思う人も多いかもしれません。しかし、ヒゲを剃る～シェービングという時間は、大人の男だけの特権でもあるのです。一歩間違えば、肌をも傷つける刃をあてがい、ヒゲを剃り落す。たしかに、たまには失敗して肌を傷つける事もあります・・でも、男は色々なことを学ぶのです。

石鹸を泡立てて汚れをとり、蒸してヒゲを軟化させ、鋭い刃でヒゲもろともに古い角質を取り除く・・剃り終えた後の爽快感は、洗顔の比ではないはず。古い角質を除去して新しい肌を世にだし、肌に刺激を与える事によりシワのできにくい肌を作り上げる。日々の積み重ねは、歳を重ねた時に喜びとなるはずなのです。

理容店では、顔の上でブラシで泡を作り、蒸しタオルで顔を蒸した後に、鋭利な刃でヒゲを剃り落とす行為。日常では、T字カミソリなどを使用して行う行為ですが、間違ったやり方をしてしまうと肌を痛めてしまいます。同じく日常的に使用する道具として電気シェーバーなどは、「剃る」というよりも「刈る」という事になります。現実的な日常の中での「ヒゲを剃る」という事において、「剃る」と「刈る」この二つの行為を日常で上手に使い分ける事が大切だと思うのです。そして、剃った後のスキンケアも大切です。それら全ての行為が「シェービング」という事になります。

肌から突出しているヒゲを取り除くわけですから、肌へのダメージを考えなければなりません。それはスキンケアということだけでなく、取り除く・・つまり、剃る／刈るという事で、使用する刃の切れ味や用途などが問題になってきます。その道具に求める仕事と、切れ味などのメンテナンスも大事です。さらに、その前段階では、ヒゲが肌へダメージを残すことなく剃り落す為の事前処置も大事になってくるのです。それら何かを怠っても、「シェービング」という行為は成立しません。それらを踏まえた上で男にしか味合えない「シェービングライフ」を楽しんでいただきたいと思います。

ヒゲを蒸すという事。

まずは、石鹸などをつけたヒゲブラシで顔の上で泡を作り上げていきます。ヒゲブラシの毛は穴熊のものが極上とされておりますが、ご自分の肌にあった毛（毛の固さ、毛の種類、材質）を選ばれると良いと思われます。ブラシによる泡だては、毛先が毛穴の中の汚れを取り去るだけでなく、肌にも軽い刺激を与えて「剃る」為の下地をつくります。この時に、毛先が太いような毛を選んでしまうと、毛穴を広げすぎてしまう場合があるので、肌の木目が細かい方はご注意ください。毛先が自然の状態で細くなっているものでしたら大丈夫かと思います。また、古くなったブラシの毛を鋏などで切り揃えてしますと、毛先に毛の断面ができてしまうので太くなります。そのような時は新しいブラシを購入することをお薦めします。

市販品で、ムース状にシェービング用の泡がでてくるものや、ジェル状の液体を顔に塗るタイプのがあります。それぞれヒゲを軟化させるなどの効用がありますが、塗っただけでは「肌の上に乗っかっているだけ」ですので、やはりシェービングブラシなどで肌に馴染ませてあげることが大事になります。

そして、蒸しタオルの登場です。理容店では１００度で煮沸消毒された蒸しタオルを使用しますが、家庭では電子レンジがあれば簡単に蒸しタオルを作ることができます。少し厚めのタオルを水に浸けて、ビチョビチョにならない程度に、絞って水分をとります。それをポリエチレン袋（スーパーなどのレジに置いてある袋）に入れたり、サランラップで巻き寿司のように包みます。そして、電子レンジで１分～１分３０秒加熱すればできあがり（電子レンジの性能により時間差はあります）。取り出す時は、かなり高温になっているので火傷しないように気をつけてください。熱くてもてないと思いますので、無理せず乾いたタオルで包むように取り出すのが良いでしょう。 そして、乾いたタオルの中で、蒸しタオルを広げてヒゲが生えている箇所にあてます。乾いたタオルで蒸しタオルを上から押さえてあげると、蒸す時間が飛躍的に伸びます。

ブラシで顔に泡立て、その泡のついた顔に、乾いたタオルの下の蒸しタオルをゆっくりとあてがいます。この時、鼻を塞がないように気をつけてください。熱い蒸気を吸い込んで、思わぬ事故につながる場合があります。そして、これからが至福の時間・・目を閉じて、静かにヒゲが蒸されるのを待ちます。蒸しタオルの熱が冷めてきて、温かみが落ち着いてきたら蒸しタオルを外します。冷たくなるまで顔にあててると、肌も緊張状態になり逆効果です。 蒸しタオルで蒸されたヒゲは、水分を含んで膨張します。ここに大きな意味があるのです。良く「ヒゲ（無駄毛）を剃ると毛が太くなる」という事を聞きますが、それは間違ってます。成長期など早い周期で体毛が太くなっている時期以外では、この「蒸す」と行為を行わずに剃った事によりおきる現象が原因

です。通常状態でヒゲを剃ると、剃った毛の断面が肌上に顔をだします。森などにある、木の切り株を想像してみてください。毛先は細くなっておりますが、そこにいきなり根元の太い切り株のような断面が、肌に現れてしますのです。それが「毛が太くなった」と誤解をうける大きな原因なのです。これを防ぐには「蒸して」毛を膨張させて、毛穴の中にある毛を肌の上に突出させるわけです。その状態で毛を剃り落す事により、できた断面は毛が通常の状態に戻る際に、毛穴の中に潜り込んでしまいます。そいて、成長を経て肌から顔を出す頃には毛先は細くなるというわけです。良く考えてみれば、剃れば毛が太くなるのなら素晴らしい事なんですけどね（笑）

蒸しタオルを使わずに、お風呂などにお湯に顔を浸けて済ます話も良く聞きます。基本的には良いかと思うのですが、お風呂のお湯には雑菌が多く含まれますので注意してください。必ず剃る前にシャワーなどで、軽く剃る部位を流してからにする事が大事です。

カミソリで剃るという事。

「プレシェービング（ワンシェービング）」
再度、ヒゲブラシで顔の上で泡をつくります。ヒゲは蒸された事により柔らかくなっている状態。まずは毛の流れを良くみて、流れに逆らわないように剃る「プレシェービング（ワンシェービング）を行います。いきなり毛流に逆らって剃ってしまうと、肌に多大な負担がかかるのでやめましょう。後ほど、肌荒れの原因になる場合があります。毛流をみながら、なるべく逆らわないように剃りましょう。個人差はありますが、顔の上から下方向に剃ることになると思います。剃り残しが気になる場合は、毛流に対して斜め４５度の角度から傾斜をつけて剃ります。毛流に沿って剃るので、肌への負担が一番少ない剃り方になります。刃を肌に押し付けるのではんく、道具の重さだけで剃れることが理想です。その為に、道具（T字カミソリフォルダー）はある程度重さがあるものが良いでしょう。ただし、剃る時間によって重さは変わってきます。朝に顔を剃る事が多い方は、ある程度重めのT字カミソリフォルダーを使用します。寝起きは脳が活性化していないので、重量がある道具によって認識させて、誤動作を防ぎます。またその重さで顔を剃ることができるので肌への負担も減ります。夜に顔を剃る事が多い方は、比較的軽めのT字カミソリフォルダーを選びます。一日を終えて腕や指に疲労があるために負担を軽減するためです。また使い捨てのT字カミソリフォルダーの場合は軽量なので、肌にあてる強さを調整することが大切です。

「クロスシェービング（深い剃り）」
ヒゲの濃い方の場合は、プレシェービングを行った後に再度蒸しタオルでヒゲを蒸してあげます。再度、顔にブラシで泡を塗布します。しかし、ワンシェービング時よりも水気が多い泡でも良いでしょう。水分が多いほうが滑りが良くなる為に、肌の抵抗がより無くなるためです。ワンシェービング時は、毛流に逆らわないように剃りましたが、クロスシェービングは逆剃りになります。ただし、流れに対して１８０度反対から剃ってしまうと、毛や肌に対して抵抗があります。できれば、斜め４５度の角度で剃り上げてあげます。剃り終えたら、蒸しタオル（新しい）で奇麗に肌を拭いてあげます。どちらにしても。毛流に抵抗する形で剃りますので、肌へはダメージが残ります。軽減する手段としては、「切れ味の鋭い刃を使用すること」「刃の枚数の多いT字カミソリフォルダーを選ぶこと」です。切れ味が良いものは、剃る時のヒゲへの圧力軽減になります。刃の多いT字カミソリフォルダーにおいては、刃の枚数で肌への刃があたる圧力を分散する働きがあります。肌の状態において、T字カミソリフォルダーの刃の交換時期や、種類なども選ぶと良いでしょう。

「シェーバー（電気カミソリ）」

カミソリとは明記されておりますが、回転する刃が網からでた毛（ヒゲ）を切るという意味では「剃る」ではなく「刈る」という方が正しいかと思われます。ただ、手軽にヒゲを整えられる利点は大きいです。そういう意味では、いきなり皮膚にシェーバーを使う方が多いですが、シェーバー用の保護剤などを皮膚に塗布してからのほうが良いかと思われます。シェーバーの場合は「蒸す」という行為がない為に「ヒゲを蒸すという事」で述べた「ヒゲの断面」が皮膚に突出しやすくなります。またヒゲの粉塵状のカスが皮膚につくので、使用後には顔を洗顔するなどしたほうが良いと思われます。メインで使用しても良いのですが、「シェービング」という事で考えると「カミソリ」との併用利用が最良かと思われます。ヒゲというのは、人が一番活発に動く昼位の時間帯に伸びてきます。朝にカミソリで剃り、昼頃にシェーバーでててきたヒゲを整える事により、夜までヒゲの状態を奇麗に保つ事ができます。また手軽さゆえに、間違った使い方をしている場合が多々あります。内部の回転している刃も、刃であるがゆえに鋭利に切れるには限界があります。メーカー指定の使用期間が過ぎましたら、速やかに刃を交換する事を薦めます。またいくら鋭利な刃が高速で回転しても、肌の上を速くあててしまったり、肌に強くあてる行為などは、トラブルの原因になりますので注意してください。刃と肌の間にある網も汚れを毎回キチンと取り除かないと、細菌などが増殖してトラブルに原因になります。とても便利なシェービング用の道具ではありますが、機械がゆえにメーカーの説明書を良く理解し、メンテナンスがとても大事な事を忘れてはいけません。

「血が吹いてしまう場合に」
よくカミソリで顔を剃ると血が吹いてしまう方がおります。「カミソリ負け」という事をおっしゃる方も多いのですが、実際は違う方が多いと思われます。カミソリが駄目という事で、日常ではシェーバー（電気カミソリ）を使用されている事になります。問題はそこにある場合が多々あります。「シェーバー（電気カミソリ）」で述べたようにキチンとメーカーの推奨された環境下の使用でしたら問題はないのですが、切れ味が落ちた刃の状態のままで、使用しつづける事がトラブルの原因になります。モーターで回転した刃がヒゲを切るのですが、切れ味が落ちた刃はヒゲを奇麗に切る事ができません。ゆえに、ヒゲは少なからず大袈裟に書きますと、引き千切られるような形になります。そうしますと毎回、ヒゲの周りの皮膚が上に引っ張られる形になります。その結果、ヒゲの周りの皮膚が隆起したような状態になってしまうのです。そして、たまにカミソリで剃った際に、それら隆起した皮膚がカミソリにて切られるために血が吹き出すのです。この場合は、シェーバーの刃をメーカー指定の時期に取り替える事で解決します。また使用後のシェーバーも清潔にしておかないと、毛穴などに雑菌が入り込み、おもわぬ化膿などをおこす場合があるので注意してください。そのような状態でカミソリで剃っても、血が吹く原因になります。最近のシェーバーは高性能であるがゆえに、使用する側がキチンと保管維持しないと駄目だという事です。

スキンケアをするという事。

スキンケアというと、えっ！と思う男性が多いと思います。でも、シェービングという行為は、「ヒゲを剃り落すと同時に、古い角質を取り除く」という行為でもあります。意外かと思われますが、様々な化粧品を使っている女性よりも、日々カミソリで顔を剃っている男性のほうが肌は綺麗であると言われております。無論、女性と男性との肌質の違いはありますが、日々古い角質を取り除いている肌は綺麗なのであります。ちなみにですが、肌の表面上にでてきている角質は２０～２５日前にできた皮膚であります。本当の素肌は、その角質の下に眠っております。でも、その肌を露出させた以上は男性とはいえスキンケアをしなければなりません。ただし、簡単なケアでも有効ですので忙しい朝でも大丈夫です。冬などの乾燥している時期などでは、スキンクリームなど保湿系のケア剤を使用します。また男性に多い脂質肌、夏のような多汗時期などでは化粧水、また刺激系のものならアフターシェーブなども良いでしょう。シェーバーなども手軽さゆえにケアを忘れがちですが、忘れないようにします。シェーバーを使用した際には、保湿系のケア剤が良いかと思います。様々なスキンケア商品がありますが、今回「entrex」社ご協力の元、アメリカ最古参のメンズ化粧品を開発する「Baxter」社の商品をご紹介します。

スキンケア～**Baxter**

CLEANSING BAR（クレンジングバー）

顔だけでなく、全身に使用できるクレンジング用の石鹸です。泡立てしながら濡らした肌にマッサージするようになじませます。夏などの汗をかきやすい時期などには、毛穴の汚れも除去して綺麗な素肌をつくります。香りも微香性なので、男性には良いと思います。泡立ちも良く、使いやすい石鹸です。

スキンケア～**Baxter**

SUPER CLOSE SHAVE FORMULA（クロースシェーブクリーム）

きめ細かいクリームを肌に塗布して、髭をやわらかくします。アナグマ毛を使用したシェービングブラシで塗布をしますと、きめ細かい泡がたちます。この効果により、スムーズな剃り心地を実現します。また剃り終わった後の肌や、日々の髭剃りで乾燥しがちな肌にうるおいを与え、みずみずしい肌へと導きます。石鹸の泡のようにブクブクとしたものではなく、レザーがスムーズにそれるような独特の泡ができます。

スキンケア～**Baxter**

AFTER SHAVE BALM（アフターシェーブバーム）

つけた時の適度な刺激と、軽やかな香りが清潔感と髭剃り後の肌を滑らかに整えます。日々の髭剃りで乾燥しがちな肌にうるおいを与えます～シェービング後のお勧めの一品です。残り香が大人を想像させる、大人の為のアフターシェーブ剤です。つけた時の適度な刺激もクセになること間違いありません。

スキンケア～**Baxter**

SUPER SHAPE SPF 15（シェープローションSPF15)

ヒゲソリ後の肌に～顔から首筋にかけて塗り、紫外線などから肌を保湿しながら守ります。シェービングで開かせた毛穴を収縮させて、乾燥などに強い肌をつくります。ノーマル肌から乾燥肌用 / UVA・UVBカット。いまや紫外線は女性だけが気にするものではありません。かといって日焼け止めや、ファンデーションを塗るのは抵抗が・・という方にぴったりの品です。

スキンケア～**Baxter**

HERBAL MINT TONER（ハーバルミントトナー）

男性用化粧水～コットンでふき取ることで古い角質を取り除きます。使用することにより、肌を清潔に整えてうるおいを与えます。ヒゲを剃らない時、洗顔後の肌にでもお勧めです。普段の肌のお手入れにも良いですが、汗をかいた後の肌にも気持ちが良い一品です。

スキンケア～**Baxter**

RAZOR BUMP RELIEF（レザースキンスムーサー）

マンサク成分の配合により肌の角質をやわらかくし、髭剃り後の肌のキメを整えます。ヒゲの濃い方や、肌の弱い人にお勧めです。ヒゲは良く蒸してから剃ることが基本ですが、コレを併用して使う事により、より良いシェービング環境を作り出す事ができます。

スキンケア～**Baxter**

FACIAL SCRUB（フェイシャルスクラブ）

クルミ顆粒の植物性スクラブでマッサージすることにより、古い角質除去を自然に除去して新しい肌の生成を促します。剃り終えた後の肌のトーンを整え、滑らかでやわらかな肌へと導きます。ヒゲ剃り後の使用なら一週間に一度くらいが良いかと思います。いつもと違う洗顔に！古い角質を取り除いて、いつまでも綺麗な男に！

スキンケア～**Baxter**

CLAY MASK（クレイマスク）

洗顔したあとに顔や首筋に塗り、乾いた後にぬるま湯で洗い流します。ヒゲ剃り後の肌表面の汚れを浮かし取りながら、角質にうるおいを与えて肌の調子を整えます。洗顔をしたあとの、大事なお手入れも大切です。マスクで毛穴の汚れを取り除くと共に、日頃の疲れも取り除きましょう！

スキンケア～**Baxter**

HYDRO SALVE（ハイドロリップバーム）

唇に塗ることによりホホバ保湿成分で唇の乾燥を防ぎ、やわらかさとうるおいを保ちます。冬など乾燥した季節には重要なアイテムです。 つけた後でも、かなりの時間において軽やかな香りを楽しむことができます。冬などの乾燥した季節、夏でもクーラーなどで乾燥した室内では、大切なアイテムになります。指に取り唇に塗るタイプですので、通常のリップクリームを塗る仕草に恥ずかしさを感じる人には最適です！

ヒゲを生やしてみよう。
ヒゲを生やしてみる。
ヒゲを切り揃えてみる。
ヒゲを撫でてみる。
ああ、これぞ至福のときかな。
ヒゲの生やし方を教えましょう。

ヒゲの生やし方　1

「ヒゲを生やしたい～hige-beginner」

ヒゲを生やしたい！と決意して、皆さんがやりがちなのは「とりあえず伸ばす」という事。で、だいたいボウボウの無精髭になってしまい・・周囲の意見は「汚らしい」なんて言葉ばかりで「やめようかなぁ」なんて心が折れちゃったりする人がいかに多いことか（笑）そんな事にならないように、伸ばすコツがあります。

・まずは「無精髭」にみえてしまうエリアに気をつけます～次図のＡエリアがそうです。このエリアのヒゲをいきなり伸ばしてしまうと、「汚らしい」といわれてしまいますので要注意。全部のヒゲを伸ばしてしまうのではなく、最終的に作りたいヒゲを目指して「伸ばすヒゲ」「伸ばさないヒゲ」を理解していきましょう。まずは「顎骨より下の首部分」ここのヒゲは伸ばす必要がないので、全て剃り落としましょう。「頬」のヒゲもまばらに生えていても奇麗じゃありません・・同様に剃り落しましょう。首部分のヒゲを「どこまで残して良いか判らない」というので伸ばす人もおります。この部位のヒゲは顔を大きく見せてしまい、年齢以上に顔の印象を下げてしまいます。奇麗に伸ばすのであれば、剃り落したほうが良いでしょう。

・最初に伸ばし始めるのに適しているのは「顎のヒゲ」です。間違っても「口ヒゲ（鼻の下のヒゲ」から伸ばしてはいけません。顎のヒゲを伸ばすには「ａ」の部位から伸ばし始めます。最終的に顎ヒゲの核となる部位から伸ばしていき、ｂ＞ｃ＞ｄと伸ばす範囲を広げていくのが理想的です。伸ばすにしたがってボリュームも増やしていき、サイドの角もあるようでしたら伸ばしていきます。顎下部から伸びているヒゲは切り揃えることを忘れずに。徐々にヒゲの面積を広げていくことが大切です。立体的な顎ヒゲを目指すのであれば、最終的に長くなる部位の中央部から伸ばしていきます。いきなり全体的に伸ばしてボサボサになれば「無精ヒゲ」と思われてしまうからです。ヒゲの生え方にクセがあり、彼方此方の方向を毛先が向いてしまう場合があります。長くする事により落ち着いてきますが、そこまで伸ばせない場合がおおいかと思います。その場合は、５～７ｍｍほどの短い長さでヒゲを構成します。手入れも楽ですし、ヒゲも彼方此方に動かないのでボサボサした印象を軽減できます。

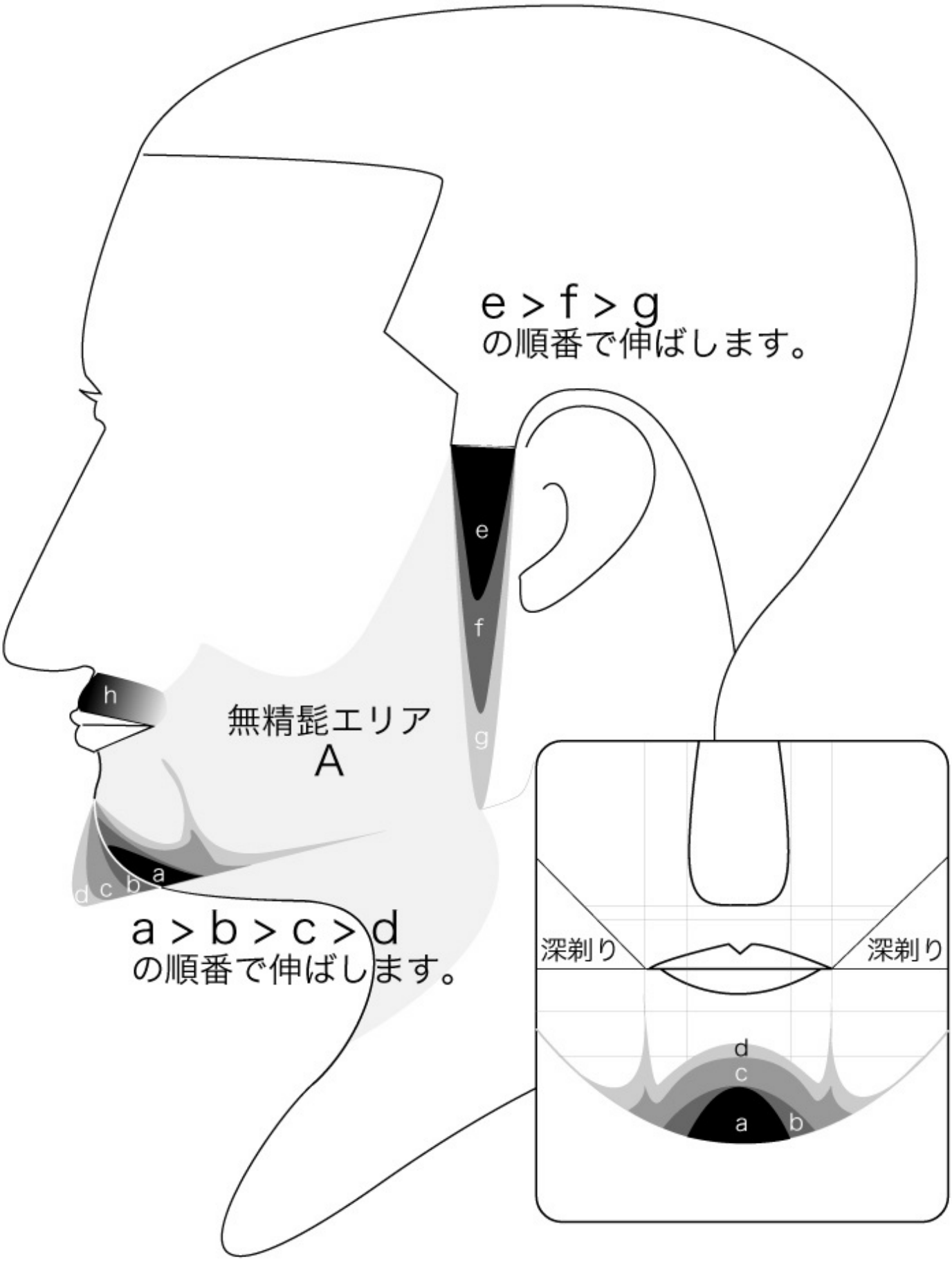
・頬ヒゲもｅ＞ｆ＞ｇと下方向に少しづつ伸ばしていきましょう。下にいくにしたがってボリュームを落とすのが理想なので、そのように伸ばすと自然に理想的なボリュームで伸ばす事が可能です。頬ヒゲは縦方向に顔を引き締める印象があります。耳迄は「もみあげ」的、耳よりも長めになると「頬ヒゲ」という認識になります。顎ヒゲを伸ばし始めると同時に、頬ヒゲがある人は

少しづつ長めに伸ばしてみるのも良いと思います。ただし、ボサボサになると顔の印象に影響がでるので注意してください。

・口ヒゲ（鼻の下のヒゲ）は、そこだけを伸ばしたい場合は別として基本的には顎ヒゲなどが整ってから伸ばし始めるひげです。それまでは１mmくらいにトリマーで毎日整えましょう。他のヒゲが周囲に認知されましたら（笑）少しづつ長さを伸ばしてトリマーで整えていきます。その際に両脇のヒゲは中央部よりも短めにしてあげると良いと思います。あと、唇にかかるヒゲはキチンと揃えてください。口ヒゲは１ｍｍくらいの長さで毎日残すのも良いですが、朝などにヒゲの毛流に剃って軽く剃るだけでも良いです。そうしますと、仕事が終わる夕方頃に徐々に口ヒゲが伸びてきて色付きはじめます。詳しくは「口ヒゲ」のデザイン論で述べますが、口角周辺だけは４５度の角度で深剃りはしてください。

いきなりヒゲを伸ばして「そのヒゲなに？」なんて言われるより、まずは「こういうヒゲにしたい」というデザインの全体をいきなり伸ばすのではなく、内側から伸ばしていくのがベストです。ただ伸ばしたのじゃ「無精髭」だけど、キチンと伸ばしていけば「伸ばす過程」もデザインされたヒゲなのです。また口ヒゲ（鼻の下のヒゲ）から伸ばしてしまうと「偉そう」などと言われてしまう事があります。ですので、まずは「顎ヒゲ」から伸ばすことをオススメいたします。顎ヒゲを伸ばす際には、顎骨より下は常に剃る事が大切です。できれば深剃りしてキチンと線をつけてください。そして「最近、ヒゲが似合ってきたね」なんて周囲の人の声が聞こえてきたら、口ヒゲを伸ばしはじめると良いですよ。

さぁ、ヒゲを伸ばしてみましょう！


e > f > g
の順番で伸ばします。
e
f
g
h
無精髭エリア
A
a
b
c
d
a > b > c > d
の順番で伸ばします。
深剃り
深剃り
d
c
a
b

ヒゲを活かすも殺すも
テクニック次第なんすよ。
ヒゲデザインの基本テクニック

鏡の前にはヒゲ面の男。
さてヒゲでもやるかと、トリマー。
まずは顎をしゃくり上げて
顎骨まで勢い良く刈り込んで行く。
バリバリと刈り込んで行く。
ダラけた顔が、男に変る瞬間。
トリマーを 90 度持ち替えて固定して
首を左右に振れば、
顎鬚が直線的にさらに精悍に。
ここで無精髭よさらば。

頬の髯を上からバリバリ。
ジグザグな動きが
自然にヒゲを馴染ませる。
耳から顎への髯は顔の長さ。
俺は顔はこんなもんかと。

ちょいと唇にトリマーあてて
左右はキリッと 45 度。
５ミリで口髭上から撫でて
左右はクルンと刈り込んで。
３ミリ、１ミリとクルンクルン。
これで俺の口髭はできあがり。

顎鬚も同じ感じでクルンクルン。
今日の長さは７５３。

顔に石鹸、穴熊ブラシで泡だてて
蒸しタオルで
唖々、至福の時間。

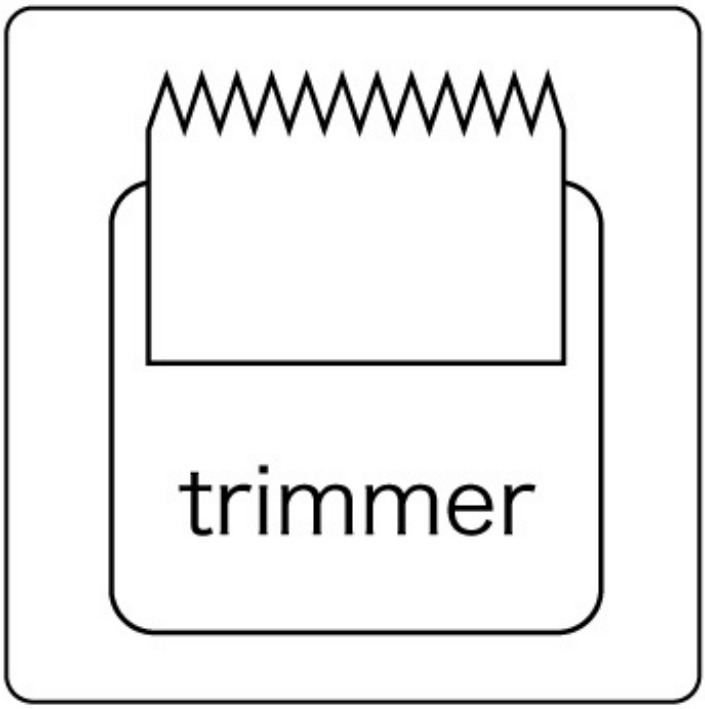
顎にカミソリ滑らせて
頬からジグザグなじませる。
口髭左右を剃りこんで。

蒸しタオルで顔を拭く。
顔がパッと明るくなる瞬間。

櫛で梳かして鋏で仕上げ。
最後に
スキンケアで仕上げれば
大人のヒゲのできあがり。

ヒゲデザインの基本テクニック　1

ヒゲデザインで使用する道具と基本テクニック



トリマー：最近ではヒゲ専用のもあります～トリマーでヒゲを整えますと、ザラザラ感が残る程度の長さを残す事ができつつ、無精ヒゲには見えません。メイクアップシェービングにおいては、産毛は短く残しヒゲの色彩を濃く残す事ができます。図１のＡは唇下ヒゲの一位を作るために、上からライン上に軽く押し当てます。Bは顎ヒゲのサイドラインの上から軽く押し当てて、後ろに引きます。Cは顎ヒゲの下ラインを作るのですが、トリマーを固定して首を矢印方向に動かします。こうする事により、奥行きがある平行線を作ることができます（図２のDの位置も参考）グラデーションの作り方ですが、まず、左のようにスタート位置にトリマーを当てます。刃先の曲線を活かして、円を描くように滑らかに前に動かします。中央～右のように刃の曲線に沿って動かすと、ヒゲのグラデーションが完成します。図２のＡは、口ヒゲのエンドラインです。ラインまで刈り込んでいきます。自然にするには、図１のグラデーションの作り方を参考にします。Bは角を使用して、ギザギザ状にして自然なラインを作ります。Cは顎骨に沿ったラインをつくります。Dは顎ヒゲを立体的にヒゲを作る行程ですが、図１のCのように固定して首を動かして、刃の幅で水平にヒゲを刈り込みます。Ｅは上唇のラインに合わせて上から軽く押し当てるように、ラインを作っていきます。

図 1

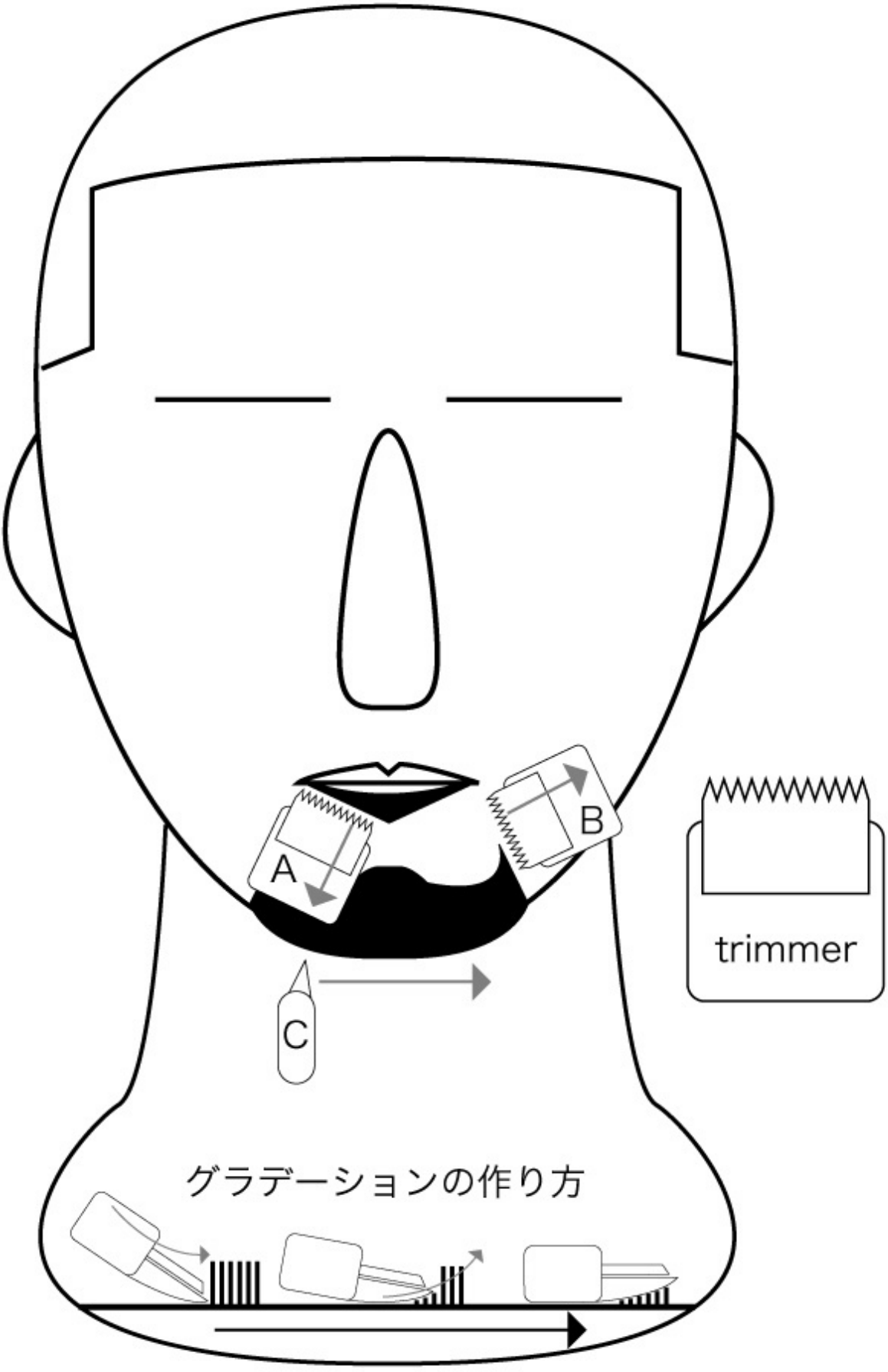
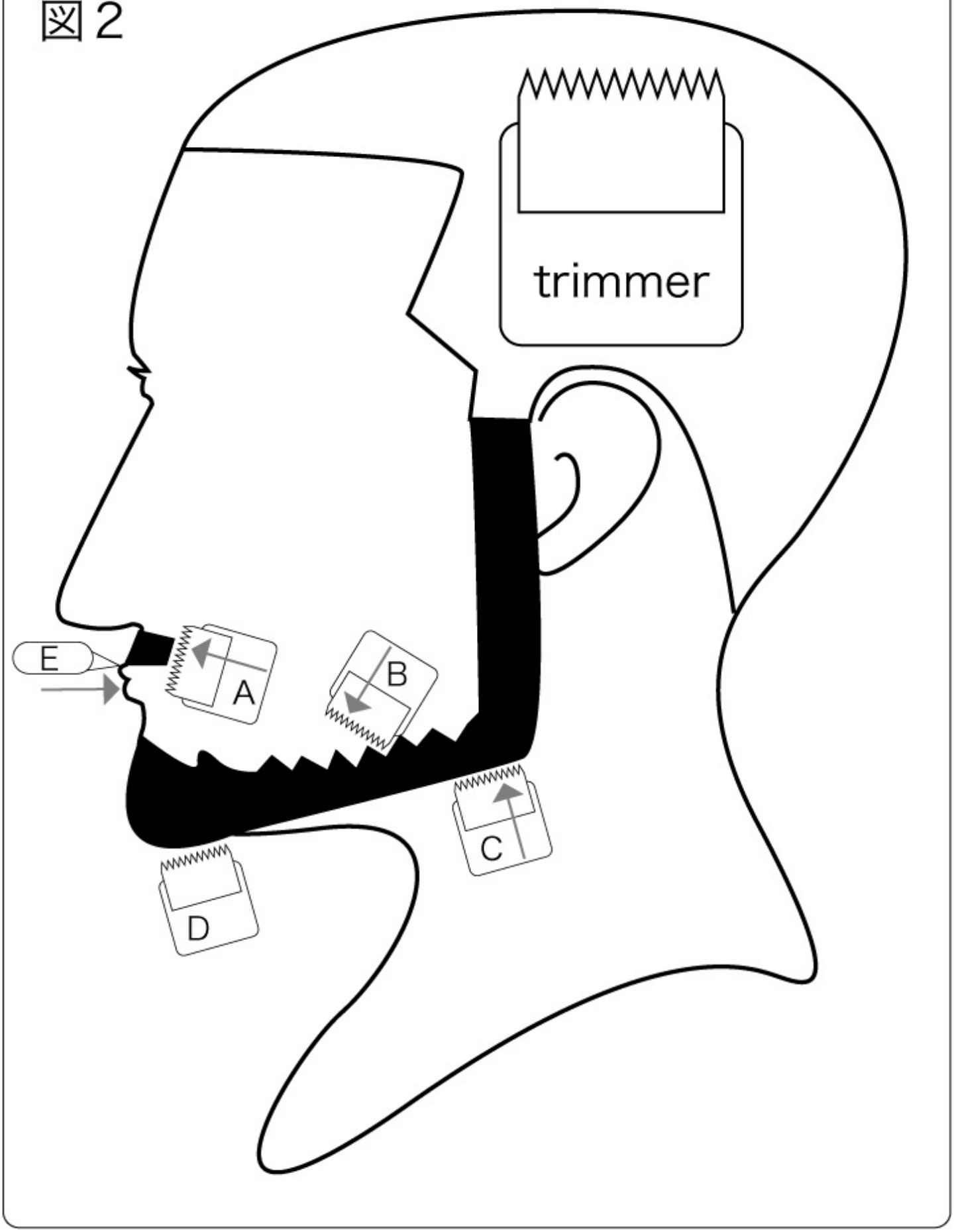
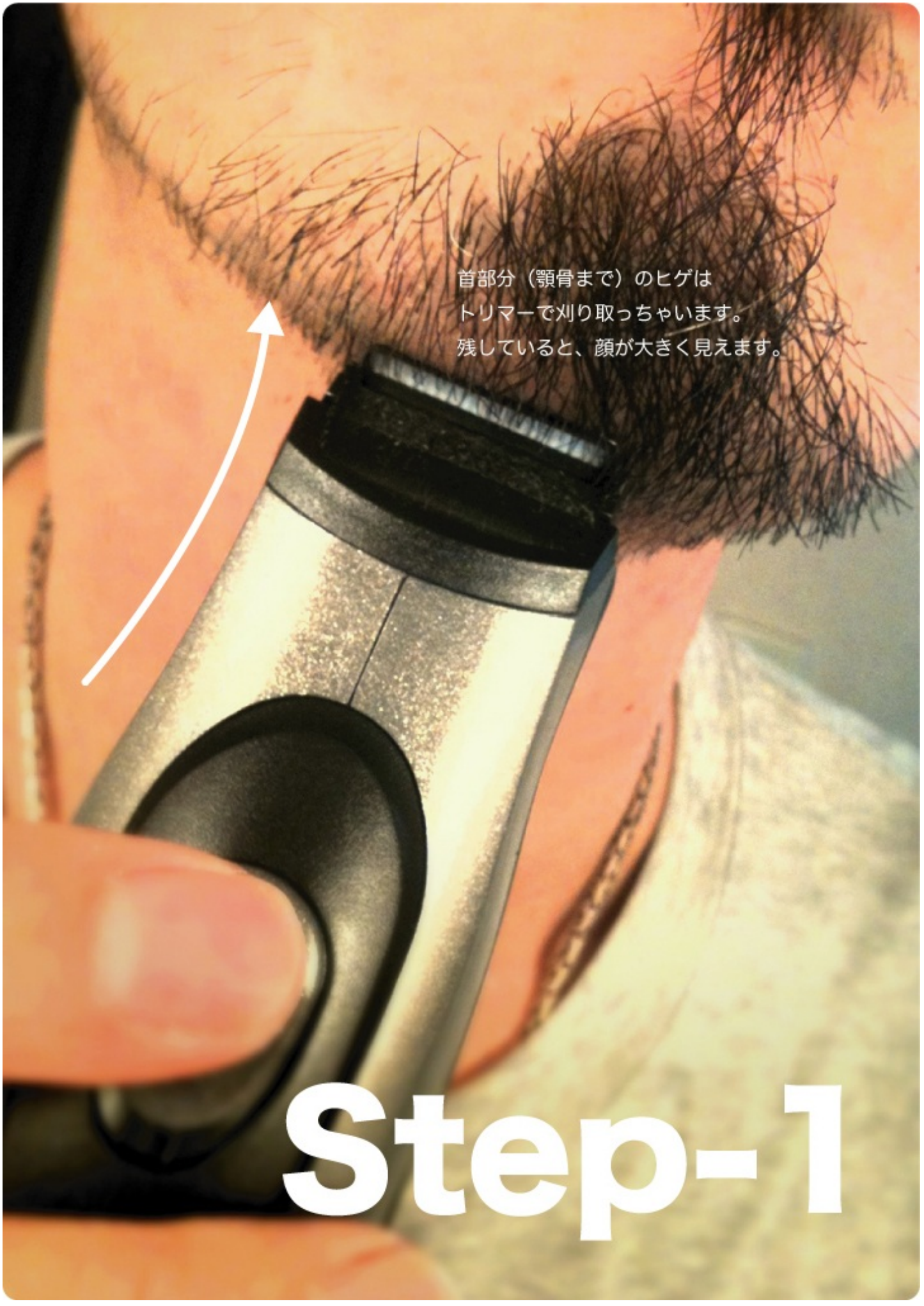


図2




首部分（顎骨まで）のヒゲは
トリマーで刈り取っちゃいます。
残していると、顔が大きく見えます。
Step-1

Step-2
トリマーを首に９０度で構えて
首を動かしながら、一気に
奥行きをつくっちゃいます。

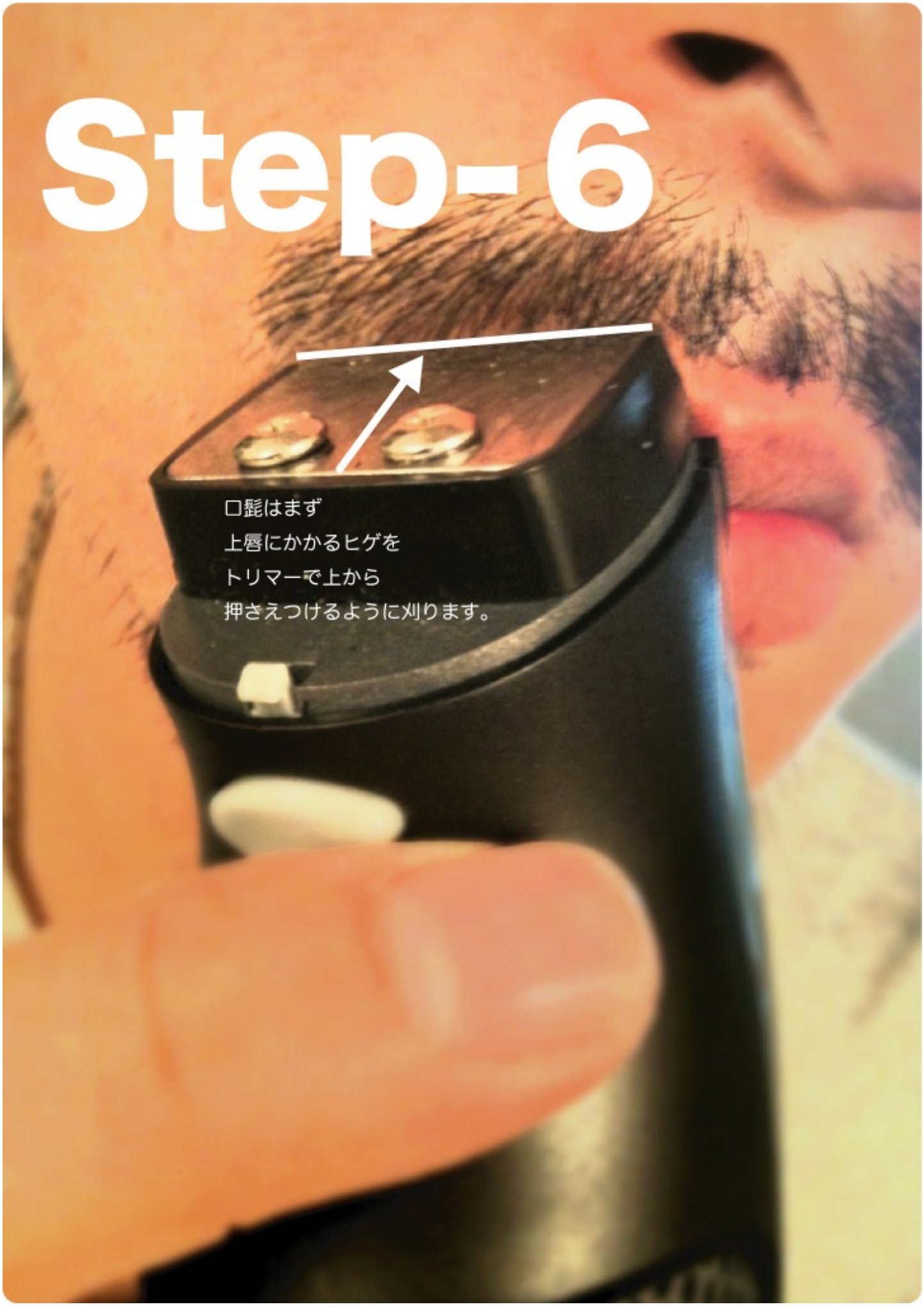
トリマーを
ジグザグにいれて
ヒゲを頬に馴染ませます。
Step- 3

下唇下ヒゲの三角形は
上からトリマーを
あてるようにして作ります。
Step-4

Step-5

口髭の左右は
口角（口元）から４５度
の角度で切り落とします。

Step-6



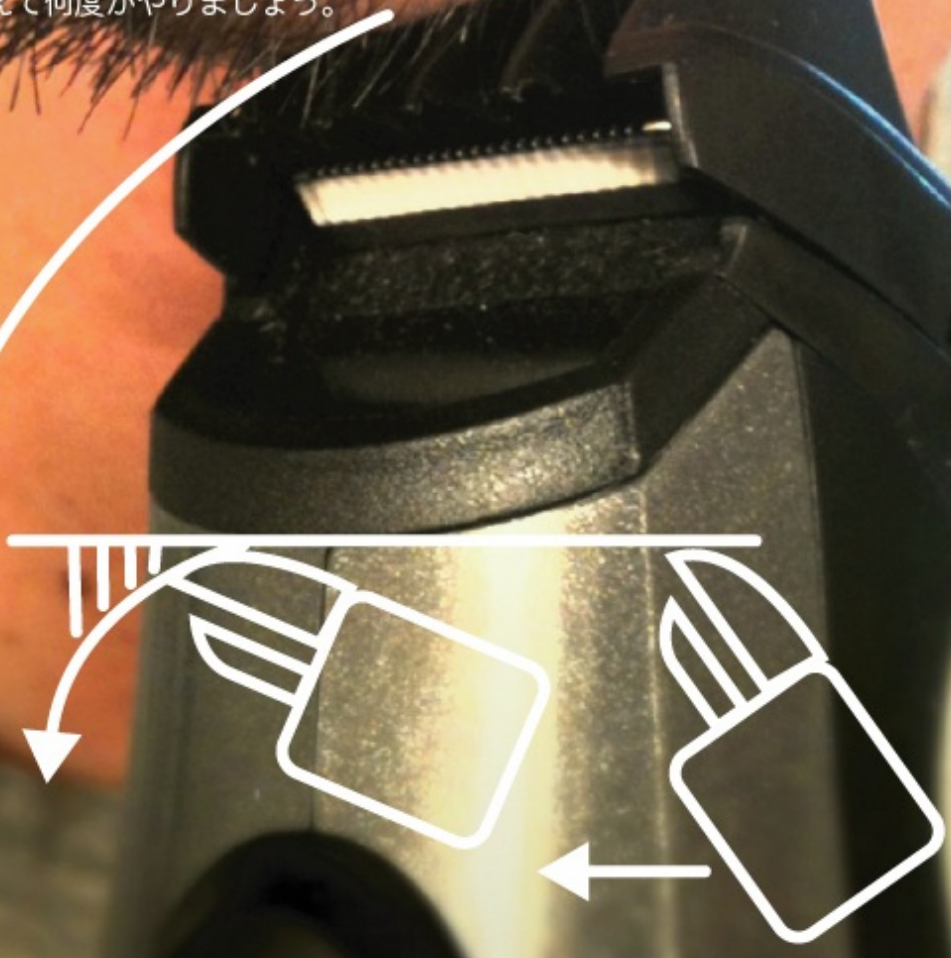
口髭の長さを揃えるのは
上から下へ
梳かすように長さを
揃えていきます。
Step- 7

Step-8

口髭の左右は
トリマーを刃を当てて
弧を描くように逃がしてあげると
中央にむかってヒゲが長くなる
トリミングができます。

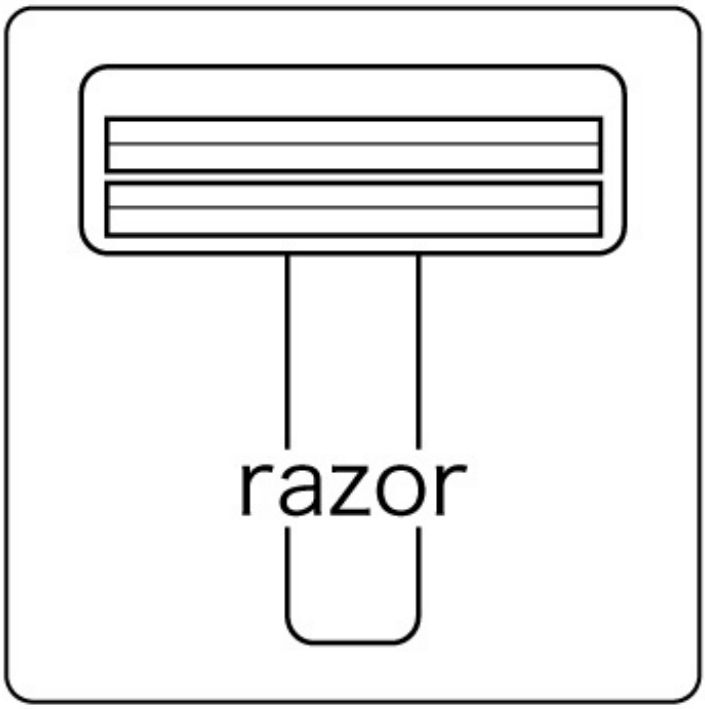
Step-9

顎鬚の左右も
トリマーを刃を当てて
弧を描くように逃がしてあげると
中央にむかってヒゲが長くなる
トリミングができます。
長さを変えて何度かやりましょう。



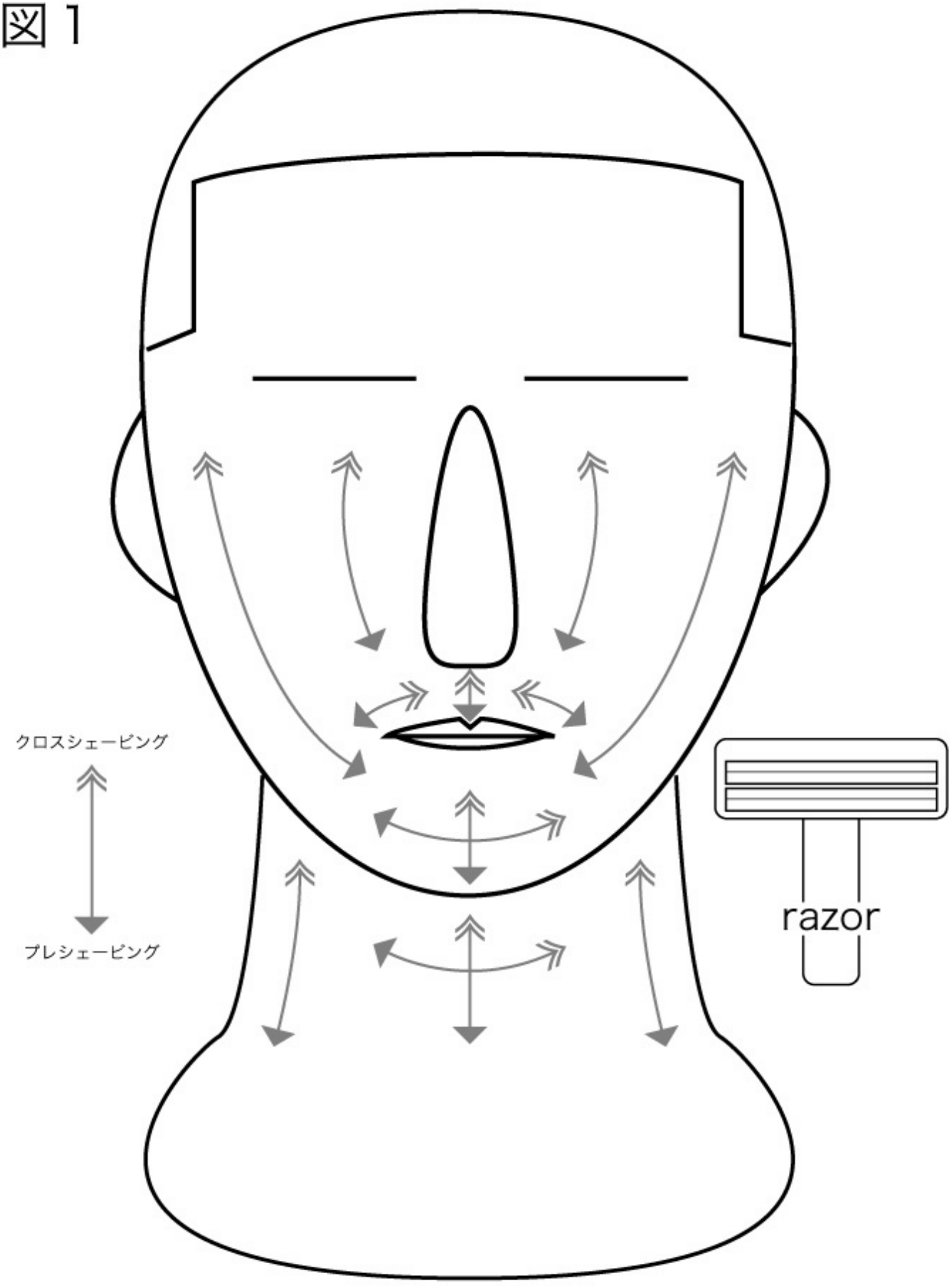
ヒゲデザインの基本テクニック　２

ヒゲデザインで使用する道具と基本テクニック



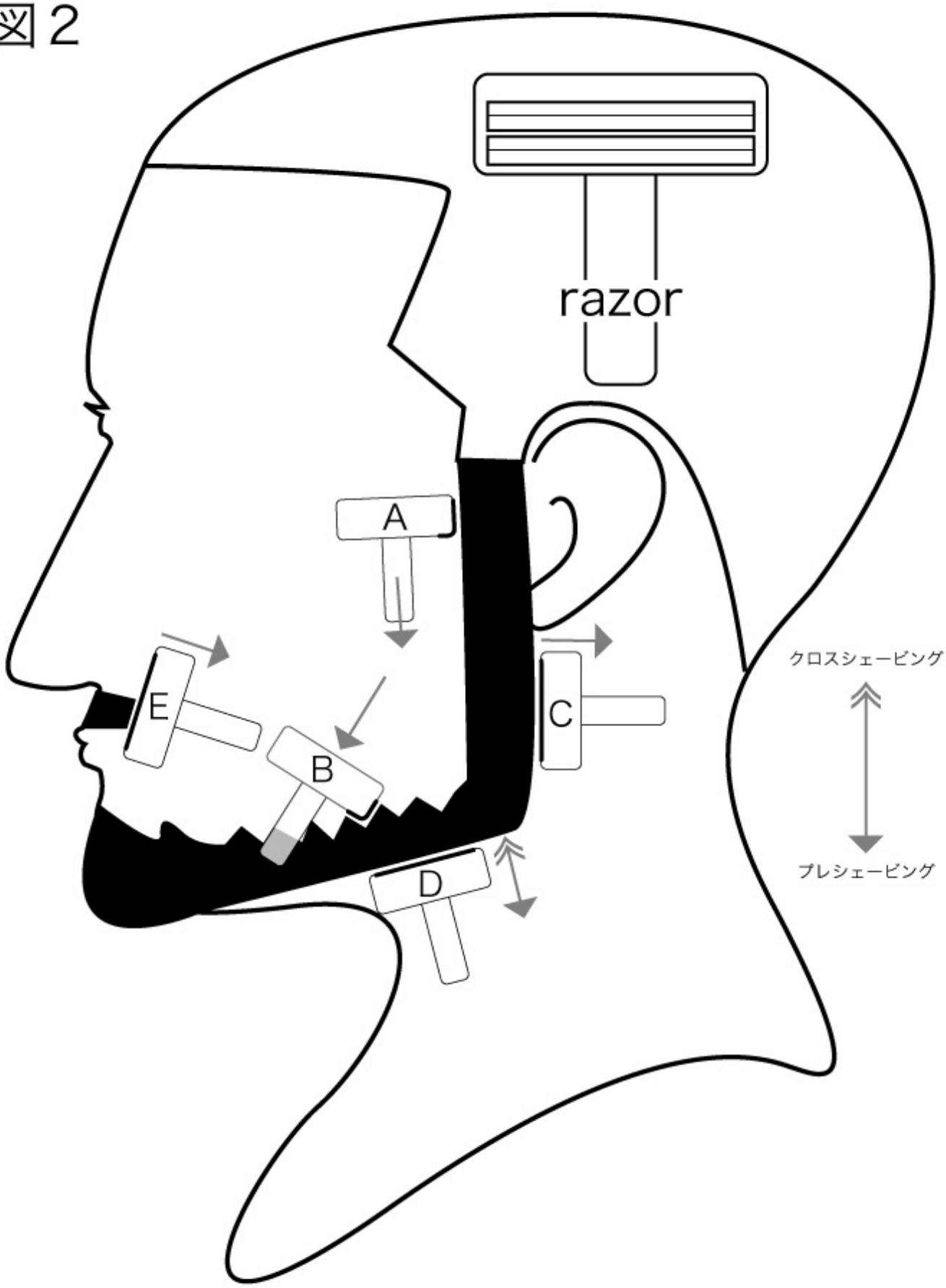
レザー：剃刀になります。プレシェービング（ワンシェービング）とクロスシェービングをヒゲの毛流に対しての方向で使え分けることができます。ヒゲが薄く産毛だけの人の場合は、顎骨から下の首部分だけ使用するだけもメイクアップシェービングとなります。刃の枚数は１～６枚とありますが、３枚刃以降は肌への負担を減らす働きがありますので、肌の弱い型にはお勧めです。基本テクニックとしては、ザラツキ感が残るくらい軽い感じで剃るプレシェービング（ワンシェービング）はヒゲと肌を自然に馴染ませたい部位に使用します。剃るラインに対して、斜め４５度にジグザクになるようにラインを凸凹にします。クロスシェービングは、顎鬚の下部ラインなど「はっきりとしたライン」をデザインする際に使用します。レザー１図においては、レザーでのシェービング方向を示しております。個人差はありますが、毛流をキチンと理解して剃る事がとても大切になります。レザー２図においては、ヒゲにおけるレザーの剃り方です。Ａは端を利用して、下方向にラインをひきます。Bは角を利用してギザギザを作り、ラインを自然にします。Cはラインを剃り込まないように、レザーを引いて剃ります。Dは顎骨に沿って、綺麗にプレ＆クロスシェービングでラインをつくります。Ｅは口ヒゲの、サイドの末端部分を剃り込みます。

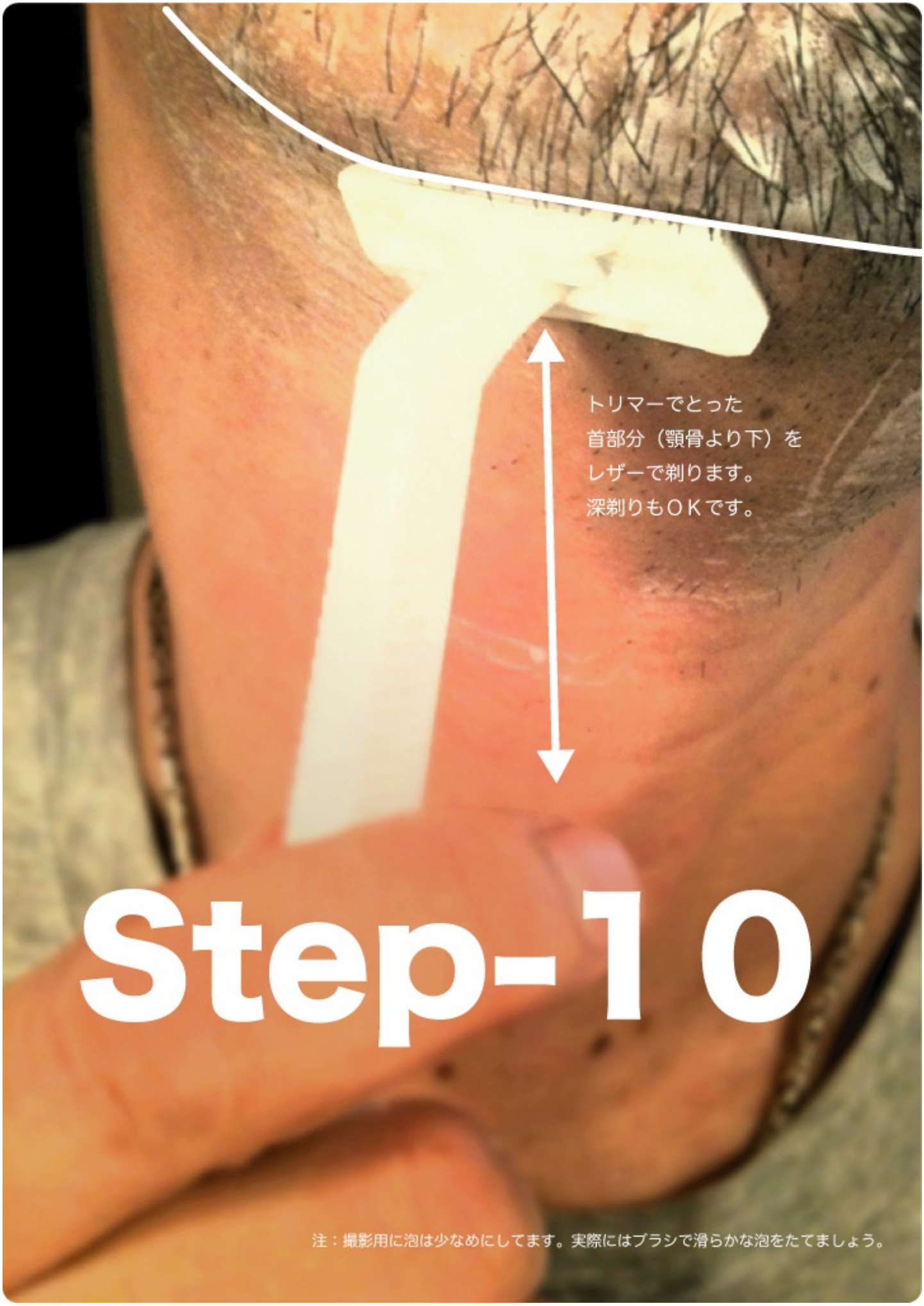
図1



＊ヒゲの毛流れには個人差がありますので、図と同じとは限りません。

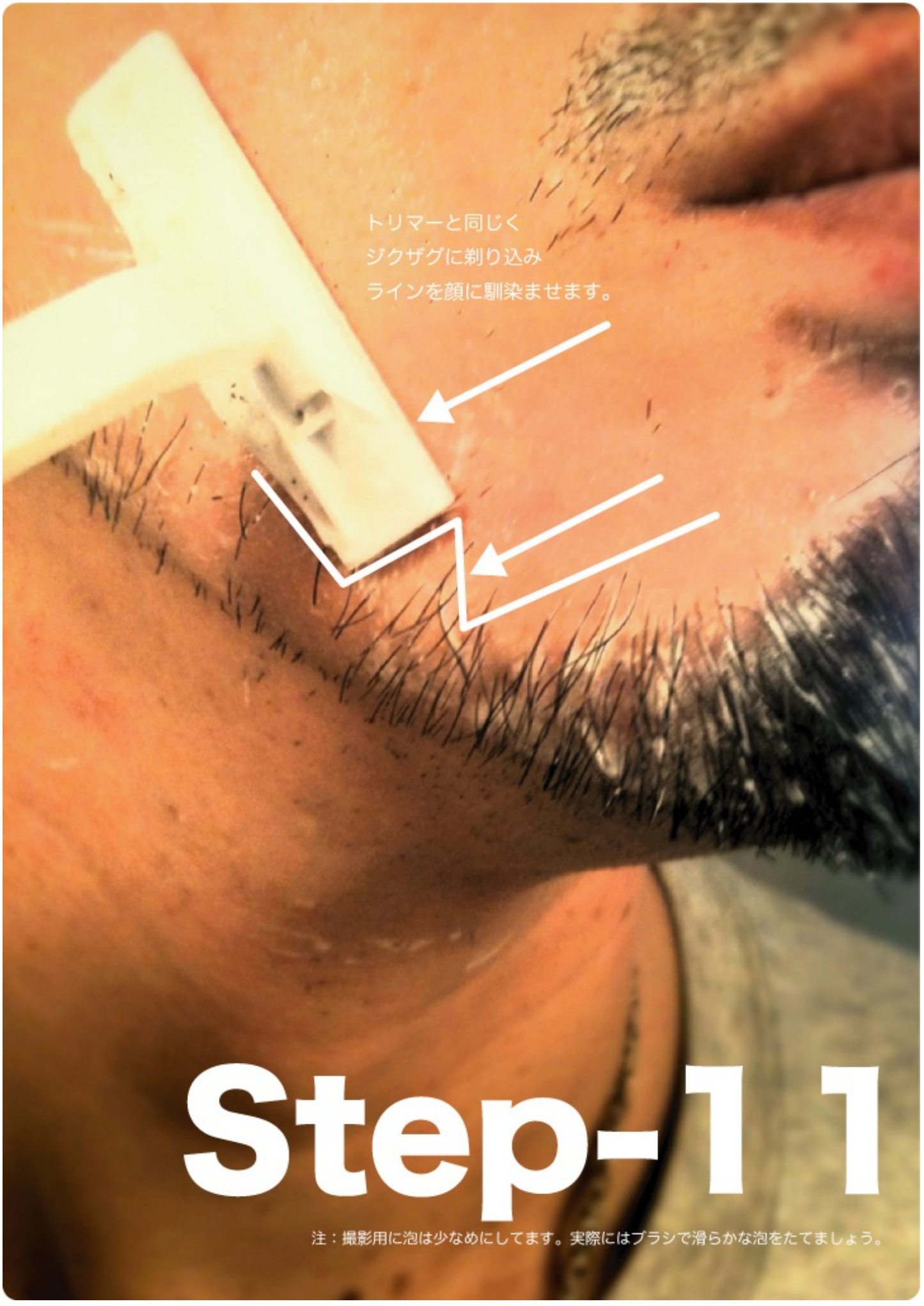
図2





Step-10

注：撮影用に泡は少なめにしてます。実際にはブラシで滑らかな泡をたてましょう。



Step-11

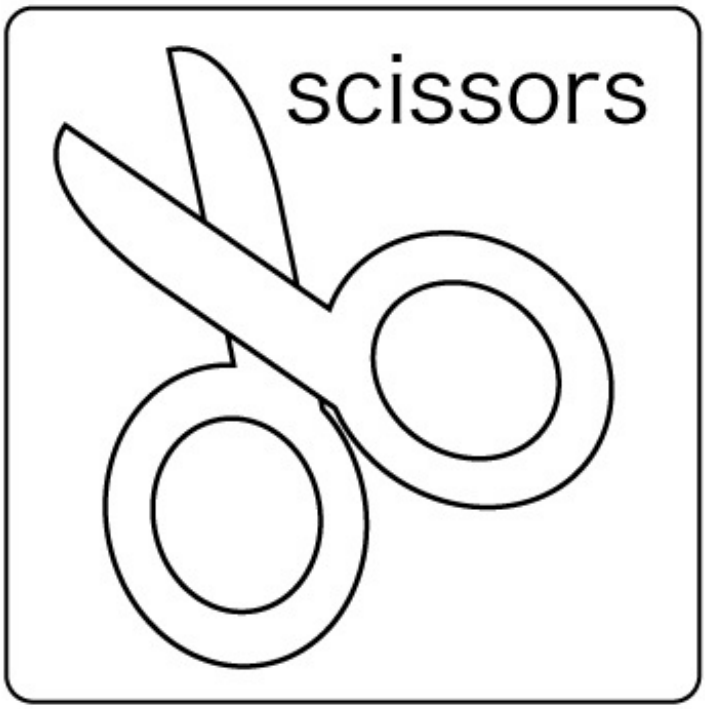
注：撮影用に泡は少なめにしてます。実際にはブラシで滑らかな泡をたてましょう。

トリマーと同じく
４５度の角度で剃り落します。
深い剃りもしちゃいましょう。

Step-12

注：撮影用に泡は少なめにしてます。実際にはブラシで滑らかな泡をたてましょう。

ヒゲデザインで使用する道具と基本テクニック



シザース（鋏）：最近ではヒゲ専用のもあります～鋏だけでヒゲをデザインするのは無理ですが、ラインを「揃える」には手軽な道具となります。鋏は「刃先」を主に使用して、ラインを作っていきます。図１のＡは、下唇下ヒゲの三角形の一辺を揃えてます。Ｂは口ヒゲのラインを揃えています。トリマーでも可能ですが、口ヒゲが長くなった場合は鋏が有効でしょう。Cは顎の下ラインの調整として、鋏で切り揃えていきます。図２のDは、顎骨に沿ったライン上に鋏で切り揃えていきます。顎先端部においては、下にヒゲを梳かして切り揃えていきます。

図 1

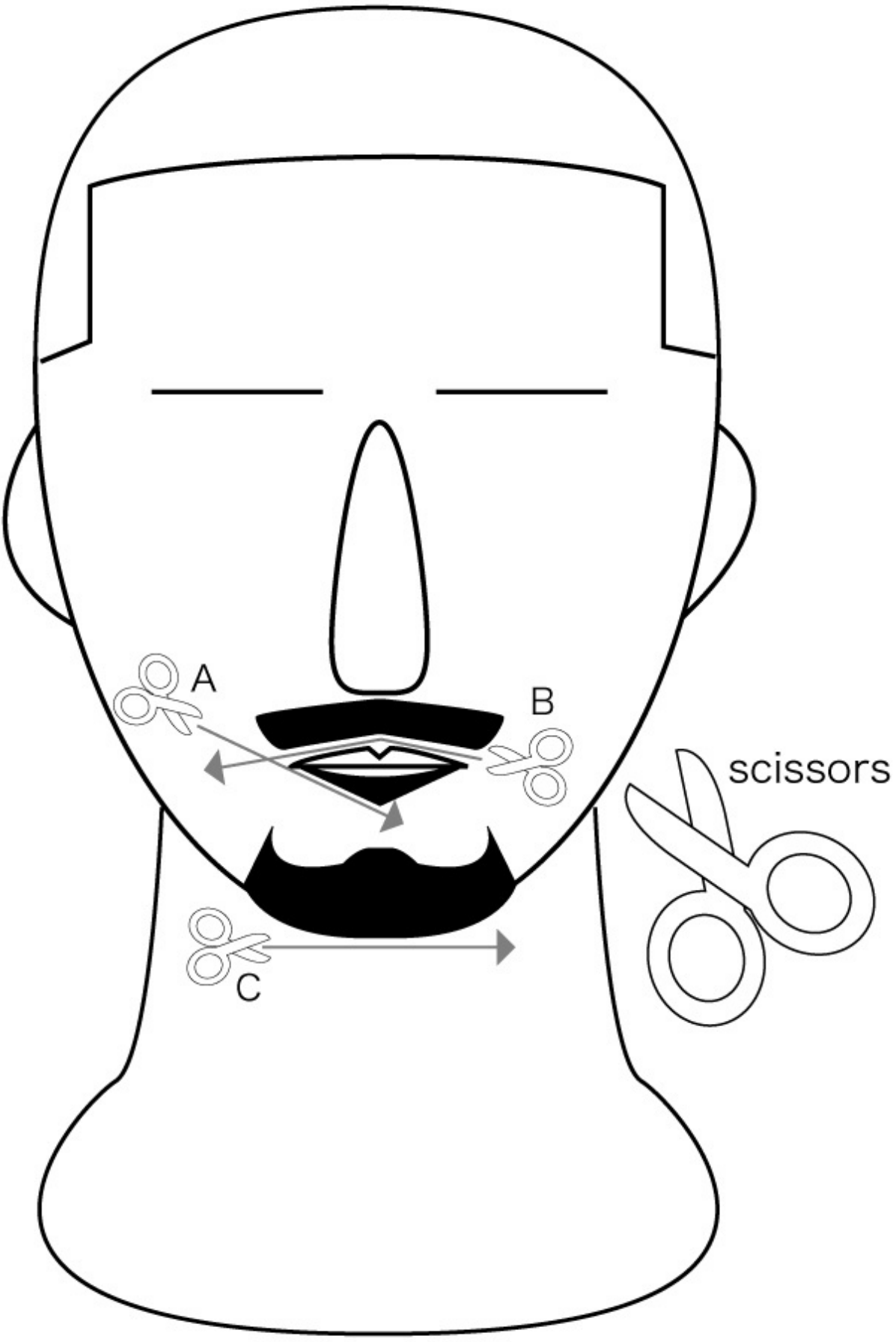
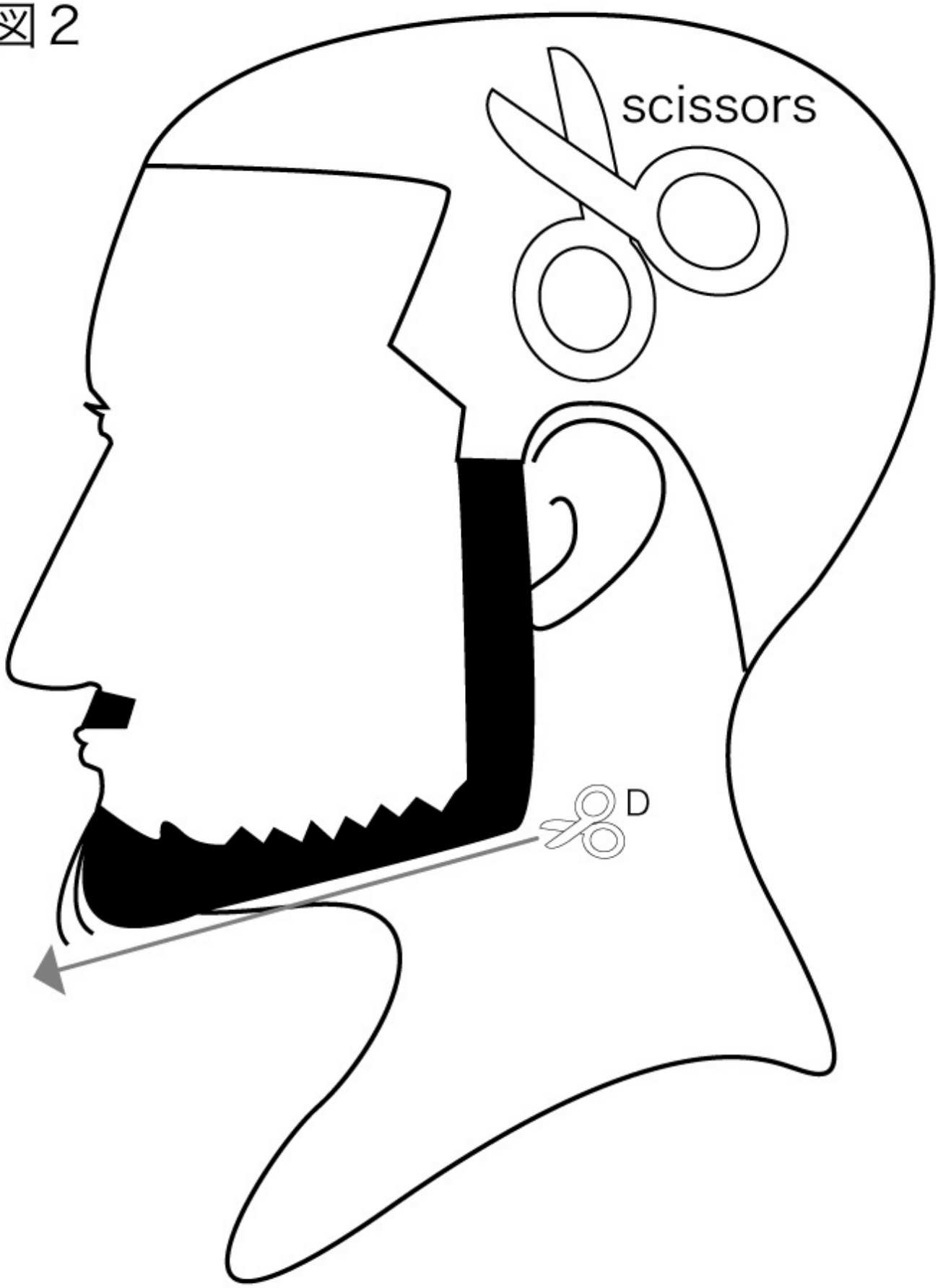
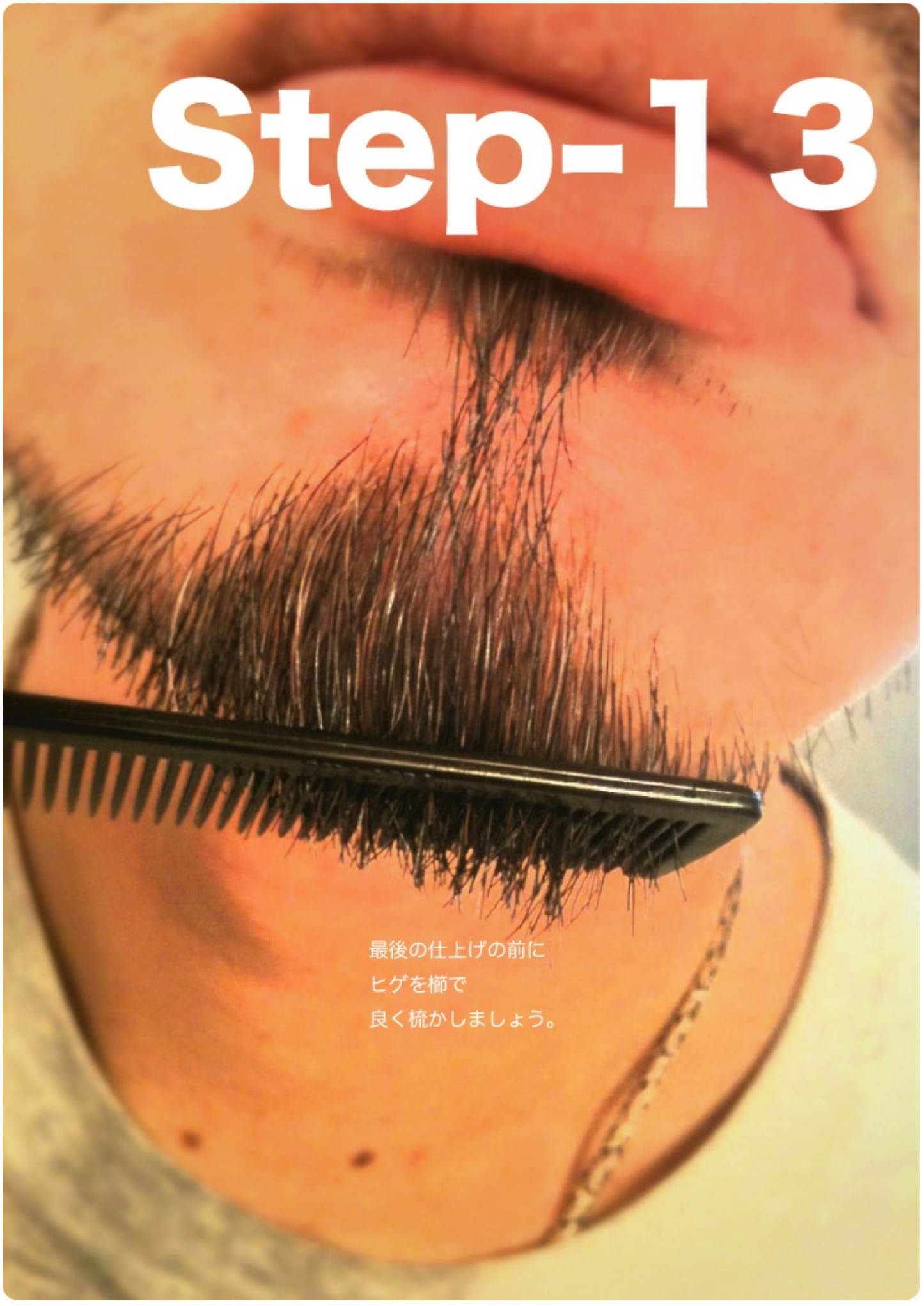


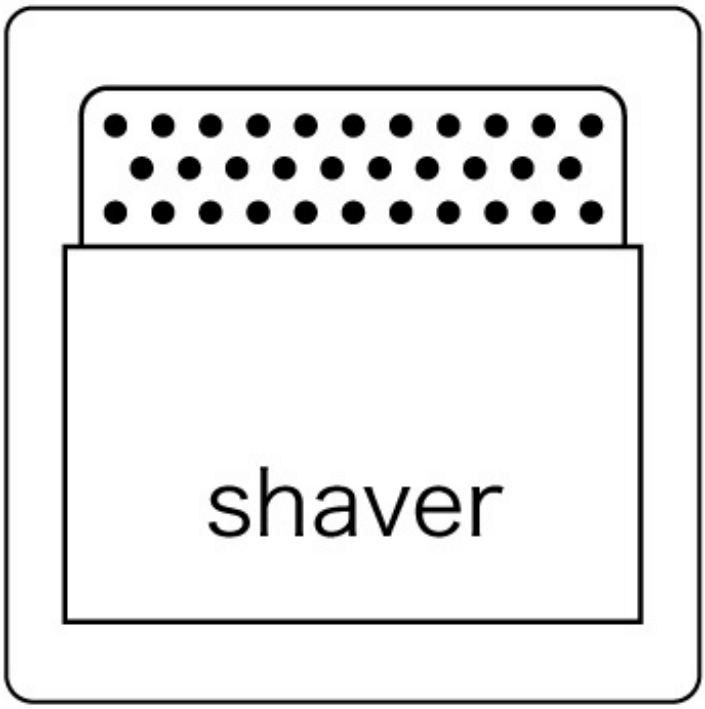
図 2




Step-13
最後の仕上げの前に
ヒゲを櫛で
良く梳かしましょう。

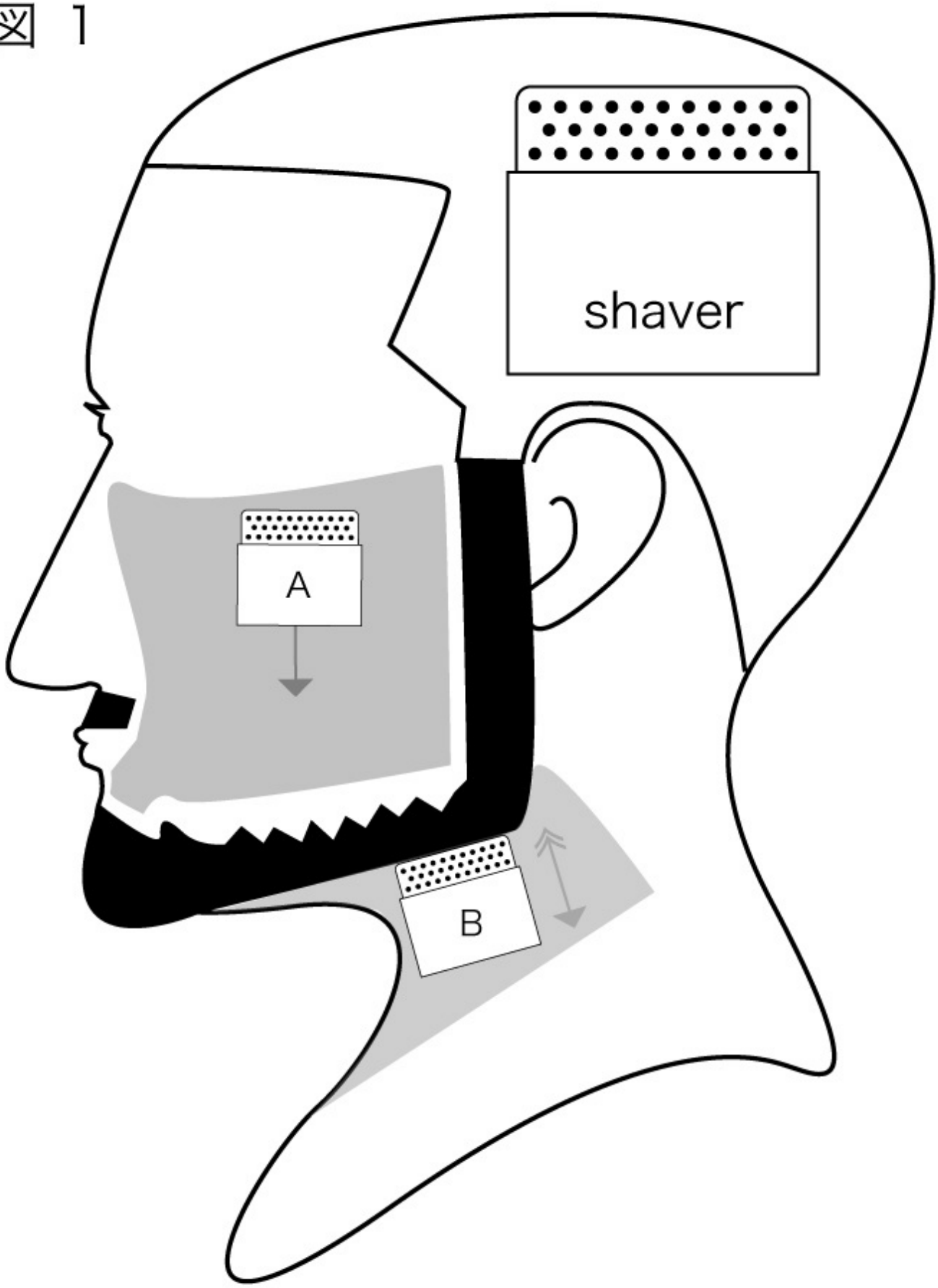
鋏は仕上げにはベストパートナー。
ちょこっとした手入れにも便利。
梳かしたヒゲをパチン、パチンと。
Step-14

ヒゲデザインで使用する道具と基本テクニック



シェーバー：電気シェーバーになります。レザーでクロスシェービングした部位などのちょっとした再メンテナンスには最適です。産毛は剃ることはできません。基本テクニックとしては、シェーバーだけでヒゲを作るのはリスクがあります。肌に対して刃の部位があたっているのが「線」ではなく「面」であたっている為に、思わぬヒゲを刈り取ってしまう可能性があるからです。あくまでも、首や頬などで少し伸びたヒゲを「面」でのメンテナンスのは良いと思います。次ページの図１のグレーゾーンは、ヒゲをつくる際の「シェーバーゾーン」です。Ａソーンは、上から下にシェーバーを動かし、「面」としてのメンテナンスを行います。顔の内側は、ヒゲのデザインラインから少し離れたところまでにします。Bゾーンは、上下に動かしヒゲをキチンと取り除きます。顎ヒゲの下部ラインはラインをはっきりさせるので、ギリギリまで刈ってください。

図 1



ヒゲのお手入れは
気がついたら
優しく撫でてあげること。
手の脂がついて
程よい艶がでるのです。

Step-15

ヒゲデザイン論
顎鬚：beard・ビアード
ヒゲは大人のもんだ。
文句あっか？

あごひげ（鬚：**beard**：ビアード）１

あごひげ（鬚：beard：ビアード）デザイン論

・顎ヒゲは唇下から顎部分に生えているヒゲの事です。また頬ヒゲ下部への横ラインも顎ヒゲの一部となります。日本人においては”ヒゲを生やす”といいますと、口ヒゲを生やすと思う方が多いです。　しかし初めてヒゲを生やす場合は、顎ヒゲから生やすのがお勧めです。顎ヒゲは手入れし易い部位でもあり、長さをキチンを管理する事ができれば印象を悪くみられる危険性が少ないと思います。顎ヒゲデザインに関しては様々なデザイン定義があるものの、元々あるヒゲの形（生え方）により決まることになります。顎ヒゲはデザインによって、上方向に対して顔を引き上げる効果があります。つまり、デザインによって小顔になるという事です。逆にいえば、顎ヒゲによって顔を大きくみせている方がいかに多いという事ですね。顎ヒゲはデザイン次第によってワイルドな印象になったり、繊細な印象になります。ヒゲの長短によっても印象が変わるので、ヒゲに親しむには良いかと思います。顎ヒゲにはデザインをするうえで大きく分けて３つの部位があります。それは「顎中心」「顎横」「唇下」の３つの部位になり、それぞれのデザインポイントを説明させていただきます。まずは「顎中心」部位の鬚形状を説明させていただきます。

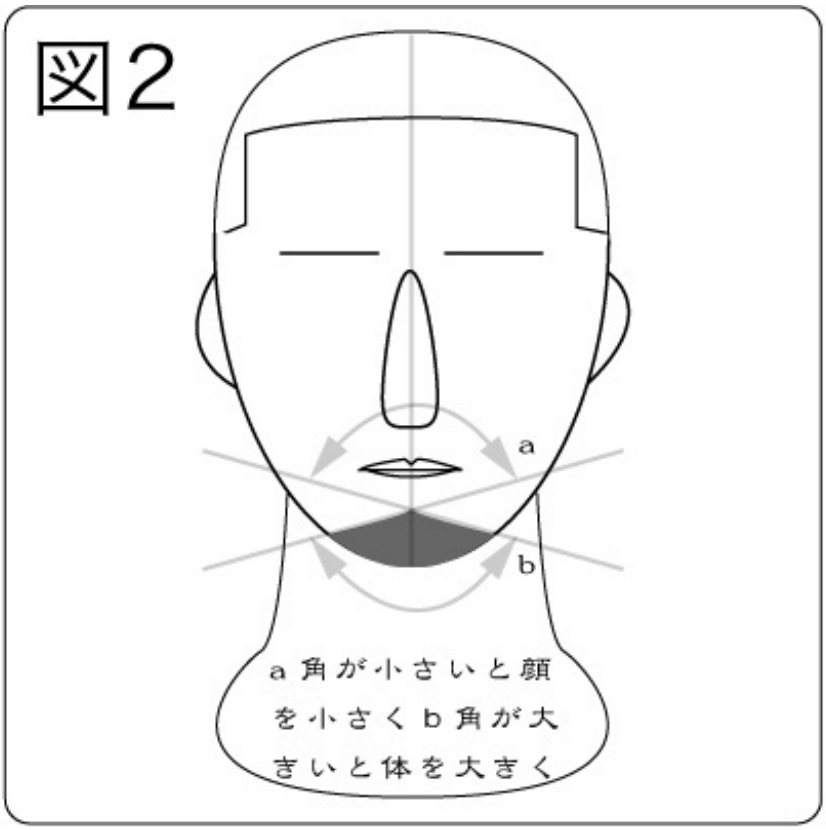
あごひげ（鬚：**beard**：ビアード）２

「基本的な形状デザイン～丸型（図１）」

丸みを帯びたスタイルなので、優しい印象がデザインされます。ただし横幅は顎の大きさを助長するので、力強さをかねたデザインが可能です。　基本的には様々な顔形にあうスタイルとなります。丸型といっても真ん丸にする必要はなく、先端部位が丸くするだけでも良いと思います。この型からは口角を下に下げた印象を助長し、我慢強い雰囲気を印象づけます。丸みは顔の外側を下に引き、丸の頂点の位置により顎を上に引き上げるデザインになります。

あごひげ（鬚：**beard**：ビアード）３

「基本的な形状デザイン～三角形型（図２）」



このスタイルは、精悍な印象がデザインされます。横幅は顎の大きさを助長するので力強さをかねたデザインが可能です。三角形頂点の位置により顔の中心線を導く事ができますので、輪郭矯正のデザインが可能です。頂点の延長上には眉間を基本にすると導きやすいでしょう。鼻の状態によっては矯正が可能です。三角形の角度の延長線上ラインのa角は顔上部の大きさを、b角は身体の大きさを印象づけますので、相互のバランスが必要です。あまり角度を急なものにしてしまうと、顔がひじょうに細い印象を助長するために注意が必要です。その際は頂点部分を横にとってしまって台形にする事により、効果を和らげる事が可能です。

あごひげ（鬚：**beard**：ビアード）４

「基本的な形状デザイン～台形型（図３）」

整然としたスタイルで、厳粛な印象がデザインされます。横幅は顎の大きさを助長するので、その幅により顎幅の大小をデザインする事が可能です。さらに四角という形から、男性的な印象をデザインするとこができます。逆三角形の顔形においては、頂点部位の印象を和らげる働きがあります。縦の長さは顎から唇までの３分２ほどまでが理想です。この型値からは口の表情を助長しないために、寡黙な雰囲気を印象づける事ができます。a角が大きいと身体を大きく、顔の重心は下になりがっしりとしたデザインになります。

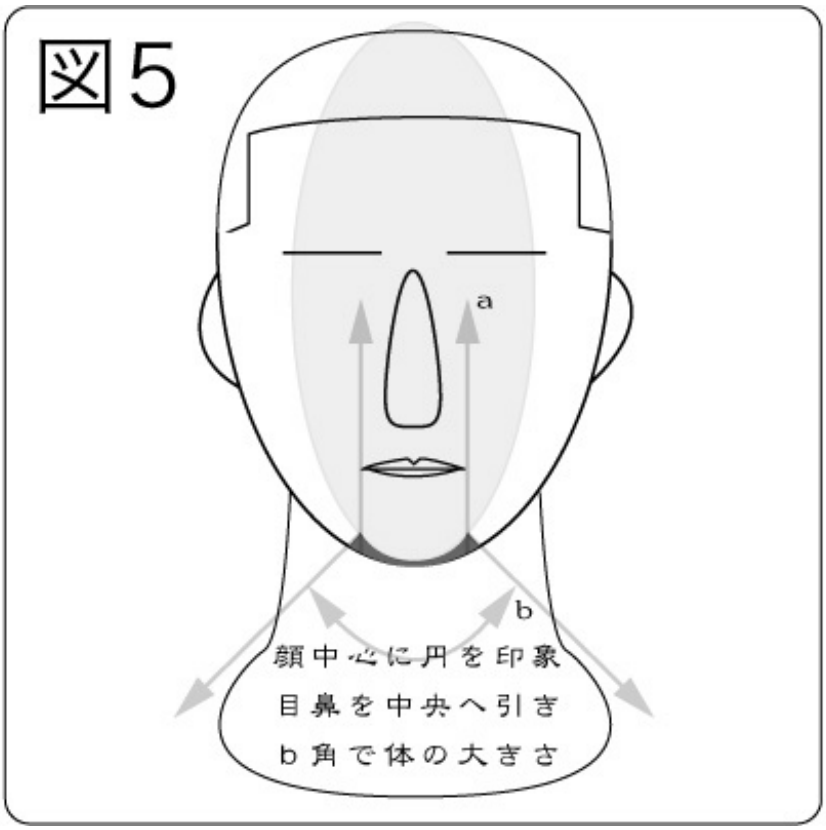
あごひげ（鬚：**beard**：ビアード）５

「複合的な形状デザイン～W型（図４）」

w型とは上記型の横に口角部位へ伸びる角状のヒゲがある状態で、基本的形状は口角方向への三角形になります。このスタイルは顎の大きさをさらに助長しワイルドな印象がデザインされます。また三角形という形状から上方向（a方向）へのさらなる顎の引き上げ効果があり、それは頂点の高さに比例しております。基本的形状が三角形と述べましたが、同じ太さで口ヒゲなどとつなげた場合は”泥棒ヒゲ”のような印象になってしまうので注意が必要です。口角までのヒゲが生えていない場合は、顎ヒゲを少し剃り込む事によっても形成が可能となります。両脇三角形の頂点延長ライン上には口角があるが基本ですが、その印象を利用して口の大きさをデザインする事が可能となります。唇から顎までが短い方にはお勧めですが、長い場合は三角形の頂点はなるべく低くしたほうが無難となります。口ヒゲの両脇をこの三角形の頂点に合わせて切り落としますと、その間にヒゲがなくても存在するような印象をデザインする事ができます。b角が大きいと、身体を大きくデザインする事も可能です。

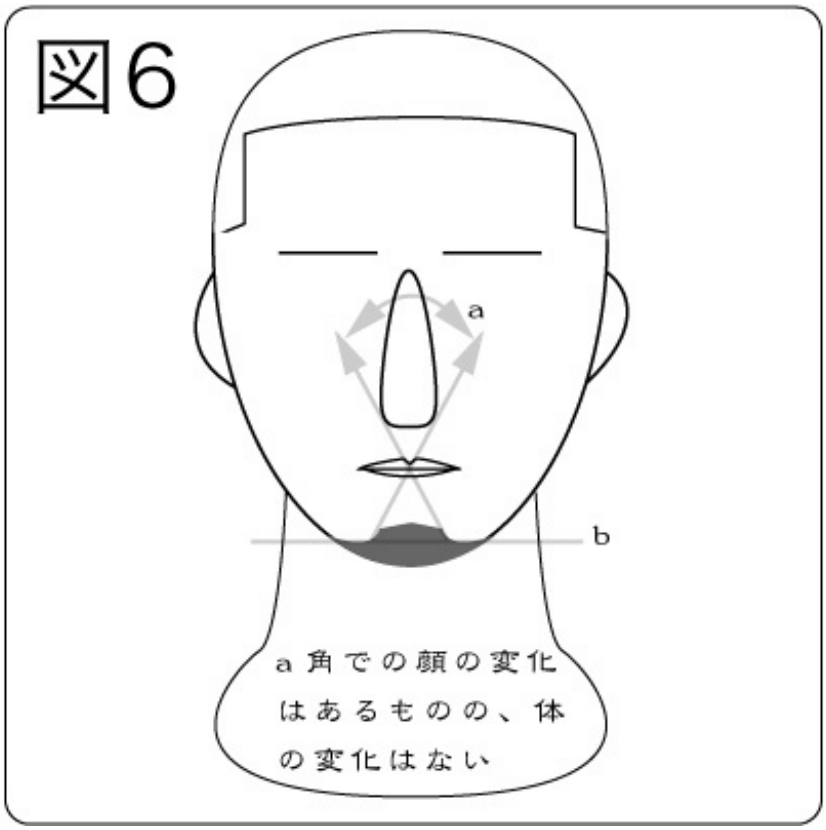
あごひげ（鬚：**beard**：ビアード）６

「複合的な形状デザイン～Ｏ型（図５）」



「複合的な形状デザイン～O型（図５）」O型とは顎鬚中央部が凹み、両脇角がでている状態になります。このスタイルは、その形状から中央部に丸いO型をイメージさせることができます。このイメージにより、丸い顔の形状をデザインをします。顔に柔らかい印象を与えますので、痩せている方にはお勧めです。ただし場合によっては丸顔を助長したり、縦方向に顎を長く印象づけてしまうなどの事があるので注意が必要です。両脇の角の長さ（a）によりO型をさらに印象づけ、角度（b）によりO型の大きさをデザインできます。　ヒゲを構成する部位が少ないために、顎の鬚が薄い方などにもデザイン可能なのも特徴です。　ヒゲの薄い方や、あまりヒゲを大袈裟にデザインできない方にも良いかと思われます。

「複合的な形状デザイン～凸型（図６）」

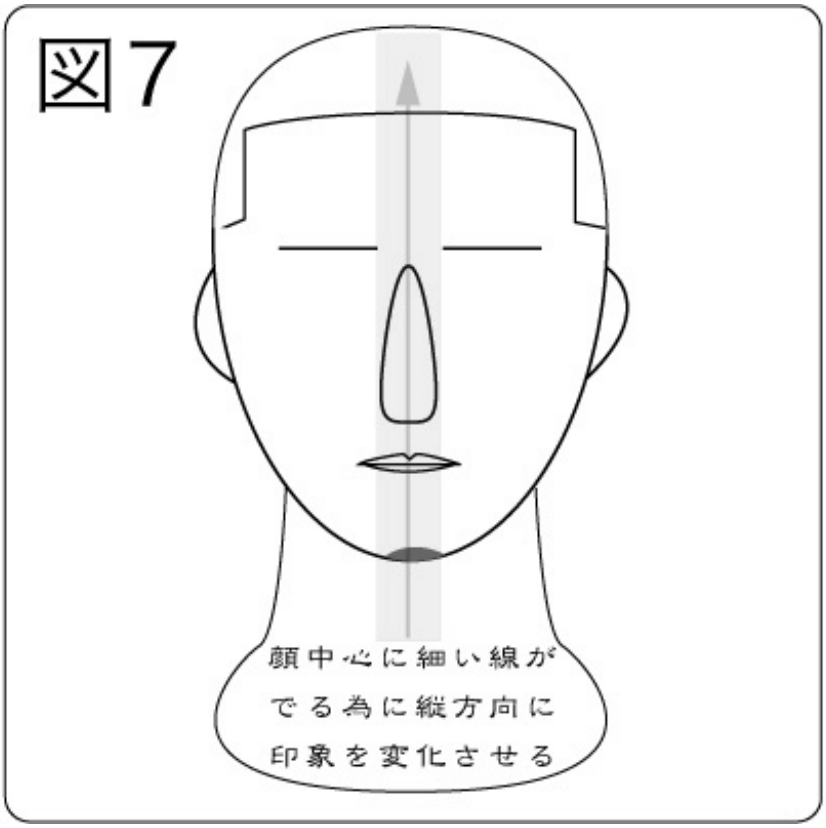


中央部が台形型で、両脇は顎後部に向けて伸びているデザインです。中央部の台形部分は口よりも小さくデザインする事により、口を大きく印象づける事ができます。また、上部を鼻幅と同幅にする事により鼻筋が通った印象を与えることができます。また a角の変化により、顔上下部の大きさに変化を与えるデザインが可能になります。　横方向に伸びたデザインラインbにより顎下部に安定感をデザインします。　横方向のデザインラインの位置によっても、その安定感の度合いをデザインする事が可能です。　低いほど安定感は増しますが、面長顔および顎部位が長い方の場合は注意が必要になります。重心が下になるぶんだけ、下方向に顔および顎を伸ばすデザインになる為です。そのような場合は、基本的形状デザインである台形型が良いと思われます。

あごひげ（鬚：**beard**：ビアード）８

・顎鬚における全てのデザイン形状学において、大きな意味合いがあるのが「幅」によるデザイン変化の度合いになります。その幅の主観をどこにデザインするかにより、顔における印象の意味合いが大きく変化する為です。その変化の度合いを３つの幅により説明をしたいと思います。

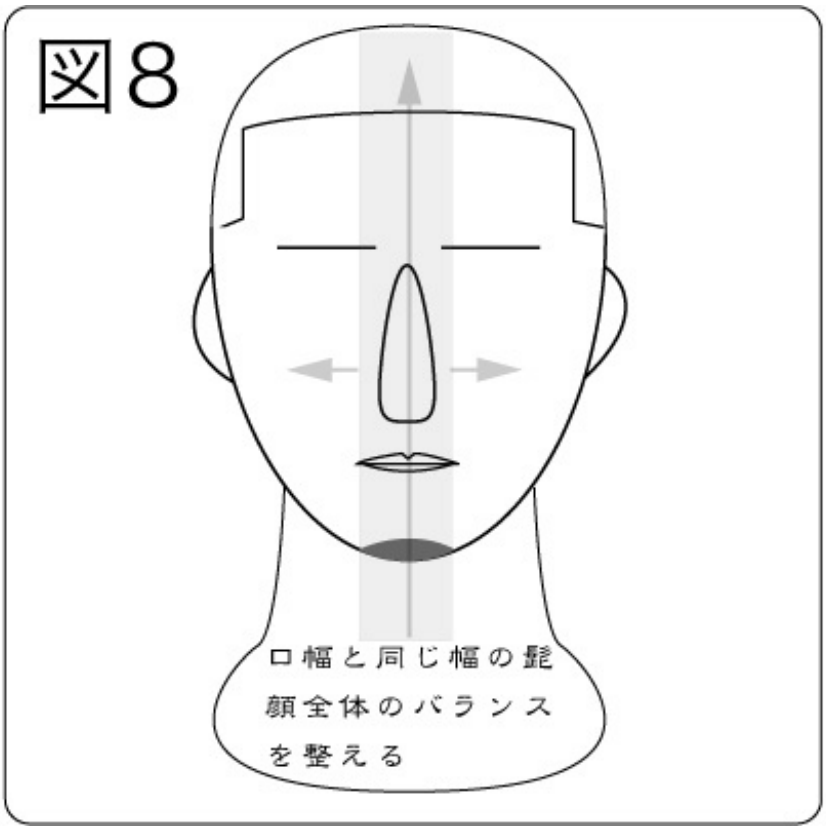
「顎鬚幅～鼻幅（図７）」



鬚幅と鼻筋を結ぶデザインベルトにより、顔を縦方向に変化させます。眉間、鼻、人中、顎までのラインを直線的に印象づけるデザインをすることができます。ただし、眉間および左右の目頭が離れている型の場合は、それを強調してしまうので注意が必要です。また細いデザインベルトは左右のスペースが空いてしまうので、顔の大きさを横に大きく印象づけますので注意してください。

あごひげ（鬚：**beard**：ビアード）９

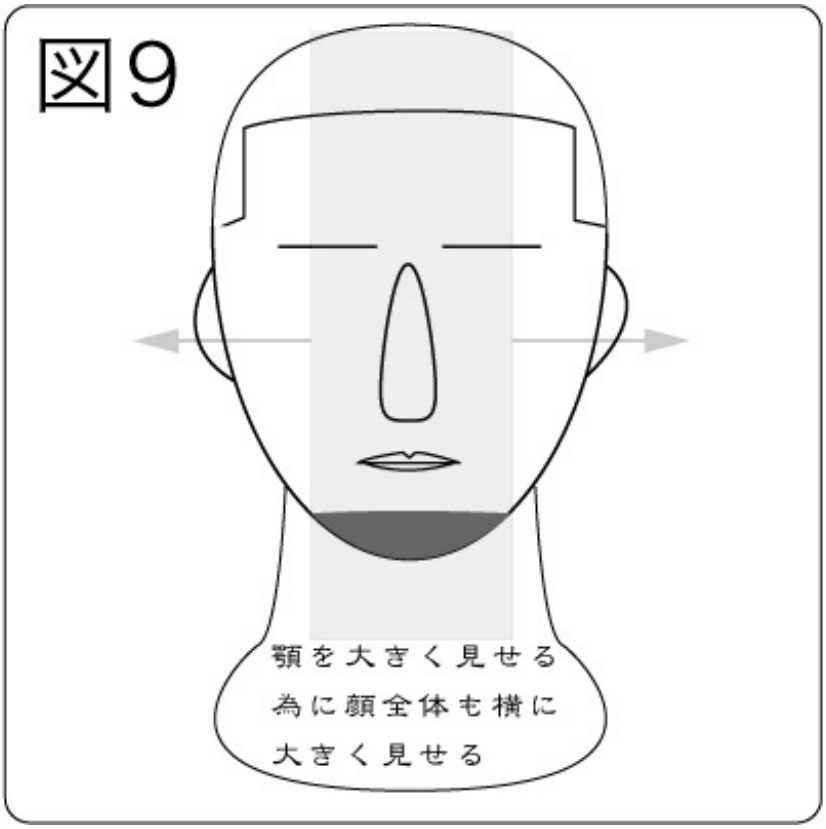
「顎鬚幅～口幅（図８）」



口幅と同じデザインベルトを印象づける事により、顔の安定感をデザインします。この幅は様々な顔の形に応用できる基本的な幅と考えてください。眉間、目頭、鼻、人中、そして口までがデザインベルトの中に収まる事により、各部位のバランスを矯正する事ができます。

あごひげ（鬚：**beard**：ビアード）１０

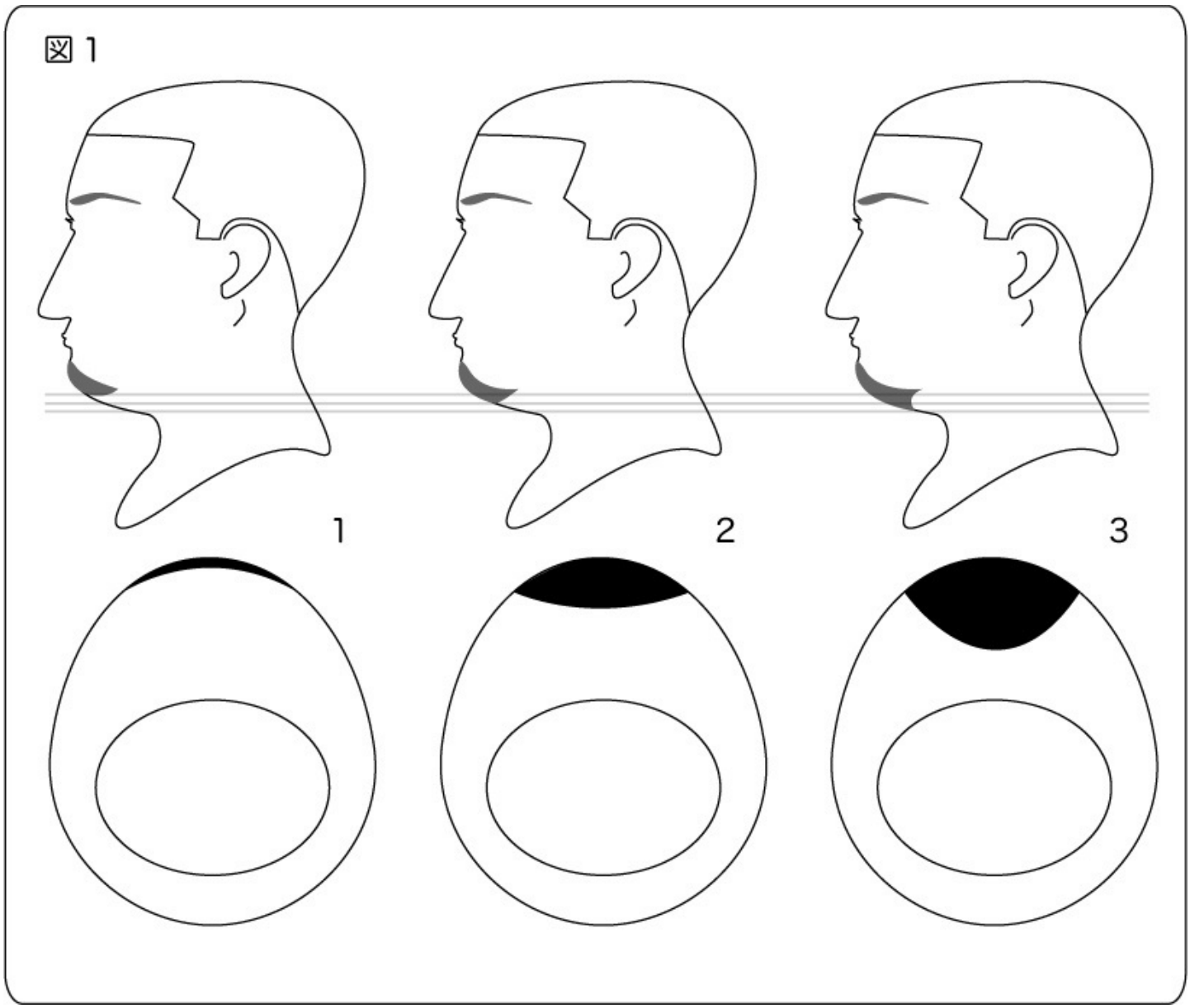
「顎鬚幅～目幅（図９）」



左右目幅まで大きく横に広げたデザインベルトは、顎鬚の存在感を強くデザインする事ができます。また顎をしっかりと印象づけ、男性らしさをデザインします。また左右のスペースが狭くなるために、横幅のある顔を小さく印象づける事ができます。ただし細顔の場合は、顎ばかりが強調されてしまうので、注意が必要です。

あごひげ（鬚：**beard**：ビアード）１１

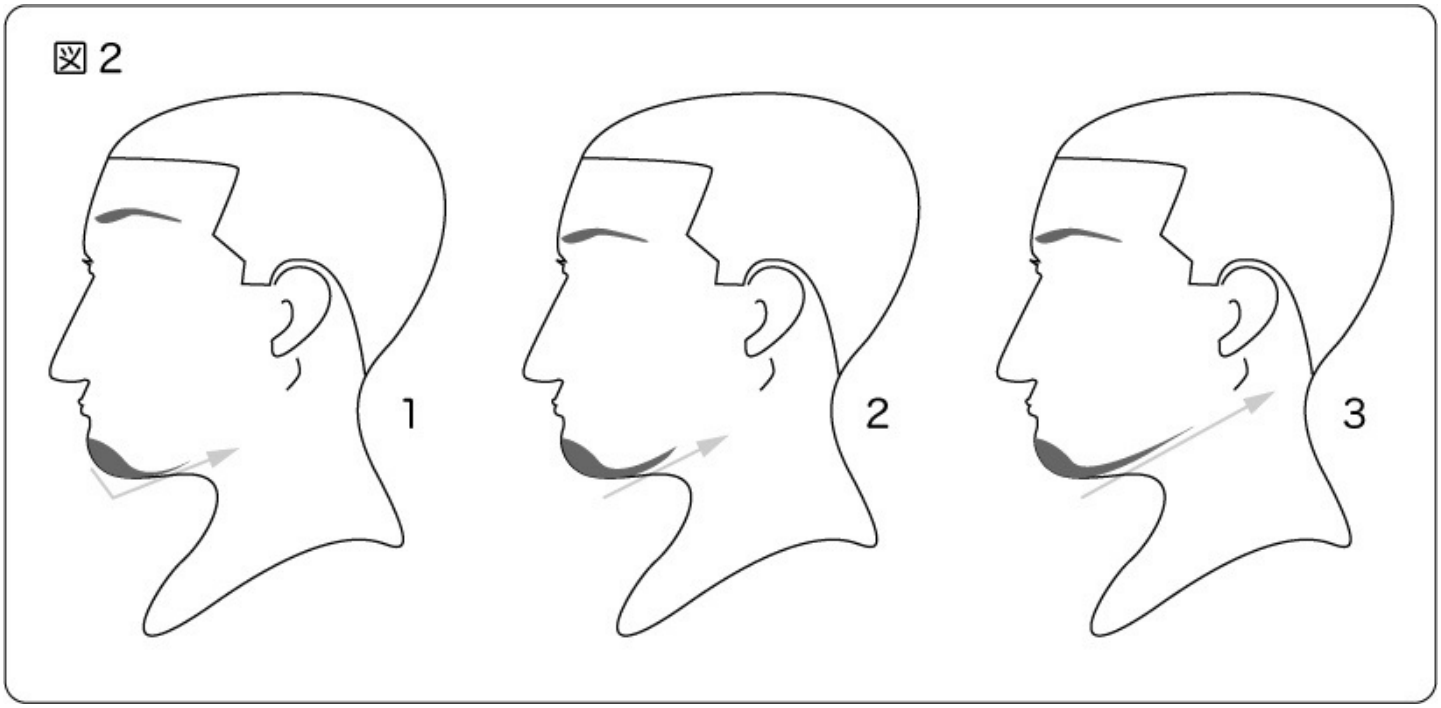
「顎ヒゲ下部デザインラインにおける印象変化（図１）」



街で見かけるヒゲの大半は顎骨よりも下、首部位にかけてヒゲを生やしている場合を多くみかけます。顎骨より下のヒゲを剃り落すだけで、顔は上方向にリフトアップされます。図１のモデルは通常よりも二重顎の状態、つまり肥満気味を想定しております。３は顎骨から喉仏まで半分の場所で剃り落しております。２はさらにその半分で剃り落し、１は基本的なラインで顎骨の部位で剃り落しております。２と３は顔を横からみた場合に、実際よりも下方向に顔を大きくさせてしまうことになります。まずは、このデザインラインの変化から、「ヒゲデザイン」の意味を理解して頂けるかと思います。この下部ラインはヒゲデザインにおいて唯一はっきりとしたラインをデザインするラインとなります。技術的にはワンシェーブ＆クロスシェービングを施術し、綺麗なラインをデザインすることにより「無精髭ではないキチンと手入れをしたヒゲ」を演出します。

あごひげ（鬚：**beard**：ビアード）１２

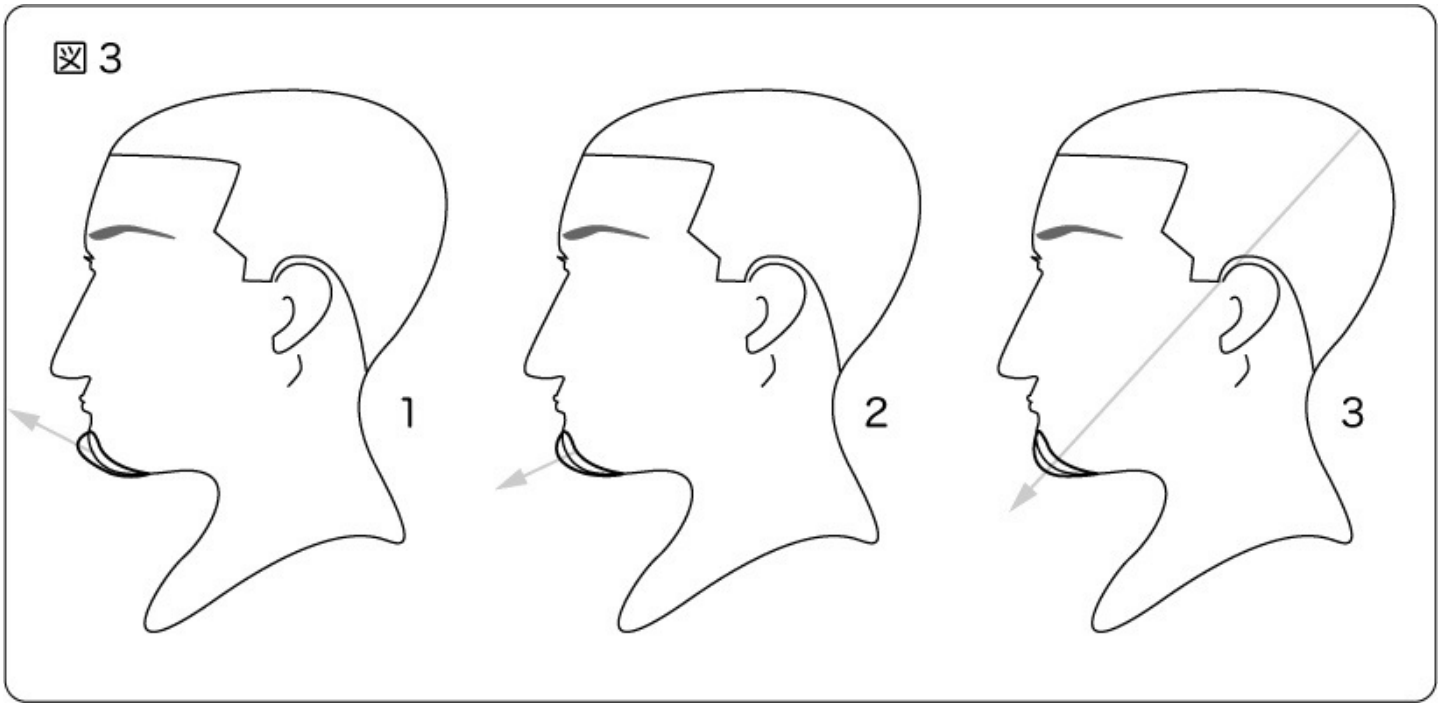
「顎ヒゲ下部デザインラインにおける印象変化（図2）」



顎から耳方向へヒゲがある場合は、その長さにより横軸の引き上げ効果がデザインする事が可能です。１から３にかけて、長さに応じて引き上げ効果があがるのがお分かりいただけると思います。また先端は細くする事により、横顔のイメージをシャープにする事も可能です。さらに綺麗にヒゲが生えそろってない場合でも、ヒゲが綺麗にあるように印象付けることが可能になります。ライン下部は、顎骨に沿ってひかれております。そのラインは顔本来のラインでありますので、顔を引き締める高価があります。また耳方向への長さは、顔の奥行きをデザインする事になります。欧米系の人よりも、顔の奥行きが乏しいアジア系の人には有効なデザインかと思います。

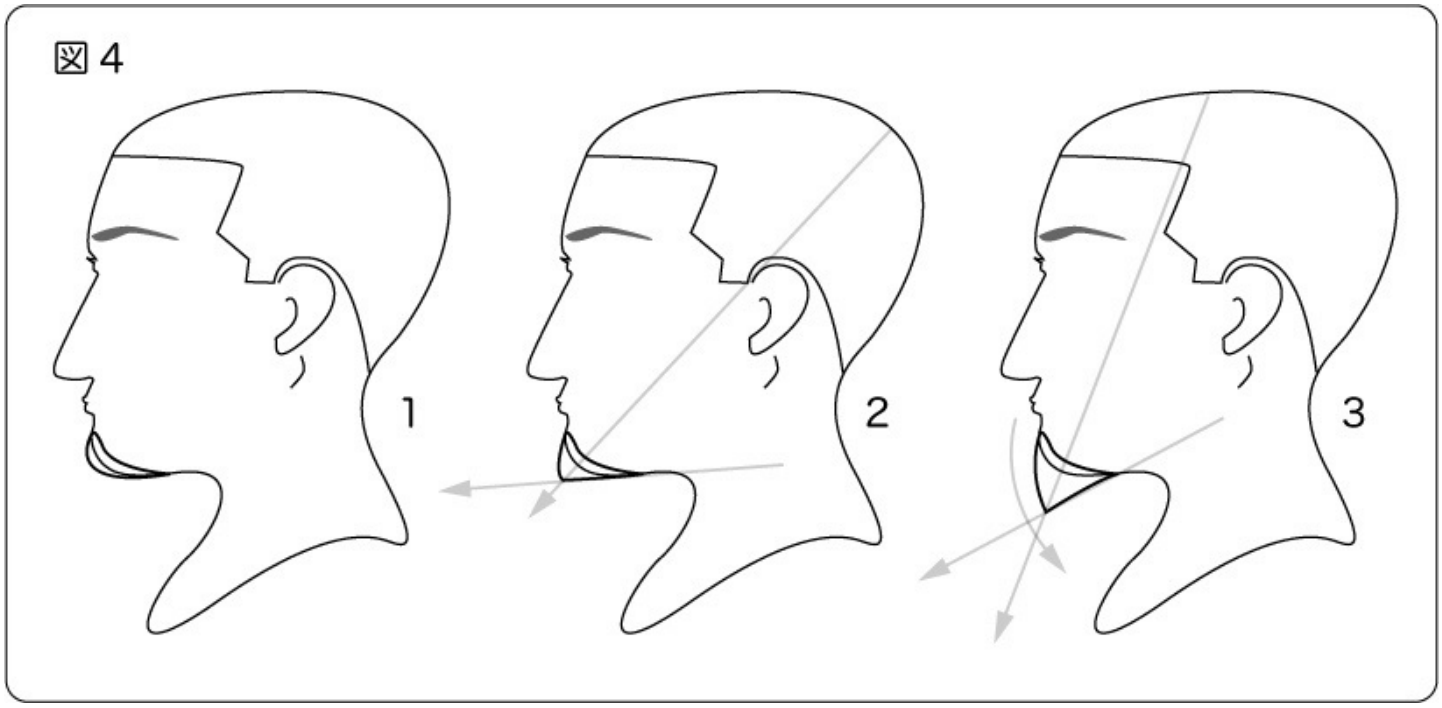
あごひげ（鬚：**beard**：ビアード）１３

「顎ヒゲボリューム点位置のよる印象変化（図３）」



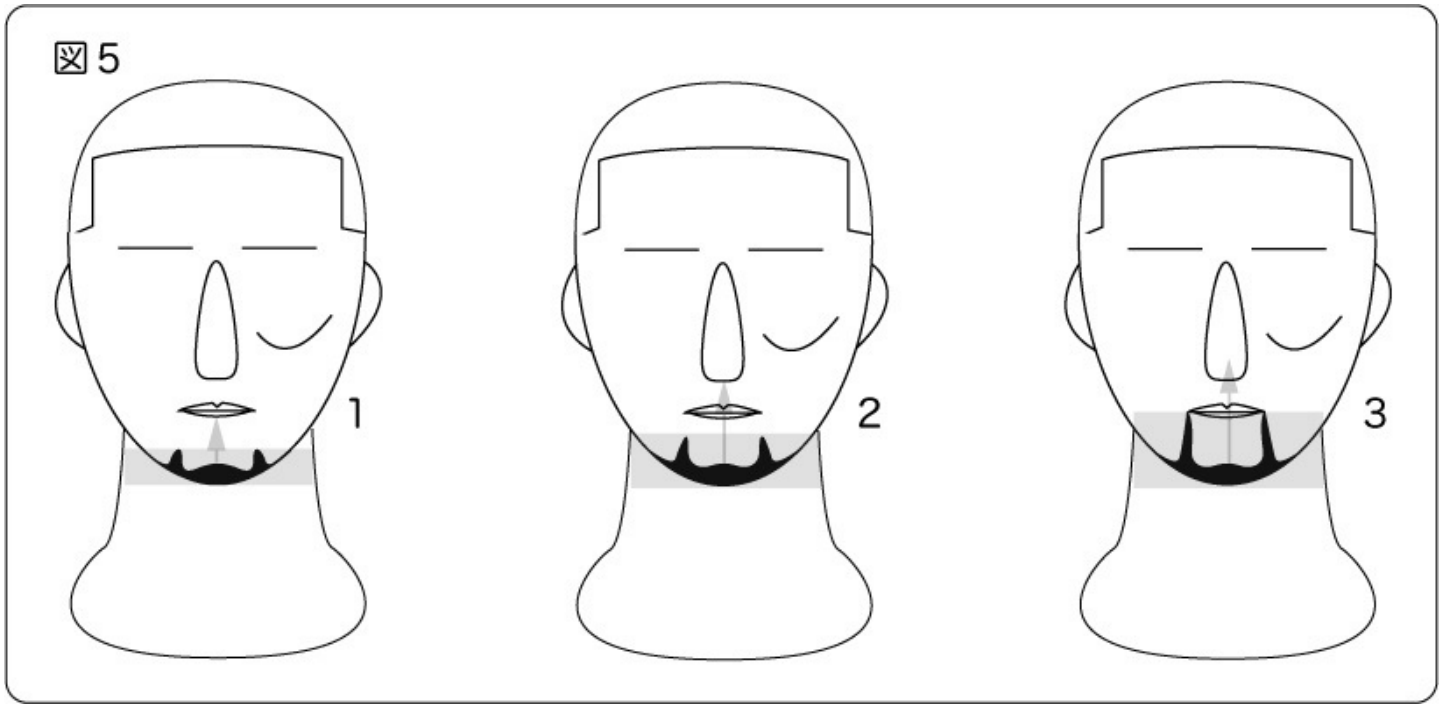
ショートスタイルの顎ヒゲの場合は、ヒゲの立ちあがりをデザインします。ヘアスタイルで例えますと、ベリーショートスタイルの角部位のように、立ち上がったヒゲの毛先の位置により顎の位置をデザインすることが可能になります。・１の場合は上部にボリュームを位置することにより、顎を立体的に上に引き上げるデザインを印象付けます。・２は顎の中間部にボリュームを位置させ、顎を前面に押し出すようなデザインを印象付けます。・３は下部にボリュームを位置させて、顎本来の立体感をさらに印象付けるデザインになります。基本形としましては、手入れの容易さから３となるかと思います。

「顎ヒゲボリュームのよる印象変化（図４）」



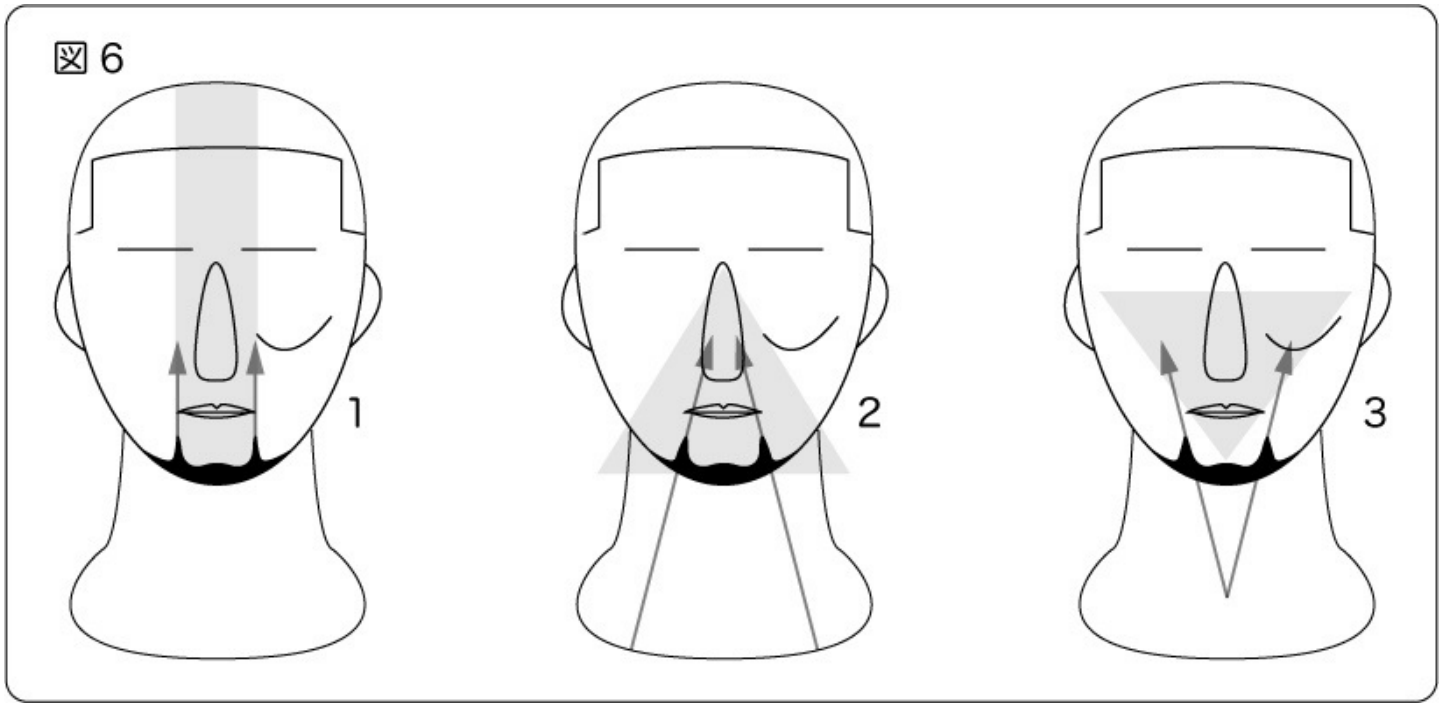
先ほどの図３はヒゲボリューム点位置による印象変化でしたが、ショートスタイルからロングスタイルに移行していく過程でのデザインラインの印象変化です。・１は図３の３になりますが、顎ヒゲ上部が長くなり下方向へ寝た状態に変化していきます。・２は顎骨を延長したデザインライン上に切りそろえた感じになります。頂点は前方斜めになり、顎を引いた印象をデザインすることが可能になります。また顎骨横方向のデザインラインを前面に伸ばすことにより、横顔をより立体的にデザインする事が可能です。横顔のバランスが最も映えるデザインラインのバランスです。・３はヒゲ上部が２よりもさらに長くなったデザインになります。長さゆえに、胸のほうへ向けてデザインラインが曲線を帯びております。その曲線的なデザインラインから、温厚な印象をデザインすることが可能です。ただしキチンと手入れをしないと、その印象とは対照的な印象を与えてしまうので手入れが大事になります。また横軸、縦軸ともに下方向になりますので面長な印象をデザインすることになります。ゆえに面長な顔の場合は避けた方が良いかもしれません。３の状態で「小顔（上方向へのリフトアップ）」を優先的に要望したい場合は２のデザインラインまで刈り込んでいきます。

「左右角（つの）部位の高さによる印象変化（図5）」



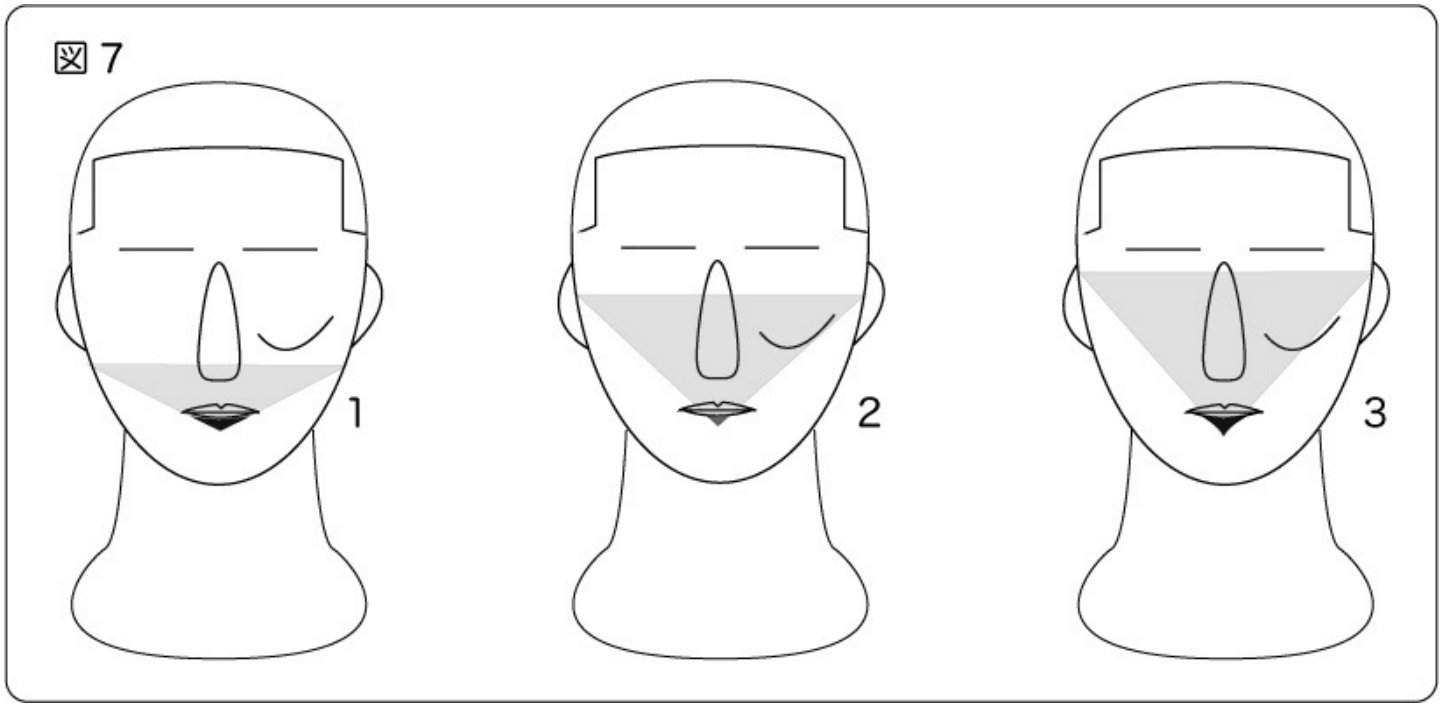
顎ヒゲデザインにおけるW型の左右の角部位の高さによる印象の変化です。顎ヒゲ中央部のデザインでも顎の大きさ（高さ）をデザインする事が可能ですが、この角部位の高さによってもデザインは可能になります。１から３にかけて上方向へ高さが変化していきますが、高くなるほどに顎の大きさ（高さ）が変化するのが判るかと思います。これは後ほどの「ヒゲにより顔矯正デザイン」の項において述べますが、角の高さをデザインする事により印象をかえる事になります。またこの角部位においては男性的な印象と、知的な印象をもデザインする事ができます。基本的な角部位のデザインにおいては、「上方向の三角形」「下から上にかけて厚み（色味）が変化する」があります。「上方向の三角形」とは角部位は口角にかけて細くなるという事であり、「下から上にかけて厚み（色味）が変化する」とは口角にかけてヒゲの長さが短くなることを意味します。１と２におきましては一般的に多様される長さではありますが、３におきましては顎が長く見えるデザインとなりますので注意が必要になります。

「左右角（つの）部位の角度による印象変化（図6）」

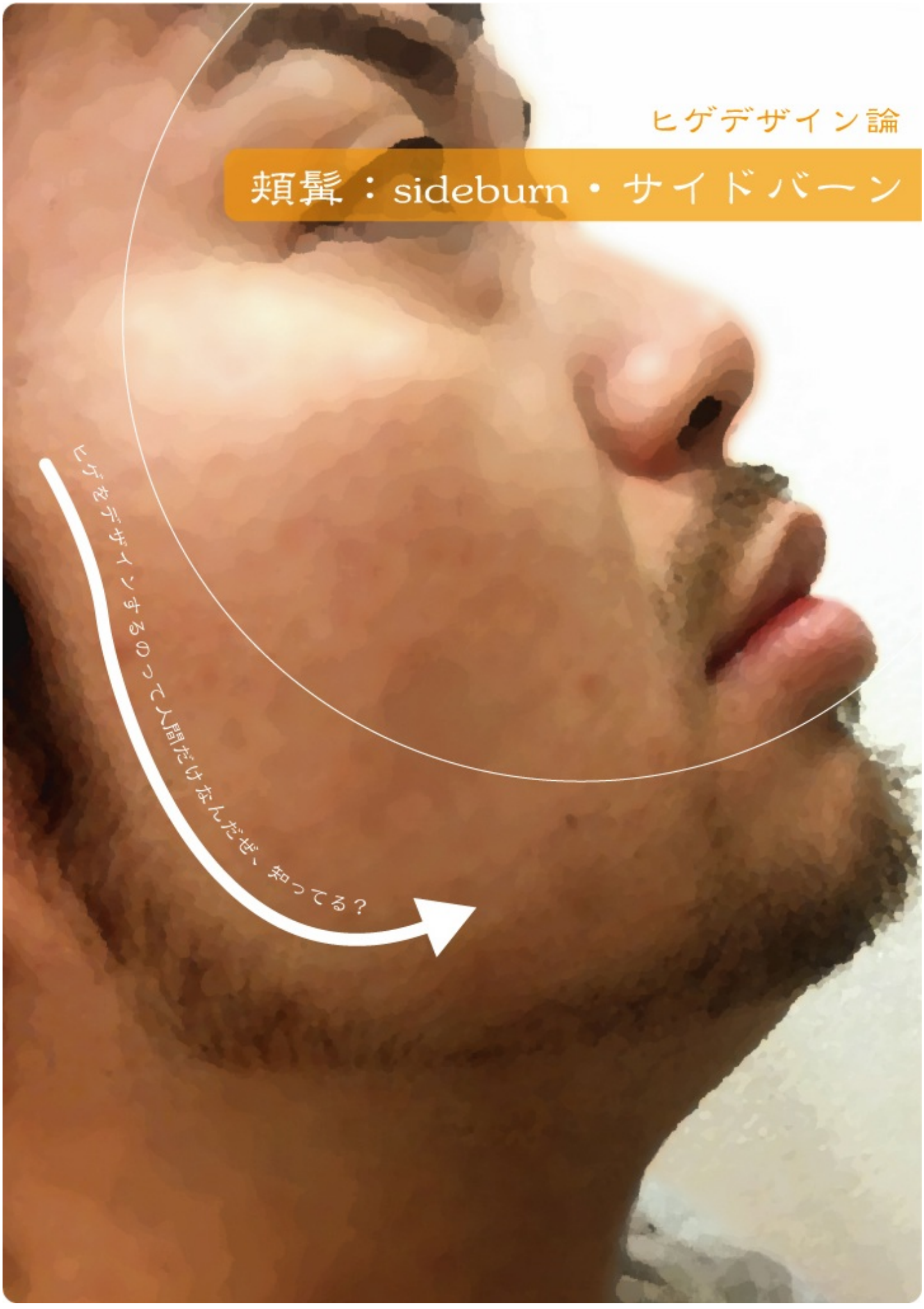


角部位は口角にむけて三角形が基本形なのです。、その頂点には正中線がありますが、延長上にもデザインラインがあります。・１は直上に伸びたラインになりますが、顎全体を上にひきあげるデザインラインになります。左右幅は顎の大きさをデザインする事が可能で、基本的には口の大きさ（左右口角迄）とします。また上にデザインラインによる幅ができることにより、顔の安定感が増します。・２は顔中心から上を頂点とするデザインラインを内側に伸ばしたデザインです。顔に対して下を底辺とする三角形を左右の角部位により形成させて、顎を含めた顔下部を大きくみせる印象をデザインします。またデザインラインの下延長方向は左右に大きく広がるために、身体を大きくみせる印象をデザインすることも可能になります。・３は顔の外側に向けて伸ばしたデザインラインになります。その事により顔に対して上を底辺とした逆三角形を左右の角部位により形成させて、顎を含めた顔下部を小さくみせる印象をデザインします。またデザインラインの下延長方向は首中心部にかけて交差するまで狭くなるため、首などをすっきりとした印象にデザインが可能です。ただし、細い顔や顎が長い方には助長してしまうので注意が必要です。

「左右角（つの）部位の角度による印象変化（図7）」



下唇から伸びる下ヒゲのデザインラインです。基本的形状は下唇を底辺とした逆三角形となります。口角近くを薄くして短くすることにより、口を引き締めるデザインとなりまします。さらに口角近くにヒゲを残さないことにより飲食の際にヒゲが汚れることを防ぐ意味合いもあります。・１は左右口角までを底辺としたデザインです。高さは下唇よりも薄めのデザインです。左右の辺の延長となるデザインラインにより、顔のなかに頂点が低い三角形を形成させます。そのことにより、顔を低重心の印象をデザインすることができます。・２は鼻筋幅を底辺としたデザインです。高さは下唇くらいのデザインになります。顔に形成される三角形は１よりも高い位置に底辺がある逆三角形になります。。この時の底辺位置は顔の中心点近くになり、上下重心の整った印象をデザインすることができます。・３は高さを唇くらいの高さのデザインになります。２にくらべると顔に形成される逆三角形の底辺は顔上部になります、底辺が上になったことで重心は上になり、顔上部を大きく、下部を小さくみせる事ができます。ただし、高くしすぎると顎が長く印象付けられるので注意が必要です。


ヒゲデザイン論
頬髭：sideburn・サイドバーン
ヒゲをデザインするのって人間だけなんだぜ、知ってる？

ほおひげ（髯：**sideburn**：サイドバーン）１

ほおひげ（髯：sideburn：サイドバーン）デザイン論

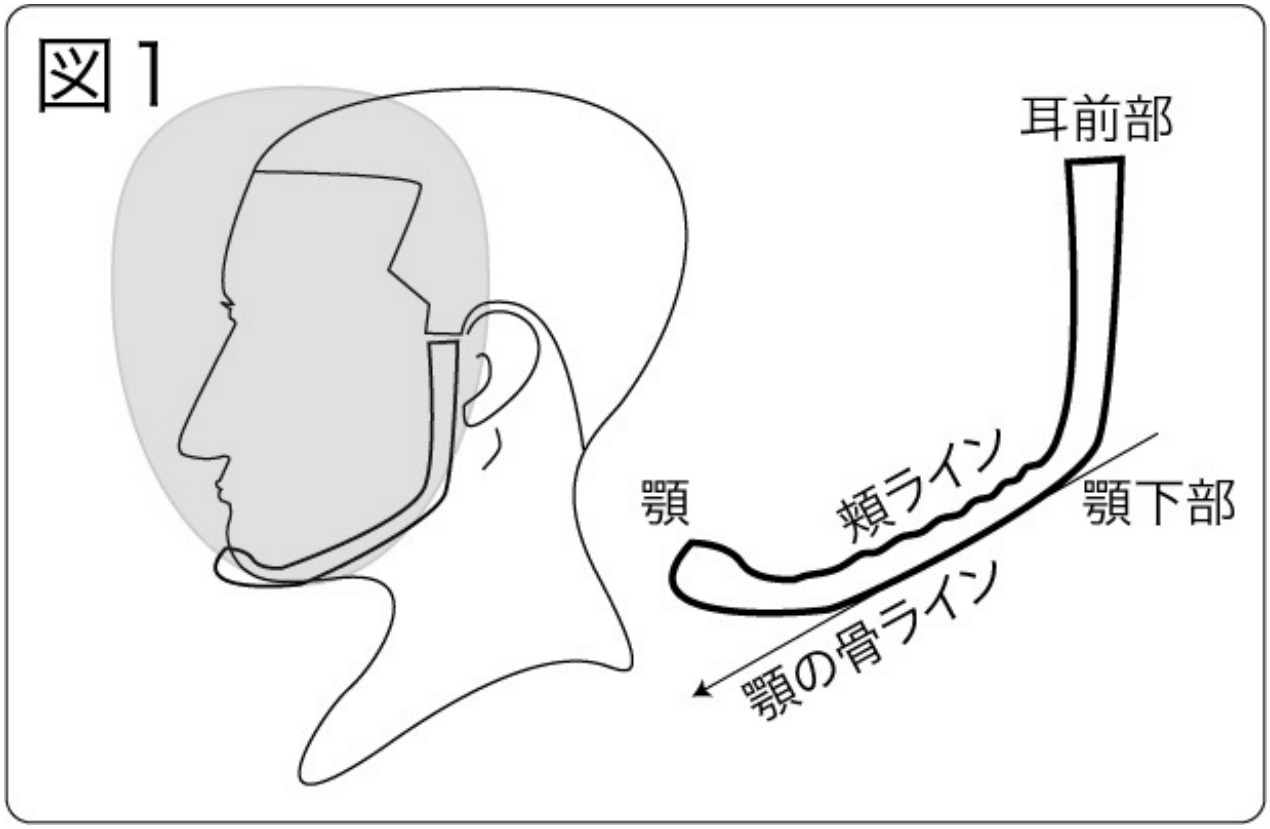
頬髯は、耳前部（顎関節）から、下方向に伸びたヒゲのことを指します。「もみあげ」も頬髯と考えてもよろしいかと思います。「ほおひげ」の有名人といえば、アニメキャラキラーでも有名な「ルパン三世」ともいえるでしょう。

「髯（ほおひげ：sideburm）」は顔の輪郭でも、横顔を形成する事が可能なヒゲデザインでもあります。顎鬚とつなげる事により横顔を強調し、上方向のリフトアップが可能になる部位でもあります。ゆえに間違ったヒゲデザインをしてしまうと、顔のイメージがかなり変わってしまうので注意が必要です。一般的にはヒゲは鏡の前で正面を向いてヒゲをデザインしますが、実際には他人から観られるのは「横顔」であるのです。ゆえに「ヒゲのプロ」でもある理容店で行われるヒゲデザインにおいては「横顔」を意識したヒゲをデザインしているのです。そのような事から「髯（ほおひげ：sideburm）」は大きなデザイン的な意味を持つ部位でもあるわけです。

まずは横顔を「髯（ほおひげ：sideburm）」から顎にかけてのアウトラインにおけるデザインの印象変化の様子を述べていきたいと思います。

ほおひげ（髯：**sideburn**：サイドバーン）２

「頬髯における横顔の標準形（図１）」



前部からゆるやかに顎下部に向けて降ろし、顎骨に剃って顎に伸ばした状態のデザインになります。耳前部～顎下部～顎を結んだラインは、そのまま正面の顔のアウトラインをデザインすることができます。これは、そのデザインラインで顔を矯正する事が可能になるということです。基本的なラインの特性ですが、首側となる顎の骨ラインにおいては、ワンシェービングおよびクロスシェービングを施術してはっきりとしたラインで構成されます。　　このラインを首側に下げてしまいますと顔は下に下がりますので、注意が必要です。大体の場合は、顎の骨ラインよりも首側にヒゲを生やしております。そのような状態では、本来の顔の大きさが顎の骨ラインまでなのに対して、首のほうまでヒゲがある為に顔が下方向に大きくなっているのです。そのときは顎の骨ラインより下のヒゲは全て綺麗に剃り落してしまいます。

また顎下部から顎までの中間部あたりは、顎の骨ラインで剃ってしまうとなくなってしまう場合があります。どうしても顎下部から顎にかけてのヒゲをしっかりと残したい場合は、顎の骨ラインよりも首側にラインを降ろすデザインも有効です。　ただしあまり下げすぎると顔が下がってしまうので、面長の顔の場合などには注意が必要です。あえて中間部分が無くなっても顎の骨ラインで剃り落した場合でも、顎と顎下部のヒゲがあればデザイン的効果はあります。あまりワイルドな感じにデザインしたくない場合などでは、あえて中間部分を薄くしてしまう事も有効になり

ます。

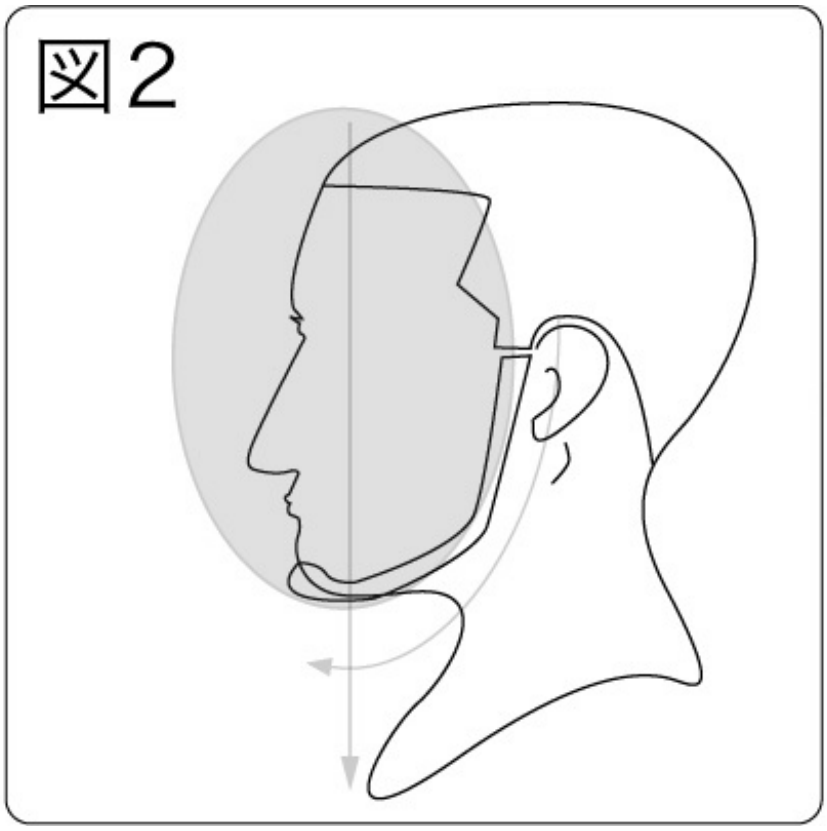
「はっきりとしたデザインライン」の顎の骨ラインにたいして、頬ラインのデザインは対照的に「ぼかしたデザインライン」になります。はっきりとした顎の骨ラインで顔の大きさをデザインしますが、頬ラインは自然に顔になじませるデザインになります。ゆえにレザーなどでキチンとしたラインを形成するのではなく、凸凹なラインをレザーの刃先などを使用して形成いたします。女性の化粧術において、顔の内側の化粧をぼかすのと同じ意味合いがあります。この頬ラインをはっきりとしたデザインラインにすると、印象が強くなってしまうので注意してください。

「頬髯のアウトラインにおける印象変化例」

顔の形こそ同じでも、耳前部～顎下部～顎までのアウトラインのデザインにおいて印象が大きく変化します。これは顔の輪郭を矯正できる事を意味しますが、デザイン次第でプラスにマイナスにもできる事でもあります。ゆえにのヒゲをデザインする際に、大きな意味をもつデザインラインです。これから述べるスタイルは全て顔の形こそ同じですが、耳前部～顎下部～顎までのデザインラインにおいての印象の変化を論じます。基本的考慮になりますが、下記の例のような状態の場合には、そのデザインにおける印象を理解することが大切になります。そのデザインではない場合は、標準的なラインに序所に近づけてあげるプランを移行すると良いかと思われます。まずは、例をあげていきます。

ほおひげ（髯：**sideburn**：サイドバーン）４

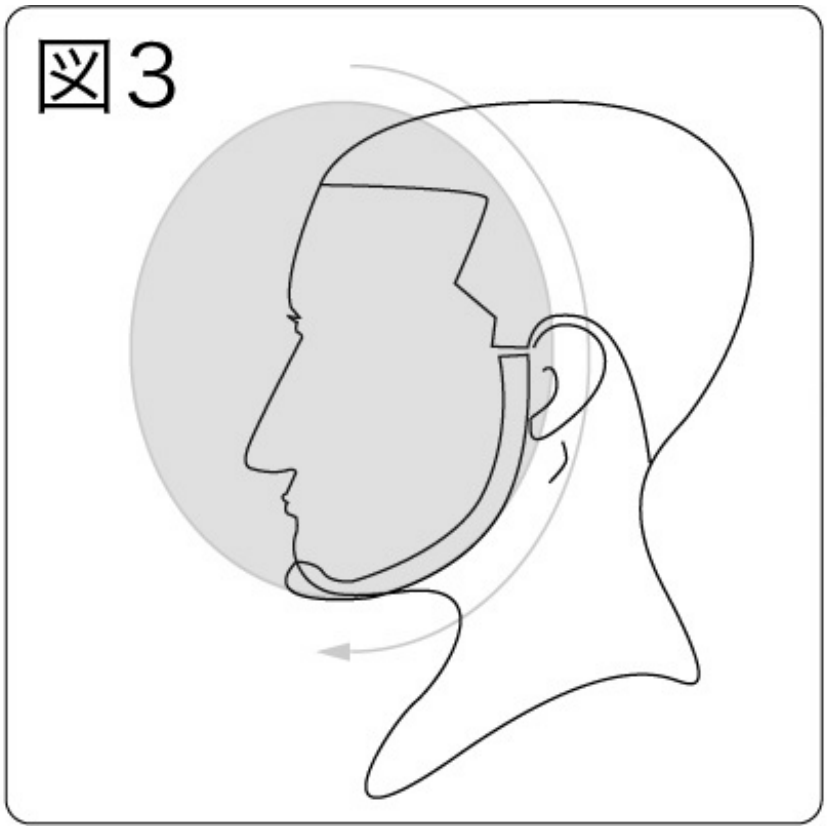
「細く丸い印象を与えるライン（図２）」



耳前部～顎下部～顎までのラインを緩やかな曲線で結んだアウトラインです。緩やかな曲線により顎下部の印象が少なくなります。縦方向に長い楕円をイメージさせるために、面長なイメージを助長するので注意が必要です。ただし、様々な顔の形に適応できるデザインです。

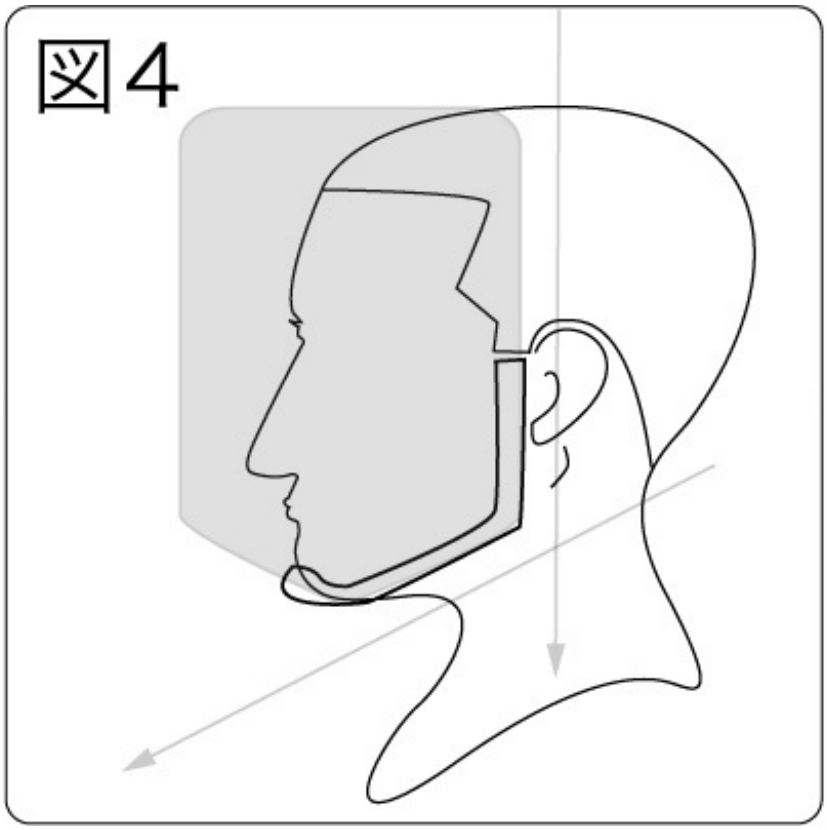
ほおひげ（髯：**sideburn**：サイドバーン）５

「丸い印象を与えるライン（図３）」



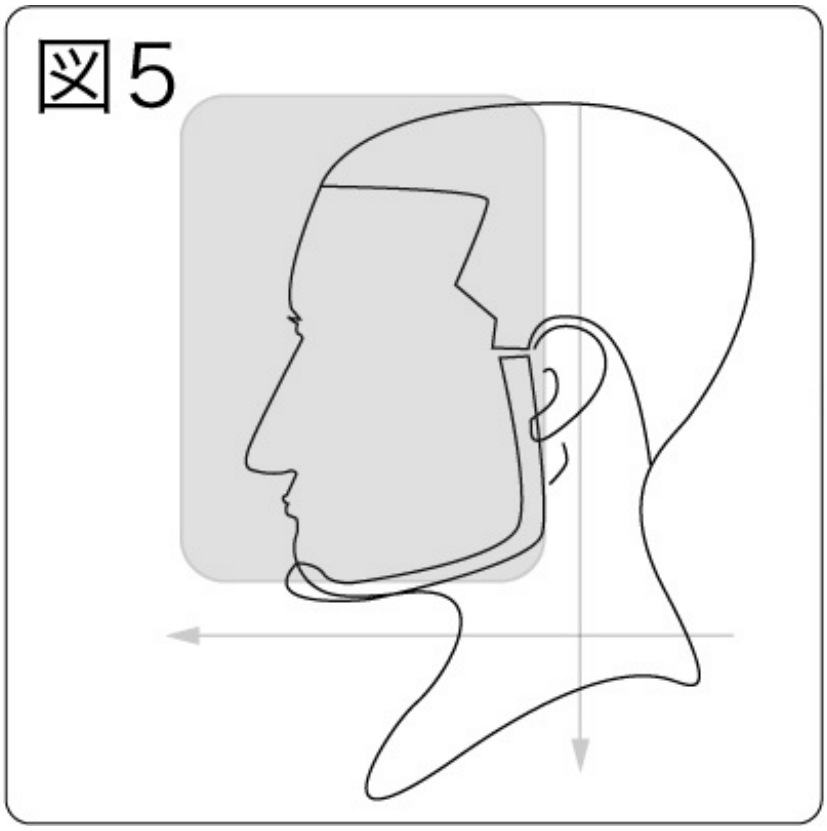
耳前部～顎下部～顎までのラインを丸みを帯びたラインでアウトラインです。顎下部の印象を丸みで消してしまいます。エラが張った角顔の場合では、その印象を矯正する事が可能になります。顔をふくよかなイメージにする為に、二重顎など肥満気味の場合には避けた方が良いデザインになります。温厚な印象を与えたい場合に適したデザインとなります。

「ホームベース型の印象のライン（図４）」



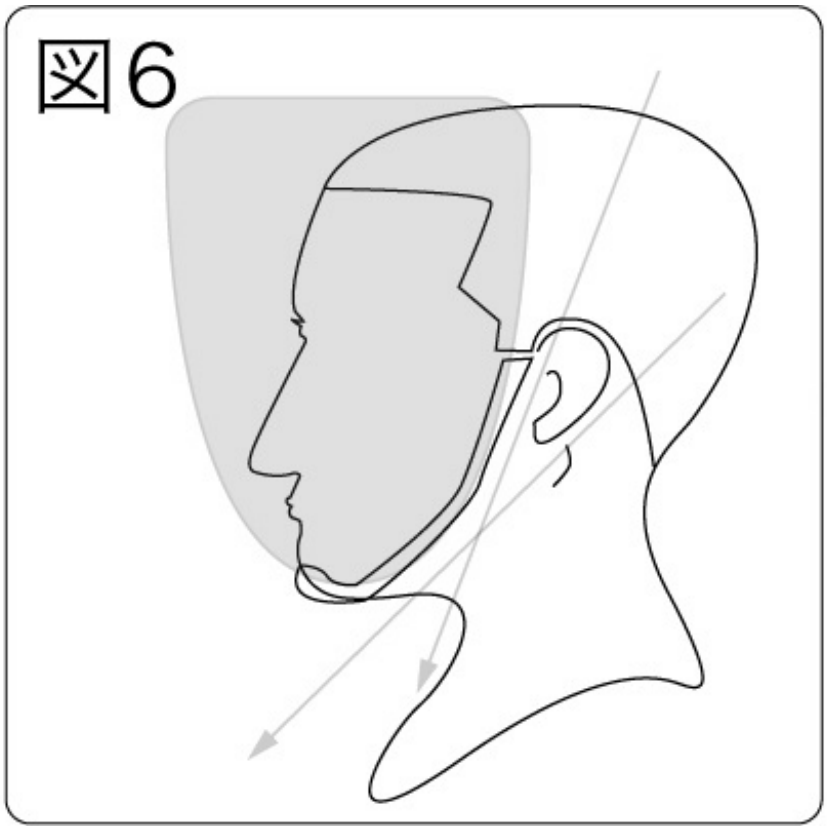
耳前部～顎下部～顎までのラインにおいて、直線的なラインで構成されたアウトラインです。顎下部においても、角を強調しています。ゆえに顔のアウトラインイメージは、ホームベース型になります。顎～顎下部までの顔の奥行きがない場合には、このデザインは有効です。しかし顎下部のエラが張っている顔の場合は、それを強調することになりますので注意が必要になります。

「角顔の印象を与えるライン（図５）」



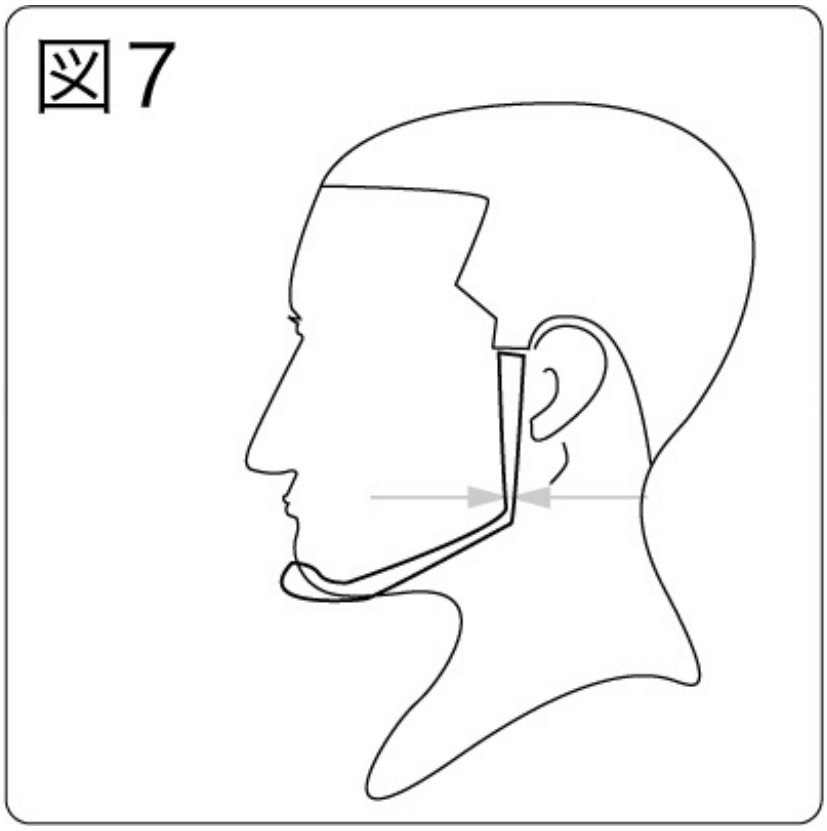
耳前部～顎下部～顎までのラインにおいて、顎下部の位置を下げたラインで構成されたアウトラインです。ホームベース型のアウトラインよりも、顎下部の位置が顎に近くなったことにより角顔のイメージとなってます。顔を下方向にも、奥にも大きくイメージさせるために避けた方が良いデザインかと思われます。ヒゲの生え箇所により、どうしてもこのデザインになってしまう場合は顎下部のヒゲを剃り落してしまいます。もみあげとした頬髯と、顎鬚をつなげない事によって印象を和らげることができます。

「三角顔の印象を与えるライン（図６）」



耳前部～顎下部～顎までのラインのうち、顎下部の位置を前方にづらしたアウトラインになります。耳前部から顎下部のラインが前方に描かれるために、顔の厚みが感じられないイメージになっております。一般的に正面から鏡を観ながら鬚をデザインしている為に、意識せずにデザインされいる場合があります。顔の奥行きが西洋人に比べてないアジア系の顔つきの場合には、余計に顔の奥行きの無さを助長してしまいます。また顎も細くなってしまうイメージになる為に、注意が必要です。お客様がこのようなデザインで来店された場合は、その印象を正確に伝える事が大切になります。その上で標準的なデザインに近づける為、耳前部～顎下部～顎までのラインを一旦剃り落します。それが無理な場合は、数回の施術に分けて少しずつ外側にラインを移動していく事を提案すると良いかと思われます。

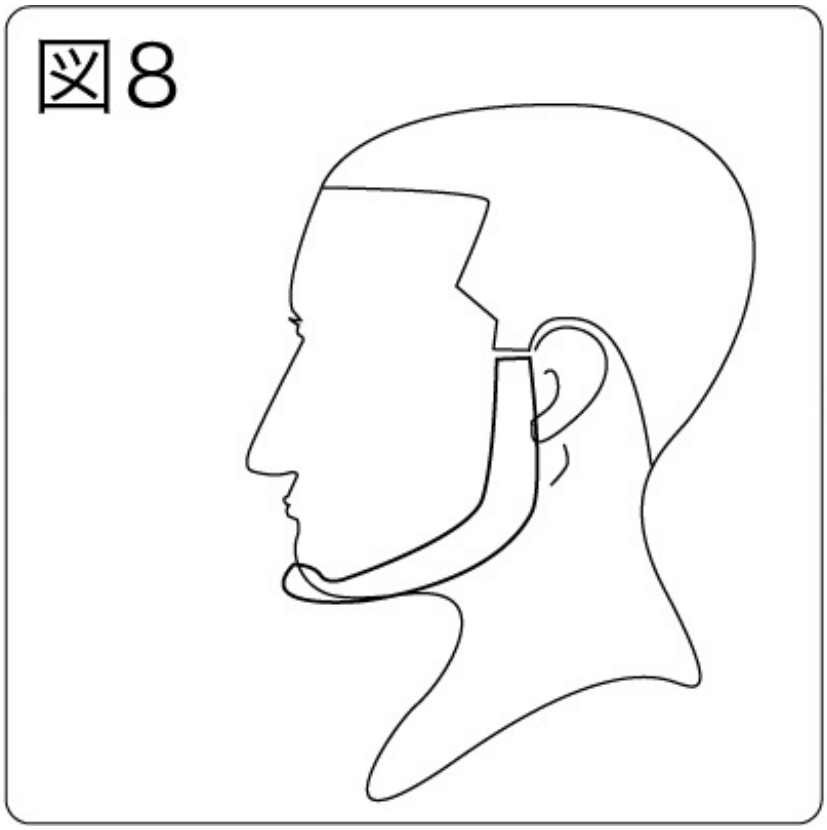
「シャープな印象を与えるライン図７）」



耳前部～顎下部～顎までのラインにおいて、顎下部にかけて細くなるデザインです。耳前部から顎下部にかけて細くなり、顎下部から顎にかけて太くなっています。顎下部の部位が細くなっているために、顎下部が強調されたデザインになっております。細くするデザインはシャープさと精悍さを印象づけますが、このようなデザインはそれと共に部位を強調させます。顎下部が強調されるという事は、顔の奥行きが強調されるデザインでもあります。顔の奥行きがないアジア系人種の場合は有効なデザインでありまが、エラが張った角顔の方の場合は避けた方がよいと思われます。また、頬髯が耳前部から顎下部にかけて細くなっているので、面長に印象づける効果もありますので、耳前部から顎下部まで長さがある方の場合はデザイン的な注意が必要となります。

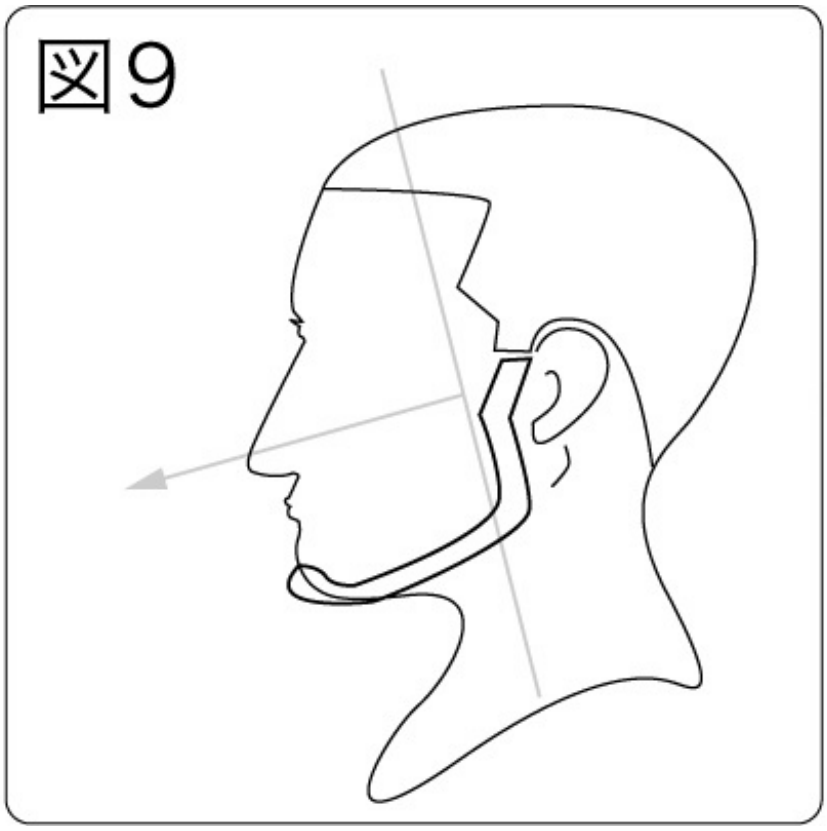
ほおひげ（髯：**sideburn**：サイドバーン）１０

「温厚な印象を与えるライン（図８）」



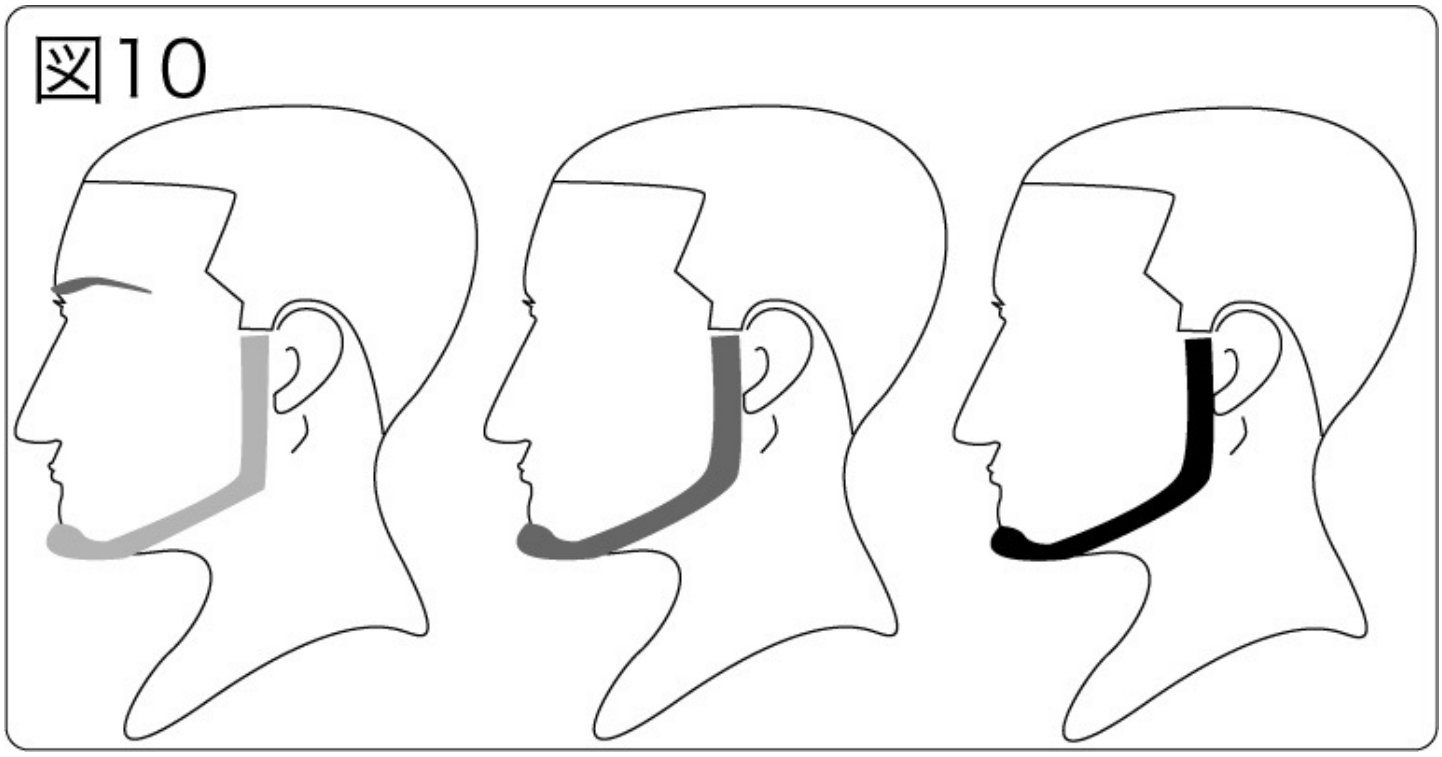
耳前部～顎下部～顎までのラインにおいて、顎下部にかけて太くなるデザインです。耳前部から顎下部において太くなり、顎下部から顎にかけて細くなっていきます。顎下部を太くデザインすることにより厚さを印象づけ、男性的な温厚な印象を与えております。顎下部が貧弱な印象がある細顔の方の場合には、この厚みにより有効なデザインとなると思います。歴史的な方でいえば、歴代アメリカ大統領のリンカーンなどが当てはまるかと思われます。ただし太く厚くしすぎると、男性的な温厚さの印象には、野性的な印象も含まれておりますので注意が必要です。エラが極端に張っている場合は、この厚みで隠してしまって印象を軽減する事も可能です。太さの印象を調整する手段として、首側（顔外側）から頬側（顔内側）にかけて色彩を徐々に薄くするグラデーションが有効になるかと思われます。

「頬髯の複合的変化による印象変化（図９）」



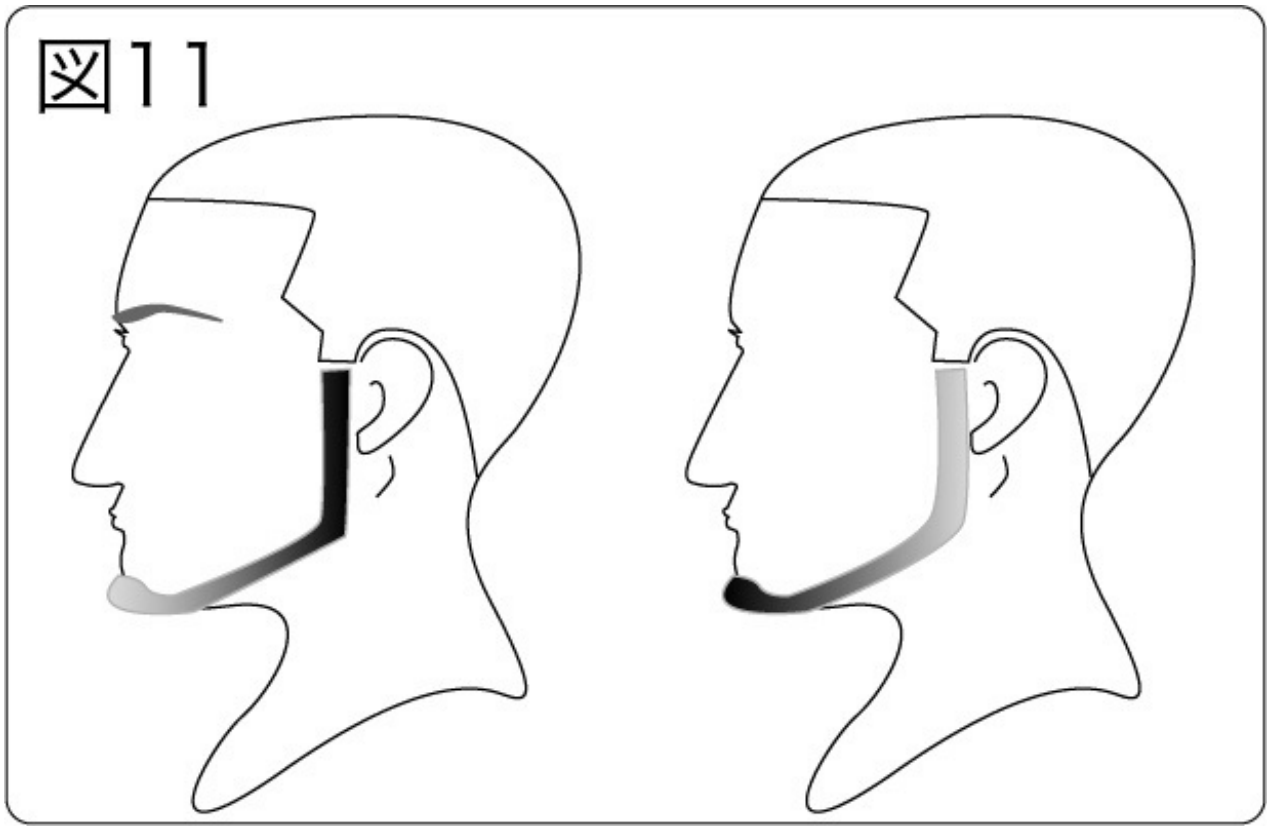
前部は頬骨方向に前に突き出し、さらに顎下部方向にラインが下がるデザインです。ラインが一度突き出して下がる事により、顎を後方に引き締めた印象を与えるデザインです。ラインの角度変化によっても、様々な印象変化を促す例となります。顎を後方に引き締めたデザインですので、顎がしゃくれた状態（受け口状態）の方には有効になります。また姿勢が猫背の方などにも、顎を引き締めさせるさせる事により有効になるでしょう。ただし顎を引き締めるという事は、格闘家のような攻撃的な印象を与えます。顎を引き締める事により、目線が下から睨みつけるような印象になりますので注意が必要です。顎下部にむけてラインが下がるという事は、頬が顔下部において大きくなる事でもあるので、顔下部が大きい方は印象を強くしてしますので注意してください。顔の奥行きがない方の場合には、有効なデザインかと思われます。

「頬髯の色彩濃度による印象変化（図１０）」



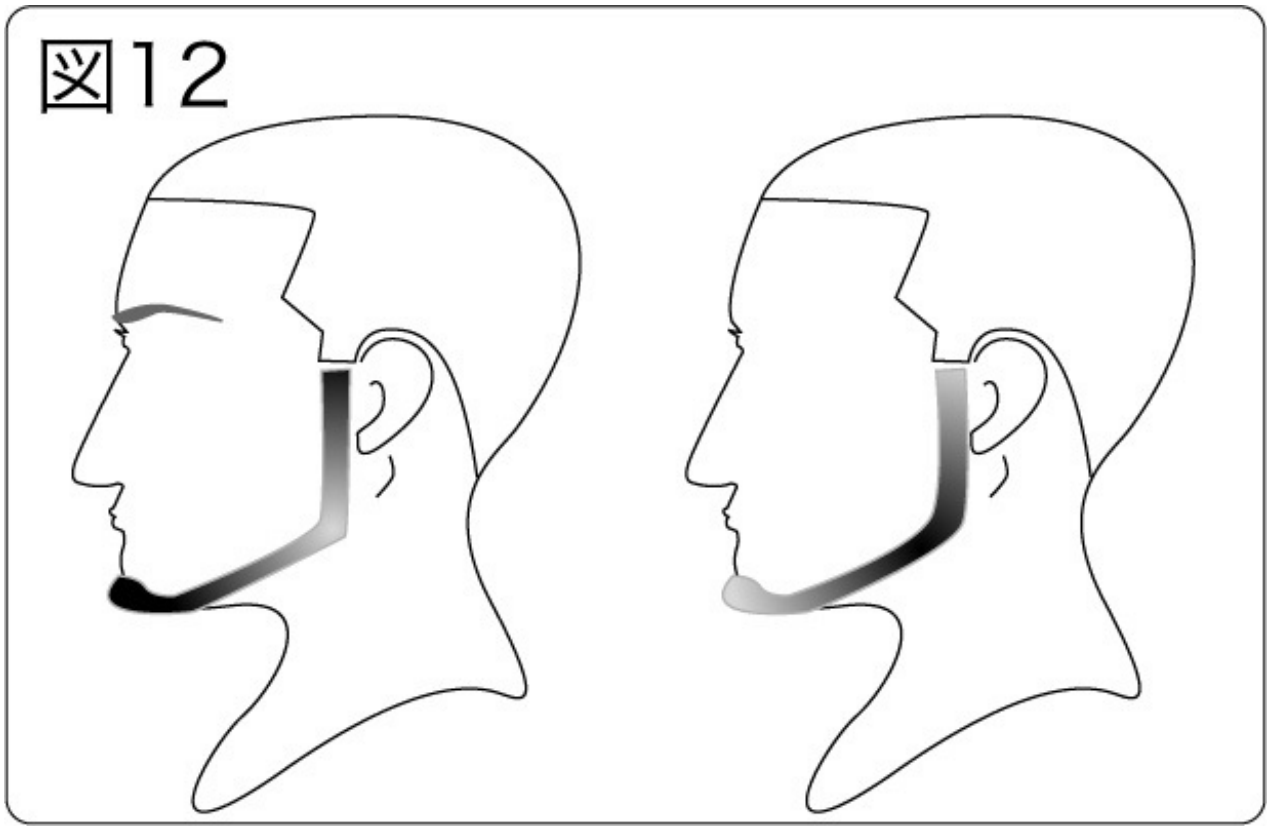
基本的なヒゲにおける色彩的基準は眉毛の色彩と同程度にします。眉毛の色彩が薄い方に濃い色彩のヒゲをデザインすれば、ヒゲだけが浮いた感じになります。その逆の場合もしかりです。色彩は元々のヒゲ密度によるのが基本になりますが、ヒゲ自体の長短も表します。また、薄くする場合においては梳鋏などで色彩調整を行う事も可能です。色彩が濃くなればなるほど、その存在感を強めます。濃いめの色彩の場合は、顔に占めるヒゲの範囲とバランスが重要になってきます。逆にヒゲ自体が白髪になってきた方においては、様々なヒゲデザインが可能になるという事になります。頬髯におきましては、頭髪との色彩的な繋がりもでてきます。眉毛の色彩と合わせて、デザインをする事が重要なポイントになるでしょう。

「頬髯から顎～色彩の変化その１（図１１）」



顎髯から顎にかけて、色彩のグラデーションによる印象変化です。この時の色彩のグラデーションは、ヒゲの長さの変化により作り出します。少しずつ長さの変化を作り出して、グラデーションにします。図１１の左側は、耳前部から顎下部、顎にかけて徐々に色彩が薄くなるグラデーション変化になります。頬髯の色彩が濃い為に、顎鬚よりも頬側が強調されております。頬髯が強調されているので、顔の縦方向が強調されております。面長な細い顔の方には、注意が必要でしょう。このグラデーション変化は、顎方向に向けて軽く、顎鬚デザインの印象をも軽くします。図１１の右側は、耳前部から顎下部、顎にかけて徐々に色彩が濃くなるグラデーション変化になります。顎鬚の色彩が濃い為に、頬髯よりも顎側が強調されております。顎鬚が強調されているので、顔の横方向（奥行き）が強調されております。横方向である奥行きが強調されながらも顎下部にむけて色彩が薄くなりますので、デザインの印象を軽くさせる効果があります。仕事の関係などで、あまりワイルドな雰囲気を印象付けたくない場合などには有効なデザインです。またヘアスタイルがショートスタイルの場合、ショートヘア＞頬髯＞顎鬚への自然なアプローチとしても良いと思います。

「頬髯から顎～色彩の変化その２（図１2）」

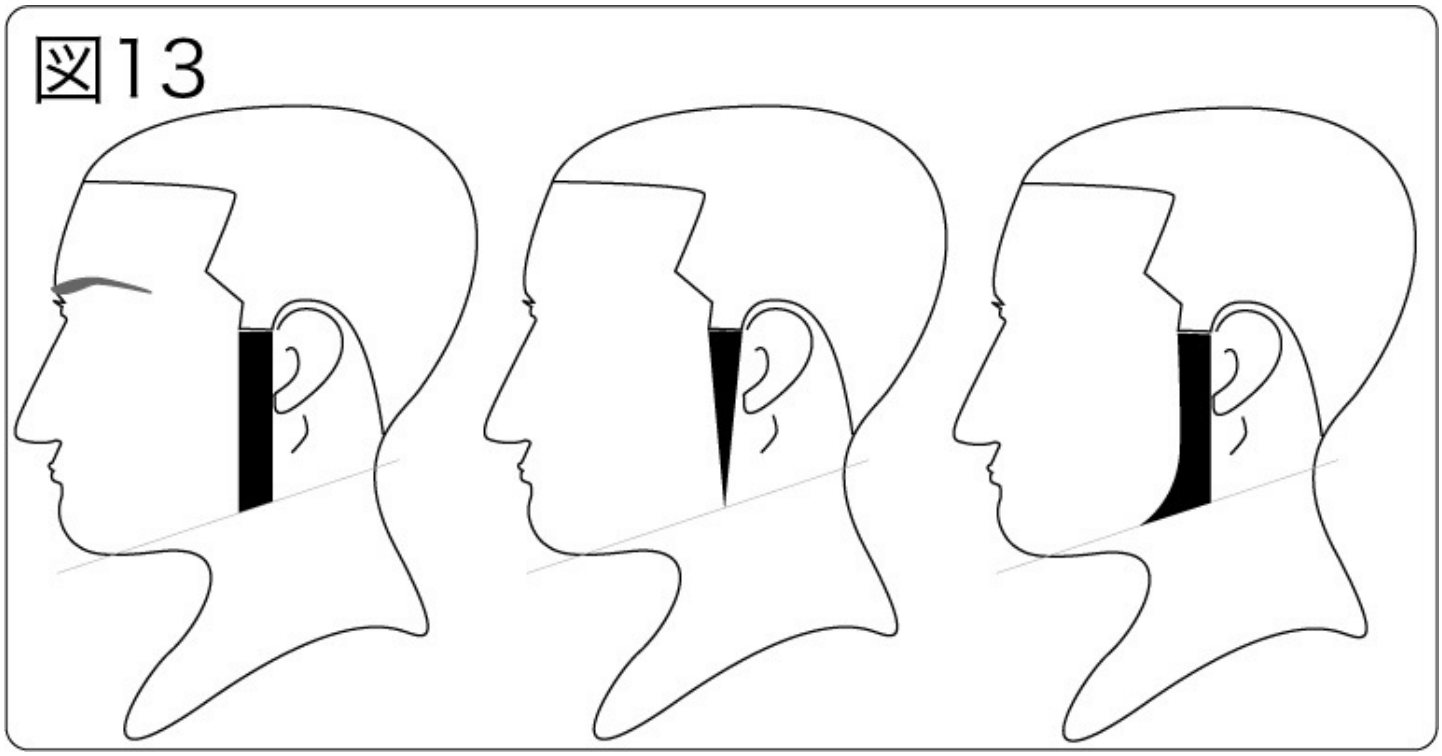


顎髯から顎にかけて、色彩のグラデーションによる印象変化です。図１１のように一方方向へのグラデーションによる色彩変化ではなく、より立体的なグラデーションによる色彩変化となっております。やはり技術的には、「刈り上げ／ぼかし」的な技術を用いて、グラデーションを作り出します。図１２の右側は顎と耳前部が厚く、顎下部が薄いデザインになります。顎から顎下部、耳前部から顎下部にかけて色彩がグラデーション変化する為に、縦横方向ともにすっきりとした印象をデザインできます。頬髯は下方向にかけて軽くなり、顎鬚は横方向にかけて軽くなります。ゆえに「ワイルド」さが軽減される為に、ビジネスの場でも耐えうるデザインとなります。

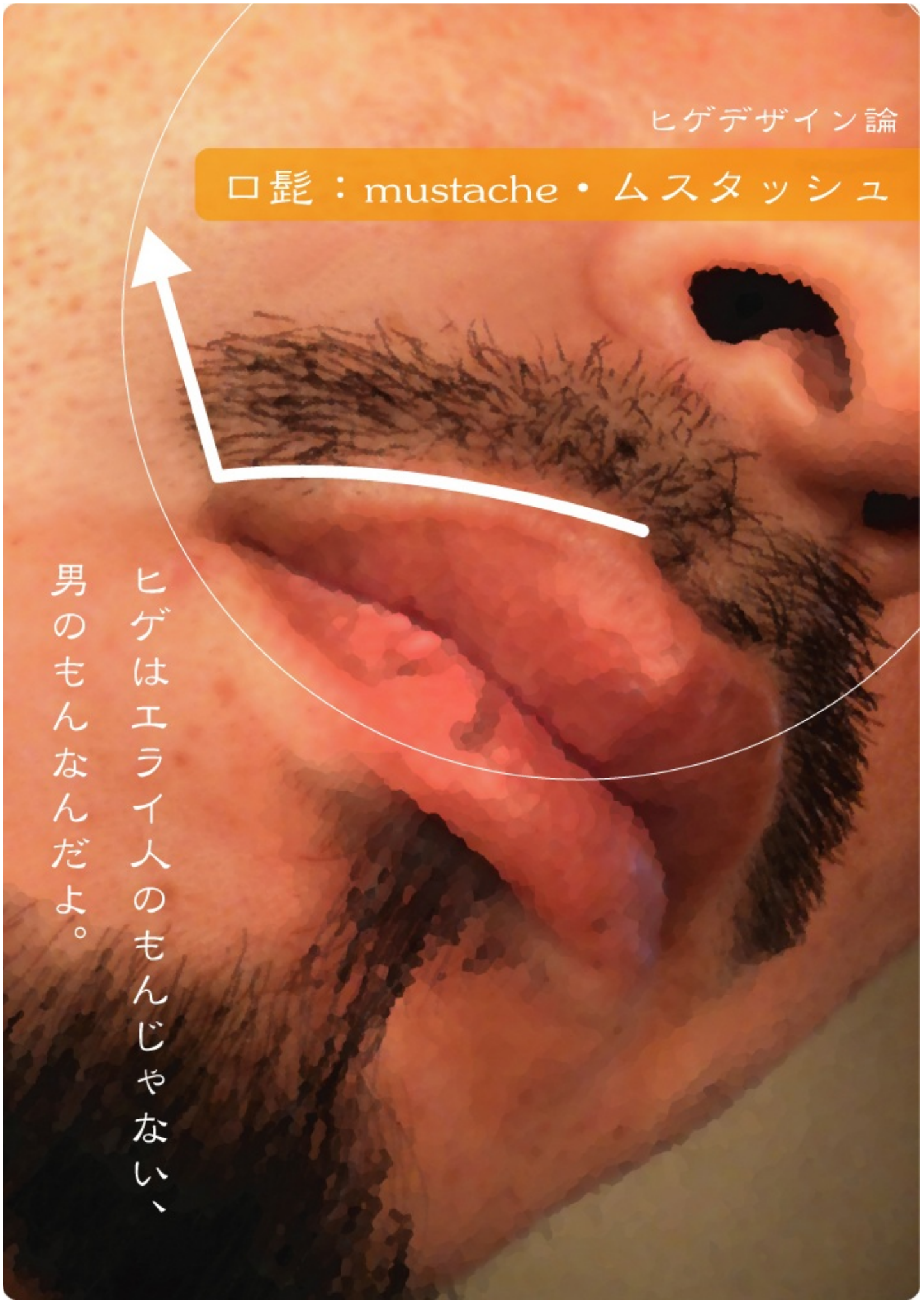
横方向の顎鬚と縦方向の頬髯の生え方が不完全な場合は、顎下部を薄くする事により補う事ができます。図１２の左側は顎と耳前部が薄く、顎下部が厚いデザインになります。顎下部が色彩により強調されますので、顔の重心が下になります。ゆえに顎がしっかりとした印象を与えますが、面長な顔の場合はそれを強調する印象を与えるので注意が必要です。顎下部が強調される為に顎下部が下、顎が上にあがるような印象を与える事ができます。ゆえに、顎がしゃくれている方の場合などは注意が必要です。同じ色彩デザインするよりも、図１１や図１２のような色彩のグ

ラデーションの方が立体的な印象をデザインすることが可能になります。

「頬髯の基礎的形状変化（図13）」



頬髯のみの基礎的形状変化です。全形状のエンドラインは顎骨までとなります。図１３の左側は通常形状、中央は三角形状、左側のは斧型形状です。通常形状は下に長くなるほどワイルド感が増します。三角形状は、涼しげな感じを印象づけ、斧型は通常形状よりもさらに男臭さを印象づけます。社会的には基礎形状と三角形状が好ましいと思われます。さらに、色彩変化によっても印象は変わります。


ヒゲデザイン論
口髭：mustache・ムスタッシュ
ヒゲはエライ人のもんじゃない、
男のもんなんだよ。

くちひげ（髭：**mustache**：ムスタッシュ）1

くちひげ（髭：mustache：ムスタッシュ）デザイン論

口ヒゲは顔の中心にあり、口の上にある部位になります。ゆえに「顔の表情」を印象づけます。それは口ヒゲを生やしている人の「人格」をもデザインする事になります。ただ日本においては「ヒゲを生やす」と考えると、口ヒゲを生やし始める事を想像する人が多いのも事実です。

ヒゲをいう字を漢字に変換した場合も「髭」という字が最初に変換されるように（思います・・笑）口ヒゲは「ヒゲ」という言葉から連想される部位といえます。しかし、冒頭に」述べたように口ヒゲは「人格」を形成するデザイン的にも重要な場所なのです。ちなみに「顎ヒゲ」は「顔の奥行き」、「頬ヒゲ」は「顔の高さ」を主に形成するデザインとなります。初めてヒゲを生やす事を意識した場合に、口ヒゲから～と思う方も多いのですが、ヒゲのプロである理容師としては「口ヒゲを生やすなら最後に生やす」事をお勧めするのが良いと思われます。「もみあげの延長から始められる頬ヒゲ」「自然に生やし始められる顎ヒゲ」、そして周囲がヒゲを生やしている事を認識されてからの「口ヒゲ」という事になります。

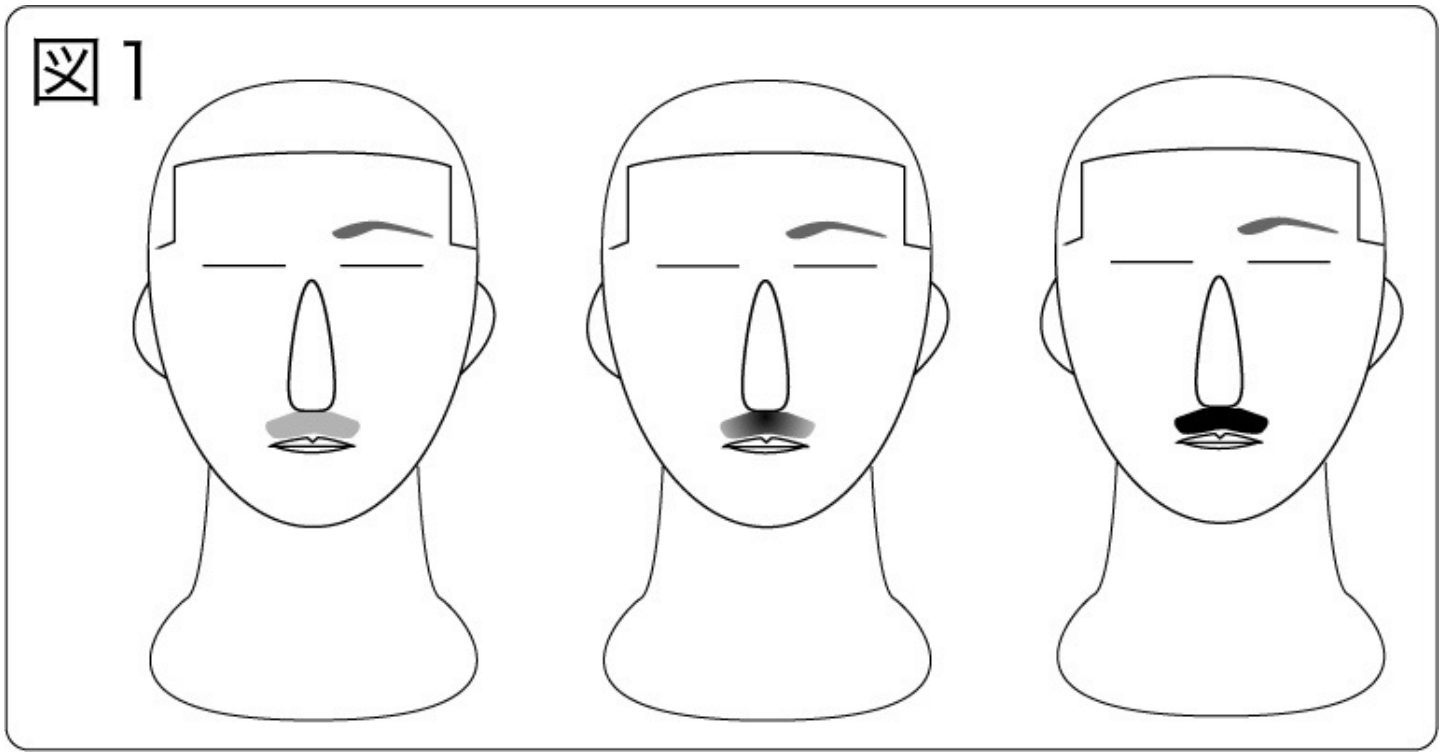
それでは口ヒゲにはどうしたら良いのか？・・まずはアウトラインをキチンと決めてから徐々に長さを作っていけば良いと思うのです。また、口ヒゲに関してて大事なんもは「唇にヒゲがかからない」という事。社会に通用するヒゲを意識する場合には、とても重要な事です。唇を隠すという事は「表情を隠す」という事になり、人を不安にさせます。もう一点は「口角（口の両脇・口元）を綺麗にみせる」という事です。口角、つまり口元を綺麗にみせるか否かは口ヒゲのデザイン上の大事な事です。

先に述べましたが、口は「顔の表情」をつくり「人格」をも印象づけます。にやけた印象、怒っている印象、無表情な印象・・それら全て、口ヒゲから印象づけてしまう可能性があるデザインなのです。

口ヒゲを生やす時は、デザインをしっかりと描いてから生やすことをお薦めします。

くちひげ（髭：**mustache**：ムスタッシュ）２

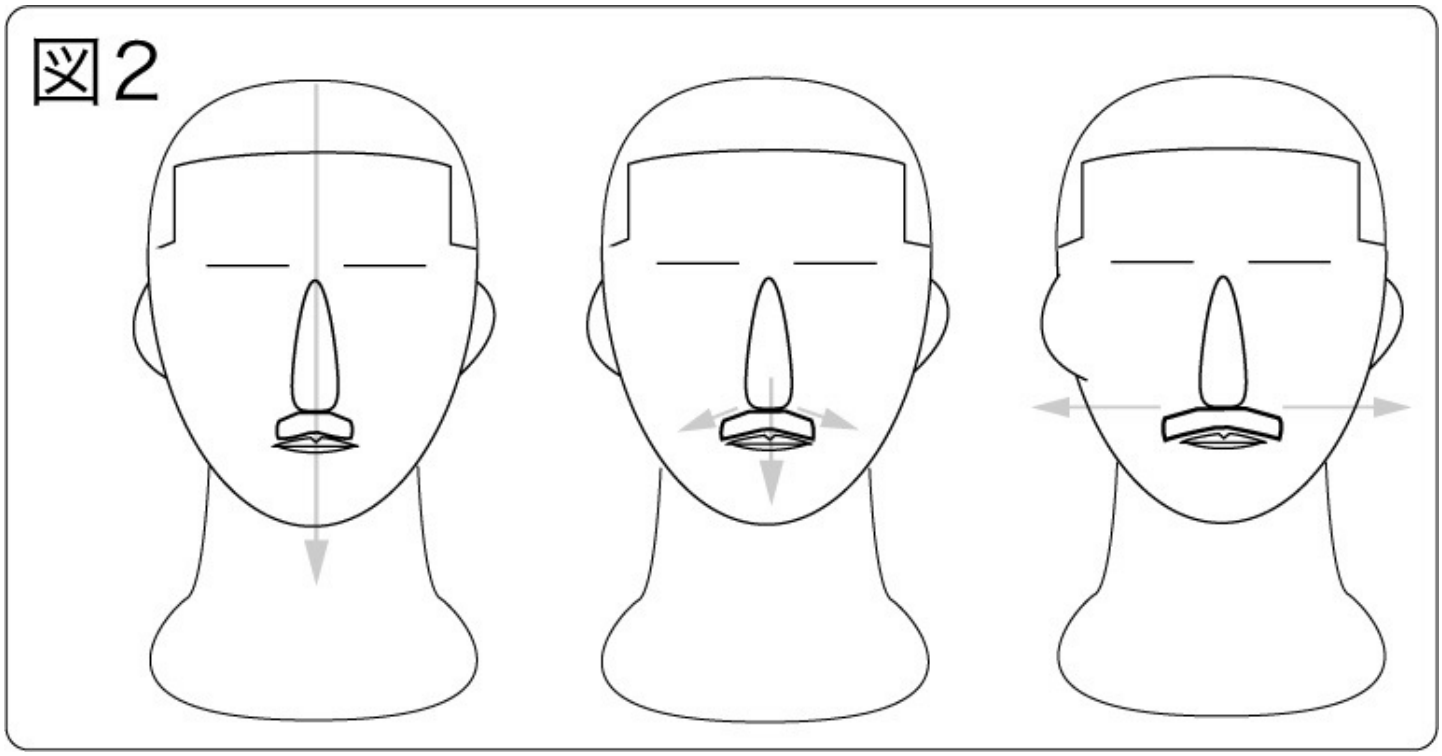
「基本的形状～色彩（図１）」



口ヒゲの印象で、デザインと共に大きな意味合いをもつのが「色彩」です。標準的な黒色のヒゲと白髪のヒゲなどの色彩も考えられますが、ここでは「色彩が濃い＝ヒゲが長い／色彩が薄い＝ヒゲが短い」という長さによる色彩変化とさせていただきます。まず冒頭で「口ヒゲは最後に生やす」と申しましたが、その際にも「色彩」を変化させつつ伸ばしていくのが最良かと思われます。つまり「口ヒゲ」の存在感を色彩でコントロールするという事になります。デザイン的には、まず１ミリから３ミリくらいの短いヒゲで口ヒゲはショートスタイルになります。図１でいうところの左図がそうです。そして、中央図はグラデーションスタイルです。これは、口角（口元）の部位が１ミリ～３ミリなのに対して、人中（鼻筋）付近の中央部になるにつれて長めになっていきます。ショートスタイルから伸ばす過程として、自然に顔に馴染ませて行く段階になります。あまり口ヒゲを印象強くさせたくない場合は、この段階のデザインが最良かと思います。左右の口角付近が短いために、自然に顔に馴染むのためです。中央部は５ミリ～１０ミリくらいが最適でしょう。刈り上げのようなグラデーションで長さをつないであげます。図１の右図は、全体平均が１０ミリを超えてきている状態です。色彩も濃いので、口ヒゲとしての印象がとても強くなっております。最終的な長さは、上唇が隠れないように切り揃えるデザインになります。上唇が少しでも隠れると、顔の表情を消してしまう為に、日々鋏などで切り揃えるなどのお手入れが大切になります。

くちひげ（髭：**mustache**：ムスタッシュ）３

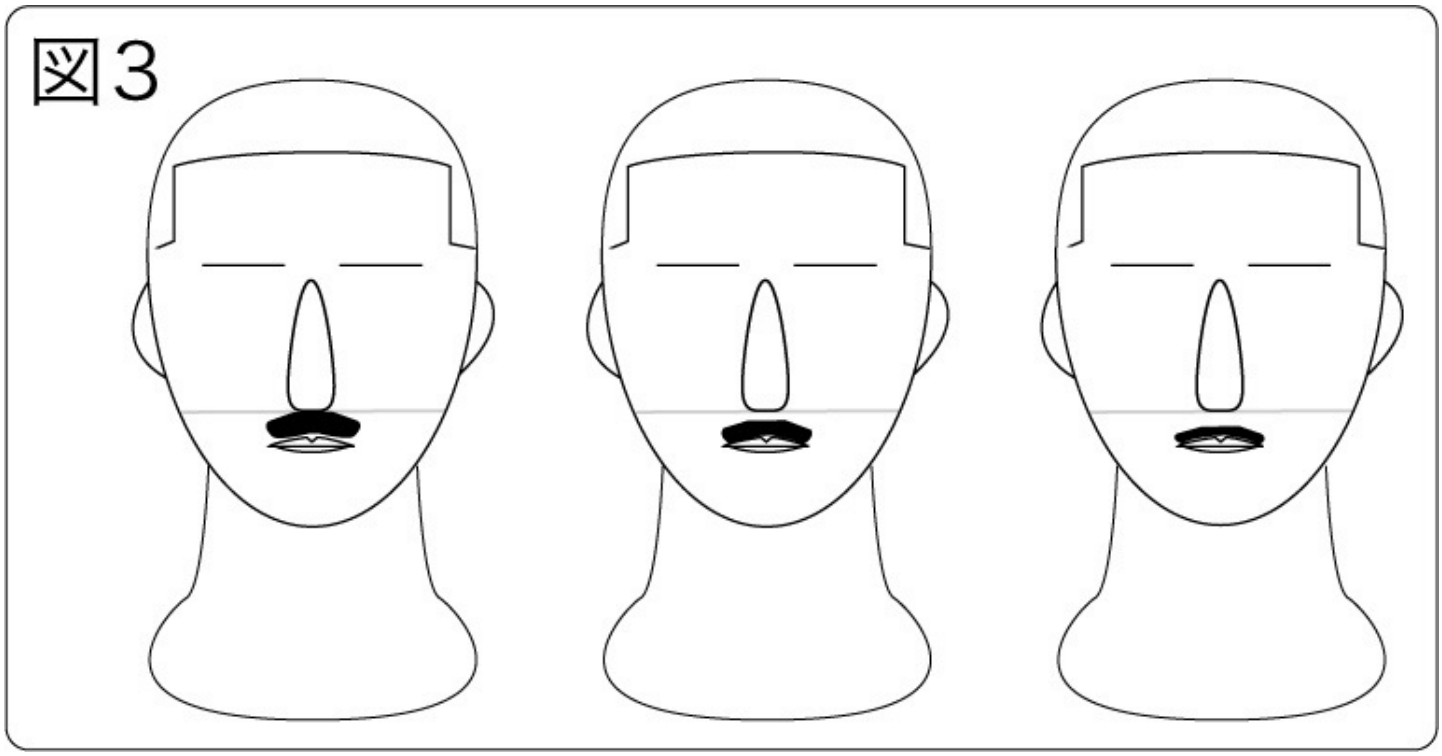
「基本的形状～横幅（図２）」



口ヒゲの横幅による、印象変化です。、図２の左側は口幅よりも短い長さの場合です。口ヒゲは、顔の中心より下にある口ヒゲなので下方向への重心移動があります。口幅よりも短い場合は、デザイン自体に動きが少なくなるために「静」の印象を与えます。鼻の幅程の短さになると、顔全体の印象も「静」の印象を与え、厳格な人柄の印象を与えます。そのような印象が与えるために、社会的な地位などを連想させます。ゆえにそれがマイナスの印象となるような社会的立場の場合は、避けた方が良いデザインかと思われます。中央図は、横幅が口幅と同じ場合です。一般的にはこの長さが基礎的なデザインとなるでしょう。左右の緩やかな落ち込みから、下方向に重心を下げていきます。口ヒゲ本来の重心移動となります。口幅の長さの端は、口角から垂直０度～斜め４５度までが基礎的な口幅と考えます。左図は口幅よりも口ヒゲの横幅が長い場合です。口幅よりも長くなる事により、口ヒゲ本来の下方向への重心移動よりも、横方向への広がりを印象づけます。図のように、口ヒゲの上部ラインがほぼ水平になっている場合は良いのですが、角度がある場合には「への字」がそのまま大きくなり、口角および頬を下に大きく下げてしまいます。その印象は年老いた印象になってしまいますので、注意が必要です。また、長めにすると口の動きと共に口ヒゲが動くために、顔の表情を豊かにします。ただし、オーバーな表現方法になってしまうので、注意が必要です。

くちひげ（髭：**mustache**：ムスタッシュ）４

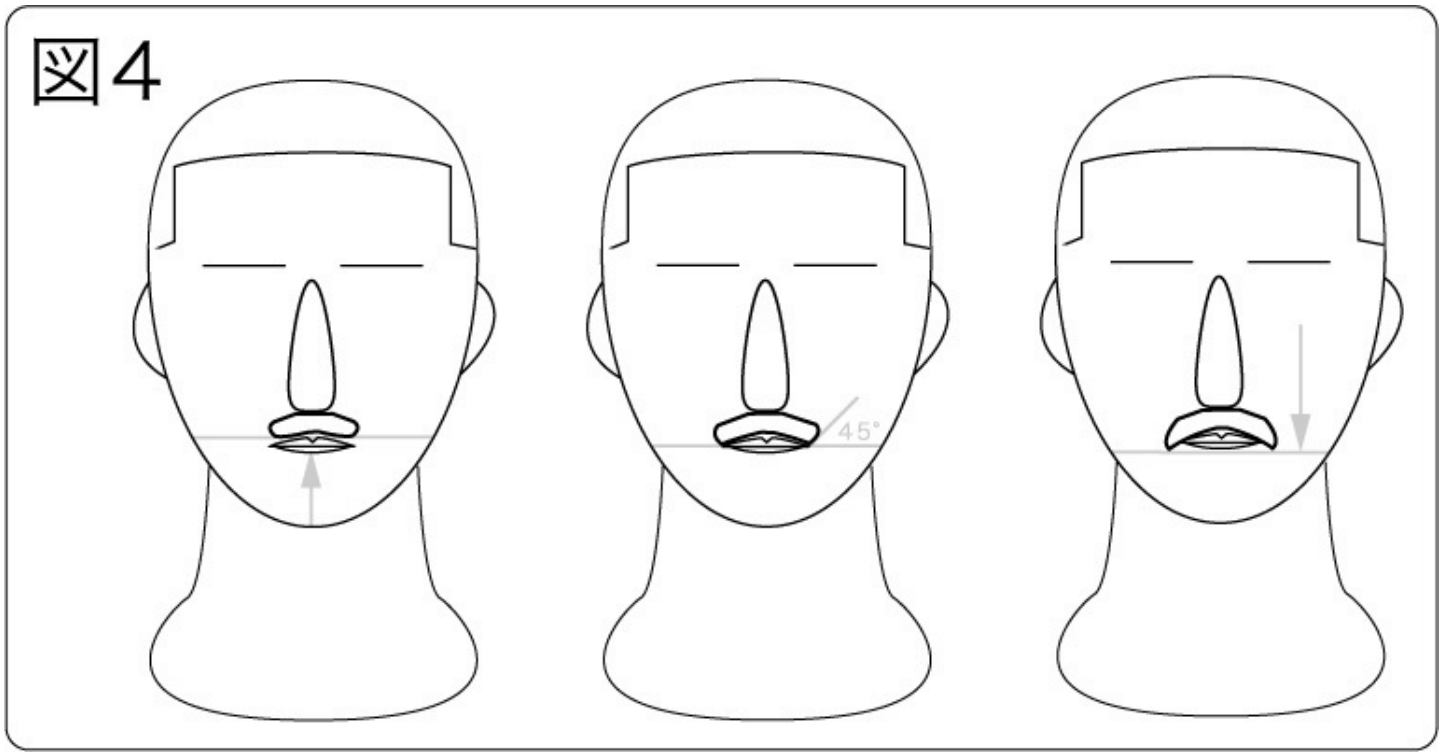
「基本的形状～上部ライン（図３）」



口ヒゲの上部ラインの上下による印象変化です。口ヒゲは元々、下方向への重心移動があります。そこからさらに上部ラインを下げる事により、重心を下に下げる事ができます。図３の左図は標準的に、鼻の下ギリギリに上部ラインがひかれてます。顔の重心を下に下げる・・安定感を求めるという意味での口ヒゲですが、基本的には鼻の下ギリギリが良いと思います。この基本的なライン位置は、口ヒゲが一番太いデザインになります。ゆえに、口ヒゲの印象で唇の太さを細く印象付ける事ができます。中央図は、上部ラインを少し下げた状態です。下げたぶんだけ、顔の重心がさらに下がっております。「への字」の角度がきつく目立ってしまう場合などには、上部を剃り込んで頂点部分をとってしまいます。こうすることにより「への字」の印象を和らげて、口角（口元）を下げてしまうような印象を同じく和らげる事が可能になります。人中（鼻下から上唇まで）の３分の１程迄が、ここのラインと考えます。右図は、上部ラインが人中から３分の２程迄下げたラインになります。かなり顔の重心が下へ移動し、人中の長さが強調されたデザインになります。顔の小さい方には良いかもしれませんが、細顔の方や、人中が長い方などにはお勧めできないデザインになります。ヒゲの厚みは唇よりも薄くなる為に、唇が太く強調される印象になります。中央図のようなヒゲだった方も、手入れの時についつい剃り込んでしまった状態で、右図のようになる場合もあるのでお気をつけ下さい。

くちひげ（髭：**mustache**：ムスタッシュ）５

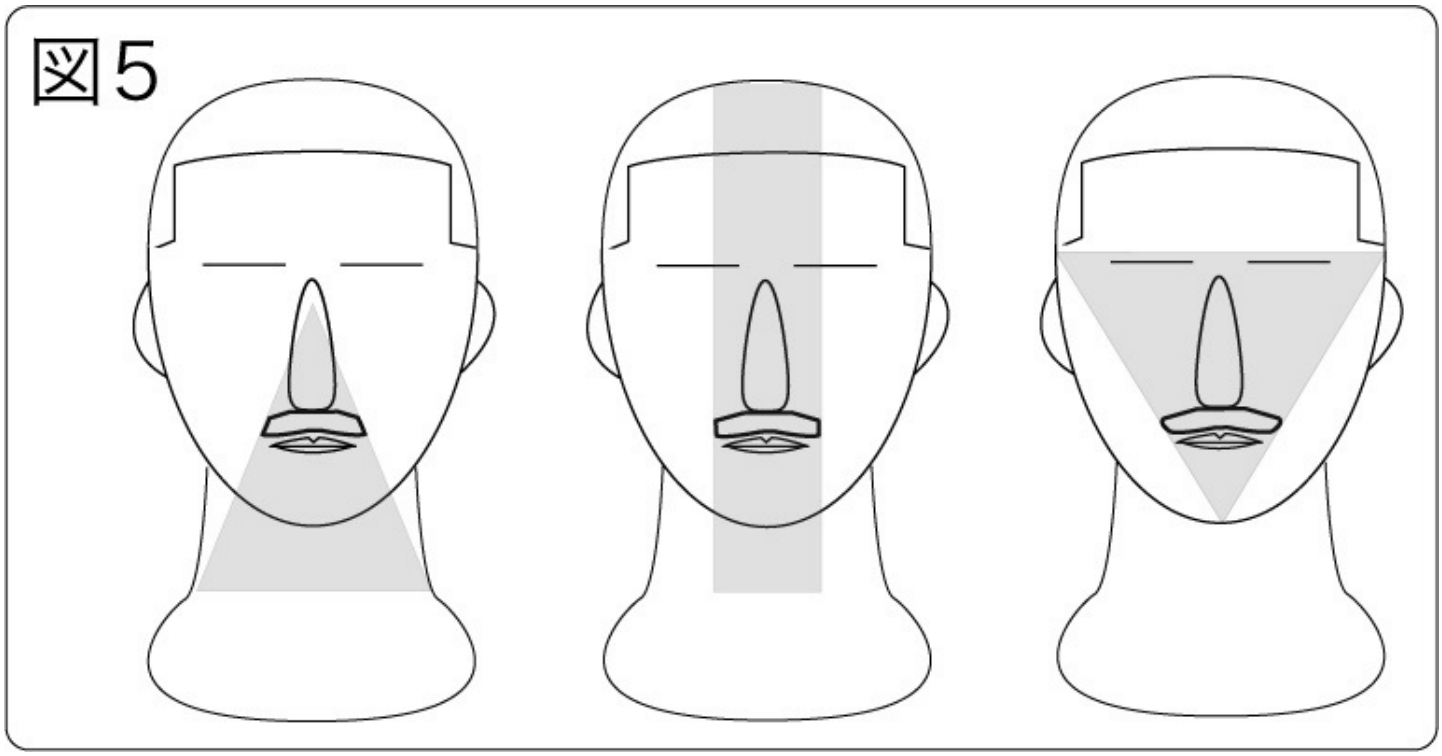
「基本的形状～口角（口元）の長さ（図４）」



口ヒゲが口角（口元）からの長さによる印象変化です。図４の左図は口角よりも短く、上方向に切れ込んでいるデザインになります。口角よりも上に口ヒゲの下部ラインがひかれるので、顎を上に引き上げる印象になります。ただし、顎が長い人の場合などは強調してしまいますので注意をしてください。口角周辺にヒゲがないので、食事の際などにヒゲが汚れる事が避けられるデザインになります。色彩的には、両端から中央へのグラデーションをいれてあげると、顎の印象を和らげつつ、口角周辺を清潔にする事ができます。中央図は、口角と同じ長さの基本的なデザインになります。口角より上４５度の角度までが、この同じ長さという事になります。４５度の角度を漬ける事により口角周りの清潔さを維持しつつ、口元の位置の変化も少ないデザインです。右図は、口角よりも口ヒゲが長くなっている場合になります。比較的、街で多く見かけられるデザインになります。口角を隠してしまうので、口角が下にさがったような印象になります。ゆえに口元が揺るんだ印象になりますので注意が必要です。また食事の際には、どうしても口ヒゲの両端が、汚れやすくなるので極力避けたほうが良いデザインです。

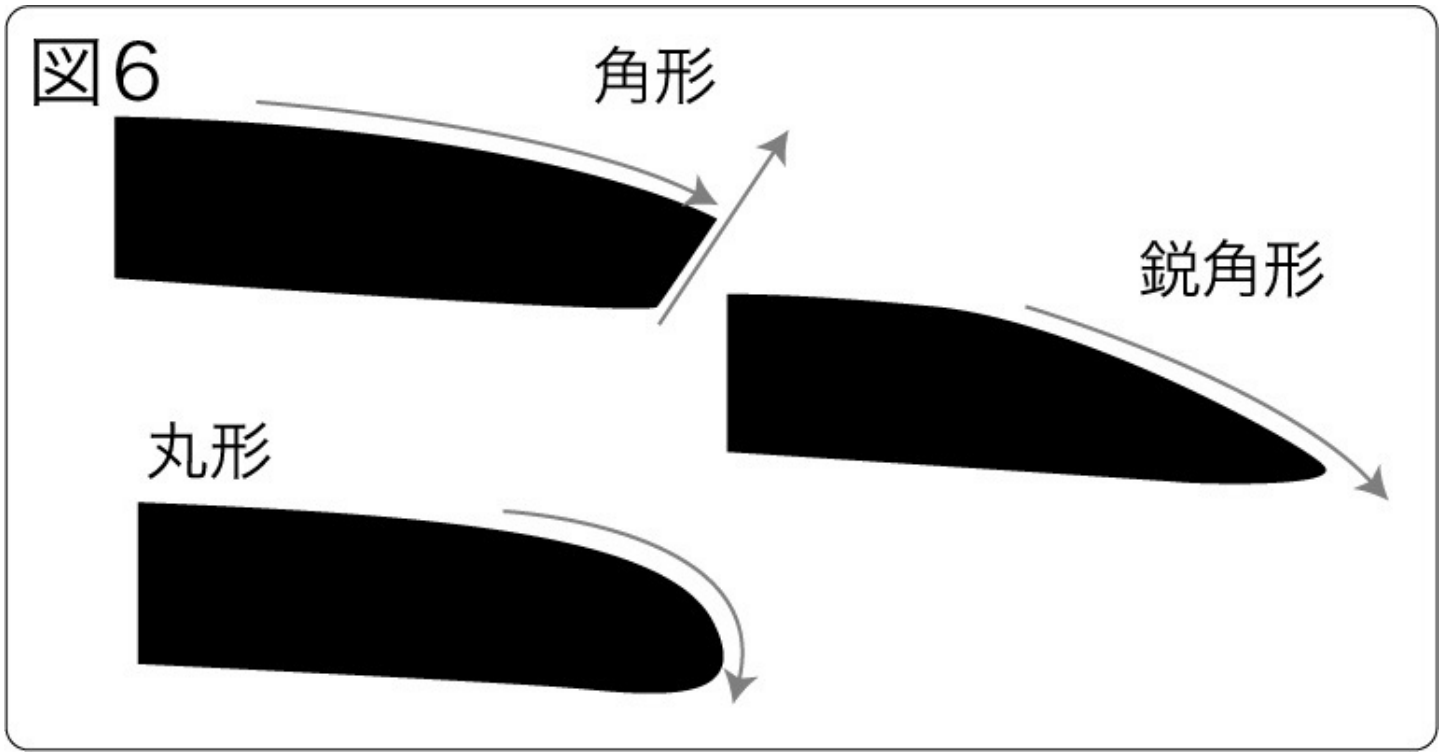
くちひげ（髭：**mustache**：ムスタッシュ）６

「基本的形状～両端ライン変化（図５）」



口ヒゲにおける両端ラインによる顔における印象の変化です。図５左図は両端が下広がりのラインになっております。そのラインの延長から、顔には首にかけての三角形がデザインされます。顔の重心も下方向に移動するので、顎から首がしっかりとした印象を与えます。また口角も下に下げるので、物静かな品格がある印象をもあたえます。顎を大きく印象づけるデザインですので、顎の大きい場合などは避けたほうが良いと思われます。顔上部は三角形頂点と共に、小さく印象づける事ができます。額の大きい（広い）場合などには良いと思われます。中央図は両端がまっすぐ切り揃えられているラインになっております。顔には口ヒゲの横幅とした長方形がデザインされます。縦の高さがあるデザインが、顔中央部が整然とした印象をあたえます。長方形という動きがないデザインから顔の表情を抑えて、厳格な雰囲気をあたえます。横幅が短くなるほど、その雰囲気は強くなります。短くなりすぎてしまいますと、厳格さが強調されてしまいますので注意が必要です。また両端が目の内側（目頭）より内側になりますと、目が離れたような印象をあたえてしまいますので注意してください。右図は両端が上広がりのラインになっております。そのラインの延長から逆三角形デザインになります。口角（口元）は上方向にひきしめられ、顎がひきしまった印象をあたえます。顔上部が大きく、逆三角形のラインは口および顎を小さくデザインされます。ゆえに、口が小さい場合などには注意が必要です。しかし、顎を引き締めるという意味では、小顔効果が大きいので基本的なデザインラインともいえるでしょう。

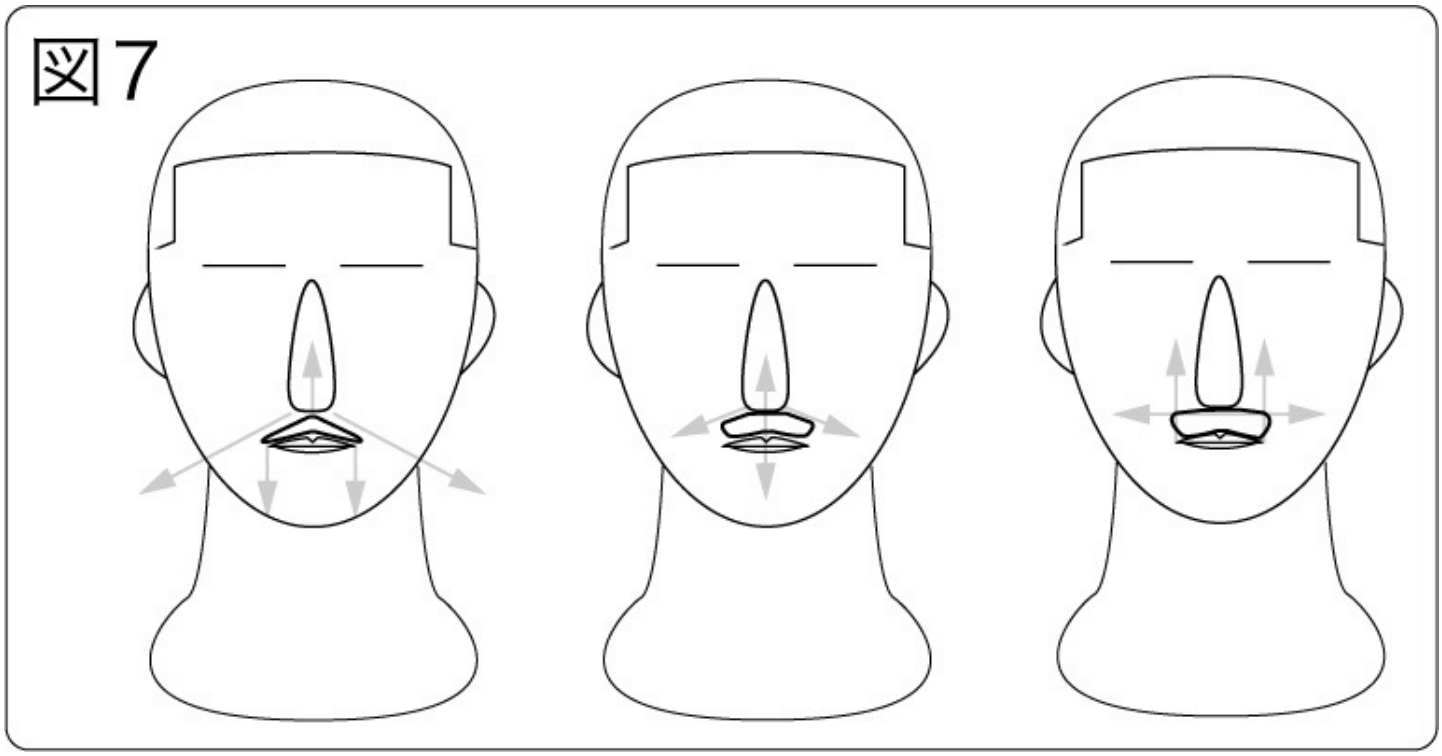
「基本的形状～両端形状変化（図６）」



口ヒゲにおける両端の形状です。「角形」ですが、口ヒゲのエンドラインをばっさりと切り落としたデザインになります。口ヒゲの上部ラインを直線的に切り取る事で、そのラインが持つ印象を弱くします。上部ラインが下がり気味の場合などでは、直線的に切り取る事により下がり気味の印象を打ち消します。直線的に切り取るデザインは、口ヒゲの太さを助長します。また「威厳的な印象」もあたえますので、注意してください。「鋭角形」ですが、これは口ヒゲ上部のラインをそのまま口角方向に伸ばし、口ヒゲ下部のラインと交差させます。口ヒゲの横幅を長く印象づけ、口を大きくみせます。ただし、あまり角度がつきすぎると「への字」形の口ヒゲになってしまうので注意をしてください。口角を鋭角方向により下げてしまうので、表情を弱くして「冷静」もしくは「怒っている」印象を与えます。口ヒゲ上部にヒゲが生えていないために、このようなラインになってしまう場合は、端を「角形」のように直線的に切り取ることで印象を弱くする事ができます。口ヒゲ自体が細くなるので、細顔の形や、痩せている方などは避けた方が良いかと思われます。「丸形」ですが、これは口ヒゲ端を滑らかな曲線でデザインしたものです。滑らかな曲線は、口ヒゲ自体の印象を和らげます。緩やかに端を下方向に下げますが、「鋭角形」ほど強くはありません。口角が少しさがって見えることから「優しい」印象をあたえることができます。ただし、その「優しさ」はある程度「年齢」を重ねての「優しさ」感」であり「温厚さ」の為に、若い方にはお勧めできません。

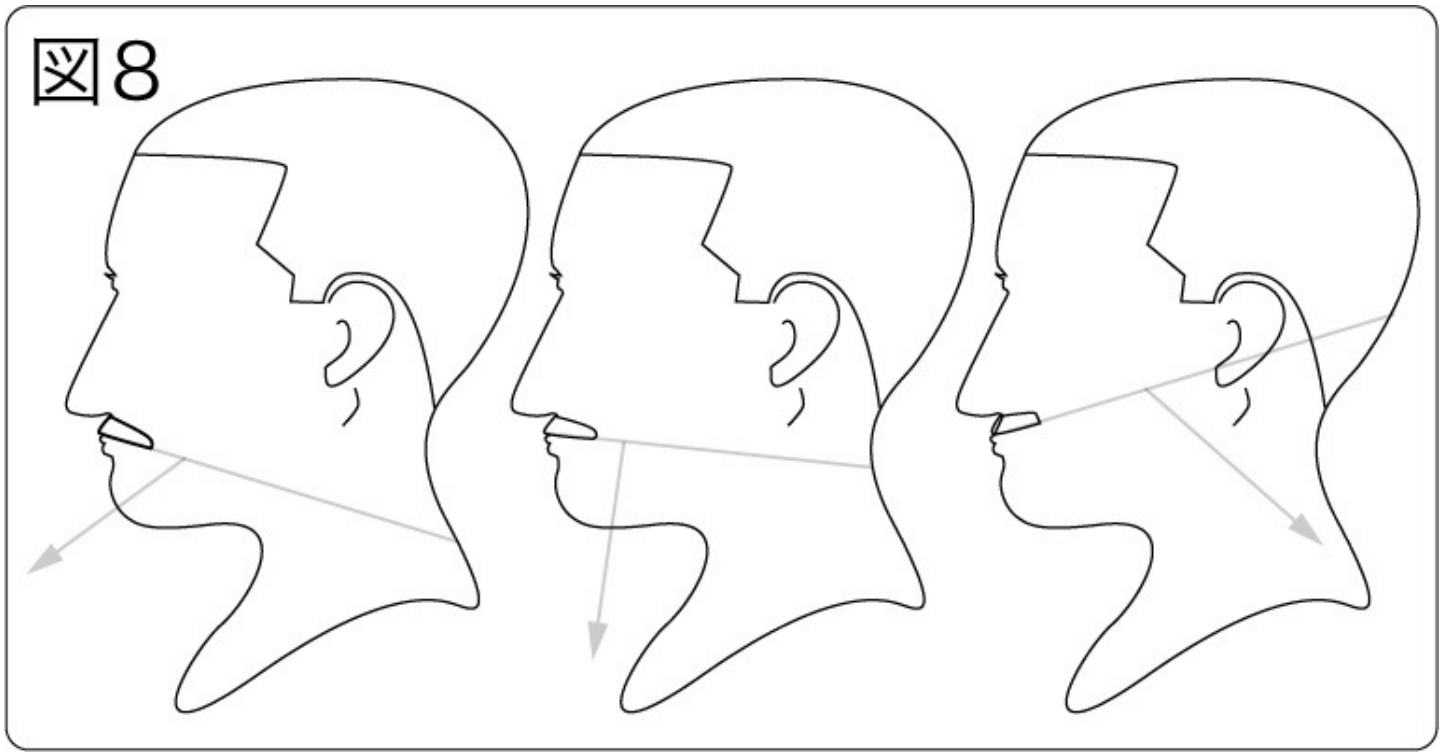
くちひげ（髭：**mustache**：ムスタッシュ）８

「基本的形状～上部ライン角度変化（図７）」



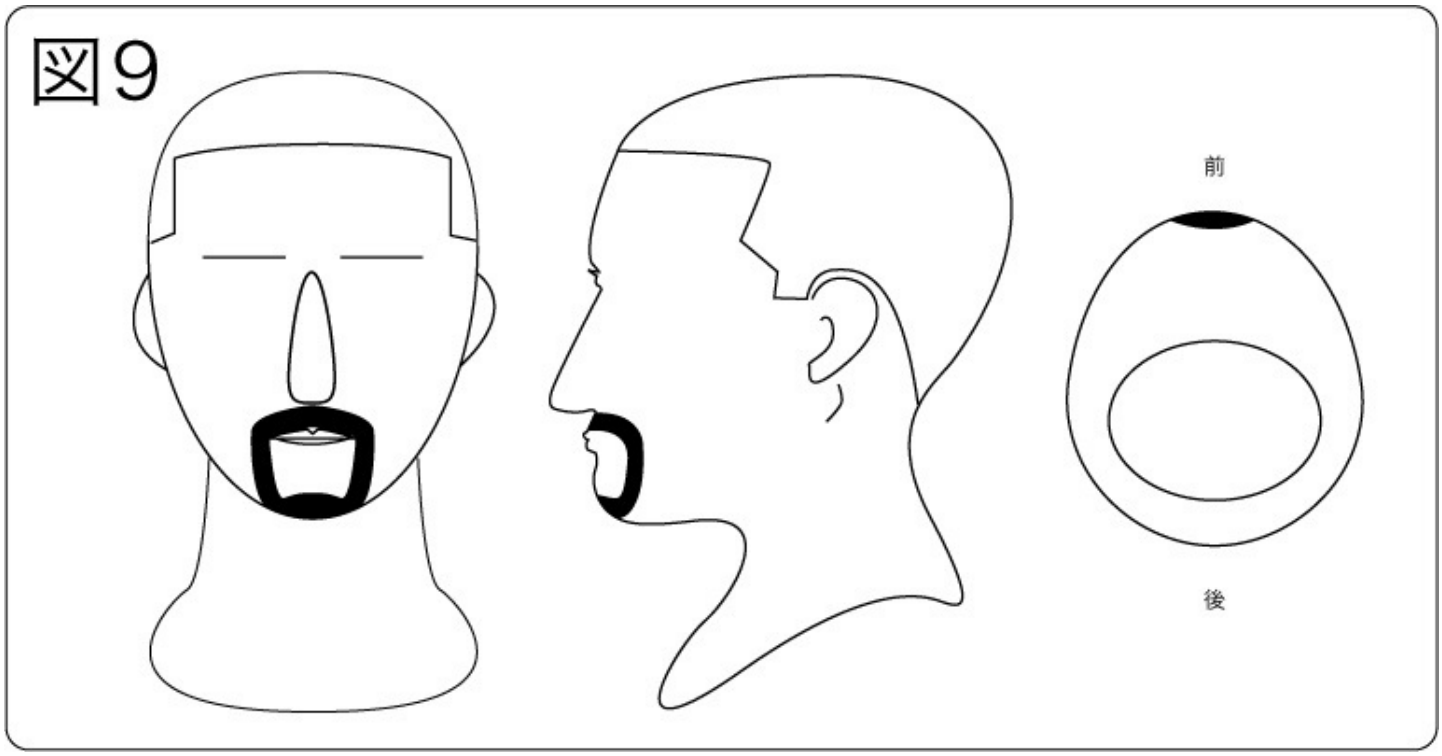
口ヒゲの上部ライン角度によっての印象の変化です。図７左図は「への字」といわれる口角（口音）方向に人中（中央）から急な角度によって結ばれたデザインになります。両辺が下に向いているために口角を下に下げて、人中（中央）を上にあげる三角形デザインをつくりだします。このために「怒っている」ような表情をつくりだしてしまうので、注意が必要です。しかし、ヒゲ自体が白髪になっている場合などでは、その尖ったイメージと色のコントラストが面白いかもしれません。中央図は、上部ラインが緩やかな自然なラインで口角（口元）へ落ちているラインです。基本的なデザインラインともいえます。緩やかに下方向へ重心を落とし、かつ人中（中央）も緩やかに上に引き上げます。このラインの場合は、上部は剃り込んでハッキリとしたラインにしないで「自然なライン形状」のデザインとします。右図は、口ヒゲの上部ラインが真横に伸びた、水平に近いデザインになります。横方向に口角（口元）を伸ばし、口を大きく印象づけます。また口角も上方向に引き上げるために「笑み」と「気品」があるような印象をあたえます。口の大きさを強調したくない場合や、にやけた雰囲気を避けたい場合にはお勧めできません、上部ラインを中央図のような感じに剃り込みましょう。

「基本的形状～下部ライン角度変化（図８）」



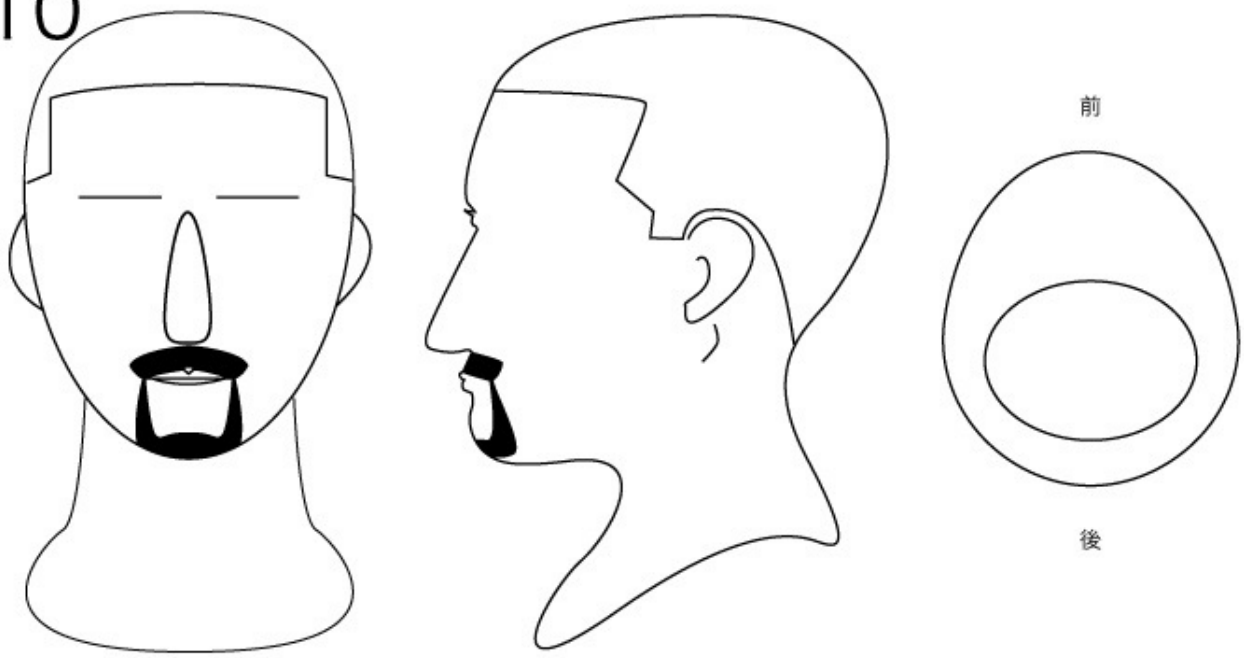
口ヒゲの下部ラインの角度による印象の変化です。基本的に横顔の重心が、ラインによって移動することになります。図８左図は、下部ラインが下方向にかなり下がったデザインになります。口角（口元）よりも口ヒゲ末端が長くなっている方の場合に多くみられます。このラインの場合は後頭部のほうへ重心が下がり、顎が前にでたような感じになります。顎が前にでているような感じになるために、人を威嚇しているような印象をあたえます。また口や顎を突き出した感じになるために、それらを大きく印象づけるデザインでもあります。顎や口の大きい方や、顎がしゃくれている方は避けた方が良いデザインとなります。自然な生えている状態で、このようなラインになってしまう場合は、図２のような感じで短くすると印象を和らげる事ができます。もしくは図６のように両端を角形するのも有効です。下から剃り込んでラインを形成しても良いですが、上唇から離れすぎてしまう事は注意してください。中央図は緩やかに口角（口元）へ下がったラインになります。一般的には唇に合わせるとこのようなラインになるかと思います。緩やかに後頭部のほうへ重心が移動し、自然に顎がでた状態になります。口ヒゲを生やす上で基本的なデザインになると思います。右図は口角（口元）にかけて上がったラインになります。図は極端に上がってますが、人中（中央）上部ラインに比べて同じ高さ、もしくは高い状態になります。口角は上方向に引き上げられ、横顔は顎の方に重心が下がります。その為に顎を引いた印象になり、目も上目遣いのような印象をあたえます。身長が小柄な方の場合は、常に上目目線になりますので避けた方がよいデザインです。

「番外編～口ヒゲ・顎ヒゲ＆角で良く見かける間違ったデザイン（図９・図１０）」



別章の「やってはいけないヒゲ」になるかもしれませんが、最後に口ヒゲと顎ヒゲの組み合わせで、良く見かけるデザインについて述べます。図９左図のように口ヒゲを同じ太さのまま口角（口元）へつないで、顎ヒゲまで同じ太さの角ヒゲでつないでおります。顎ヒゲもその太さのまま少し盛り上がります。中央図は横からみた感じになります。口ヒゲの太さのまま、顎ヒゲまで角でつながっております。右図は、下からも居た図になります。中円は首になますが、顎部分に顎ヒゲが丸く飛び出しているのが判ると思います。この図９のデザインが俗にいう「泥棒ヒゲ」というデザインになります。意外とこのような感じでヒゲを生やしている方を見かけます。ではどうしたらよいのか？答えを下の図１０に乗せましたので比較してください。口ヒゲは口角（口元）４５度で剃り、食事の際などに食べ物がつかないように清潔にしてあります、顎ヒゲは、顎骨から首のヒゲを剃り落し、顎ヒゲから口角（口元）へ伸びる角は、三角にして上方向に引き上げております。これがヒゲのデザインという事です。

図10



男の数ほど
ヒゲの数もある。
ヒゲのデザインパターン集

「ヒゲのデザインパターン集」

ヒゲは「あごひげ（鬚：beard：ビアード）」「ほおひげ（髯：sideburn：サイドバーン）」「くちひげ（mustache、ムスタッシュ）」の三種類のヒゲで構成されております。それぞれの組み合わせでヒゲのデザインはできあがりますが、その組み合わせだけでも想像できません。全ては無理ですが、できるかぎりのパターンを用意しました。

顎角のような単独では生やさないようなヒゲも含まれておりますが、そのヒゲの変化による印象への影響を観てもらうために、あえて含まれております。

まずは、自分の生えている部位のヒゲから探してみるのが良いと思います。そこから、どのヒゲを残し、どのヒゲを剃り落すのかを考えてみると良いと思います。

ヒゲは生えている部位も十人十色です。自分に合わせたパターンがあれば幸いなのですが、参考までに「ヒゲのデザインパターン集」をご覧になってください。

ヒゲのデザインパターン　2

「口ヒゲ～口　：　口ヒゲの厚みによる変化」

標準の厚みです。

ヒゲのデザインパターン　３

「口ヒゲ～口　：　口ヒゲの厚みによる変化」

やや細めです。鼻下の重心が少し下がります。

ヒゲのデザインパターン　４

「口ヒゲ～口　：　口ヒゲの厚みによる変化」

細めです。鼻下の重心が少し下がり、鼻下が長く見えてしまいます。鼻下が長い方は避けたほうが良いでしょう。

ヒゲのデザインパターン　5

「口ヒゲ～口　：　口ヒゲの厚みによる変化」

標準の厚さ～サイドから観た図です。ただ、口髭中央上部から端上部への角度がキツくなると「への字」になってしまうので、その場合は少し細めにすると良いでしょう。

ヒゲのデザインパターン　６

「口ヒゲ～口　：　口ヒゲの厚みによる変化」

やや細め～サイドから観た図です。ヒゲ上部のラインが「への字」になってしまう場合は、このように上部を少し剃ってしまうと良いと思われます。

ヒゲのデザインパターン　7

「口ヒゲ～口　：　口ヒゲの厚みによる変化」

細め～サイドから観た図です。細めの場合は、サイドからみても顔の重心が下に下がるので注意してください。

ヒゲのデザインパターン　８

「口ヒゲ～下唇　：下唇下のヒゲによる印象変化」

標準の厚さの口ヒゲと、標準の長さ（高さ）の唇下ヒゲの組み合わせです。

ヒゲのデザインパターン　９

「口ヒゲ～下唇　：下唇下のヒゲによる印象変化」

標準の厚さの口ヒゲと、やや長め（高さ）の唇下ヒゲの組み合わせです。正中線と鼻筋が印象づけられます。

ヒゲのデザインパターン　１０

「口ヒゲ～下唇　：下唇下のヒゲによる印象変化」

標準の厚さの口ヒゲと、長め（高さ）の唇下ヒゲの組み合わせです。正中線と鼻筋が印象づけられます。ただし顎の長さも強調するのと、顔の重心を下に下げるので注意が必要です。

ヒゲのデザインパターン　１１

「口ヒゲ～下唇　：下唇下のヒゲによる印象変化」

やや細めな厚さの口ヒゲと、標準の長さ（高さ）の唇下ヒゲの組み合わせです。

ヒゲのデザインパターン　１２

「口ヒゲ～下唇　：下唇下のヒゲによる印象変化」

やや細め厚さの口ヒゲと、やや長め（高さ）の唇下ヒゲの組み合わせです。顔の重心が下にさがってます。

ヒゲのデザインパターン　１３

「口ヒゲ～下唇　：下唇下のヒゲによる印象変化」

やや細めな厚さの口ヒゲと、長め（高さ）の唇下ヒゲの組み合わせです。正中線と鼻筋の印象が強くなりますが、顔の重心が下にさがってます。

ヒゲのデザインパターン　１４

「口ヒゲ～下唇　：下唇下のヒゲによる印象変化」

細めな厚さの口ヒゲと、標準の長さ（高さ）の唇下ヒゲの組み合わせです。口ヒゲの印象で、顔の重心が下にさがってます。口の厚みが増したようなデザインになります。唇が厚い人は注意が必要です。

ヒゲのデザインパターン　１５

「口ヒゲ～下唇　：下唇下のヒゲによる印象変化」

細めな厚さの口ヒゲと、やや長め（高さ）の唇下ヒゲの組み合わせです。正中線と鼻筋の印象は強まりますが、口ヒゲの印象と唇下ヒゲの相乗効果で顔の重心が下にさがってます。

ヒゲのデザインパターン　１６

「口ヒゲ～下唇　：下唇下のヒゲによる印象変化」

細めな厚さの口ヒゲと、長め（高さ）の唇下ヒゲの組み合わせです。正中線と鼻筋の印象は強まりますが、口ヒゲの印象と唇下ヒゲの相乗効果で顔の重心が下にさがってます。

ヒゲのデザインパターン　１７

「顎ヒゲ～角（つの）　：角の長さによる印象変化」

顎ヒゲの角、低めの長さです。口と顎の大きさをデザインする事ができます。

ヒゲのデザインパターン　１８

「顎ヒゲ～角（つの）　：角の長さによる印象変化」

顎ヒゲの角、標準（基準）の長さです。口と顎の大きさ、顎の高さをデザインする事ができます。顎の印象が強くなります。

ヒゲのデザインパターン　１９

「顎ヒゲ～角（つの）　：角の長さによる印象変化」

顎ヒゲの角、長めの長さです。口と顎の大きさ、顎の高さをデザインする事ができます。さらに顎の印象と長さが強くなり、口角（口元）の印象も強くなります。

ヒゲのデザインパターン　２０

「顎ヒゲ～角（つの）　：角の長さによる印象変化」

顎ヒゲと顎ヒゲの角、低め（基準）の長さです。顎ヒゲが引き締まり、顎の横幅が大きく印象づけられます。

ヒゲのデザインパターン　２１

「顎ヒゲ～角（つの）　：角の長さによる印象変化」

顎ヒゲと顎ヒゲの角、標準（基準）の長さです。顎ヒゲが上方向に引き締まり、顎の横幅が大きく印象づけられます。

ヒゲのデザインパターン　２２

「顎ヒゲ～角（つの）　：角の長さによる印象変化」

顎ヒゲと顎ヒゲの角、長めの長さです。顎ヒゲが上方向に引き締まり、顎の横幅が大きく印象づけられます。顎が長い場合には注意が必要です。

ヒゲのデザインパターン　２３

「顎ヒゲ～横顎　：横顎ヒゲの厚みにより印象変化」

横からの顎ヒゲ、低めの高さです。顎の大きさをサイドから引き締める感じでデザインできます。

ヒゲのデザインパターン　２４

「顎ヒゲ～横顎　：横顎ヒゲの厚みにより印象変化」

横からの顎ヒゲ、標準の高さです。顎の大きさをサイドから引き締める感じでデザインできます。顎が細い場合には、空白部位を広くとると良いでしょう。

ヒゲのデザインパターン　２５

「顎ヒゲ～横顎　：横顎ヒゲの厚みにより印象変化」

横からの顎ヒゲ、高めの高さです。顎の大きさをサイドからさらに引き締める感じでデザインできます。顎をかなり強調し、頬を凹ませたような印象をデザインします。顔が細い方は避けたほうが良いでしょう。

ヒゲのデザインパターン　２６

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

低め丸型の顎ヒゲです。緩やかに顎を引き締めます。

ヒゲのデザインパターン　２７

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型の顎ヒゲです。緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　２８

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

高めの高さの丸型の顎ヒゲです。緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけますが、顎の大きさも強調します。

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型の顎ヒゲと下唇ヒゲです。緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。
下唇ヒゲが正中線を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　３０

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　３１

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型の顎ヒゲと顎横のヒゲです。緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　３２

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型の顎ヒゲと顎角ヒゲです。緩やかに顎を引き締め、顎の横幅も印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　３３

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型の顎ヒゲと顎角ヒゲ、下唇ヒゲです。緩やかに顎を引き締め、顎の横幅も印象づけます。下唇ヒゲが正中線、鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　３４

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型の顎ヒゲと顎角ヒゲ、横顎ヒゲと下唇ヒゲです。緩やかに顎を引き締め、顎の横幅も大きく印象づけます。下唇ヒゲが正中線、鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　３５

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型の顎ヒゲと顎角ヒゲ、横顎ヒゲです。緩やかに顎を引き締め、顎の横幅も大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　３６

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型と口ヒゲです。丸型の顎ヒゲは緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。口ヒゲと共にしっかりとした印象を与えます。

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型と口ヒゲ、下唇ヒゲです。丸型の顎ヒゲは緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。口ヒゲと共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　３８

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型と口ヒゲ、横顎ヒゲと下唇ヒゲです。丸型の顎ヒゲは緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。横顎ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　３９

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型と口ヒゲ、横顎ヒゲです。丸型の顎ヒゲは緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。横顎ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。

ヒゲのデザインパターン　４０

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型と口ヒゲ、顎角ヒゲです。丸型の顎ヒゲは緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型の顎ヒゲと口ヒゲ、顎角ヒゲと下唇ヒゲです。丸型の顎ヒゲは緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　４２

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型の顎ヒゲと口ヒゲと顎横ヒゲ、顎角ヒゲです。丸型の顎ヒゲは顎横ヒゲと共に緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。

ヒゲのデザインパターン　４３

「顎ヒゲ～丸型（基準）：丸形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸型の顎ヒゲと口ヒゲと顎横ヒゲ、下唇ヒゲと顎角ヒゲです。丸型の顎ヒゲは顎横ヒゲと共に緩やかに顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　４４

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

低め三角形の顎ヒゲです。上方向に顎を引き締めます。

ヒゲのデザインパターン　４５

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲです。上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　４６

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

高めの高さの三角形の顎ヒゲです。上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけますが、顎の大きさも強調します。

顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと下唇ヒゲです。上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　５０

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　５２

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと顎角ヒゲです。上方向に顎を引き締め、顎の横幅も印象づけます。

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと顎角ヒゲ、下唇ヒゲです。上方向に顎を引き締め、顎の横幅も印象づけます。下唇ヒゲが正中線、鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　５４

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと顎角ヒゲ、横顎ヒゲと下唇ヒゲです。上方向に顎を引き締め、顎の横幅も大きく印象づけます。下唇ヒゲが正中線、鼻筋を印象づけます。

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと顎角ヒゲ、横顎ヒゲです。上方向に顎を引き締め、顎の横幅も大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　５６

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形と口ヒゲです。三角形の顎ヒゲは上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。口ヒゲと共にしっかりとした印象を与えます。

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと口ヒゲ、下唇ヒゲです。三角形の顎ヒゲは上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。口ヒゲと共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形と口ヒゲ、横顎ヒゲと下唇ヒゲです。三角形の顎ヒゲは上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。横顎ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形と口ヒゲ、横顎ヒゲです。三角形の顎ヒゲは上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。横顎ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。

ヒゲのデザインパターン　６０

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと口ヒゲ、顎角ヒゲです。三角形の顎ヒゲは上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと口ヒゲ、顎角ヒゲと下唇ヒゲです。三角形の顎ヒゲは上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　６２

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと口ヒゲと顎横ヒゲ、顎角ヒゲです。三角形の顎ヒゲは顎横ヒゲと共に上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。

ヒゲのデザインパターン　６３

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと口ヒゲと顎横ヒゲ、下唇ヒゲと顎角ヒゲです。三角形の顎ヒゲは顎横ヒゲと共に上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　６４

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

低め丸角形の顎ヒゲです。横方向に顎を引き締めます。

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲです。横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　６６

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

高めの高さの丸角形の顎ヒゲです。横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけますが、顎の大きさも強調します。

顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと下唇ヒゲです。横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　７０

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　７２

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと顎角ヒゲです。横方向に顎を引き締め、顎の横幅も印象づけます。

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと顎角ヒゲ、下唇ヒゲです。横方向に顎を引き締め、顎の横幅も印象づけます。下唇ヒゲが正中線、鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　７４

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと顎角ヒゲ、横顎ヒゲと下唇ヒゲです。横方向に顎を引き締め、顎の横幅も大きく印象づけます。下唇ヒゲが正中線、鼻筋を印象づけます。

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと顎角ヒゲ、横顎ヒゲです。横方向に顎を引き締め、顎の横幅も大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　７６

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形と口ヒゲです。丸角形の顎ヒゲは横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。口ヒゲと共にしっかりとした印象を与えます。

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの三角形の顎ヒゲと口ヒゲ、下唇ヒゲです。丸角形の顎ヒゲは横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。口ヒゲと共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形と口ヒゲ、横顎ヒゲと下唇ヒゲです。丸角形の顎ヒゲは横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。横顎ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと口ヒゲ、横顎ヒゲです。丸角形の顎ヒゲは横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。横顎ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。

ヒゲのデザインパターン　８０

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと口ヒゲ、顎角ヒゲです。丸角形の顎ヒゲは横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと口ヒゲ、顎角ヒゲと下唇ヒゲです。丸角形の顎ヒゲは横方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　８２

「顎ヒゲ～三角型：三角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと口ヒゲと顎横ヒゲ、顎角ヒゲです。丸角形の顎ヒゲは横方向、顎横ヒゲは上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。

「顎ヒゲ～丸角型：丸角形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの丸角形の顎ヒゲと口ヒゲと顎横ヒゲ、下唇ヒゲと顎角ヒゲです。丸角形の顎ヒゲは横方向、顎横ヒゲは上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　８４

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

低め凹形の顎ヒゲです。顎の左右を上方向に引き締めます。

ヒゲのデザインパターン　８５

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹角形の顎ヒゲです。顎の左右を上方向に引き締め、顎の高さも印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　８６

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

高めの高さの凹角形の顎ヒゲです。顎の左右を上方向に引き締めて顎の高さも印象づけますが、顎の大きさも強調します。

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹角形の顎ヒゲと下唇ヒゲです。顎の左右を上方向に引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹角形の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。顎の左右を上方向に引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹角形の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。顎の左右を上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　９０

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。顎の左右を上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形の顎ヒゲと下唇ヒゲ、顎横のヒゲです。顎の左右を上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。下唇ヒゲが正中線を印象づけます。顎横ヒゲがあるので、顎が大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　９２

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形の顎ヒゲと顎角ヒゲです。顎の左右を上方向に顎を引き締め、顎の横幅も印象づけます。

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形の顎ヒゲと顎角ヒゲ、下唇ヒゲです。顎の左右を上方向に顎を引き締め、顎の横幅も印象づけます。下唇ヒゲが正中線、鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　９４

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形の顎ヒゲと顎角ヒゲ、横顎ヒゲと下唇ヒゲです。顎の左右を上方向に顎を引き締め、顎の横幅も大きく印象づけます。下唇ヒゲが正中線、鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　９５

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形の顎ヒゲと顎角ヒゲ、横顎ヒゲです。顎の左右を上方向に顎を引き締め、顎の横幅も大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　９６

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形ヒゲと口ヒゲです。顎の左右を上方向に引き締め、顎の高さも印象づけます。口ヒゲと共にしっかりとした印象を与えます。

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形ヒゲの顎ヒゲと口ヒゲ、下唇ヒゲです。顎の左右を上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。口ヒゲと共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　９８

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形ヒゲと口ヒゲ、横顎ヒゲと下唇ヒゲです。顎の左右を上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。横顎ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　９９

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形ヒゲの顎ヒゲと口ヒゲ、横顎ヒゲです。顎の左右を上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。横顎ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。

ヒゲのデザインパターン　１００

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形ヒゲの顎ヒゲと口ヒゲ、顎角ヒゲです。顎の左右を上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。

ヒゲのデザインパターン　１０１

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形ヒゲの顎ヒゲと口ヒゲ、顎角ヒゲと下唇ヒゲです。顎の左右を上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　１０２

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形ヒゲの顎ヒゲと口ヒゲと顎横ヒゲ、顎角ヒゲです。顎の左右を上方向に横方向、顎横ヒゲは上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。

ヒゲのデザインパターン　１０３

「顎ヒゲ～凹型：凹形の顎ヒゲと各部位による印象変化」

標準の高さの凹形ヒゲの顎ヒゲと口ヒゲと顎横ヒゲ、下唇ヒゲと顎角ヒゲです。顎の左右を上方向、顎横ヒゲは上方向に顎を引き締め、顎の高さも印象づけます。顎角ヒゲと口ヒゲ共にしっかりとした印象を与えます。下唇ヒゲは正中線と鼻筋を印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　１０４

「顎ヒゲ～顎横：顎から耳へかけての長さによる印象変化」

細めの顎横のヒゲ、長さは短めです。サイドを少し引き締めます。

ヒゲのデザインパターン　１０５

「顎ヒゲ～顎横：顎から耳へかけての長さによる印象変化」

細めの顎横のヒゲ、長さはやや長めです。サイドを引き締めます。

ヒゲのデザインパターン　１０６

「顎ヒゲ～顎横：顎から耳へかけての長さによる印象変化」

細めの顎横のヒゲ、長さは長めです。サイドを強く引き締めます。

ヒゲのデザインパターン　１０７

「顎ヒゲ～顎横：顎から耳へかけての長さによる印象変化」

標準の太さの顎横のヒゲ、長さは短めです。サイドを少し引き締めます。さらに、顎を大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　１０８

「顎ヒゲ～顎横：顎から耳へかけての長さによる印象変化」

標準の太さの顎横のヒゲ、長さは長めです。サイドを強く引き締めます。

ヒゲのデザインパターン　１０９

「顎ヒゲ～顎横：顎から耳へかけての長さによる印象変化」

やや太めの顎横のヒゲ、長さは短めです。サイドを少し引き締めます。

ヒゲのデザインパターン　１１０

「顎ヒゲ～顎横：顎から耳へかけての長さによる印象変化」

やや太めの顎横のヒゲ、長さはやや長めです。サイドを引き締めます。さらに、顎を大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　１１１

「顎ヒゲ～顎横：顎から耳へかけての長さによる印象変化」

やや太めの顎横のヒゲ、長さは長めです。サイドを強く引き締めます。さらに、顎を大きく印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　１１２

「顎ヒゲ～顎横：顎から耳へかけての長さによる印象変化」

太めの顎横のヒゲ、長さは短めです。サイドを少し引き締めます。口角（口元）にむけて上にも引き上げ、さらに、顎の大きさを強く印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　１１３

「顎ヒゲ～顎横：顎から耳へかけての長さによる印象変化」

太めの顎横のヒゲ、長さはやや長めです。サイドを引き締めます。口角（口元）にむけて上にも引き上げ、さらに、顎の大きさを強く印象づけます。

ヒゲのデザインパターン　１１４

「顎ヒゲ～顎横：顎から耳へかけての長さによる印象変化」

太めの顎横のヒゲ、長さは長めです。サイドを強く引き締めます。口角（口元）にむけて上にも引き上げ、さらに、顎の大きさを強く印象づけます。

「顎ヒゲ～横顎：口ヒゲがある場合の顎横の長さ変化」

標準の太さの顎横のヒゲと口ヒゲの組み合わせです。顎横のヒゲの長さは短めです。サイドを少し引き締めます。

ヒゲのデザインパターン　１１６

「顎ヒゲ～横顎：口ヒゲがある場合の顎横の長さ変化」

標準の太さの顎横のヒゲと口ヒゲの組み合わせです。顎横のヒゲの長さはやや長めです。サイドを引き締めます。

「顎ヒゲ～横顎：口ヒゲがある場合の顎横の長さ変化」

標準の太さの顎横のヒゲと口ヒゲの組み合わせです。顎横のヒゲの長さは長めです。サイドを強く引き締めます。

ヒゲのデザインパターン　１１８

「顎ヒゲ～横顎：頬ヒゲがある場合の顎横の長さ変化」

顎横のヒゲと頬髯の組み合わせです。顎横の長さは短めです。頬髯、顎横からサイドを少し引き締めます。

「顎ヒゲ～横顎：頬ヒゲがある場合の顎横の長さ変化」

顎横のヒゲと頬髯の組み合わせです。顎横の長さはやや長めです。頬ヒゲとの接点へ重心が移動します。

ヒゲのデザインパターン　１２０

「顎ヒゲ～横顎：頬ヒゲがある場合の顎横の長さ変化」

顎横のヒゲと頬髯の組み合わせです。顎横の長さは長めです。頬髯と頬と顎がつながり、さらに頬ヒゲ側に重心が移動していきます。

「顎ヒゲ～横顎：頬ヒゲと角がある場合の顎横の長さ変化」

横顎と角の組み合わせに、頬髯です。横顎は短めの長さです。角と、頬ヒゲがあるので横顔の印象が上方向に引き締まってきます。

ヒゲのデザインパターン　１２２

「顎ヒゲ～横顎：頬ヒゲと角がある場合の顎横の長さ変化」

横顎と角の組み合わせに、頬髯です。横顎はやや長めの長さです。角と、頬ヒゲがあるので横顔の印象が上方向に引き締まり、横顎と頬髯が重なる部位へも重心が移動します。

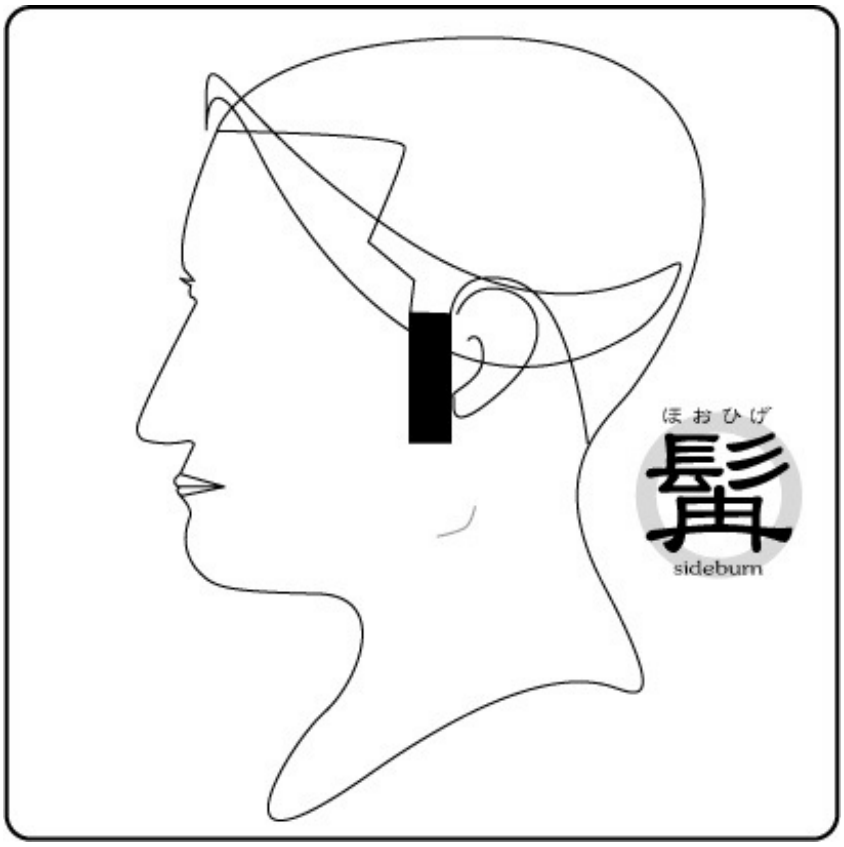
ヒゲのデザインパターン　１２３

「顎ヒゲ～横顎：頬ヒゲと角がある場合の顎横の長さ変化」

横顎と角の組み合わせに、頬髯です。横顎は長めの長さです。角と、頬ヒゲがあるので横顔の印象が上方向に引き締まります。さらに横顎と頬髯が重なったために、後方に重心が移動します。

ヒゲのデザインパターン　１２４

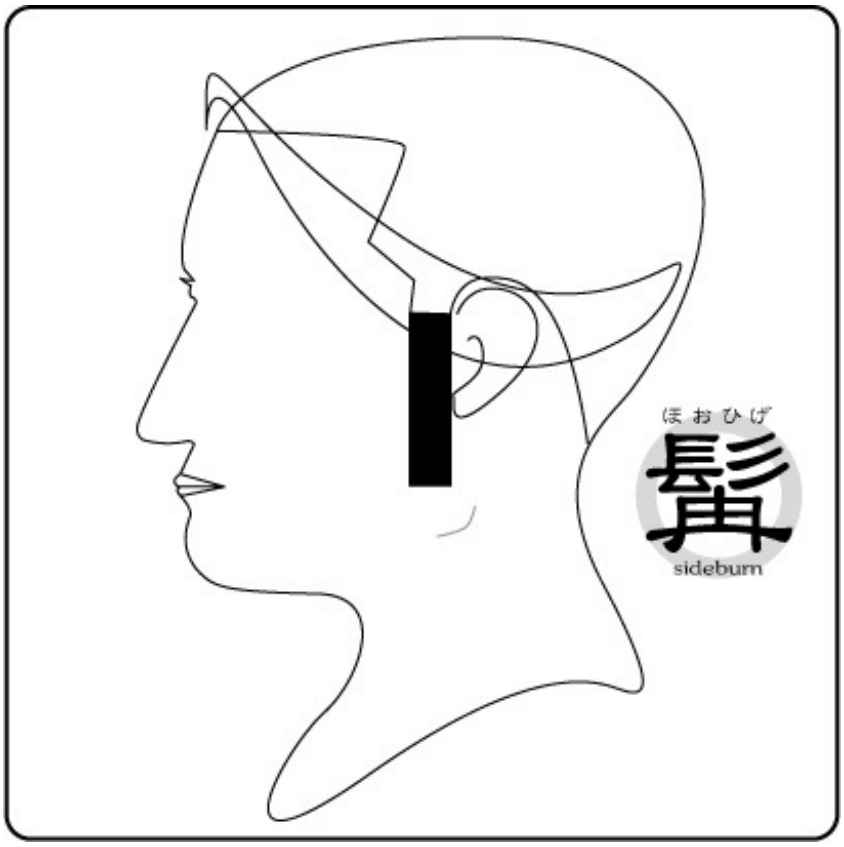
「頬ヒゲ：頬ヒゲの長さ＆形状変化」



標準の長さとなる頬ヒゲです。もみあげの長めな感じです。

ヒゲのデザインパターン　１２５

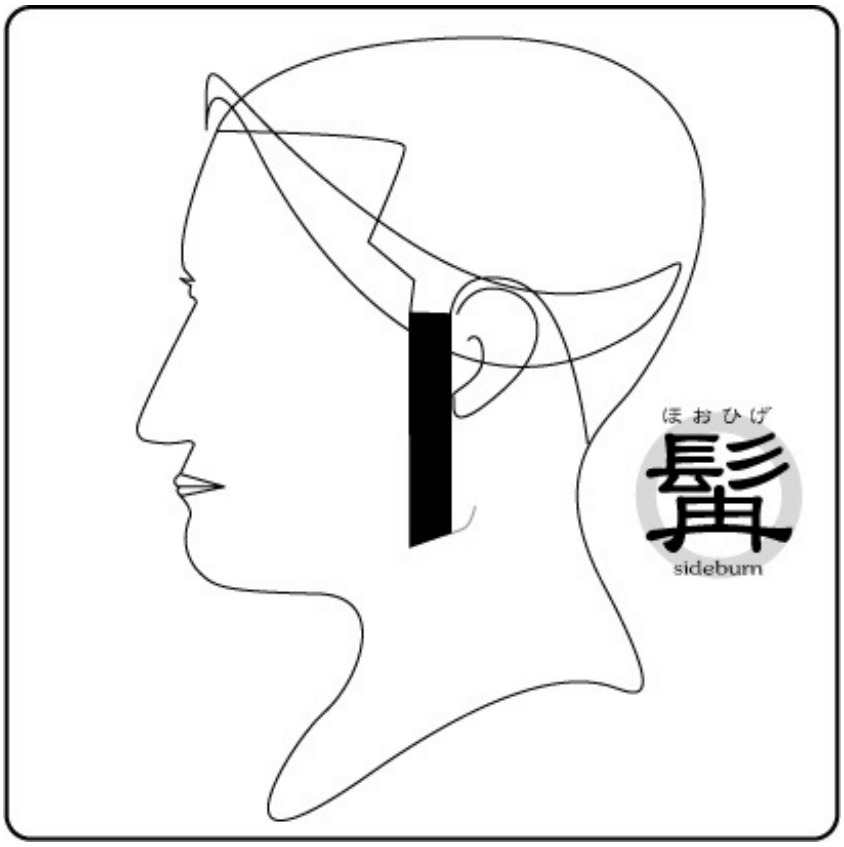
「頬ヒゲ：頬ヒゲの長さ＆形状変化」



やや長めの長さとなる頬ヒゲです。重心が中心より少し下に移動します。

ヒゲのデザインパターン　１２６

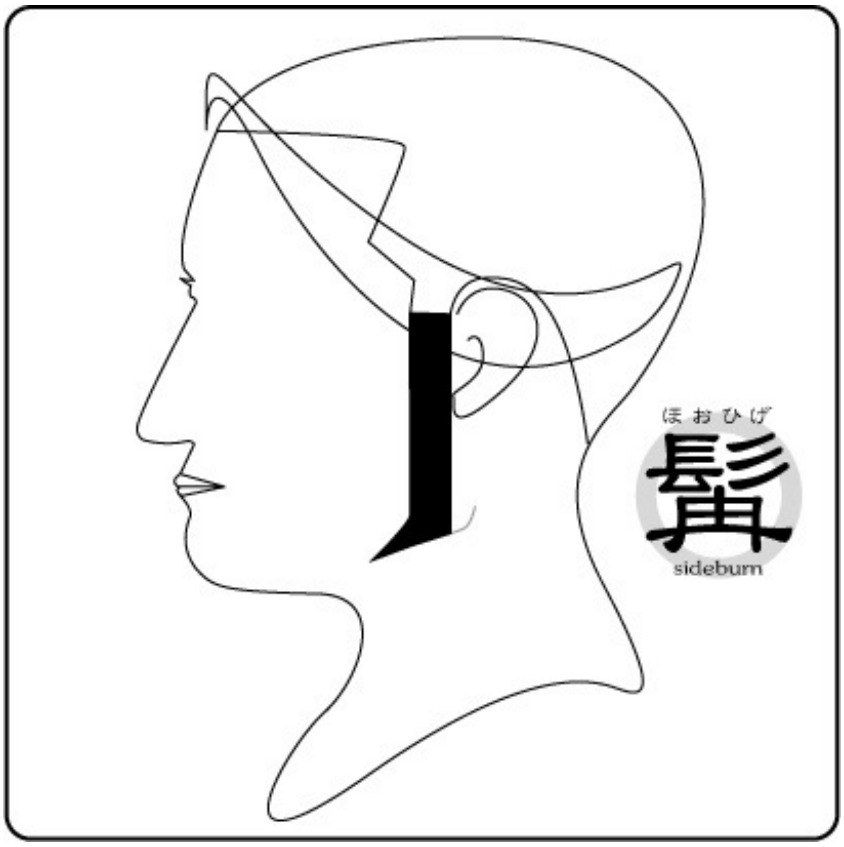
「頬ヒゲ：頬ヒゲの長さ＆形状変化」



長めの長さとなる頬ヒゲです。顎の下まで長さがあるので、重心が下に移動します。顔の長さが強調されます。

ヒゲのデザインパターン　１２７

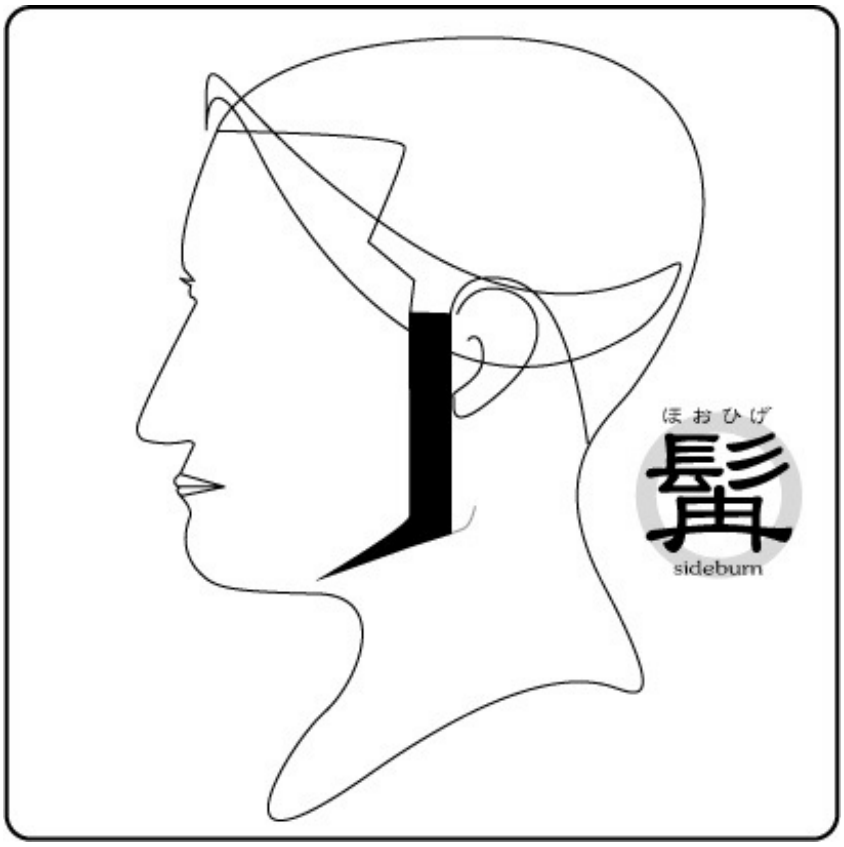
「頬ヒゲ：頬ヒゲの長さ＆形状変化」



長めの長さとなる頬ヒゲです。顎の下まで長さがあるので、重心が下に移動して顔の長さが強調されます。顎方向に頬髯が少し伸びていきますので、前方向に重心が移動します。

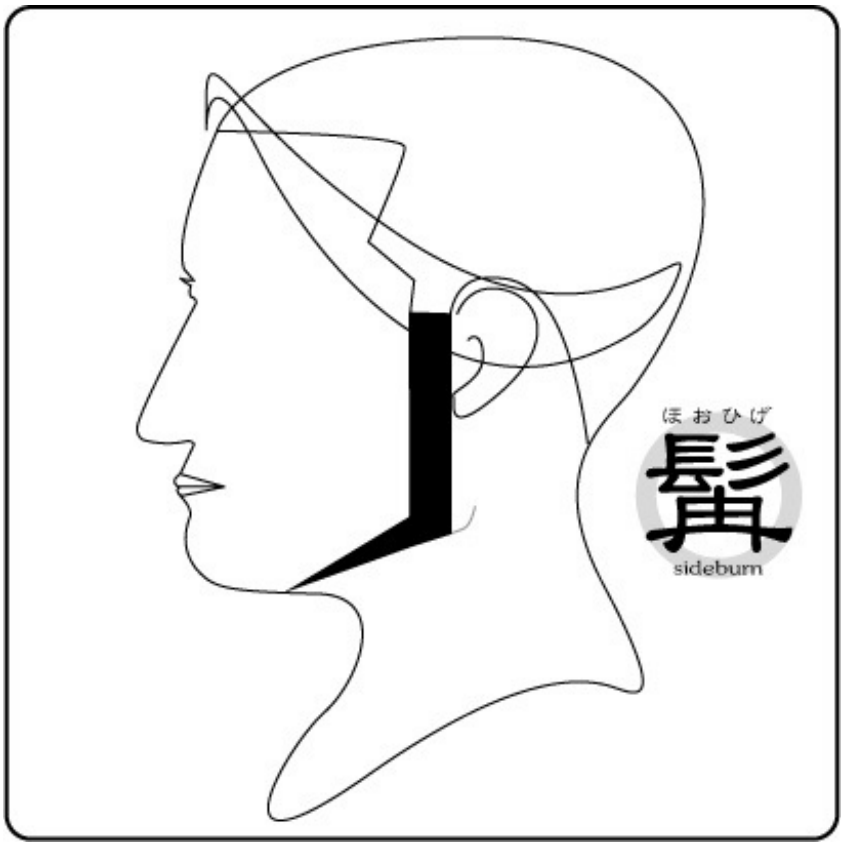
ヒゲのデザインパターン　１２８

「頬ヒゲ：頬ヒゲの長さ＆形状変化」



長めの長さとなる頬ヒゲです。顎の下まで長さがあるので、重心が下に移動して顔の長さが強調されます。顎方向に頬髯が伸びていきますので、さらに前方向に重心が移動します。

「頬ヒゲ：頬ヒゲの長さ＆形状変化」



長めの長さとなる頬ヒゲです。顎の下まで長さがあるので、重心が下に移動して顔の長さが強調されます。顎まで頬髯が伸びているので、前方向に重心が移動し、顔が前下がりの印象になります。

ヒゲのデザインパターン　１３０

「頬ヒゲがある場合の頬ヒゲの長さ変化」

横方向、短めの長さとなる頬ヒゲです。顎の下まで長さがあるので、重心が下に移動して顔の長さが強調されます。顎ヒゲがある方向に頬髯が少し伸びていきます。無い場合と比べ、より前方向に重心が移動します。

ヒゲのデザインパターン　１３１

「頬ヒゲがある場合の頬ヒゲの長さ変化」

横方向、少し長めの長さとなる頬ヒゲです。顎の下まで長さがあるので、重心が下に移動して顔の長さが強調されます。顎ヒゲがある方向に頬髯が少し伸びていきます。無い場合と比べ、より前方向に重心が移動します。

ヒゲのデザインパターン　１３２

「頬ヒゲがある場合の頬ヒゲの長さ変化」

横方向、長めの長さとなる頬ヒゲです。顎の下まで長さがあるので、重心が下に移動して顔の長さが強調されます。顎ヒゲがある方向に頬髯が少し伸びていきます。無い場合と比べ、より前方向に重心が移動します。長めになるほど、横顔を横顎を引き締めます。

ヒゲのデザインパターン　１３３

「口ヒゲと頬ヒゲがある場合の頬ヒゲの長さ変化」

横顎、短めの長さとなる頬ヒゲです。顎の下まで長さがあり口ヒゲと合わせ、重心が下に移動して顔の長さが強調されます。顎ヒゲがある方向に頬髯が少し伸びていきます。無い場合と比べ、より前方向に重心が移動します。

ヒゲのデザインパターン　１３４

「口ヒゲと頬ヒゲがある場合の頬ヒゲの長さ変化」

横顎、長めの長さとなる頬ヒゲです。顎の下まで長さがあるので、口ヒゲと共に重心が下に移動して顔の長さが強調されます。顎ヒゲがある方向に頬髯が少し伸びていきます。無い場合と比べ、より前方向に重心が移動します。

「口ヒゲと頬ヒゲ＋角がある場合の頬ヒゲの長さ変化」

横顎、短めの長さとなる頬ヒゲです。顎の下まで長さがあるので、口ヒゲと共に重心が下に移動して顔の長さが強調されますが、角が上方向に出ているために長い印象は和らぎます。顎ヒゲがある方向に頬髯が少し伸びていきますが、無い場合と比べて前方向に重心が移動します。顔の奥行きは、角がある為に短い印象になります。

ヒゲのデザインパターン　１３６

「口ヒゲと頬ヒゲ＋角がある場合の頬ヒゲの長さ変化」

横顎、やや長めの長さとなる頬ヒゲです。顎の下まで長さがあるので、口ヒゲと共に重心が下に移動して顔の長さが強調されますが、角が上方向に出ているために長い印象は和らぎます。顎ヒゲがある方向に頬髯がさらに伸びていきますが、無い場合と比べて前方向に重心が移動します。顔の奥行きは、角がある為に短い印象になります。

「口ヒゲと頬ヒゲ＋角がある場合の頬ヒゲの長さ変化」

横顎、長めの長さとなる頬ヒゲです。顎の下まで長さがあるので、口ヒゲと共に重心が下に移動して顔の長さが強調されますが、角が上方向に出ているために長い印象は和らぎます。顎ヒゲがある方向に頬髯が伸びてつながっておりますが、さらに前方向に重心が移動します。顔の奥行きは、角がある為に短い印象になります。

「顎ヒゲ～横顎：頬ヒゲ＋角がある場合の顎横の長さ変化」

横顎は短めの長さ、頬ヒゲも短めです。顎の下まで長さがあるので、重心が下に移動して顔の長さが強調されますが、角が上方向に出ているために長い印象は和らぎます。顎ヒゲがある方向に頬髯が少し伸びていきますが、無い場合と比べ前方向に重心が移動します。顔の奥行きは、角がある為に短い印象になります。

「顎ヒゲ～横顎：頬ヒゲ＋角がある場合の顎横の長さ変化」

横顎はやや長めの長さ、頬ヒゲは短めです。顎の下まで長さがあるので、重心が下に移動して顔の長さが強調されますが、角が上方向に出ているために長い印象は和らぎます。顎ヒゲがある方向に頬髯に伸びていきますが、無い場合と比べ前方向に重心が移動します。顔の奥行きは、角がある為に短い印象になります。

ヒゲのデザインパターン　１４０

「顎ヒゲ～横顎：頬ヒゲ＋角がある場合の顎横の長さ変化」

横顎は長めの長さ、頬ヒゲは短めです。顎の下まで長さがあるので、重心が下に移動して顔の長さが強調されますが、角が上方向に出ているために長い印象は和らぎます。顎ヒゲがある方向に頬髯に伸びてつながってますが、無い場合と比べ前方向に重心が移動します。顔の奥行きは、角がある為に短い印象になります。

「顎ヒゲ～横顎：頬ヒゲ＋角がある場合の顎横の長さ変化」

横顎は長めの長さ、頬ヒゲは短めです。顎の下まで長さがあるので、重心が下に移動して顔の長さが強調されますが、角が上方向に出ているために長い印象は和らぎます。顎ヒゲがある方向に頬髯に伸びてつながってますが、無い場合と比べ前方向に重心が移動します。顔の奥行きは、角がある為に短い印象になります。

古きゃいいもんじゃないけど
古くても良いヒゲはあるんです。
classical ヒゲデザイン

classicalヒゲデザイン　1

「まずは古典的ヒゲデザインから基本を学べ！」

様々なヒゲデザインがありますが、その中から選んだのが「古典的ヒゲデザインカタログ」現代の社会ではなかなか厳しいデザインも多く、デザイン通りにヒゲが生え揃っているとは限らない・・しかし、ヒゲの生え方は十人十色でも、そのデザインからは何かヒントが得られるはず。

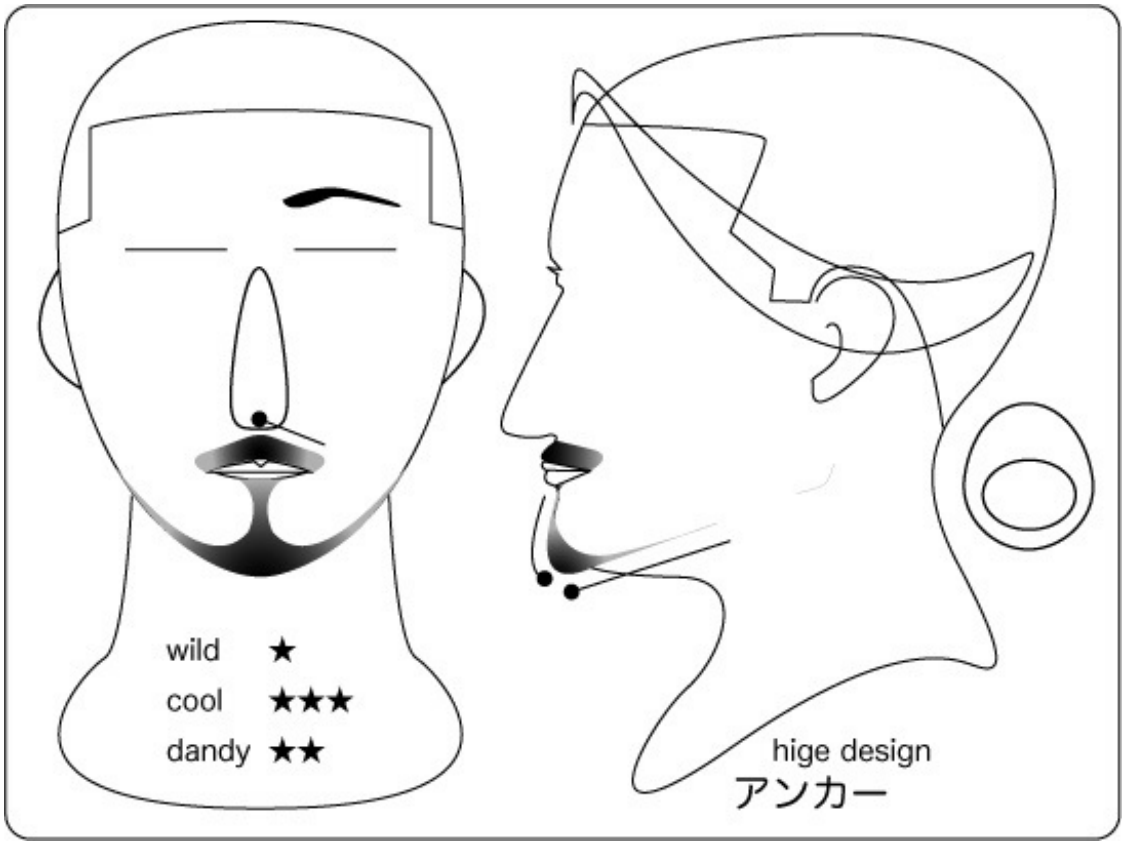
２０種類のデザインには独断でつけた「wild」野性的「cool」都会的な格好良さ「dandy」大人的魅力を、それぞれ星で採点。またヒゲにおける長さの変化も色彩の変化と変化線（丸側長い＞短い）で表記してます。また、従来のデザインに、「ヒゲデザイン論」を加えてあります。

古典的とは言っても、ヒゲのデザインでは「王道」というべきスタイルです。それぞれのヒゲデザインをする際の参考にしてください。

注意：各デザインに丸がついた線が描かれております。丸にかけてヒゲの長さが長くなる、および色彩が濃くなる事を意味しております。

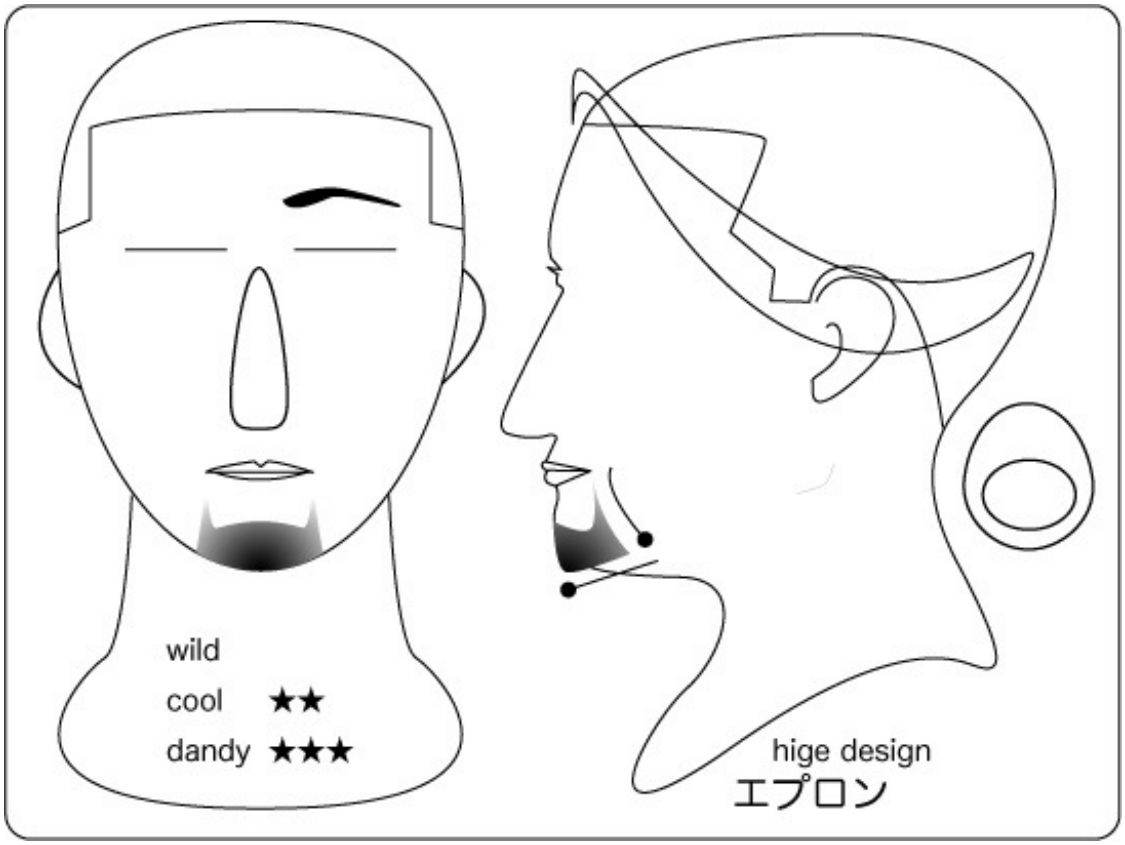
---

classicalヒゲデザイン　2



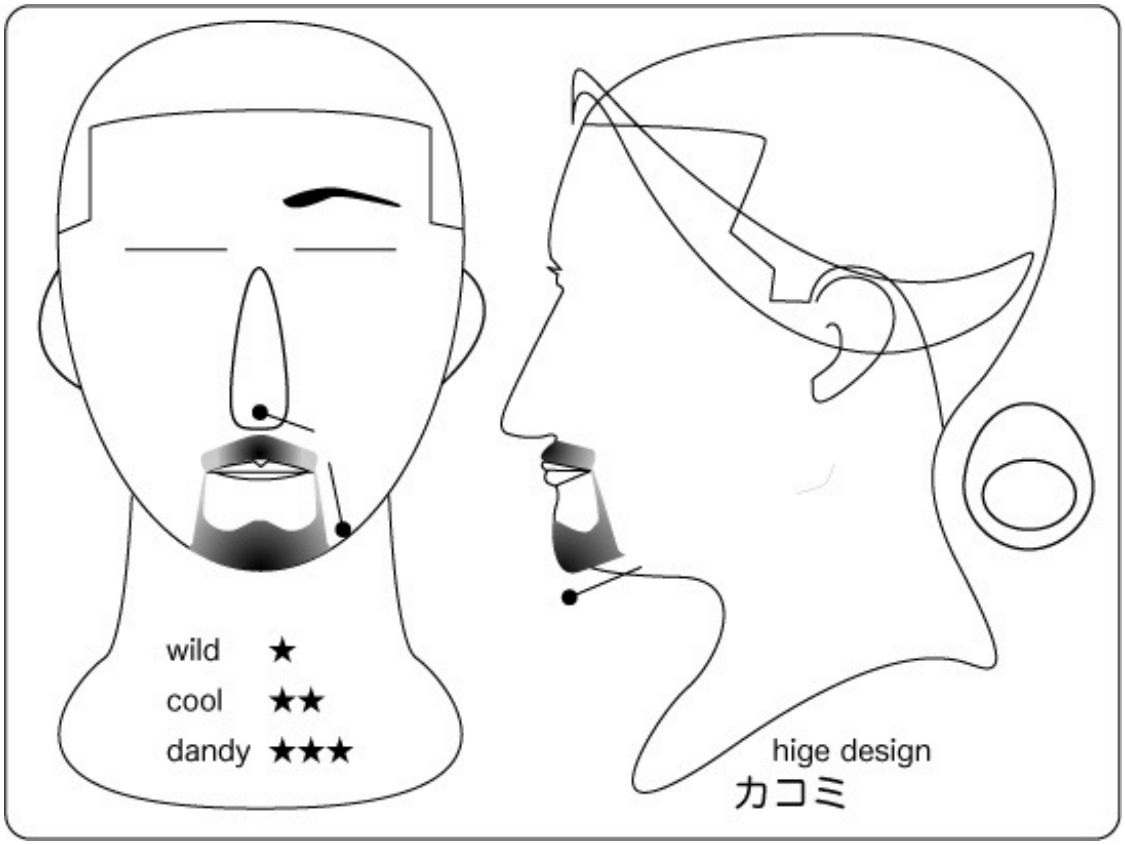
アンカー：男臭いワイルドな感じを残しつつも、サイドのグラデーションが洗練された雰囲気を演出します。口ヒゲの太さで、紳士的な雰囲気もアリの大人のヒゲデザイン。

classicalヒゲデザイン　3



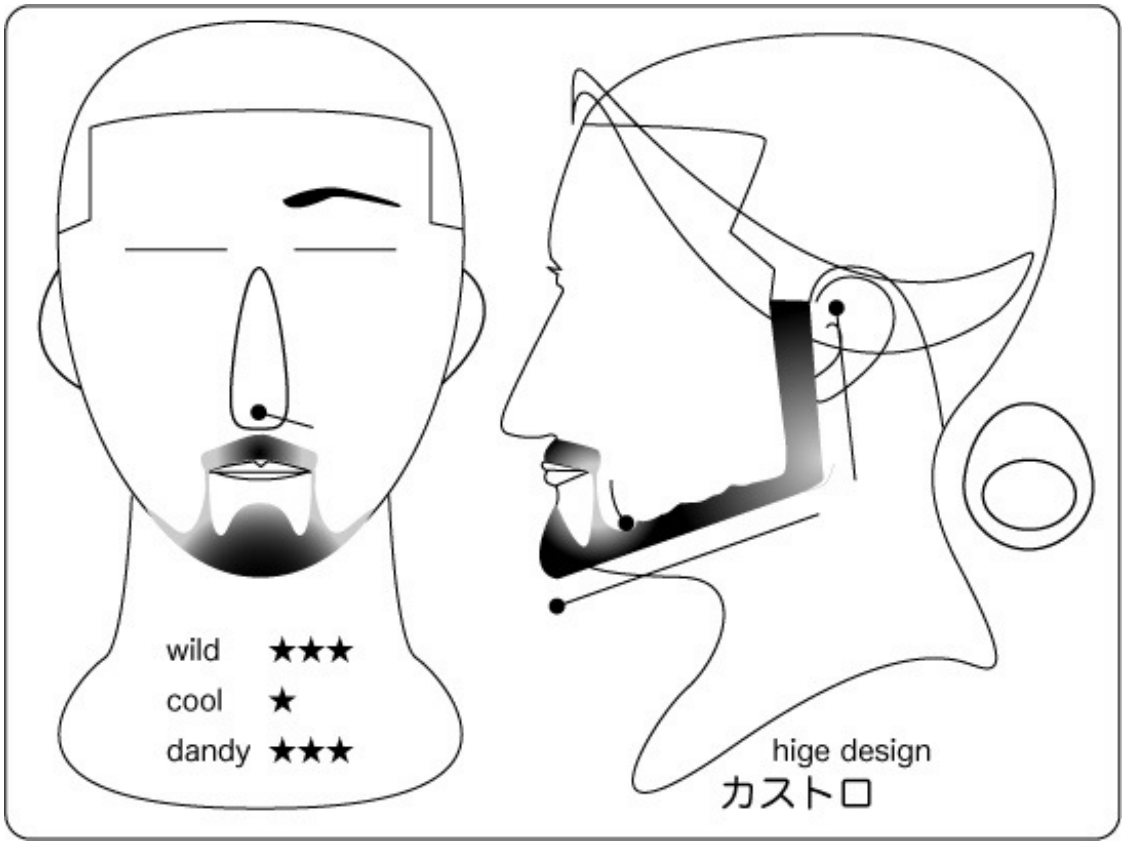
エプロン：ビジネスの場でも対応できる、大人のヒゲスタイル。顎鬚から伸びる左右の角のグラデーションが洗練された雰囲気をデザインします。

classicalヒゲデザイン　４



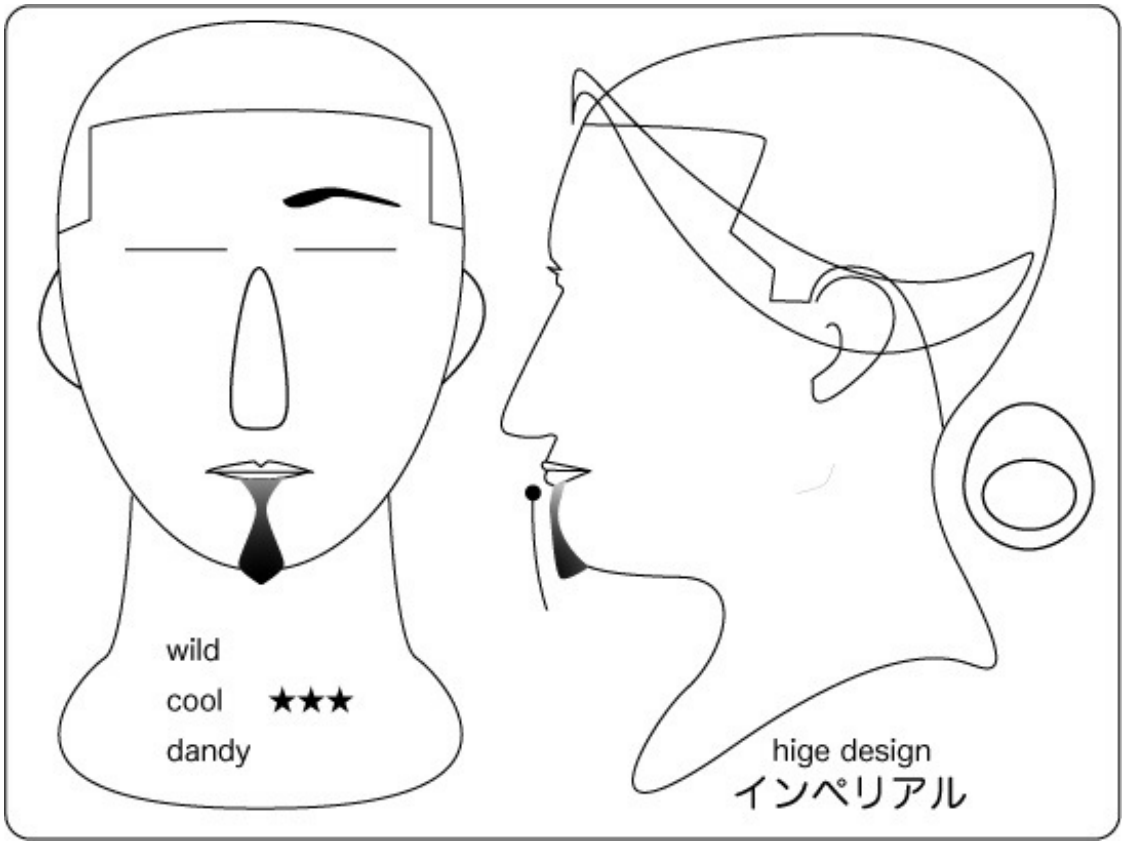
カコミ：アンカーに対して、口ヒゲがあるぶん男臭さが印象づく。また顎鬚左右の角の長さもあるので、さらに大人の雰囲気が濃くなります。個性的なビジネスの場に向いております。

classicalヒゲデザイン　5



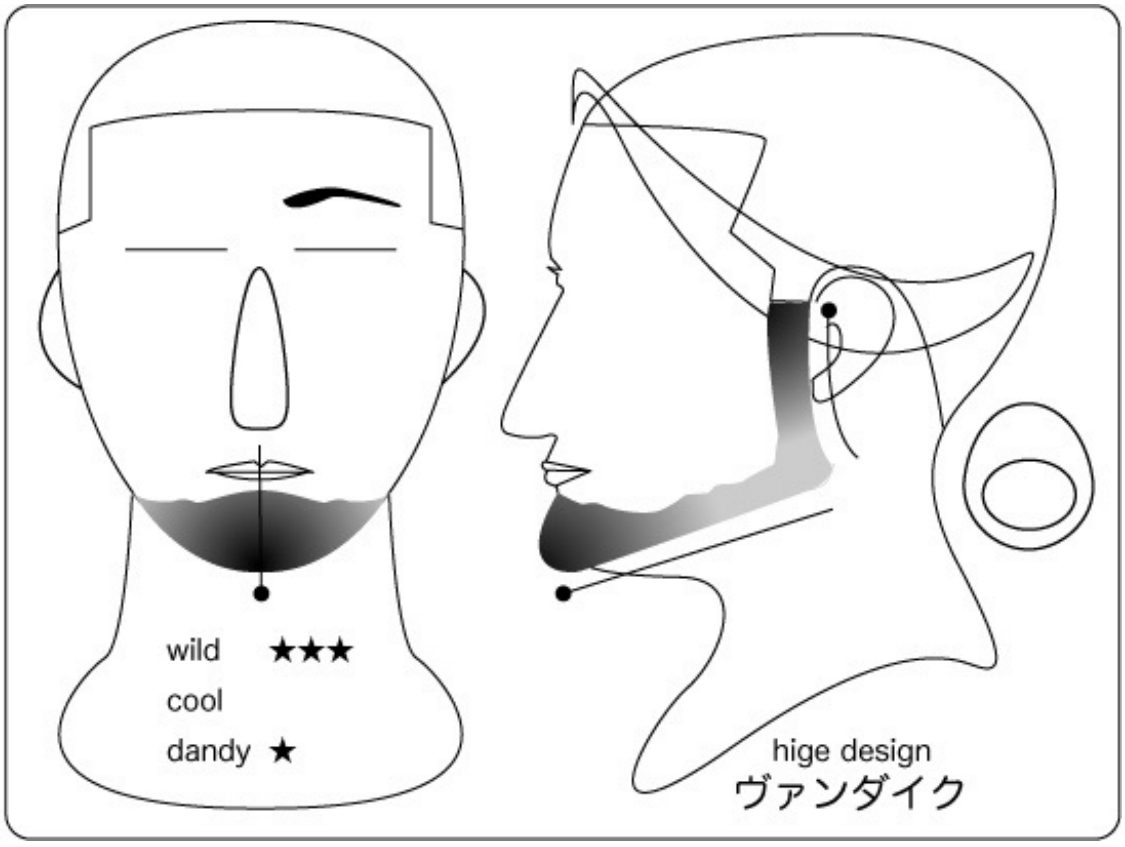
カストロ：まさに男臭さと、大人の雰囲気の絶妙なバランスなデザイン。クールな雰囲気を出すには、ただ生やすだけじゃ駄目。色彩のグラデーションをつけると、そこに洗練された大人のデザインが生まれます。

classicalヒゲデザイン　６



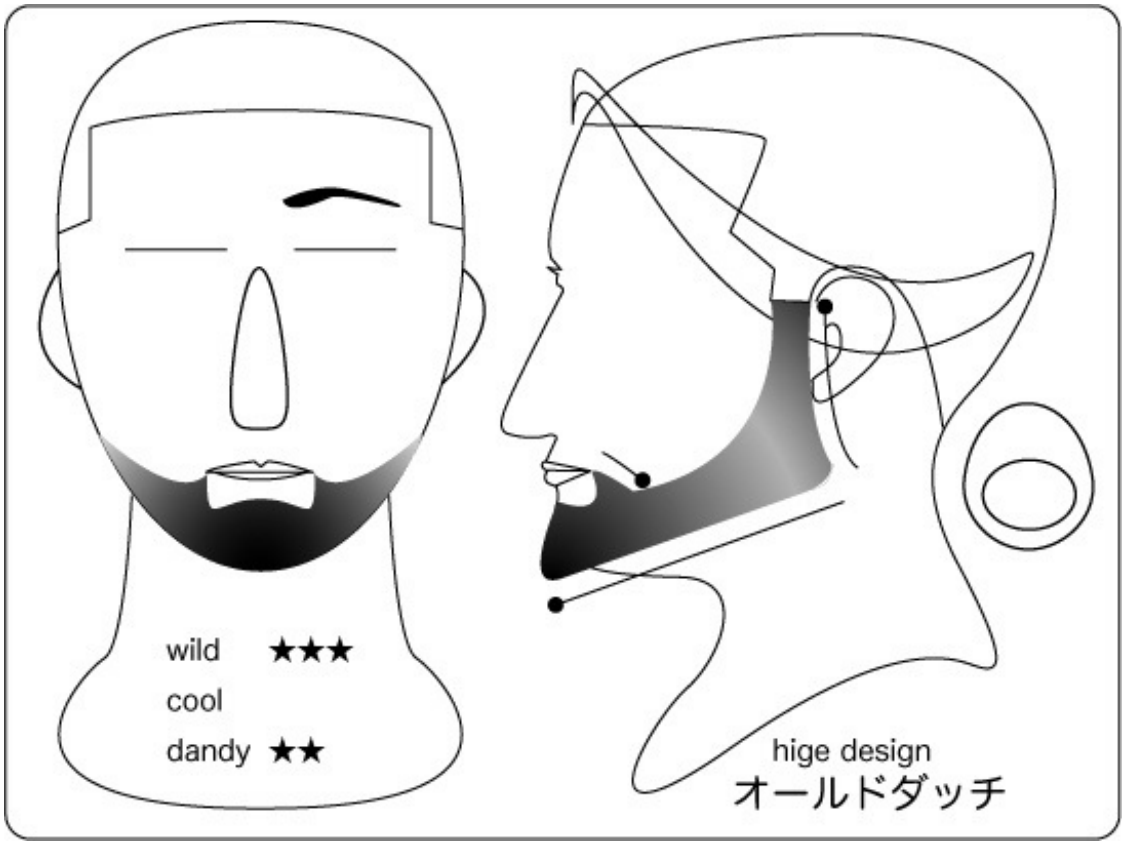
インペリアル：下唇のヒゲから、顎のヒゲへつなげていくスタイル。正中線を強く意識させるので、精錬さらたイメージを与えます～でも、その印象強さから公なビジネスの場には難しいデザインでもあるでしょう。

classicalヒゲデザイン　7



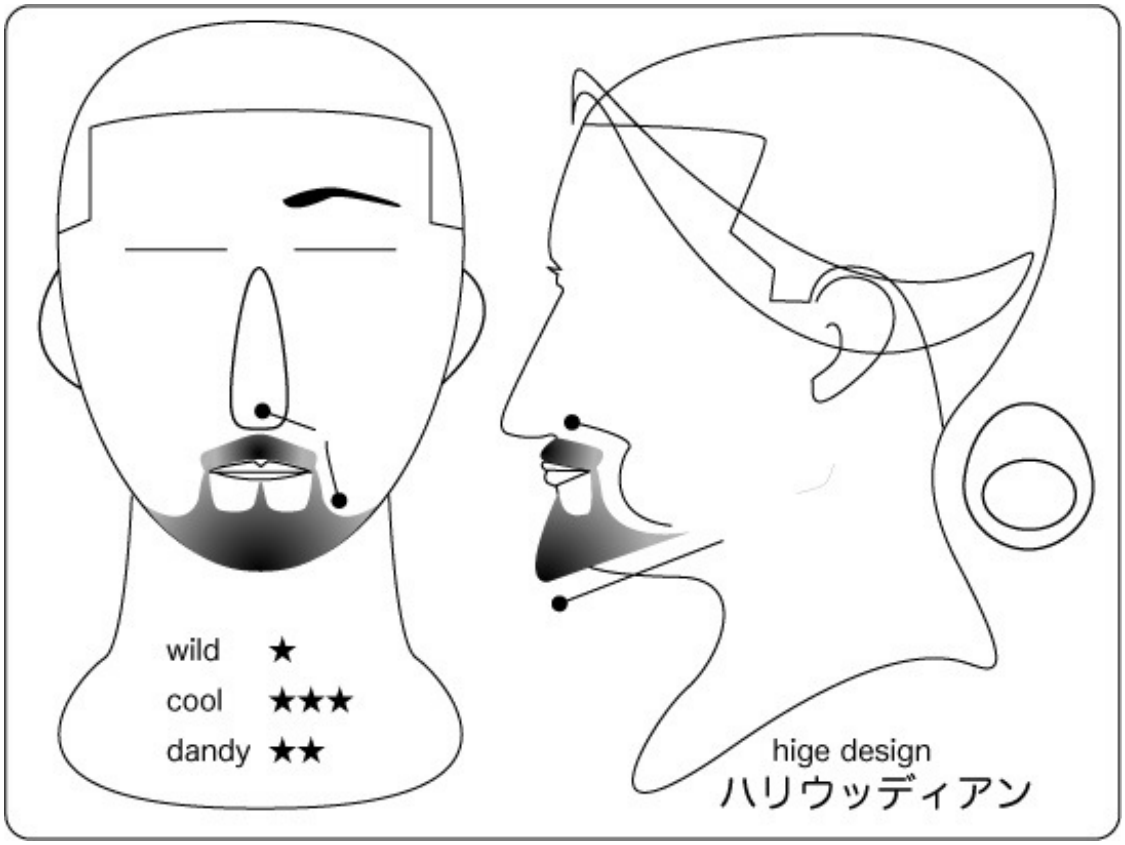
ヴァンダイク：顎を覆い隠すほどのヒゲと、太めのサイド部位が印象的。そのデザインは大きな男を想像させ、男臭さを印象づけられる。個性的な事を業とする場合には良いが、公なビジネスには向かない。

classicalヒゲデザイン　８



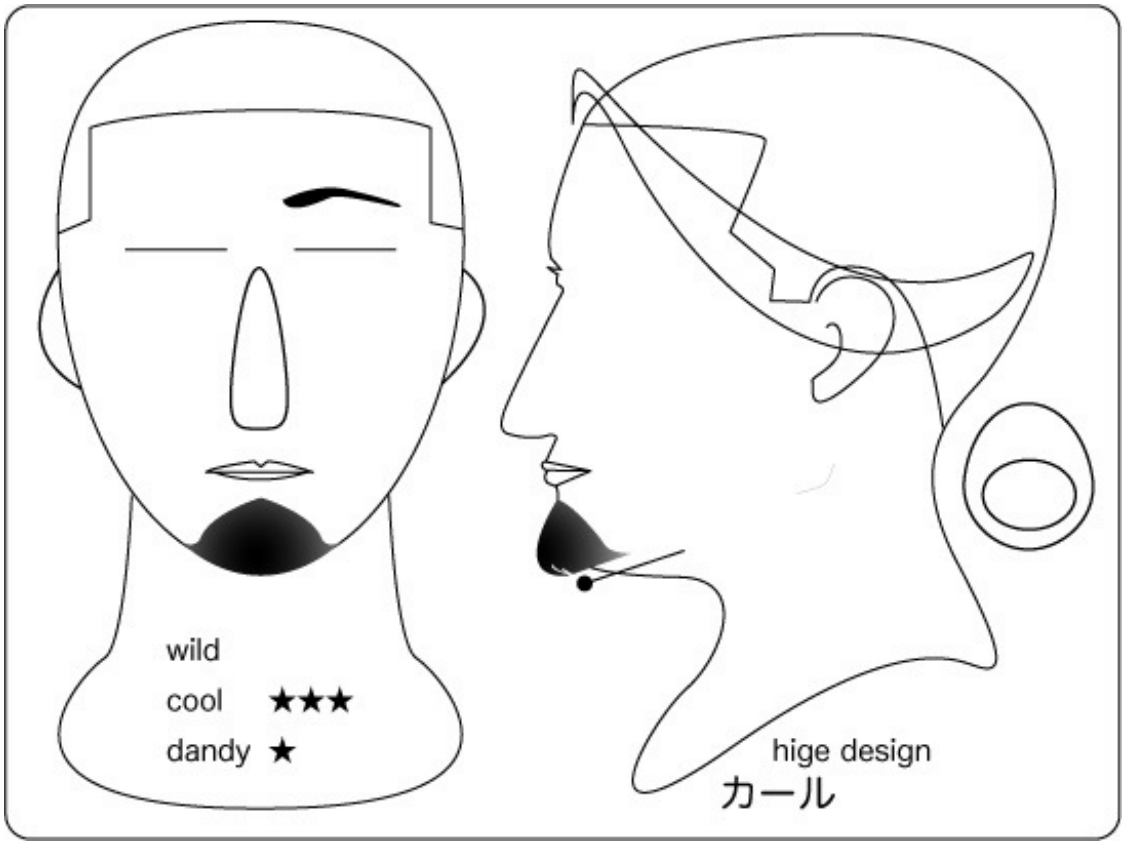
オールドダッチ：カストロスタイルをさらに男臭くしたデザイン。顎鬚下部の首部分をしっかりと切り揃えられるか否かで、イメージが大きく異なるので注意。

classicalヒゲデザイン　９



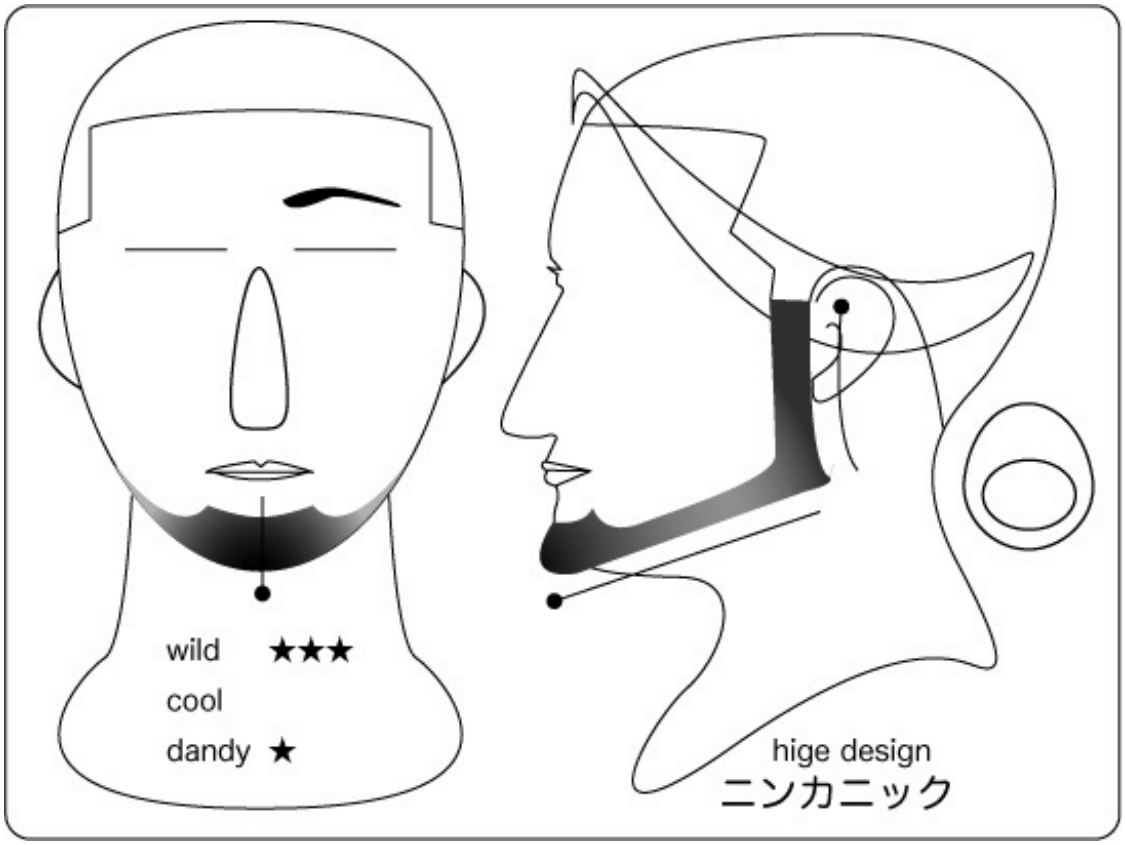
ハリウッディアン：顎を覆い隠すワイルドさもありつつ、サイドの鋭いグラデーションが精悍な印象を与えます。丸と線で構成されたラインは、丸部位から長さが短くグラデーションしていきます。そうする事により、強烈なイメージがありつつも大人な雰囲気を持つデザインとなります。

classicalヒゲデザイン　１０



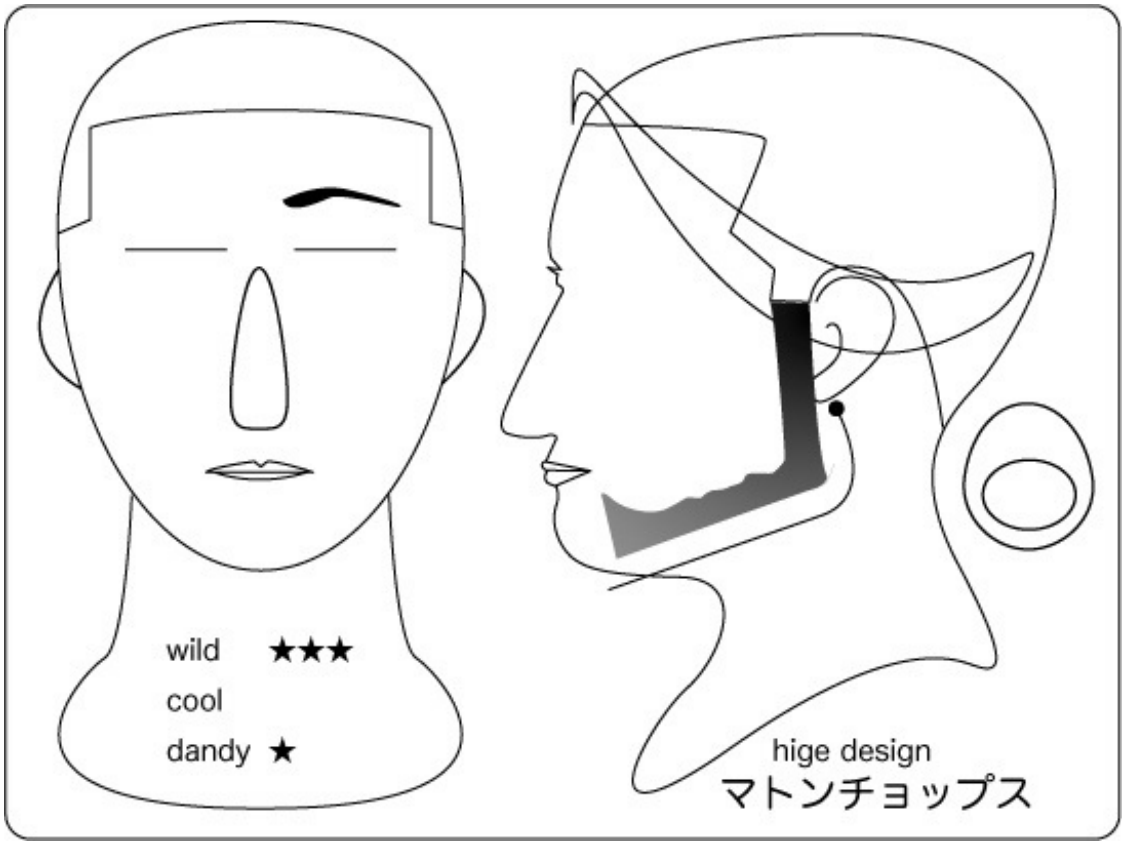
カール：３センチ程に伸ばされた、顎鬚を下部で切り揃えたデザイン。顎がより立体的になると同時に、一点的な雰囲気が洗練された印象を与えます。年齢を問わないデザインです。

classicalヒゲデザイン　１１



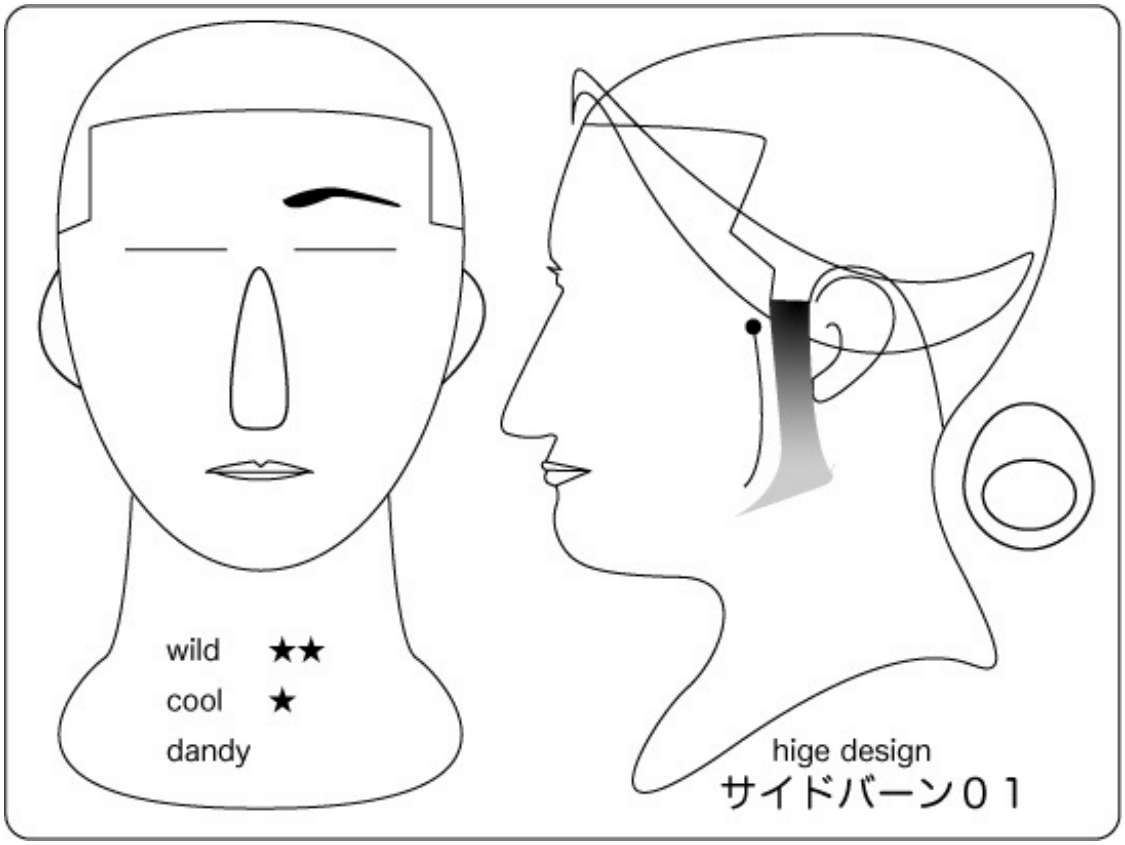
ニンカニック：顎を強く印象づけるデザインな為に、力強い印象を与えます。顎鬚下部をキチンと切り揃えられるかで、大きく印象が異なりますから注意してください。色彩のグラデーション加減で、印象を和らげる事ができます。

classicalヒゲデザイン　１２



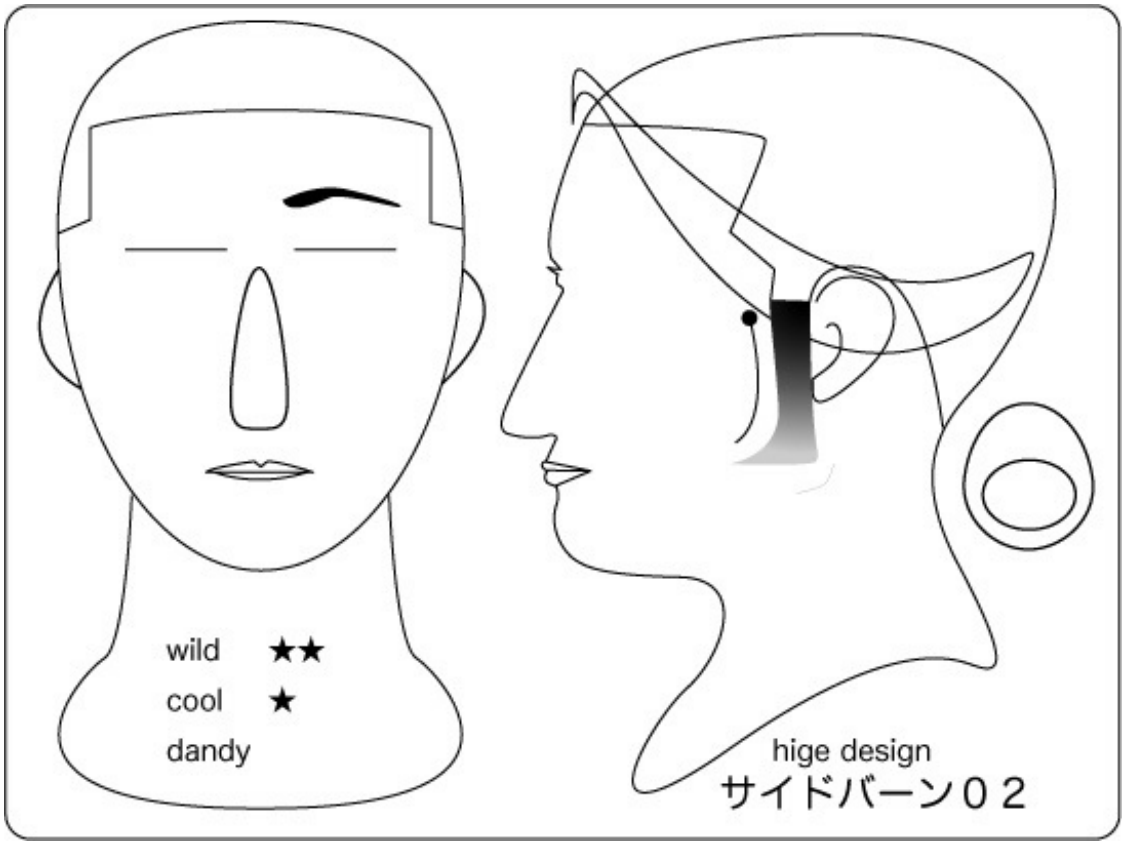
マトンチョップス：男臭さを強烈にサイドで印象づけるデザイン。斧状の先端部位の色彩を薄めにすると印象が変わります。公のビジネスの場にはむかないでしょう。

classicalヒゲデザイン　１３



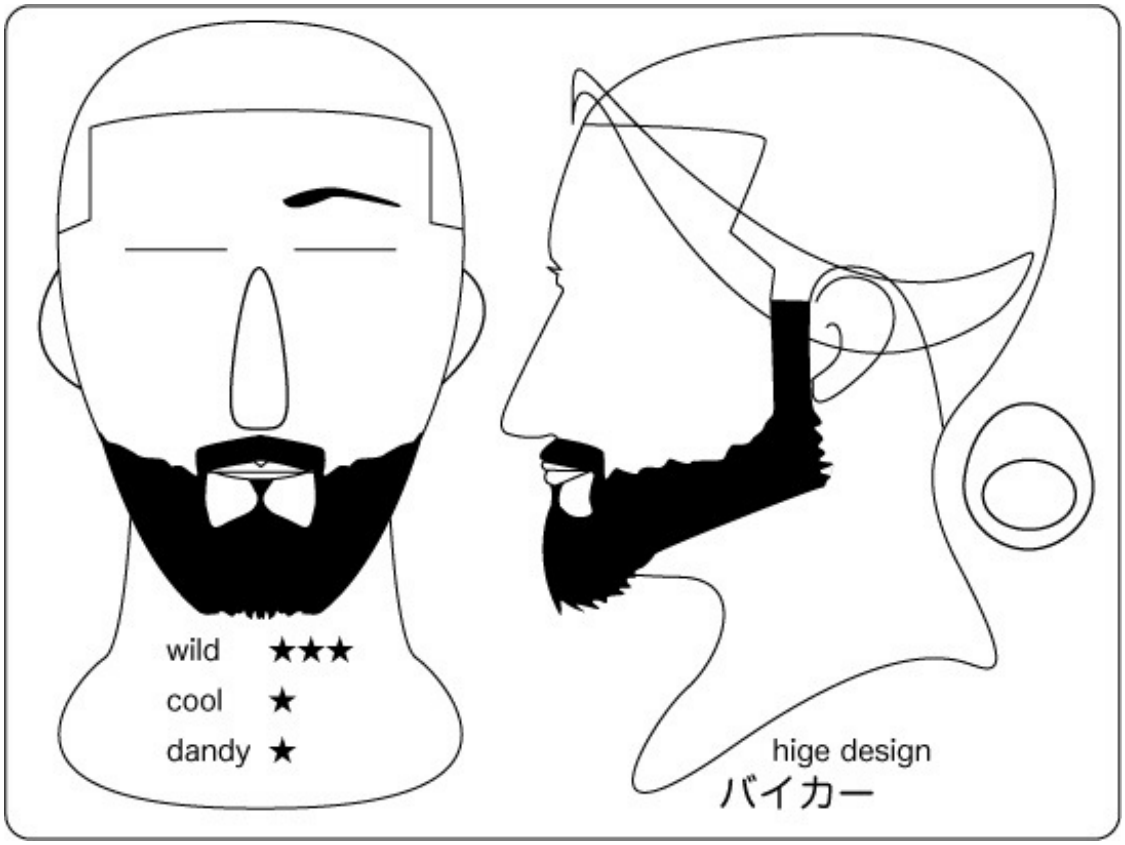
サイドバーン０１：斧状に切り出された頬髯で構成されらデザイン。顎方向に落ちた先端を薄くするグラデーションをつける事で印象を和らげられます。その落ちた角度により、顎を引き締め、額を前に出したような印象を与えます。上目使いのような感じになります。

classicalヒゲデザイン　１４



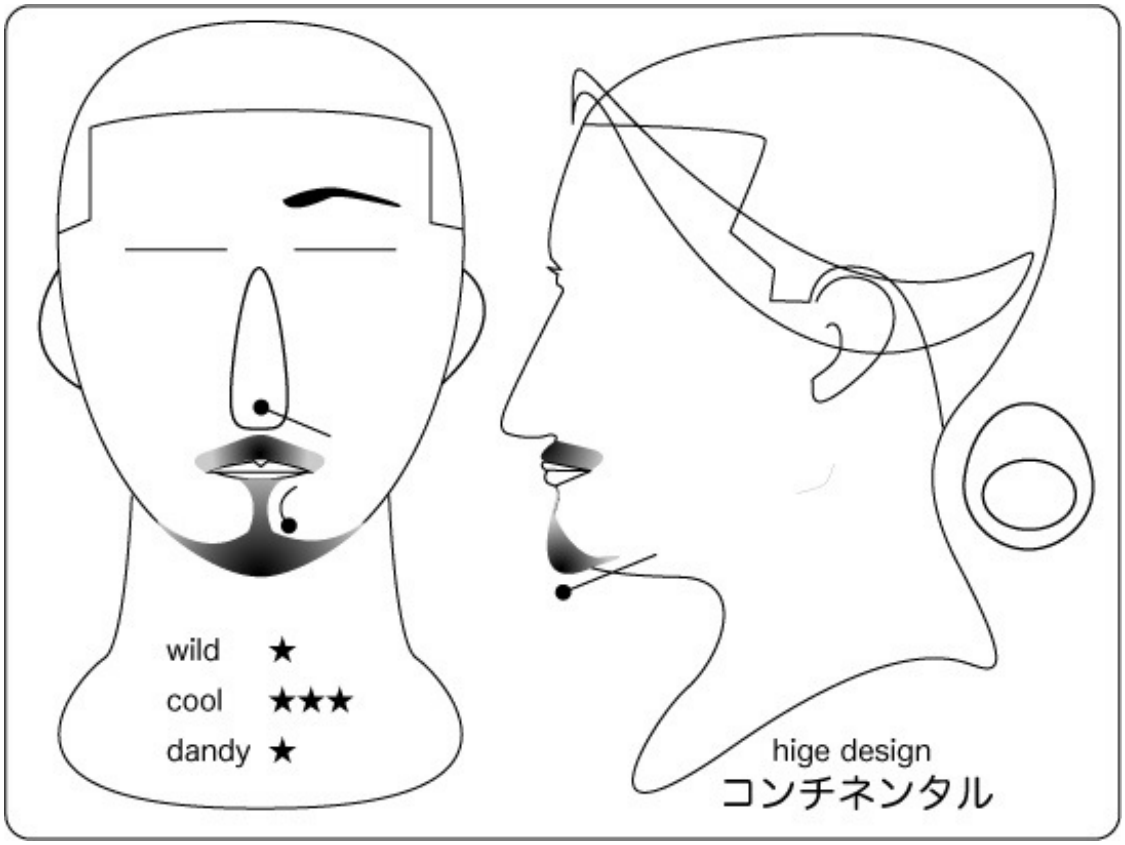
サイドバーン２：斧状に切り出された頬髯で構成されたデザイン。地面に平行に切り落とされた先端の位置により、顔の重心を変えてしまうので注意が必要です。長くなるほどワイルドな印象が強くなります。下方向にグラデーションをかけることにより、印象を変えることができます。

classicalヒゲデザイン　１５



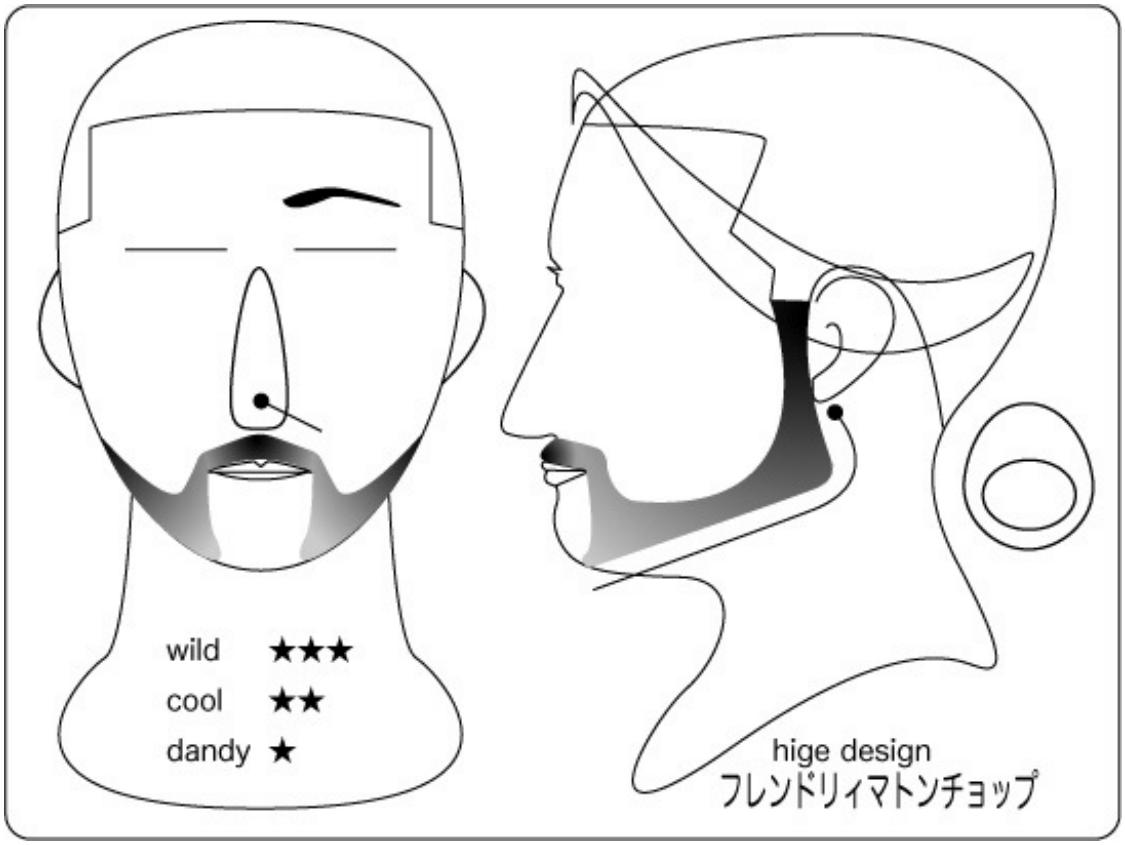
バイカー：アメリカンなバイカーのヒゲスタイル。顎のヒゲ部は、無精髭に近いような感じを残しつつ、サイドを整える事により無精髭のそれと異なる。頬髯も長くし、風を感じる程の長さが理想。こんなワイルドな男になりたいです～

classicalヒゲデザイン　１６



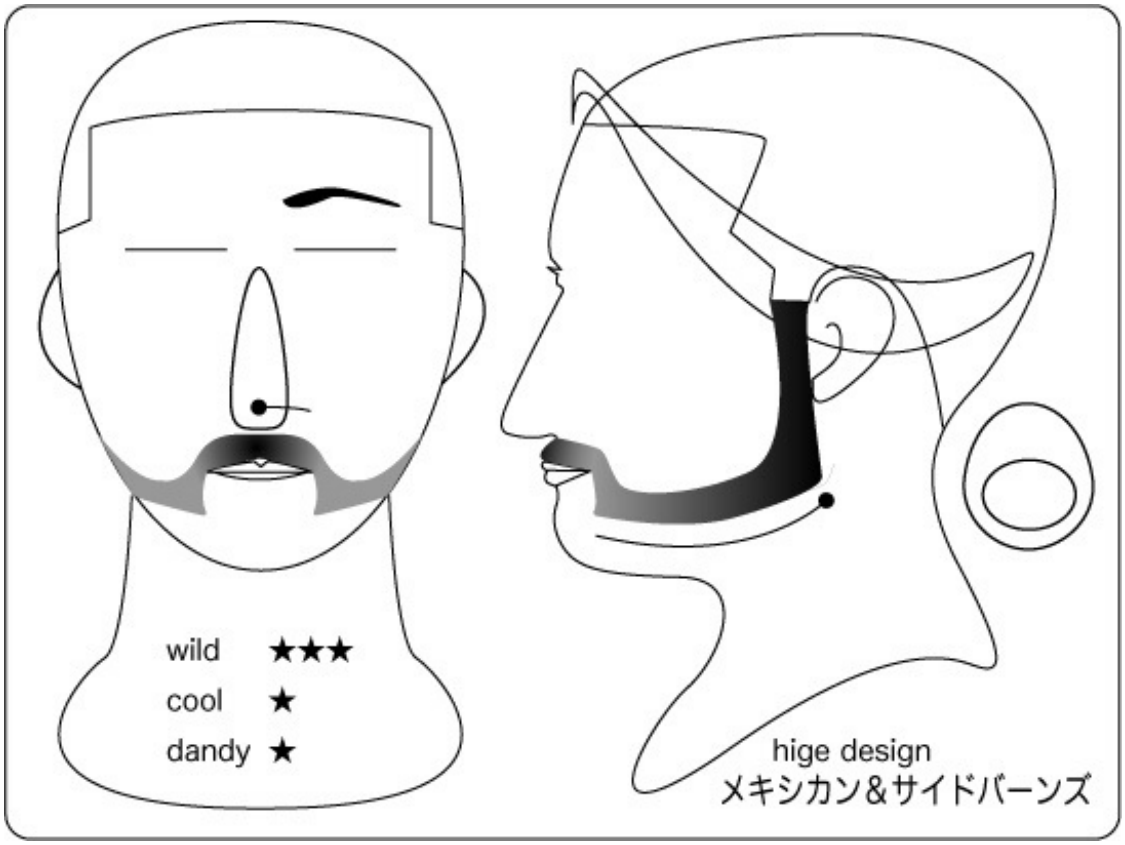
コンチネンタル：アンカーと似ているが、サイドの髭が耳方向に長いのが違い。サイドのグラデーションが長いぶん、横顔が引き締まります。ビジネス的な事を考えると、アンカーのほうが大人なデザインかもしれません。

classicalヒゲデザイン　１７



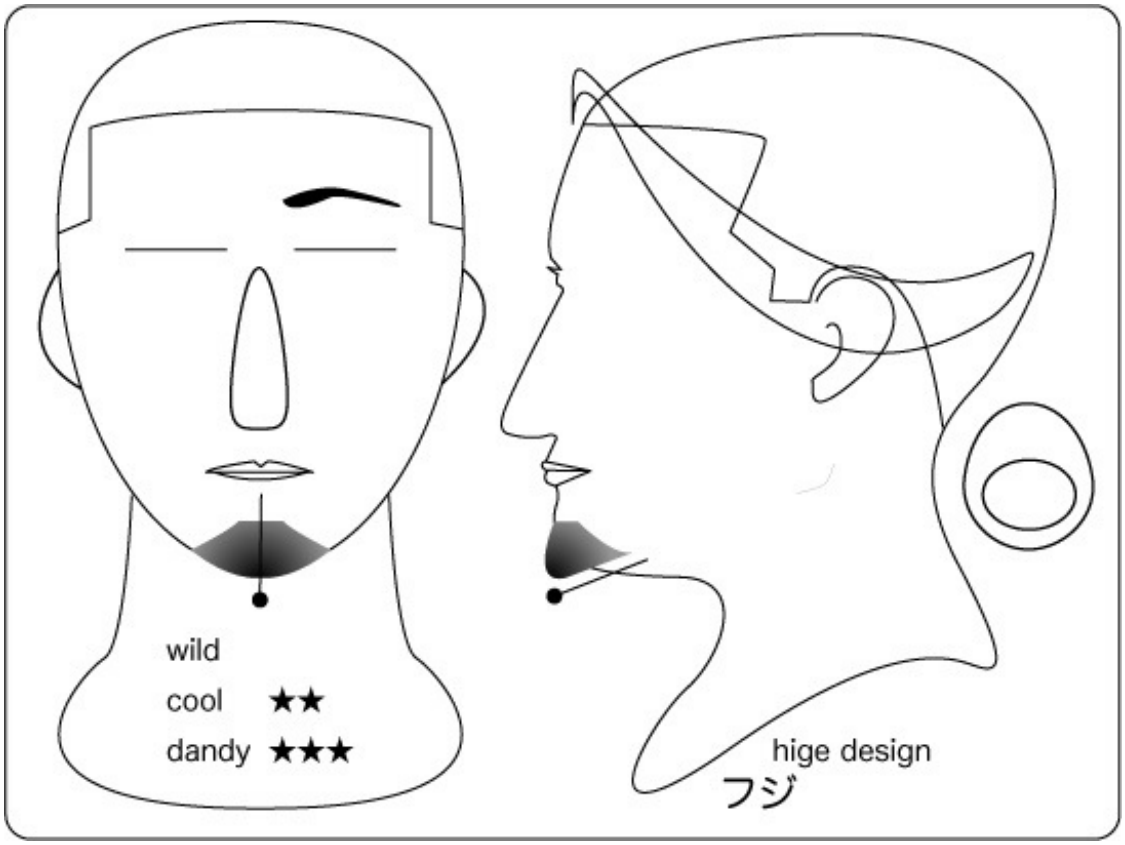
フレンドリーマトンチョップ：マトンチョップスのフレンドリー系？（笑）口ヒゲを加えて、男臭さを強烈に放ちつつ独特の格好良さがあります。マトンチョップスと同じく公のビジネスの場にはむかないでしょう。

classicalヒゲデザイン　１８



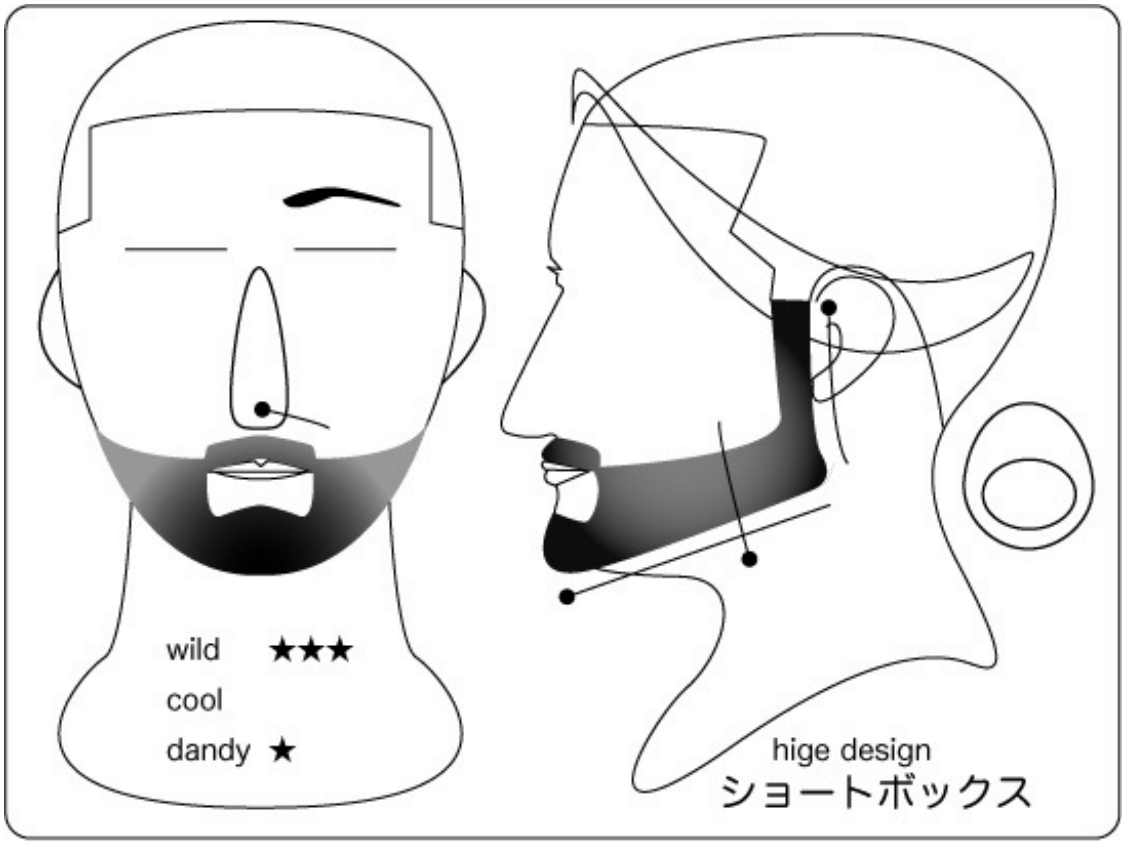
メキシカン＆サイドバーンズ：顎骨よりも上にデザインをするので、顔が面長の人にはお薦めできません。口角付近を薄くするグラデーションをかけると、印象が軽くなります。デザイン的には個性的であり、万人向けではありません。

classicalヒゲデザイン　１９



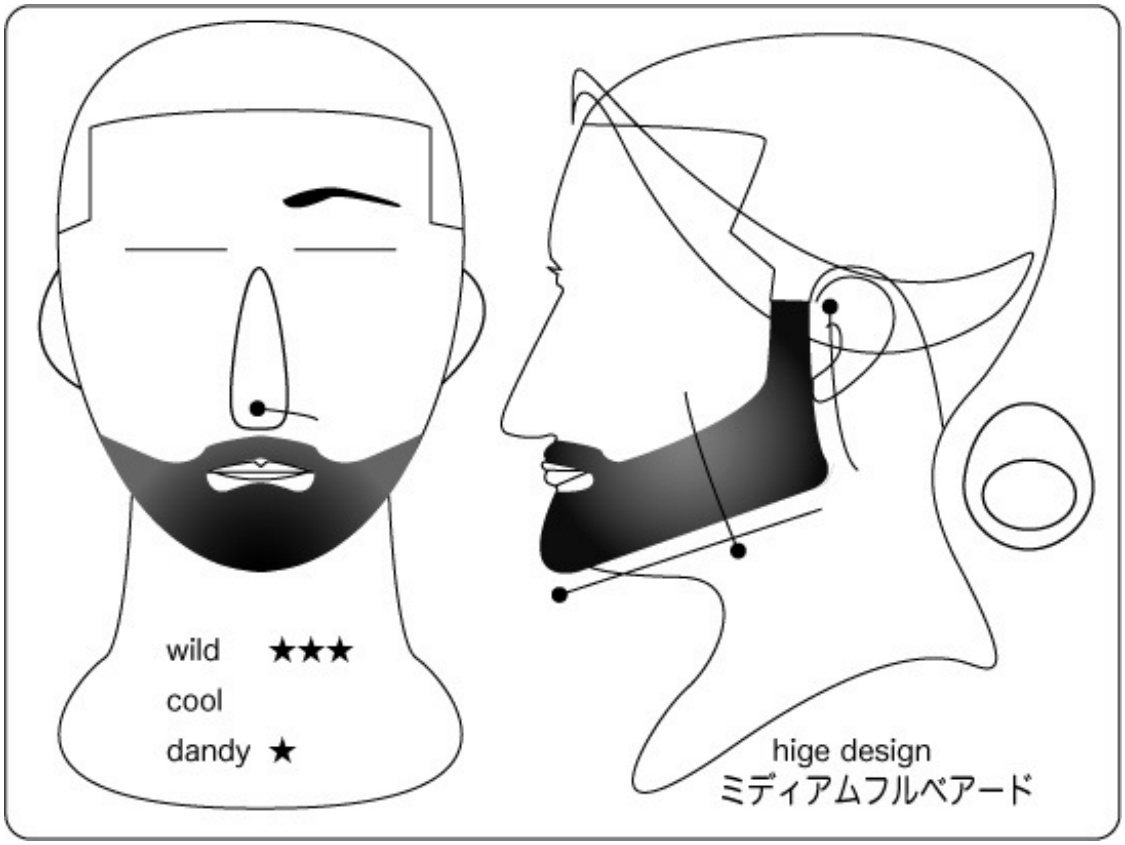
フジ：社交性に優れたヒゲデザインです。大人の雰囲気かつ、サイドに伸びた部位が横顔をひきしめます。手入れも比較的楽で、ヒゲ下部を常に鋏などで整えるだけです。ボサボサにしてしまうと老けた感じになる為に、下部のシャープなラインを作るように心がけましょう。

classicalヒゲデザイン　２０



ショートボックス：フルベアードに比べると、口角周りや顎にデザイン的なメリハリがあります。サイドの下部ラインを顎骨付近で整える事、全体に色彩および長さのグラデーションをかける事が大切です。ビジネス的には上層部的な印象を与えます。

classicalヒゲデザイン　２１



ミディアムフルベアード：ほぼ全ての部位のヒゲを伸ばしたデザインです。注意すべき点は、口にヒゲがかからないようにする事です。顔の下部がヒゲで覆い隠されている上に口が隠れてしまうと、顔の表情がなくなります。黒い状態よりも白いヒゲで構成されると、その威圧感は和らぎます。顎骨のラインに沿って、ヒゲ下部をキチンと切り揃えるなどしないと、無精ヒゲの印象が強くなるので注意が必要です。

親を恨むな。
男にはヒゲがある。

ヒゲデザインによる顔面矯正デザイン論

ヒゲデザインによる顔面矯正デザイン論　1

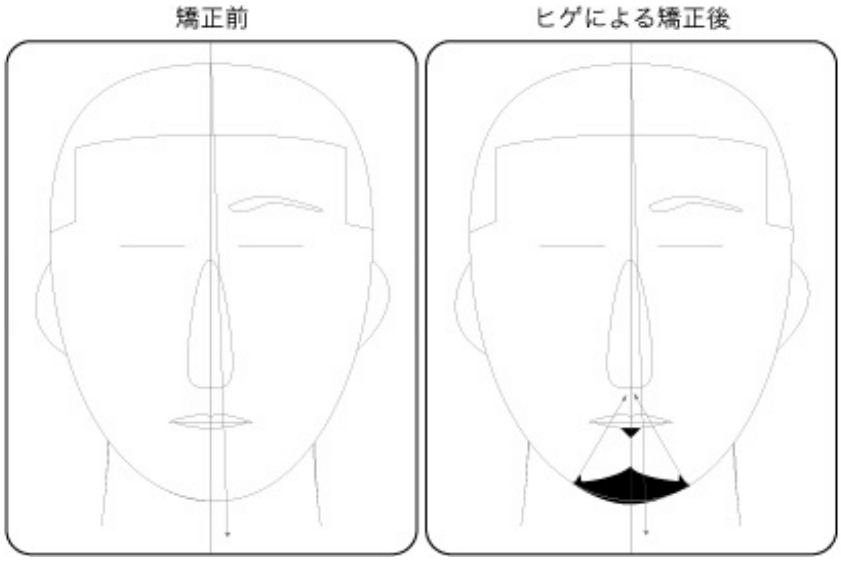
「ヒゲデザインにより顔面矯正ができるのをご存知ですか？」

ヒゲはヘアスタイルと同様に、その人の印象を大きく変えてしまいます。さらにヒゲは顔にあるものがゆえに、「目鼻口」などに様々な影響を与えてしまうのをごぞんじでしょうか？下記で述べる「ヒゲ矯正デザイン」では様々な顔の特徴をヒゲにより、矯正させるデザインテクニックとなっております。もちろん下記のデザイン論は全て正しく当てはまる訳ではありませんが、参考になればと思います。

ヒゲは人により十人十色である為に、全ての人を対象としたデザイン論は難しいです。しかし、ヒゲを伸ばして適当にデザインしてしまうと、第三者から観た顔の印象で大きく損をしてしまう可能性があるという事です。女性における化粧と同じ、と考えると判りやすいでしょう。唇が厚いのに、真っ赤な口紅を唇全体に塗る事により唇は大きく強調されます。そこで問題なのは、そう観られることを望んでいるか否かという事。「ヒゲ矯正デザイン」を理解すれば、自分だけのヒゲデザインを手にいれる事ができます。もし判らないようであれば、ヒゲのプロであり、シェービングのプロである理容店へ行く事をお勧めします。

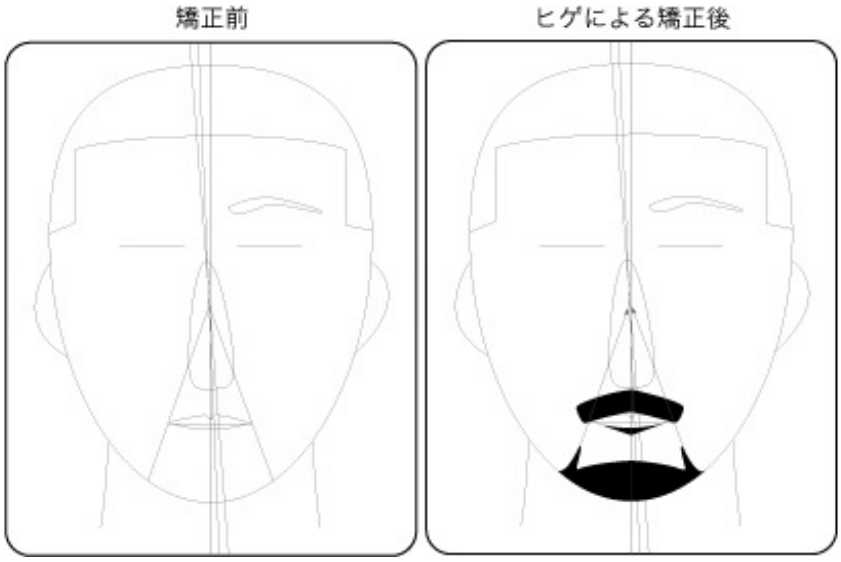
ヒゲデザインによる顔面矯正デザイン論　２

「顎の位置が曲がっている場合」



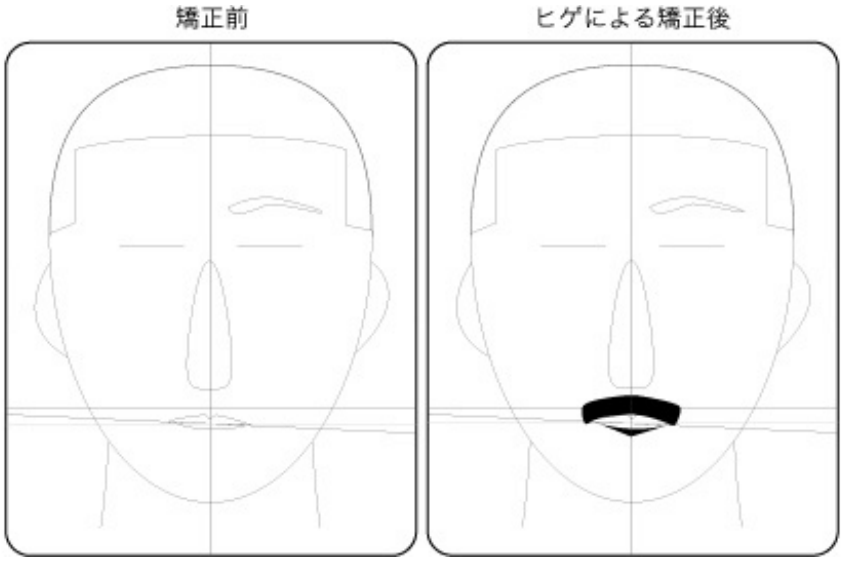
顔の正中線に対して、顎が左右に曲がっている場合（例では正面右方向）のヒゲによる矯正デザインです。まず下唇にある顎ヒゲは、三角形のデザインの頂点＆唇下ヒゲの頂点により正中線を方向付けします。このヒゲで顔の正中線を導きだしてあげます。さらに顎ヒゲの左右に角がデザインできる場合は、そのデザインラインを人中（鼻下中央）に向かって伸ばすイメージでさらに正中線を方向付けます。その上で、顎ヒゲの下部ラインで曲がっている顎の頂点を補うように下部のデザインラインを構成します。つまり、顎ヒゲで、右方向に曲がっている顎の頂点を隠してあげるようにデザインします。この時のラインは、地面に対して平行にトリマーで横にトリミングすると良いと簡単にできます。

「鼻が曲がっている場合」



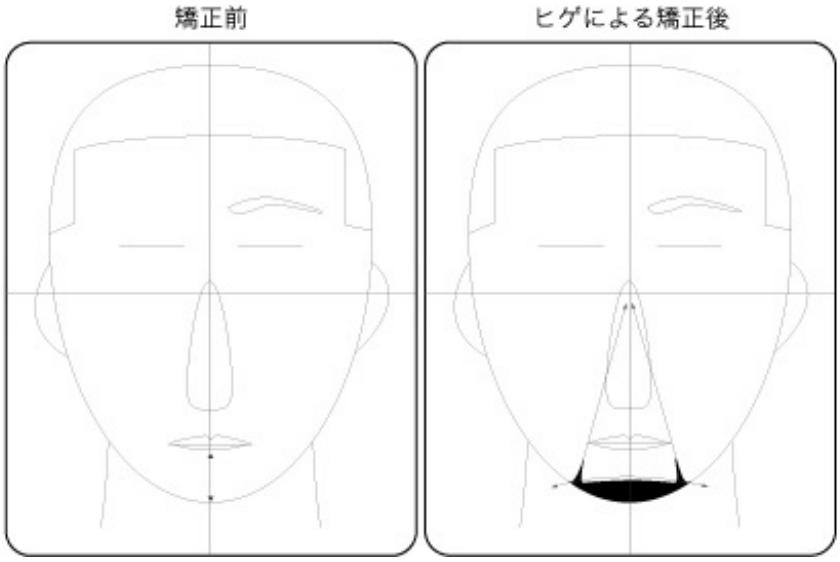
鼻正中線に対して曲がっている場合の矯正デザインです（図では右に曲がっております）鼻は正中線をイメージする部位です。それを意識させないようにする為に、横幅のはる顎ヒゲをデザインします。顔上部を軽減するために、顎ヒゲの重心を低くなるように頂点をデザインします。顎ヒゲの左右に角がある場合は、その頂点を結んだ点の上限を顔の中間点くらいにして、顔の重心を下のほうにくるようにデザインします。下唇の顎ヒゲによる三角形の頂点により、正中線を導きだすデザインになります。この頂点が正中線に対して曲がってしまうと、余計に鼻の曲がりを強調するので気をつけてください。口ヒゲはるべく太めで、その頂点は鋭角なものでなく緩やかな感じでデザインがベストです。

「口が曲がっている場合」



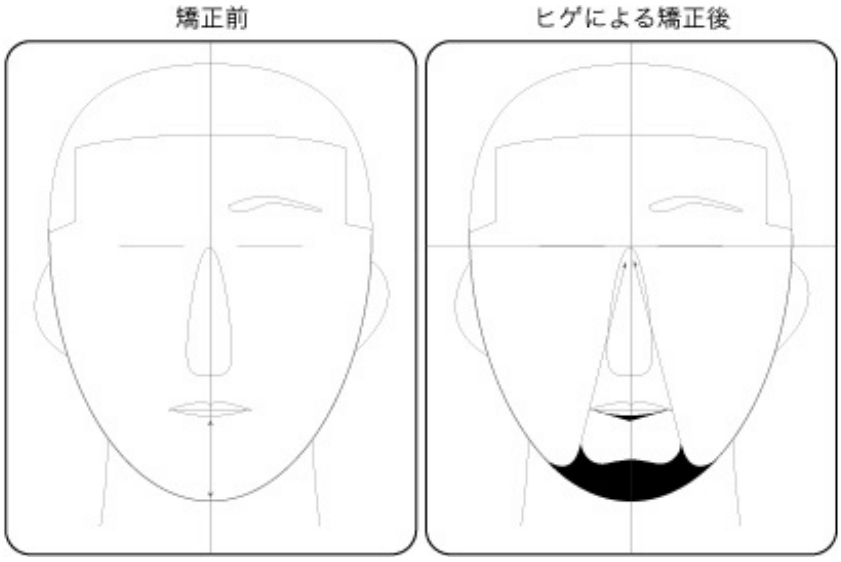
口が正中線に対して曲がっている場合のヒゲ矯正デザインです。基本的には口ヒゲで矯正デザインをいたします。まず口髭の上部、鼻の下のデザインラインは平行なラインをとります。そして上部の左右両脇には口角へ向けて少し角をつけたようなデザインにします。この角の位置も平行なライン上にデザインします。左右の口角位置が曲がっている（図では正面右下がり）ので、口角に少しかかるようしてヒゲを残して矯正します。上唇にはヒゲを被さずに、口角をヒゲで隠します。長さは中央部よりも両派時は短めにして、圧迫感をなくします、下唇ヒゲで正中線をだすと、より効果的です。

「顎の高さが低い（狭い）場合」



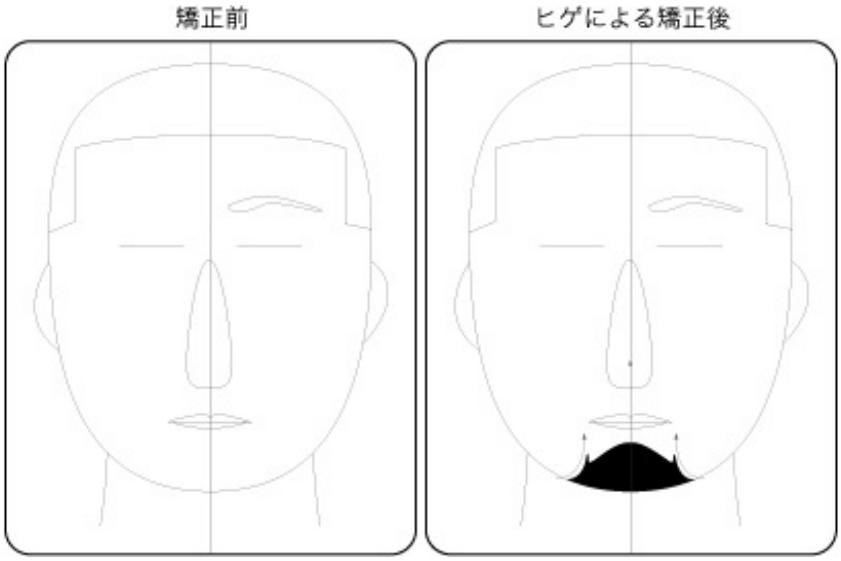
顎の高さがない（顎が狭い）方のヒゲによる矯正デザインです。顎が狭い場合は、三角形デザインですと、顎を覆い隠してしまう為に避けた方が無難です。顎の中心よりも下のところを頂点とした緩やかなデザインラインで構成します。この時、単純に横に線をひいただけのデザインにしないように心がけて下さい。左右に少しラインが緩やかに落ち込む事により、しっかりとした顎をデザインします。また左右に顔の中心部に向けたデザインラインをもった突起部をデザインして、顎を上に引き上げると良いでしょう。

「顎が長い場合」



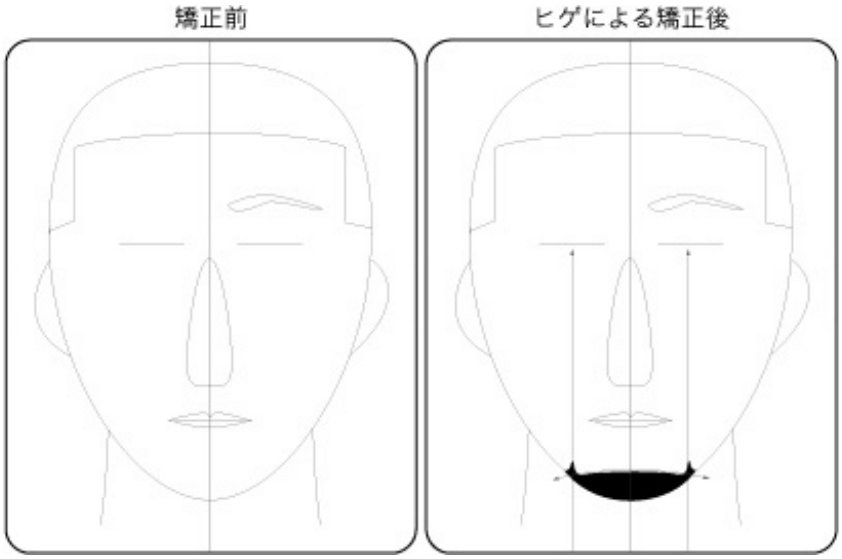
顔全体のバランスのなかで顎の高さがある場合のヒゲによる矯正デザインです。高さを目立たなくさせる為に、三角形デザインにような高さのあるデザイン、低 いデザインも顎の長さも強調してしまうので避けたほうが無難でしょう。顎の中心あたりまでの高さで、左右にデザインラインを落とします。横にも幅をもた せ、顎の長さを横に分散させます。ただしあまり長くせず、両目尻までを上限とします。左右の角は眉間を中心とした角度をデザインして、顔下部を上に引き上げます。唇下のヒゲは低めの三角形とし、顎の長さを少し軽減させます。長い三角形は顎を長く見せるのでＮＧです。顎を覆い隠すようなデザインにしてしまいますと、余計に顎の大きさを目立たせてしまうのでやめましょう。

「顎幅が大きい場合」



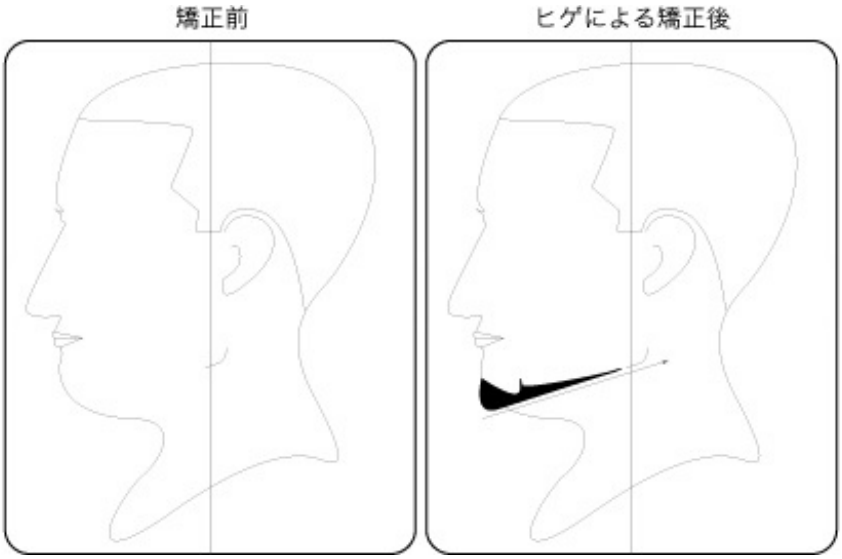
顎幅が大きい（広い）場合のヒゲ矯正デザインです。左右のエラが張った角顔の方にも有効です。横幅はあまり左右に長くしてしまったり、短くしすぎても顔の横幅を助長してしまうので注意が必要です。正面から見える派には両目の内側範囲にしましょう。ヒゲデザインは緩やかな線で構成された三角形がベストです。高さは顎の３分の２程度までが良いでしょう。口幅の辺りで左右に角を上方向にあげて、区切りをつける事で顎ヒゲの大きさを調整します。色彩はあまり濃くしない（長くしない）で圧迫感をおさせる事が大切です。

「顎が細い（幅がない）場合」



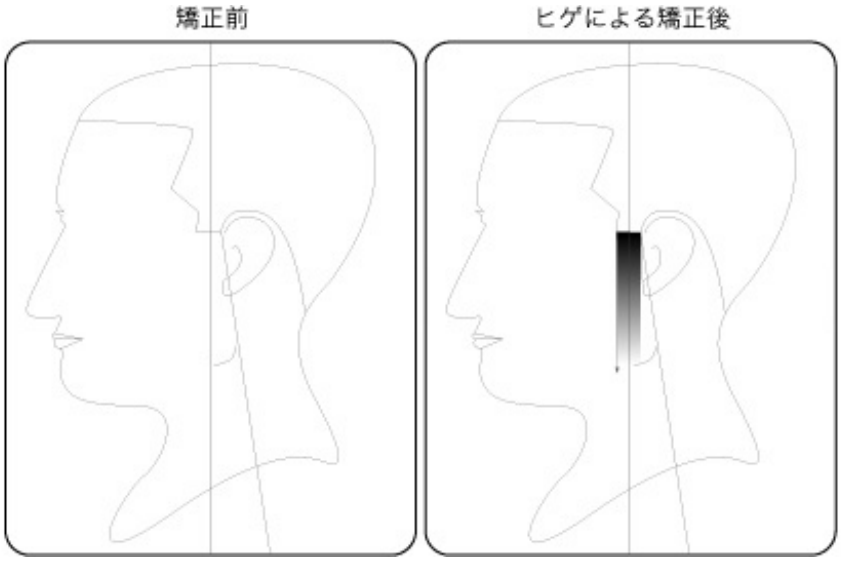
顎が細い（幅がない）場合ですが、三角形など上方向に高さがあるようなデザインはＮＧです。また鋭角なデザインも顎の細さを助長させてしまうために 避けた方がよいでしょう。唇下ヒゲも下方向に鋭角な三角形になるために顎をより細くみせてしまいますので避けます。それをふまえた上でデザインは緩やかに 左右に落ち込む曲線で構成します。幅は目の中心（瞳）までの幅で顎の大きさをデザインによって作り出します。さらにその左右の両脇には上方向への角を少し デザインしてあげることにより、顎の幅を強調して大きく見せることが可能になります。できるかぎり顎ヒゲの横幅を広げてあげる事がポイントです。

「二重あごの場合」



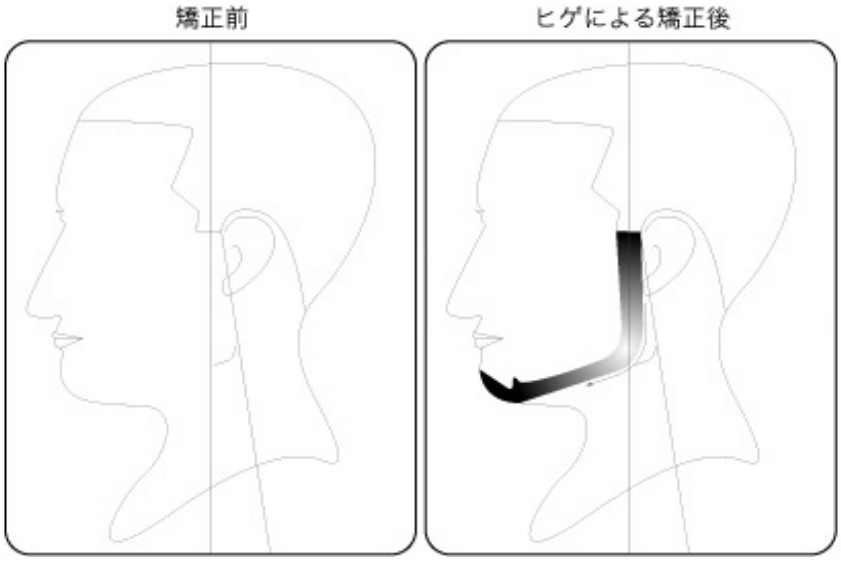
顎骨が消えてしまって、二重あごになっている場合のヒゲ矯正デザインです。顎から頬を触ってみて、顎骨の線を確かめます。その下部は首として、上に線をデ ザインして顔を小顔に矯正いたします。基本的には耳下までヒゲが横方向にあることが望ましいですが、ない場合はあるところまでで大丈夫です。先端部分は形 状的には細く、色彩的には薄く（長さを短く）していきます。こうする事で顔の奥行きもデザインする事が可能になります。顎骨から下の首にかけるヒゲは綺麗 に剃り落してしまい、ラインもしっかりとつけるため深剃り（クロスシェービング）しましょう。二重顎部分をヒゲで覆い隠している場合を良くみかけますが、顔自体をかなり大きくみせる事になるので注意が必要です。

「顔の奥行きがある（エラが張ってる）場合」



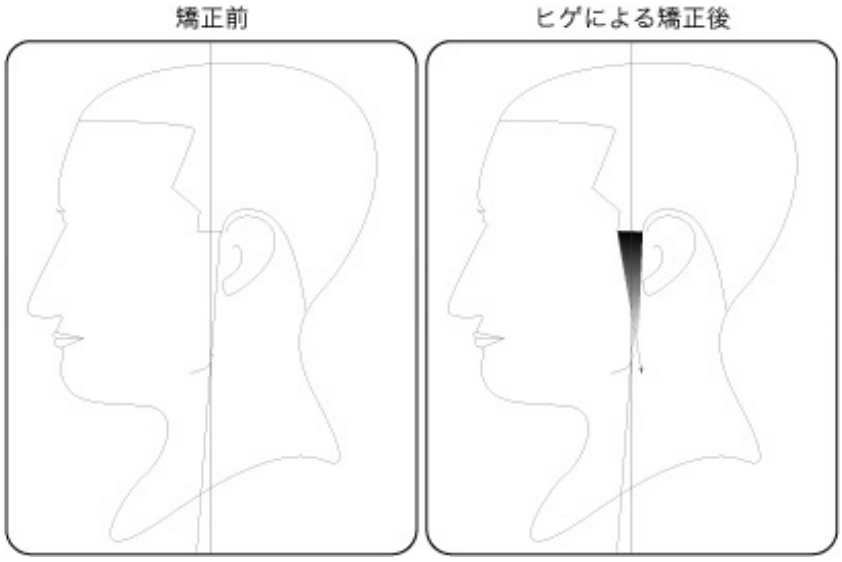
顔の奥行きがある方（エラが張っている）場合のヒゲ矯正デザインです。頬ヒゲで矯正しますが、「もみあげ」という部位でもあります。エラの部分が耳 より後方にある場合は、下方向へ頬ヒゲをそのままの太さで顎骨の下部ラインまで伸ばして行きます。その際に、下に行くにつれだんだんと薄くなるような色彩 のグラデーションをつけると圧迫感がありません。頬ヒゲで顔の奥行きのエンドラインをデザインしてしまい、矯正いたします。

「顔の奥行きがある（エラが張っている）場合」



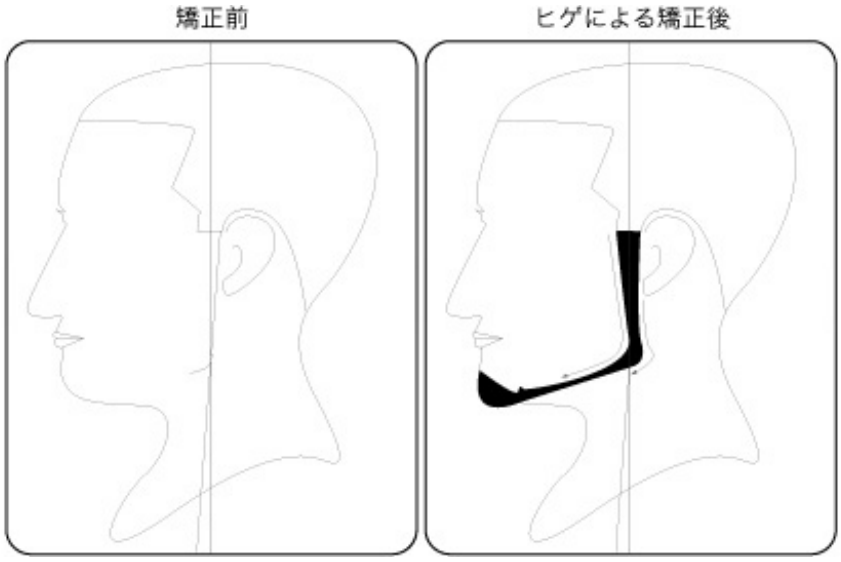
顔の奥行きがある方（エラが張っている）場合のヒゲ矯正デザインです。頬ヒゲで矯正しますが、「もみあげ」という部位でもあります。エラの部分が耳より後方にある場合は、下方向へ頬ヒゲをそのままの太さで顎骨の下部ラインまで伸ばしていきます。その際に、下にいくにつれだんだんと薄くなるような色彩のグラデーションをつけると圧迫感がありません。頬ヒゲで顔の奥行きのエンドラインをデザインしてしまい、矯正いたします。さらに顎ヒゲからの横方向のヒゲがある場合は、顎からエラに向かって色彩の変化をつけながら伸ばします。ヒゲで顔の輪郭をつくるのでより効果的です。逆に、下に行くにつれ濃くなると強調してしまうので避けたほうが良いと思います。

「顔の奥行きがない場合」



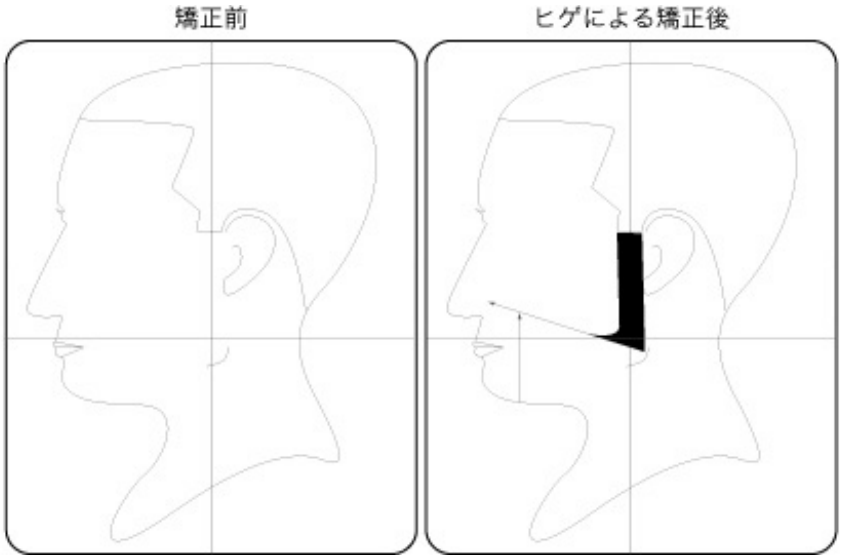
顔の奥行きがない（細い顔）場合のヒゲ矯正デザインです。頬ヒゲでの矯正ですが、「もみあげ」で矯正するともいえます。顔の奥行きがないぶん、耳側斜め下に落とした筆のようなヒゲをデザインします。太めの頬ヒゲですと、顔を横からみた場合に「薄く」みえてしまうので注意が必要です。色彩は下にいくにつれて薄く（短く）していきます。下までヒゲがない場合は、T字レザーで筆型に剃り「産毛」を残します。シャープなデザインなので、印象も洗練されたような感じになります。ヘアスタイルの雰囲気が重たい時などでも、このデザインで軽さを演出できるかと思います。

「顔の奥行きがない場合」



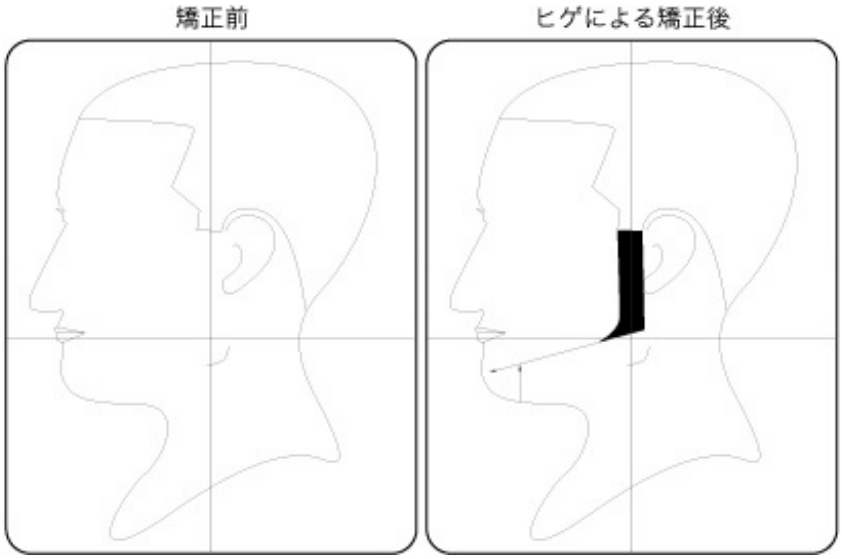
顔の奥行きがない（細い顔）場合のヒゲ矯正デザインです。顎ヒゲから顎骨にそって横にヒゲがある場合は、頬ヒゲとつなげます。その際に頬ヒゲは顔の内側ラインは外側に反るように奥行きをだし、外側（耳側）ラインも外側にそらして奥行きをつくります。頬ヒゲの太さは、少し細めにして頬部の肌をなるべく多く露出させます。下部ラインは顎骨に剃って、首から下は剃り落します。上方向にデザインを押し上げるので、上下の顔の細さも矯正可能になります。

「顔の重心が下の場合」



顔の重心が下にある場合の、ヒゲによる矯正デザインです。頬ヒゲによる矯正になりますが、「もみあげ」のデザインによる矯正ともいえます。下方向に頬ヒゲを伸ばして、下部を鼻方向に跳ね上げます。こうすることにより、顔の下部にスペースをデザインして矯正が可能になります。この際に頬ヒゲを下まで下げすぎてしまうと、顔が長くなってしまうので注意が必要です。このデザインは、かなりワイルドな雰囲気になりますので、ビジネスなどには不向きなデザインかといえます。また先端が跳ね上がっているので、顎を上に揚げたような雰囲気になります。顎の大きい方には不向きなデザインになりますので注意してください。

「顔の重心が上の場合」



顔の重心が上にある場合の、ヒゲによる矯正デザインです。頬ヒゲによる矯正になりますが、「もみあげ」のデザインによる矯正ともいえます。上方向に頬ヒゲを伸ばして、上部を顎方向に引き下げげます。こうすることにより、顔の上部にスペースをデザインして矯正が可能になります。この際に頬ヒゲを下まで下げすぎてしまうと、顔が長くなってしまうので注意が必要です。このデザインはかなりワイルドな雰囲気になるので、ビジネスには不向きかと思われます。また先端が引き下がってますので、顎を引き締め額が前にでたような印象を受けます。

俺からヒゲをとったら
骨しか残らない。

ヒゲを生やせない場合のデザイン論

メイクアップシェービング

ヒゲを生やせない場合のデザイン論～メイクアップシェービング

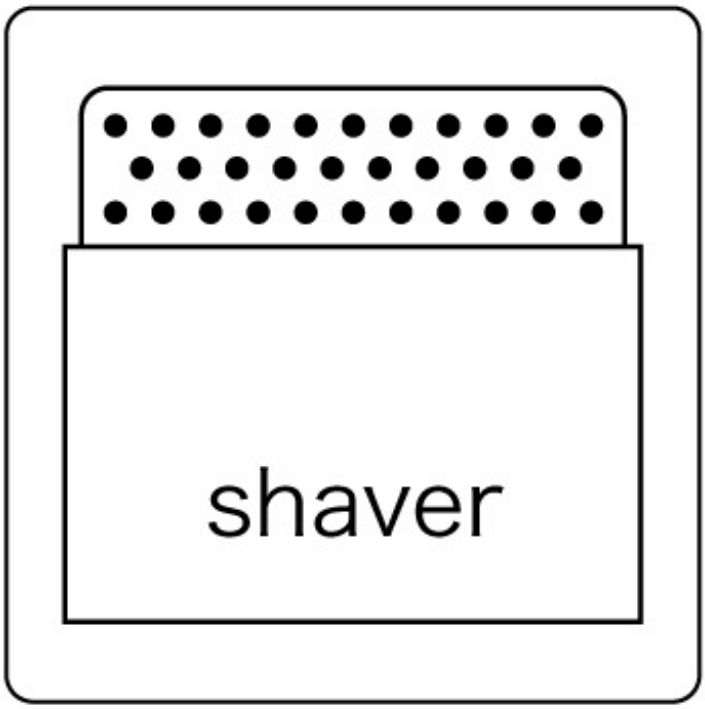
- メイクアップシェービングとは

メイクアップシェービングとは「顔全体を剃るが、剃り方を変える事により時間経過により生えてくるヒゲによる色彩をコントロールして、顔を自然に小顔にする」男性しかできない究極のメイクアップ術です。産毛しか生えていない方からヒゲの濃い方まで、ヒゲダビのメイクアップシェービングにより様々なデザインを楽しむ事ができます。ぜひチャレンジしてみてください！

- ヒゲを生やしちゃ駄目なんだけど・・

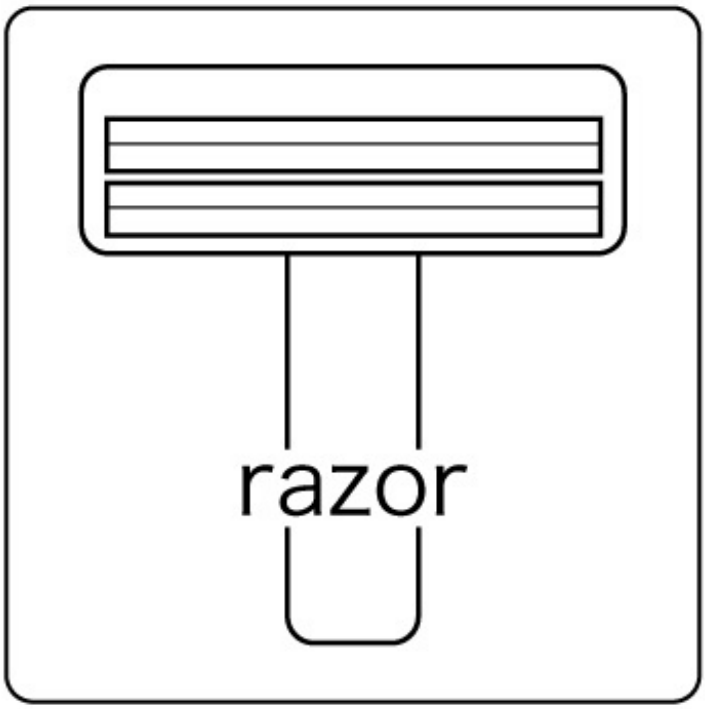
ヒゲを生やしたいけど、仕事の関係上無理なんだよなぁ～なんて嘆く方が多いのが日本の現状。「だから俺には関係ないし～」なんて言わないでください。ヒゲはないけど、ヒゲの剃り方を変えると「小顔」を作ることが可能なんです。女性は化粧品で化粧をするけど、男には「ヒゲ」があるんですから。そのヒゲを剃り方でコントロールするって事～それが「makeup shaving : メイクアップ シェービング)」剃り方を変えることにより、会社に居る間は「ヒゲ」はないケド、会社が終わる頃の夕方には伸び方が異なるヒゲで「小顔」になっている～ヒゲもオンオフを使い分けましょう～

メイクアップシェービングで使用する道具



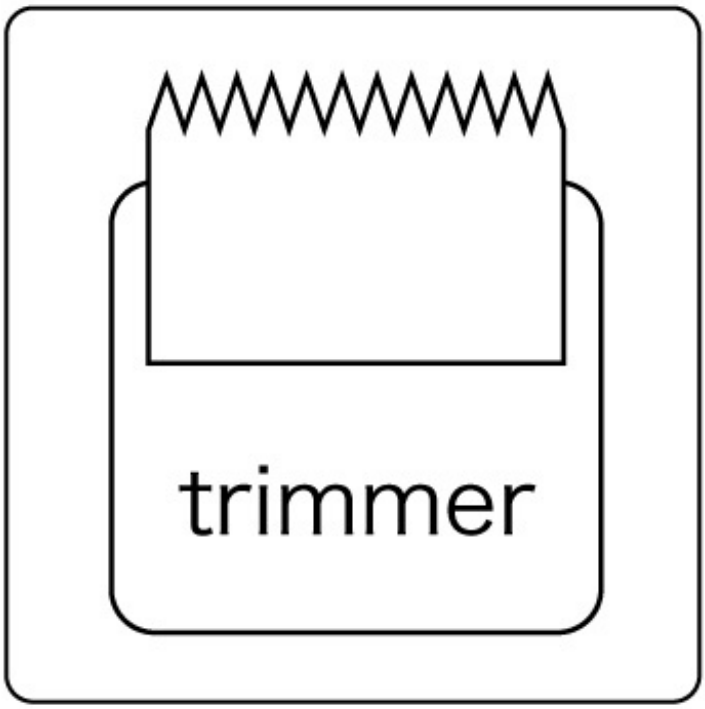
シェーバー：電気シェーバーになります。基本的にはクロスシェービング（深剃り）もできますが、メイクアップシェービングでは毛流に逆らわずに使用します。しかし、トリマーよりもヒゲの色彩は薄くなります。ヒゲの再メンテナンスには最適です。産毛は剃ることはできません。

メイクアップシェービングで使用する道具



レザー：剃刀になります。ワンシェービングとクロスシェービングをヒゲの毛流に対しての方向で使え分けることができます。ヒゲが薄く産毛だけの人の場合は、顎骨から下の首部分だけ使用するだけもメイクアップシェービングとなります。刃の枚数は１～６枚とありますが、３枚刃以降は肌への負担を減らす働きがありますので、肌の弱い型にはお勧めです。

メイクアップシェービングで使用する道具



トリマー：最近ではヒゲ専用のもあります～トリマーでヒゲを整えますと、ザラザラ感が残る程度の長さを残す事ができつつ、無精ヒゲには見えません。メイクアップシェービングにおいては、産毛は短く残しヒゲの色彩を濃く残す事ができます。

メイクアップシェービング手順　step 1

ますは、シェーバーでヒゲ全体を軽く剃ります。「軽く」というのはシェーバーをヒゲの生える方向に逆らわずに、シェーバーを動かします。手で肌を撫でた際に、ヒゲの生えている方向ではヒゲを感じなく、逆撫でた時にヒゲが感じる程度で大丈夫です。ヒゲがあまりない方の場合は、ヒゲがある部位のみ剃ります。毛流の反対に運行しないことがポイントです。トリマーでも代用できます。

ヒゲを生やせない場合のデザイン論　6

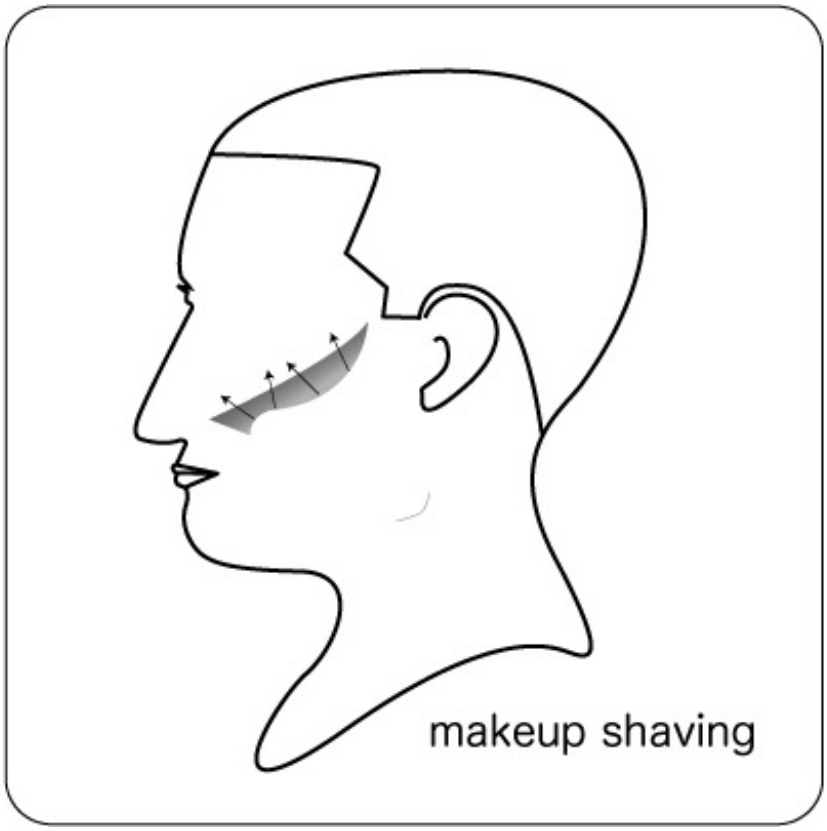
メイクアップシェービング手順　step３

４枚刃ないし、５枚刃の剃刀で剃ります。まずヒゲの生えている方向に逆らわない剃り方「ワンシェーブ」で剃ります。Ａ部位を残すようにBC Ｄの各部位を剃っていきます。ａラインを上にあがる感じに剃ると、産毛の関係で目を上方向にリフトアップさせます。さらに、b＆ｃラインに沿って滑らかに剃る事により、顔の雰囲気をソフトにする事ができます。Cの部位においては首や胸元まで剃ることにより、ネクタイを外したあとの襟元を爽やかに演出する事ができます。

メイクアップシェービング手順　step４

剃刀において「クロスシェービング」つまり、ヒゲの生え方に逆らってｄラインにように剃り込みます。この時に、Ａ部位との境目（顎骨のライン）をはっきり意識してキチンと剃り込んでください。クロスシェーブングですので、剃った部位を手で撫でてもヒゲを感じないように深剃りしたほうがベストです。２枚刃などを使用するのも良いでしょう。キチンと剃る事により、顔との色彩変化で小顔を印象づけます。

メイクアップシェービング手順　step 1



頬骨の辺りＤ部位をｅラインのように頬骨に剃ってあげます。あまり頬骨がでている人の場合は、頬が目立ち過ぎてしまうので剃らないほうがベストです。ヒゲが濃い人の場合は、頬骨から目の下までクロスシェービングします。女性のお化粧でいうとチークのような感じで考えてください。きちんとしたラインを出さないように注意してください。

ヒゲを生やせない場合のデザイン論～メイクアップシェービング

- この状態で朝、会社に行くとどうなるのか？

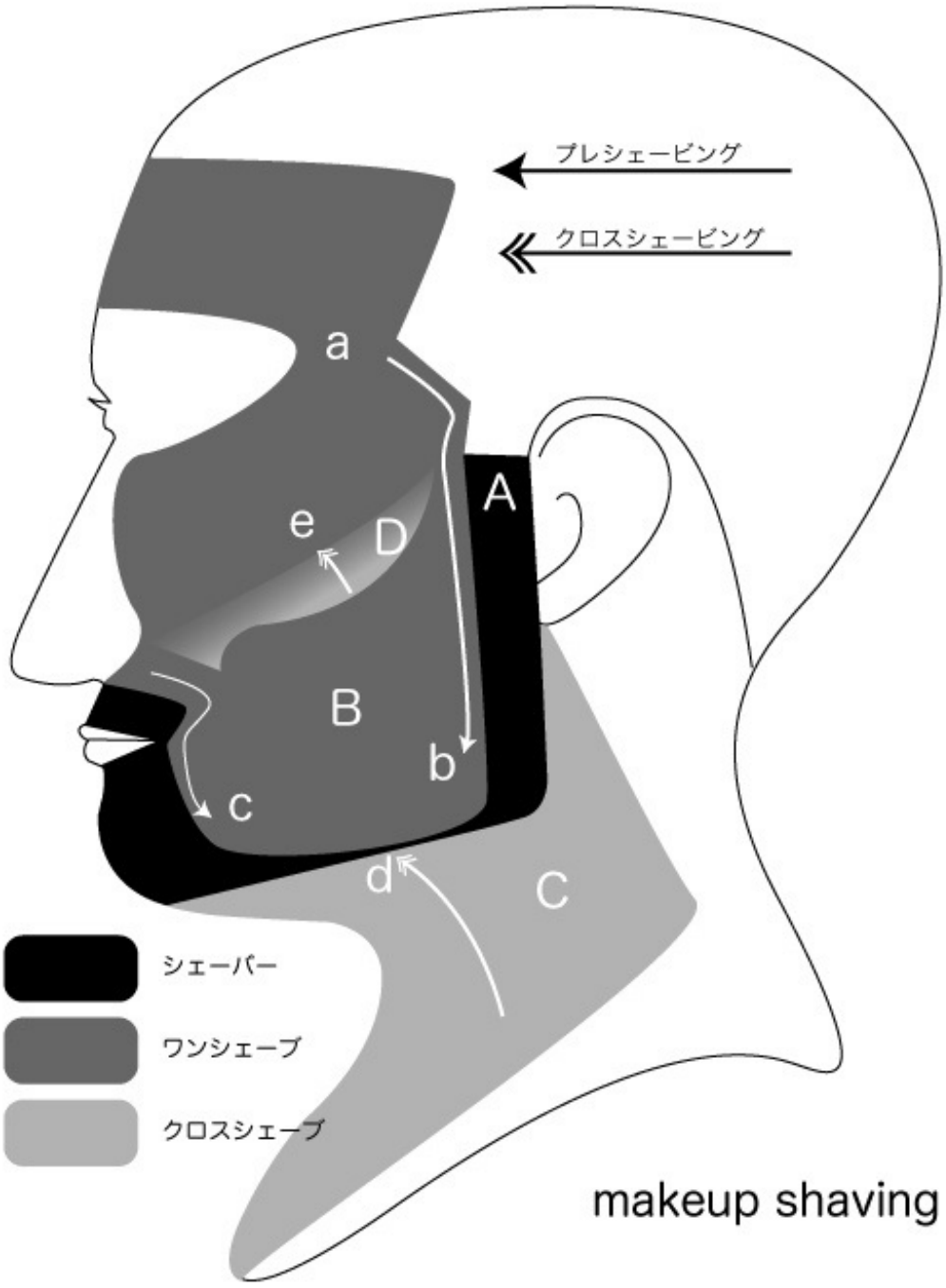
全体的には「電気シェーバー」「剃刀」で剃ってあるので、無精髭のような「だらしがない」感じではありません。ヒゲはお昼頃に伸びてくるのですが、この時点でも大丈夫でしょう。そして会社が終わる１７時を過ぎた頃になりますと、序所に変化が現れてきます。Ａ部位は電気シェーバーで軽く剃っただけですので、ヒゲが肌より露出しはじめてきます。さらにB部位は剃刀で軽く剃っただけですので、わずかながらヒゲが肌より露出しはじめてくるのです。それに対してC部位は剃刀でクロスシェービング（深剃り）してありますので、ヒゲが露出しておりません。女性が首と顔のファンデージョンを使い分けるようにＡとＣの境界線で色彩が変わるので、顔を小顔に印象づける事は可能になります。またＡが少しですがヒゲラインを形成するので、ヒゲデザインも楽しむ事ができるわけです。またD部位の頬骨あたりもクロスシェービングしてあるので、他よりも明るくなり顔をより立体的に印象づけます。人によってはＡ部位のヒゲデザイン部位が不要な時は、ＡＢ両部位を電気シェーバーで軽く剃るか、剃刀でワンシェーブで剃ります。ＡＣ部位の境界線をしっかり作ることにより、同様に小顔を印象づける事ができます。

- ヒゲが生えていないのだけど、どうなの？

ヒゲがない方でも、この「makeup shaving」はできます。まだヒゲがなく産毛だけの場合は、顎骨より下～首部分を剃刀でキチンと剃ってあげます。首部分の産毛を剃る事により、産毛が残っている顔部分との境界線ができるので小顔を印象づける事が可能になります。

また顔部分はワンシェーブ、首部分はクロスシェービングにする事によっても、剃り具合と時間変化により小顔を演出することが可能になるわけです。

ただし産毛が濃い場合などは、トリマーなどで産毛を１ミリくらいに揃えてあげるのが良いかと思います。ようするに、ヒゲ（産毛）で顔に濃淡をつけることにより、女性のファンデーションのような効果を狙うわけです。ヒゲが生えていない学生の皆さんも、剃刀は大人だけのものじゃありませんよ！ぜひお試しを～


プレシェービング
クロスシェービング
a
A
e
D
B
b
c
d
C
シェーバー
ワンシェーブ
クロスシェーブ
makeup shaving

やってはいけないヒゲ
駄目
そのヒゲによる損失額は
我が家の国家予算並みです、首相。
駄目

やってはいけないヒゲ　1

やっちゃうといけないヒゲがある・・

- 知らずに損してしまうヒゲとは

ヒゲは個性、個性は自由。でも社会においてはダメなヒゲもある。怖い・汚い・偉そう～そんなヒゲで損をしてはいないか？知らない間に顔が大きく観られてませんか？いつも機嫌が悪そうだと思われてませんか？いつもニヤケているように思われてませんか？老けたなんて思われてませんか？映画スターのヒゲも、自分に似合っているかは判らない。ヒゲは男のメイク～メイクダウンにならないデザインを知っておけば、社会において損をしません。

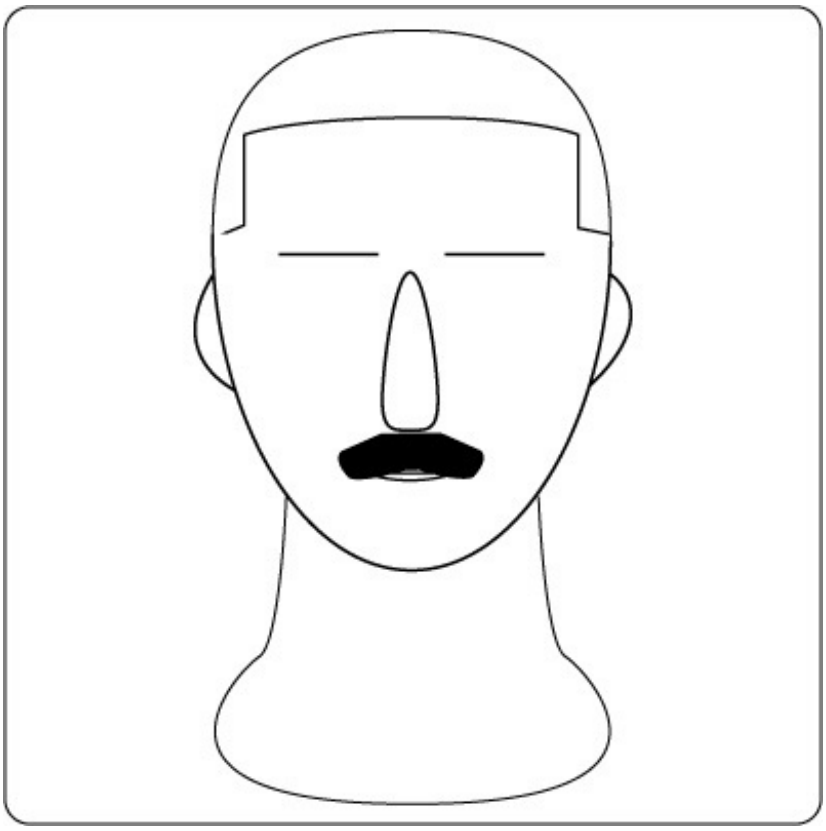
ヒゲは人によって生え方や範囲も違うので、「とりあえず～」と伸ばしてしまうと大きな失敗をしてしまう可能性が大きいのです。ゆえに「ヒゲなんか」なんて他人から言われてしまう事になるのです。では、どういうヒゲが駄目なのか？答えは、顔の印象を悪くしてしまうデザインです。俳優さんのようにキチンと整った顔立ちをしている人は稀で、大多数の人が顔にコンプレックスをもっているのが現実でしょう。そこに何も考えないでヒゲを生やしてしまいますと、そのコンプレックスとなる箇所を余計に強調している可能性がある、という事です。

欧米人に比べて、顔の奥行きなどもない我々が、さらに横から観た顔を薄くするようなヒゲのデザインをしていたらどうでしょうか？顔の大きな人が、大きすぎるヒゲを生やしていたら？顔の大きさに比べて、小さすぎるヒゲだったら？顔の長い人が、さらに長くみえるようなヒゲのデザインを生やしていたら？年齢を重ねて弛んできた顔を、さらに弛ませるようなヒゲのデザインだったら？そう観られないためには「ヒゲを生やさない」という事でなく「ヒゲのデザインを理解する」という事が大切だと思うのです。

「やってはいけないひげ」の章で紹介する一部のヒゲですが、「駄目なデザイン」ではありません。あくまでも顔との組み合わせが駄目な場合のデザインです。ぜひ参考にしてみてください。

やってはいけないヒゲ　２

「やってはいけないヒゲ～口ヒゲ」

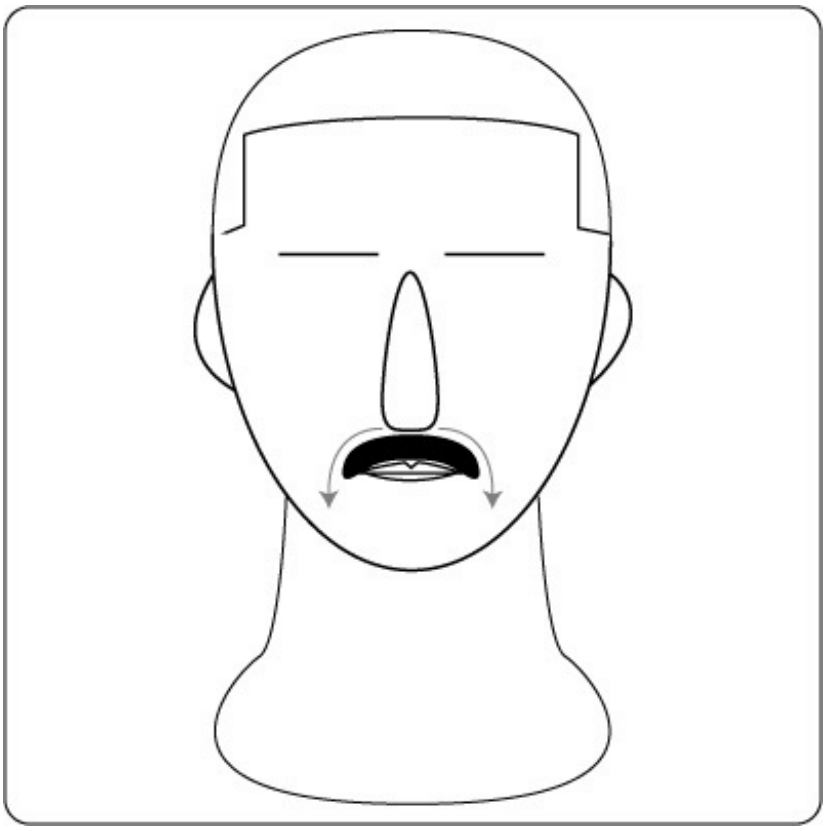


・唇にヒゲがかかっている。

＞唇をヒゲで隠してしまうと、表情も隠してしまいます。接する相手を不安に思わせるので、唇にかかるヒゲはキチンと切りそろえましょう。また、飲み食いの際にヒゲが汚れる原因となります

やってはいけないヒゲ　３

「やってはいけないヒゲ～口ヒゲ」

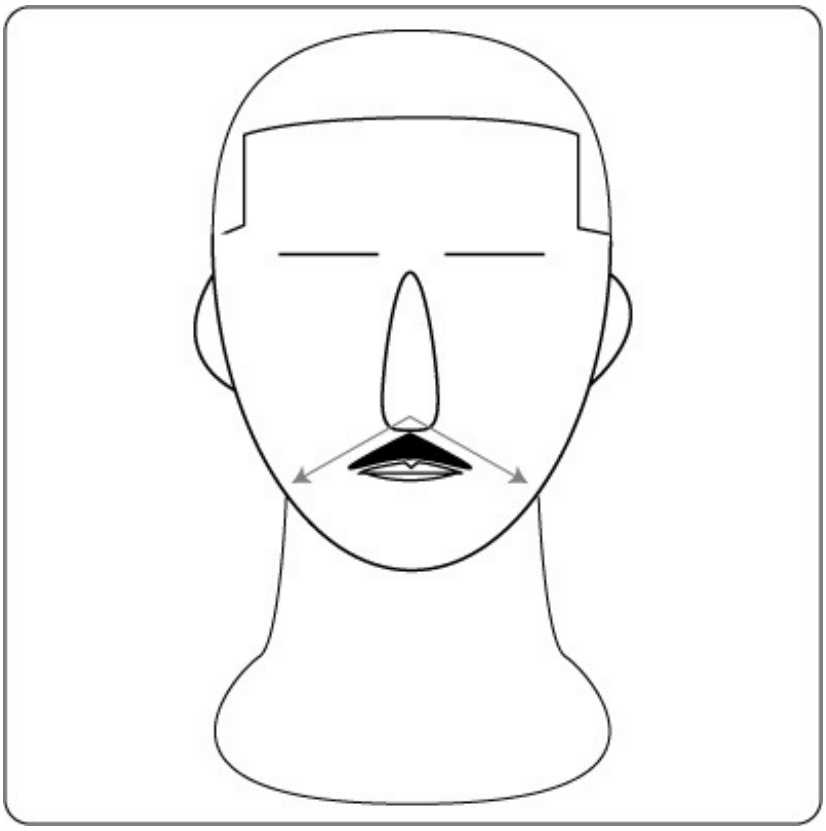


・ヒゲ両端が口よりも下がっている。

＞口角（口の端）より、ヒゲを下げてしまいますとニヤケた印象になります。理想的なのは口角から４５度上の角度くらいまでの長さです。

やってはいけないヒゲ　４

「やってはいけないヒゲ～口ヒゲ」

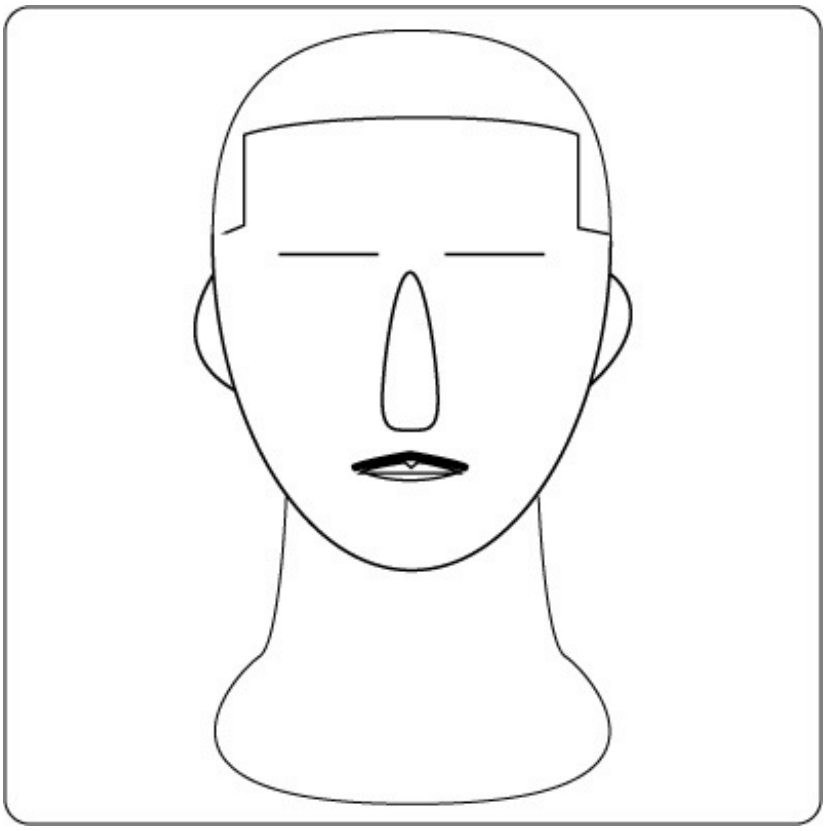


・ヒゲが極端な「への字」になっている。

＞鼻を中心に両端が極端に落ち込んだ「への字」の場合は、口自体も「への字」と印象づけるので、良くありません～機嫌が悪いようにみられます。極端に剃り込むのはやめましょう。自然の場合は「への字」の頂点の鼻下を少し剃るか、両端を短くして印象を和らげます。

やってはいけないヒゲ　５

「やってはいけないヒゲ〜口ヒゲ」

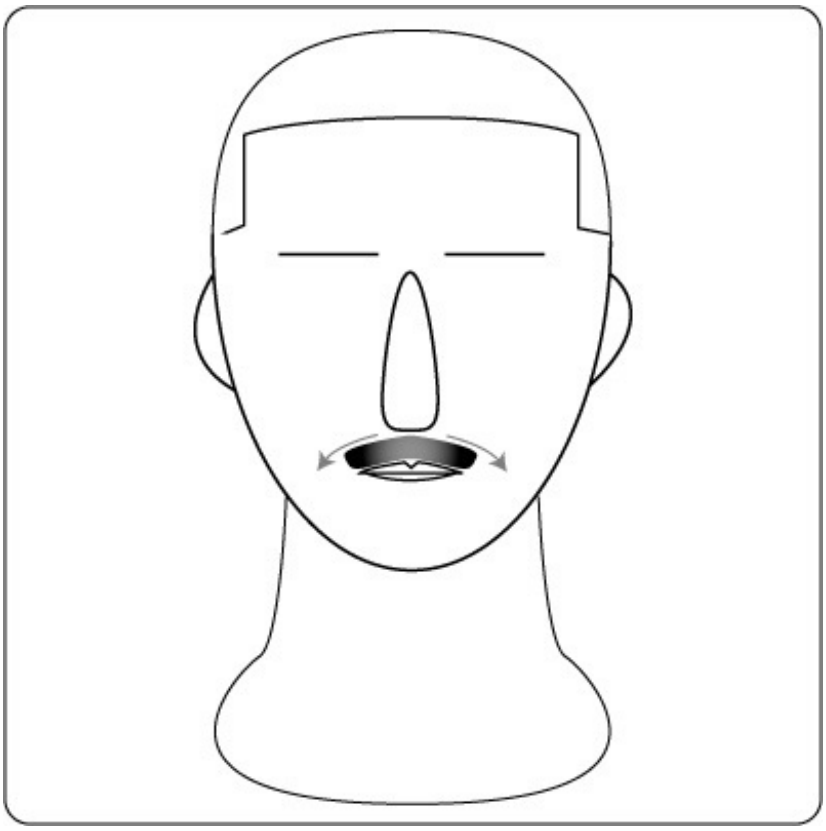


・ヒゲが細すぎる。

＞ヒゲを遅くすると、一般的には鼻下が長く見えてしまいます。よほど鼻下が短い人を除き、鼻下から唇までの３分の１以下にしない事が無難です。

やってはいけないヒゲ　6

「やってはいけないヒゲ〜口ヒゲ」

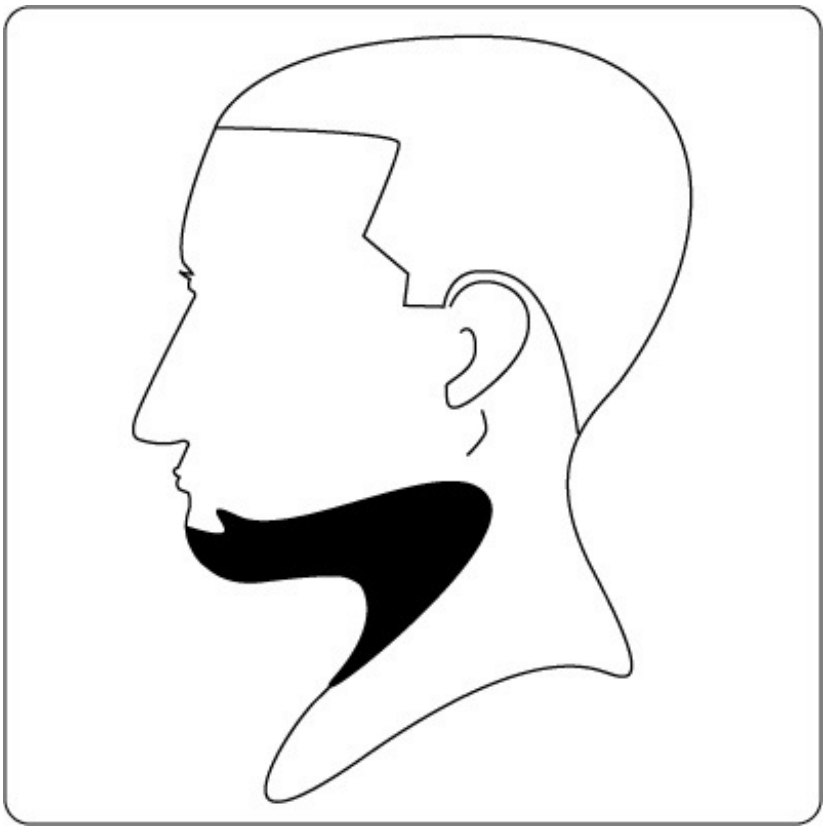


・ヒゲの両端が中央に比べて濃い。

＞口髭を全て同じ長さで切りそろえてしまううと、筋肉の関係で両端だけ濃いような色彩になります。目立ちますと口角が下がった印象の他、頬が太ったような印象を与えます。表情も口角が下がり、にやけた印象を与えます。トリマーなのでグラデーションをつけて、両端を少し短くします。

やってはいけないヒゲ　7

「やってはいけないヒゲ～顎ヒゲ」

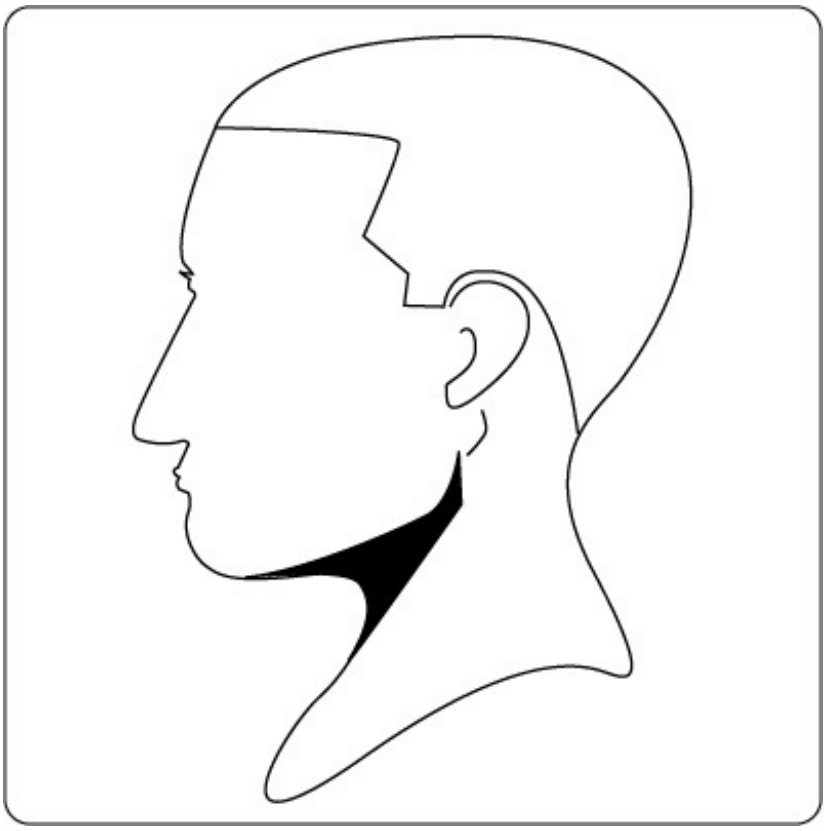


・顎の骨から、首までヒゲがある。

＞顎の骨から下は首であり、そこにヒゲがあると顔を大きくみせませす。顎から喉仏までが正面から見える場合は、余計に顔を大きくみせてしまいます。顎骨から下のヒゲは剃り落としましょう。

やってはいけないヒゲ　８

「やってはいけないヒゲ～顎ヒゲ」

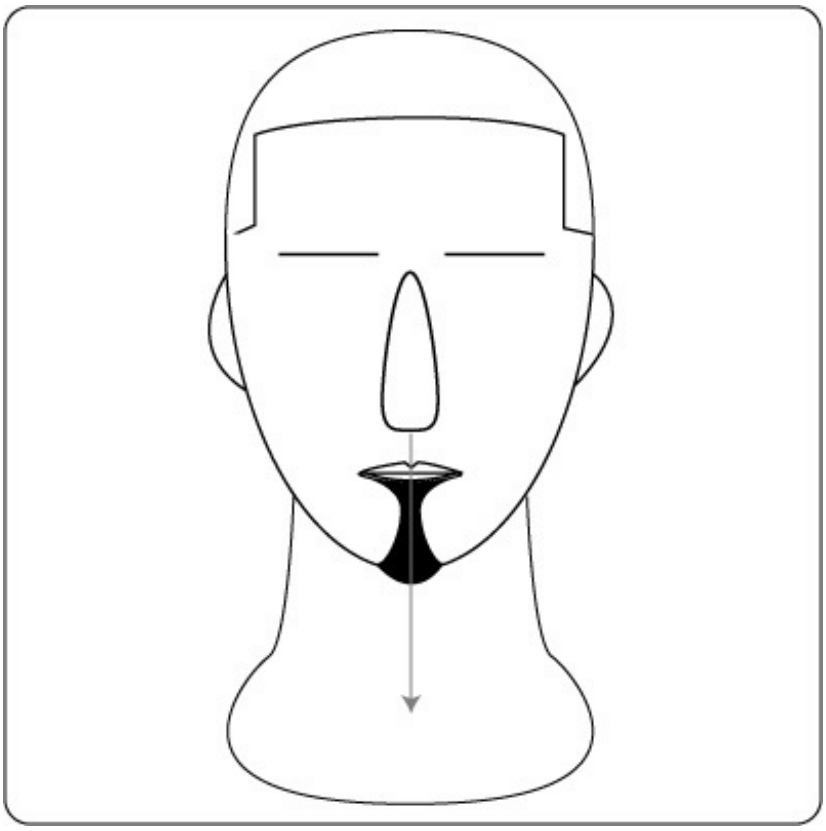


・首部位だけにヒゲがある。

＞顎下～首部位だけヒゲを残すデザインですが、顔が前に抜きでた印象を与えてしまいます。特に色白の肌の方がやりますと、余計に顔が前に抜き出た感じになります。顔もそのぶん、大きく印象づいてしまいますので、一般的にはやめたほうが良いと思われます。

やってはいけないヒゲ　９

「やってはいけないヒゲ～顎ヒゲ」

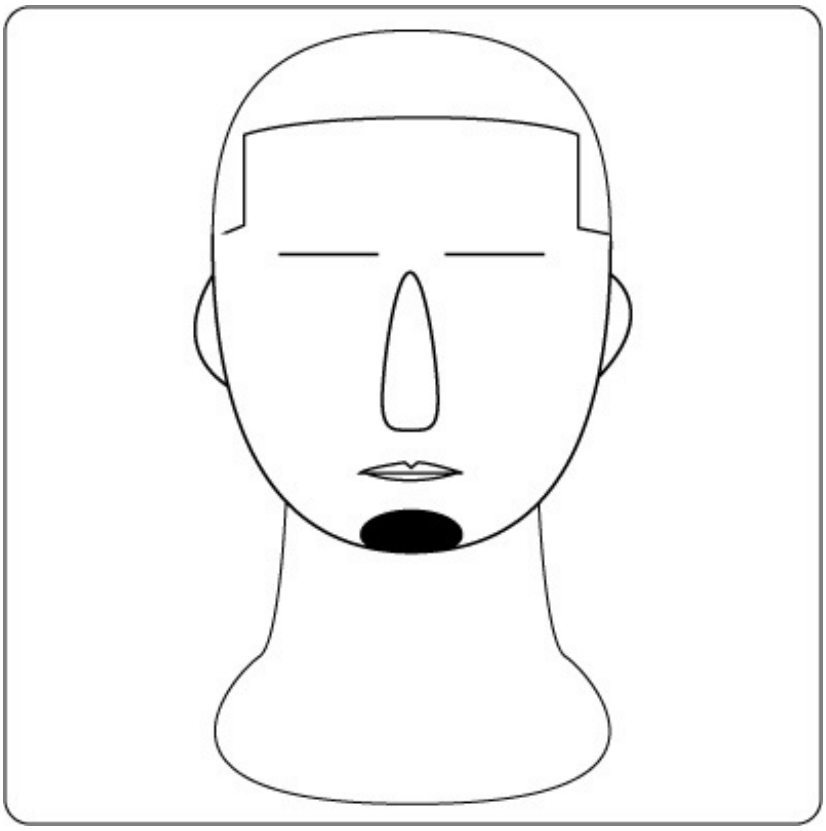


・細顔なのに、顎鬚も縦細。

＞顎鬚の形が三角型や角形・丸型に関わらず縦に長い形状ですと、顔を長くみせてしまします。また顎も長くみせるので注意が必要です。横幅を口幅ほどまでとるか、無理な場合は高さを低くしましょう。また下方向にヒゲを伸ばすのも、顔を面長な印象を与えますので注意してください。

やってはいけないヒゲ　１０

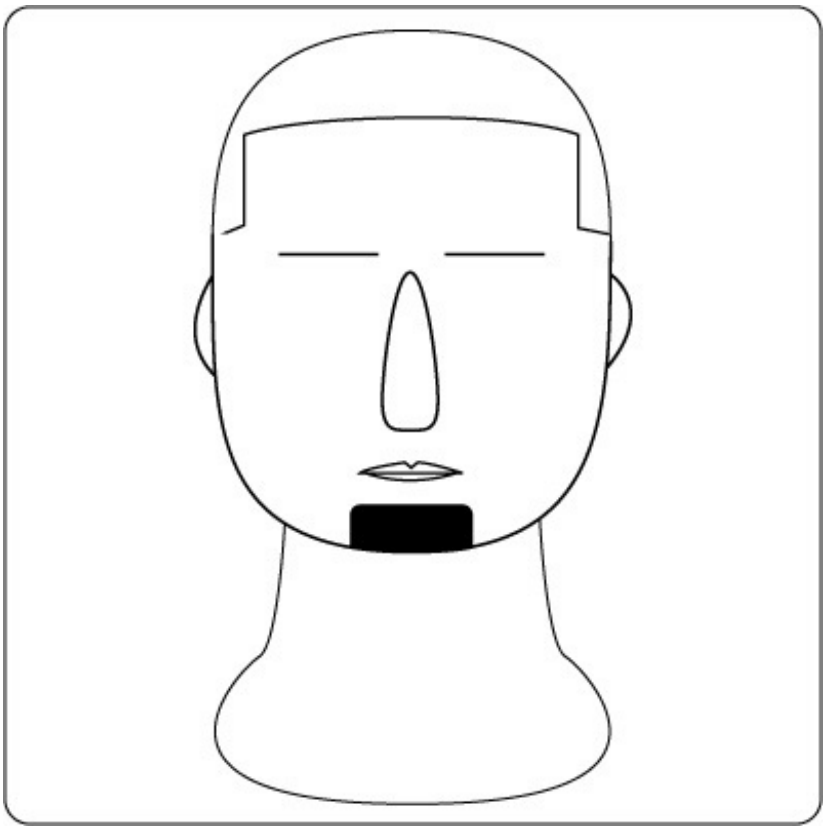
「やってはいけないヒゲ～顎ヒゲ」



・丸顔なのに、顎鬚も丸型。。

＞丸顔、もしくは太り気味の場合で丸型の顎鬚にしますと、それらの印象を助長してしまうので、注意。三角型、角型など直線的な感じに少しでも剃り込むか、両脇に少し凹みをつけてアクセントをつけましょう。

「やってはいけないヒゲ～顎ヒゲ」

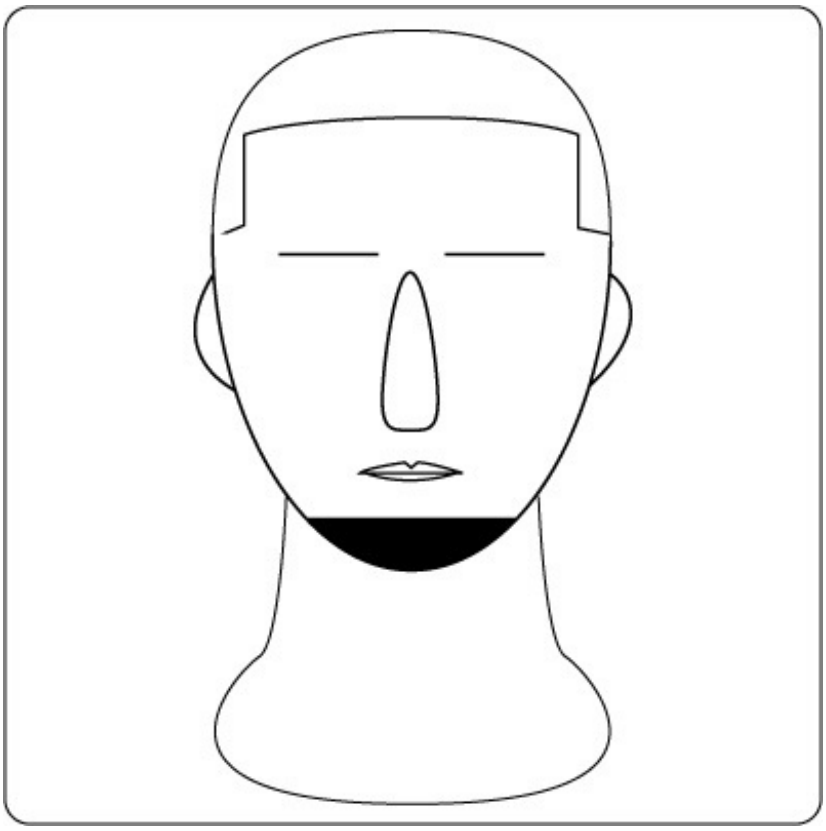


・角顔なのに、顎鬚も角型。

＞角型にすると、顔のエラが強調されるます。そのためにエラが張った方や、角顔の人の場合は避けたほうが良いでしょう。角を少し丸みづけしたり、三角型に剃り込みます。

やってはいけないヒゲ　１２

「やってはいけないヒゲ～顎ヒゲ」

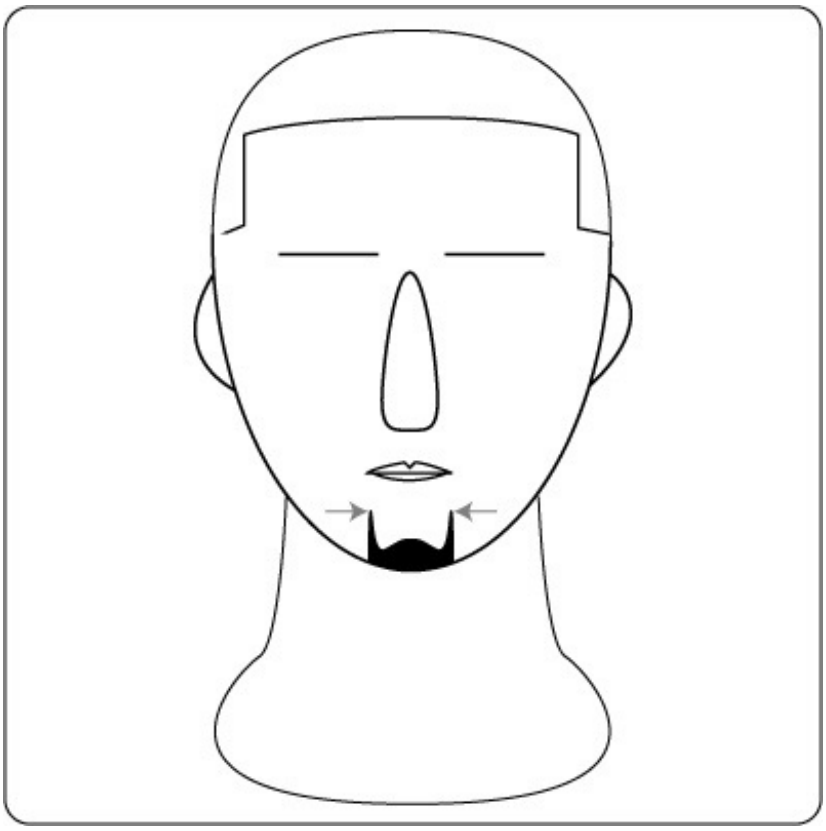


・横に線を引いたような顎鬚。

＞西洋人のように顔の凹凸が少ない場合は、単調なラインでヒゲを形成するのは避けたほうがベターです。Wラインにするなど、変化をつけましょう。

やってはいけないヒゲ　１３

「やってはいけないヒゲ～顎ヒゲ」

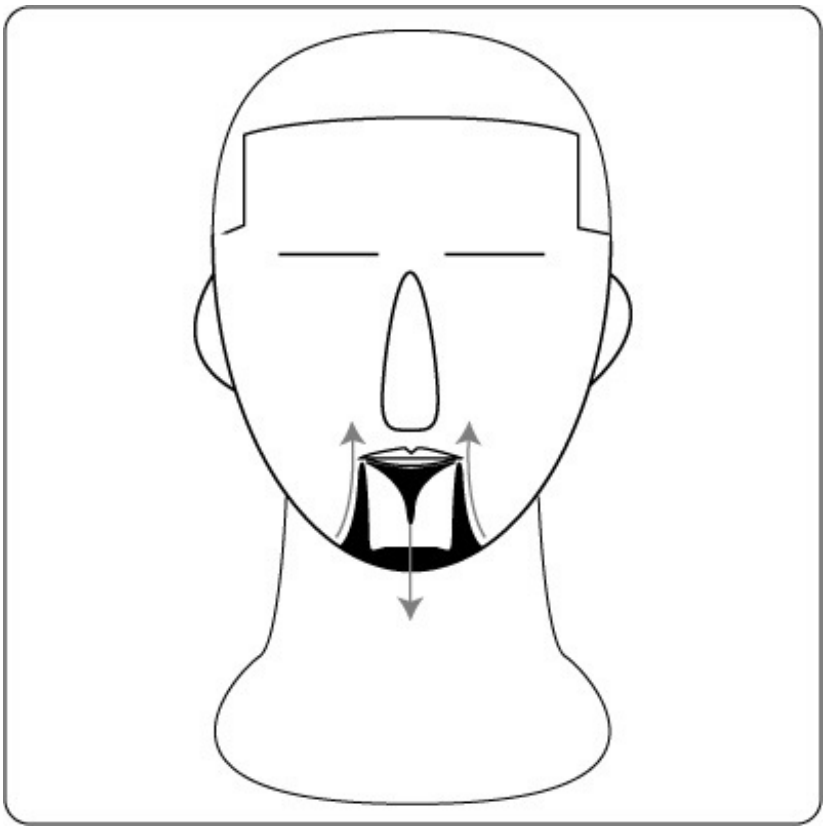


・口が小さいのに、顎鬚も小さい。

＞横幅がない小さい顎鬚は、口を小さくみせます。また先細りなW型も同様です。理想的なサイズは口と同じサイズにするのがベターです。

やってはいけないヒゲ　１４

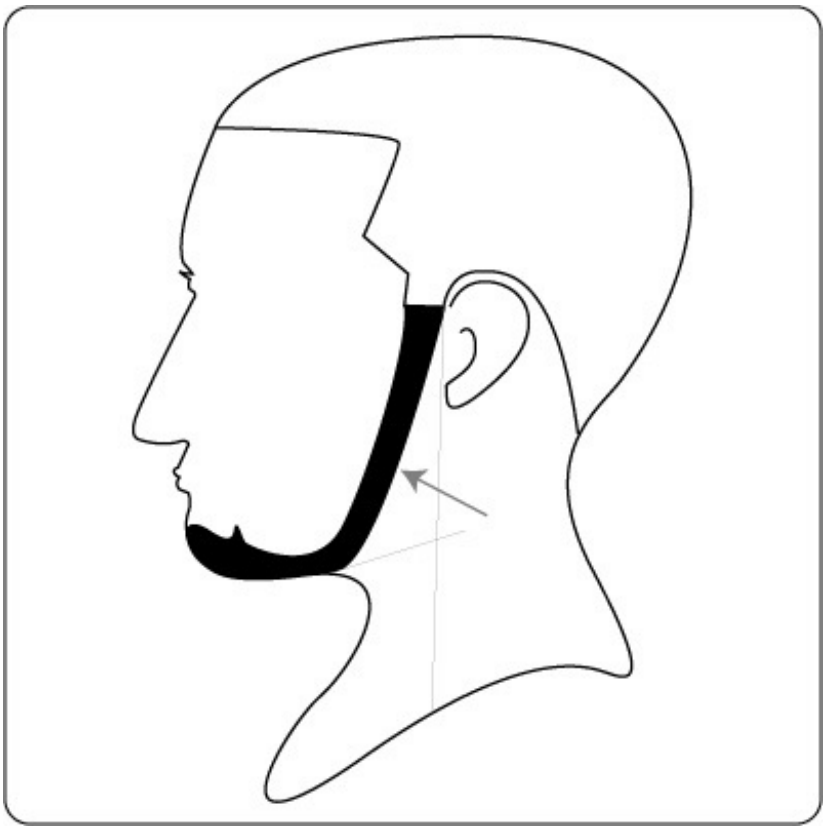
「やってはいけないヒゲ～顎ヒゲ」



・顎が長いのに、顎髯の縦の長さが長いデザイン。

＞顎が長い場合に、上方向の角ヒゲ、下方向の下唇ヒゲなどの縦の長さが長いデザインは避けたほうが良いです。

「やってはいけないヒゲ～顎ヒゲ」

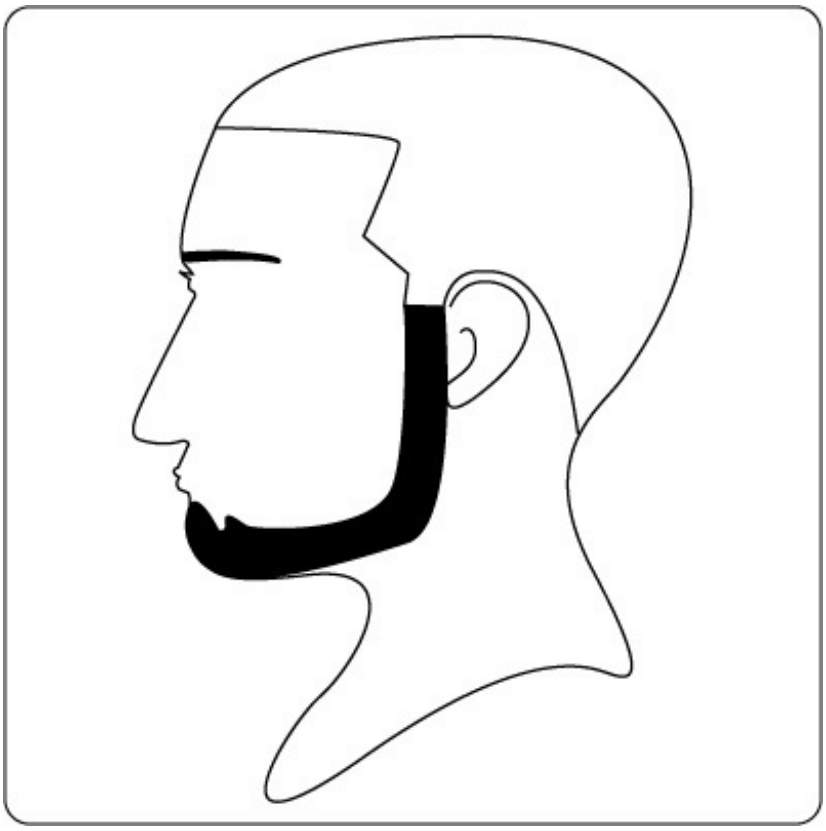


・横から観て、頬髯が前方に傾きすぎている。

＞頬髯（もみあげも含む）が前方に傾いていると、横顔を薄くみせます。一般的にアジア系の人の場合、顔に奥行きがありません。ゆえに、あまり前方に傾けないほうがベターです。特に面長な顔、顎が細い逆三角形顔を余計に助長しますので注意。

やってはいけないヒゲ　１６

「やってはいけないヒゲ～顎ヒゲ」

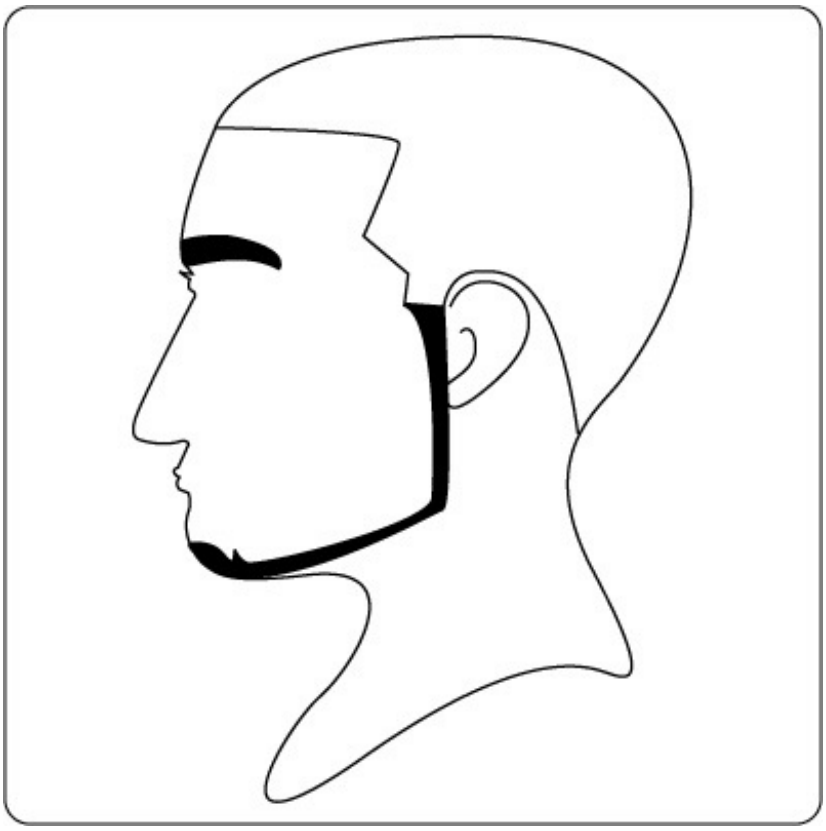


・眉毛が細いのに、太い頬髯。

＞眉毛とのバランスが大切です。細い眉毛の場合は、頬髯などは細めのデザインがバランス的にベターです。ただし、細すぎると神経質な印象を与えるので注意が必要です。

やってはいけないヒゲ　１７

「やってはいけないヒゲ～顎ヒゲ」

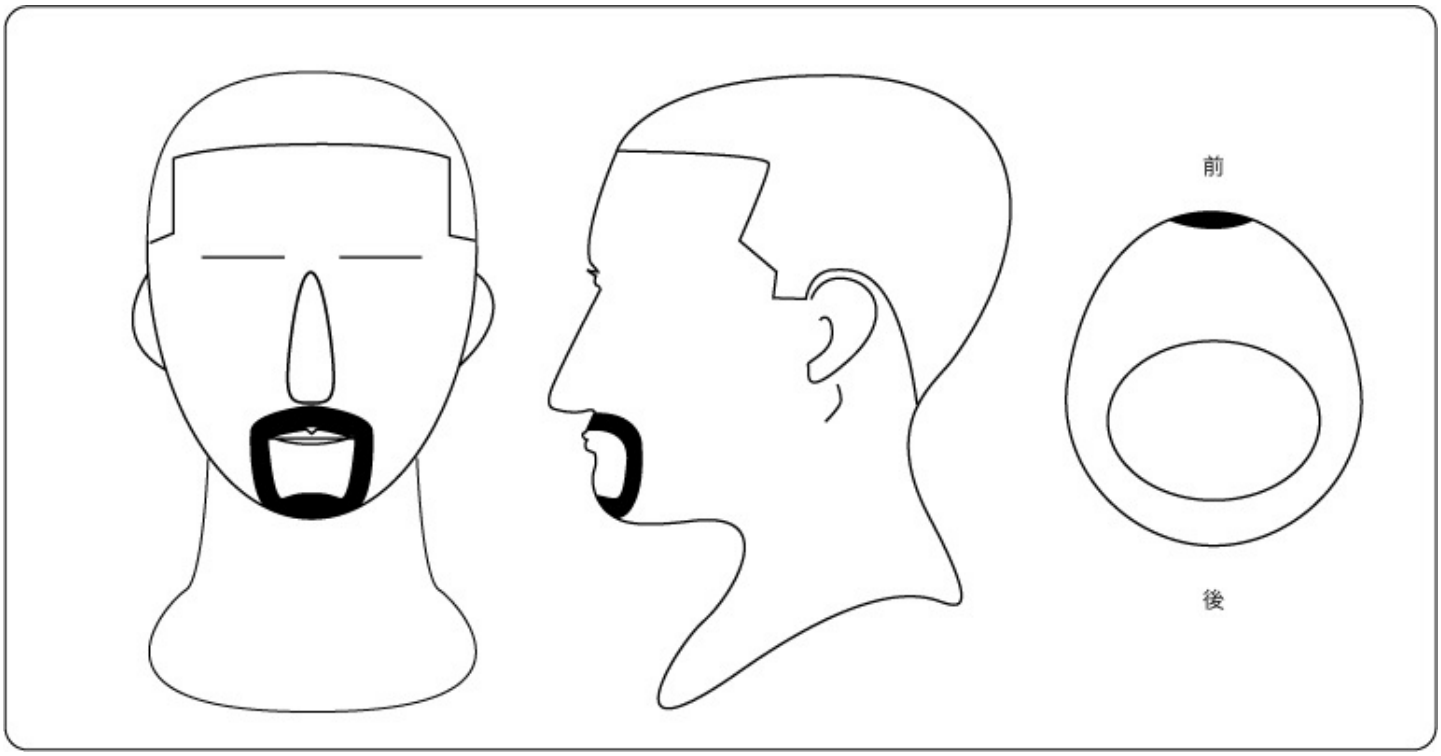


・眉毛が太いのに、細い頬髯。

＞眉毛が太いのに細身のヒゲですですと、眉毛ばかりが目立ってしまいます。ヒゲが太めにできないようでしたら、眉毛を少しでも良いので細めにしてバランスをとります。

やってはいけないヒゲ　１６

「やってはいけないヒゲ～泥棒ヒゲ」



・全てのヒゲの厚みが一緒で、メリハリがない。

＞口ヒゲ、顎角、顎ヒゲがつながっていて、ほぼ同じ太さで全てがつながっています。意外と街でみかけるデザインです。このデザインを避けるには、口角（口元）にむけて顎角ヒゲを三角形にして、口ヒゲも口角４５度のところで剃り落します。そうすることによりメリハリができて、泥棒ヒゲに観られることはありません。

ヒゲっていいよね。
さいごに～ヒゲは男にとって何なのか？

さいごに～ヒゲは男にとって何なのか？

ヒゲは男にとって何なのか？

ヒゲは男にとって何なのか？・・人によっては「毎日面倒臭い邪魔な存在」であるでしょう。ヒゲを剃らずに人前にでれば「無精髭」といわれ「そのヒゲはなんだ？」「ヒゲくらい剃ってこい」と蔑まされる。そんなにヒゲは邪魔なのか？いらない存在なのでしょうか？

初頭でお述べましたが、ヒゲは現代においては「怖い・汚い・偉そう」という３つのイメージが根強く残ってます。さらに「無精髭」の字のごとく「精（精神）が無い」つまり「無気力」という印象をも表してしまうのです。

現代においての「ヒゲ」においては自分は「デザイン」が欠けているからこそ、そのような評価が生まれていると思うのです。今迄のヒゲデザインにおいては。ヘアスタイルに付随したようなデザインが殆どでした、もしくは「顔形」によるデザイン、俳優さんなどのヒゲを真似るデザイン、従来のヒゲスタイル（クラシカル）から選ぶデザインets..もちろん、それらも間違ってはいないのですが、決定的な事が欠けているのです。

それは、ヒゲはまさしく十人十色ということ。生えている部位から濃さにいたるまで、まさに個性の固まりの素材なのであります。だからこそ、自分のヒゲはどのように周りから観れらているのか？という事を理解しながらラインをデザイン形成する事がとても大切な事になると考えてます。

ヒゲは男にとっては個性であると考えます。そして、その個性を表現できるのは「ヒゲが生え揃った」大人だけの表現なのです。ヒゲは１０代はともかく、２０歳後半あたりから生え揃ってきます。さらに年齢を重ねる程に円熟を重ね、白いヒゲはまさに「大人の個」の証になることでしょう。しかし、そこにデザインがなければ駄目です。デザイン次第では紳士にも優しい人柄にも観えますが、いつも怒っているようにも観られてしまう事もあるのです。

ヒゲは個性であると共に、本来の自分をさらに飛躍させる為のアイテムでもあります。家の近所では気恥ずかしくてサングラスなどをかける事はできませんが、リゾート地などでサングラスをかけて普段の自分ではない開放感を味わうのと似ています。サングラスというアイテム一つで何かが解放されるように、ヒゲによって新しい自我が生まれてくるのです。それは自分への自信であり、弱い面を克服できるキッカケになると思うのです。ただし自分の弱い面を隠すといっても隠しすぎてしまうと、周りの人には不信感だけをあたえてしまう事になります。やはり、そこにもデザインというものが必要だという事なのです。

個性と飛躍させるアイテム～それらが積み重なると、ヒゲはその人の人生そのものを表す「顔」となります。若いヒゲは黒さゆえに、ヒゲ自体が目立ってしまいます。ゆえにデザインが重要になってくるのですが、白いヒゲが目立つようになるとどうでしょうか？白いヒゲは顔そのものを形成するがごとく、顔に馴染んでいくのです。それぞまさしく「大人のヒゲ」として目指すヒゲであると僕は思います。男にとって、大人の男にとってのヒゲとは、奇抜さなどだけじゃなく、「社会性」のあり「自然さ」をかねそなえた、顔そのものだと思うのです。本書を読み、そのようなヒゲと長く付き合う事ができる方が一人でも多く生まれれば良いなぁ、と思う次第であります。

大人のヒゲ剃り　ヒゲデザイン論

２０１１／２／１

著者　理容室 FUJII　藤井実

この本の内容は理容室ＦＵＪＩＩおよび HIGEDAVI サイト内全国理容中央学園発行「ザ・セントラル」紙面上において１０回にわたり発表された「ヒゲデザイン論」を加筆、修正したものです。全ての画像および内容を無断で使用する事を禁じます。

http://hige-davidson.com/
http://hs-fujii.com/

商品提供：entrex 社　http://www.entrex.co.jp/
Baxter 社　http://www.baxterofcalifornia.jp/